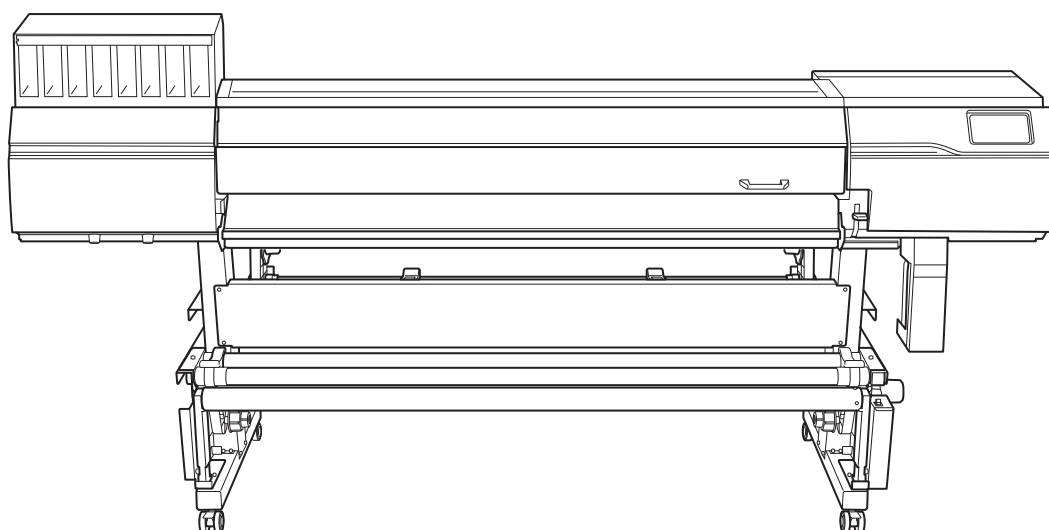


# TrueVIS

## LG-640/LG-540/LG-300

---

### ユーザーズマニュアル



---

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、本書を必ずお読みください
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません

FA04342  
R6-241031

<https://www.rolanddg.co.jp/>  
Copyright © 2023 - 2024 Roland DG Corporation

# 目次

<b>基本的な扱い方</b> .....	<b>7</b>
<b>基本情報</b> .....	<b>8</b>
各部の名称と機能.....	9
プリンター本体.....	9
巻取装置.....	14
操作パネル.....	15
使用するメディアについて.....	22
メディアの種類について.....	22
使用可能なメディアの条件.....	23
巻取装置について.....	24
巻取装置の使用条件.....	24
紙管について.....	24
廃液ボトルについて.....	25
廃液ボトルの取り外しについて.....	25
<b>基本操作</b> .....	<b>26</b>
電源の操作.....	27
電源オン.....	27
電源オフ.....	28
電源の操作に関するご注意.....	29
スリープモード（省電力機能）.....	30
新規メディアのセットアップ.....	31
ロールメディアのセットアップ.....	31
カットメディアのセットアップ.....	54
登録済みメディアのセットアップ.....	68
ロールメディアのセットアップ.....	68
カットメディアのセットアップ.....	89
出力前の確認.....	101
LAN（ローカルエリアネットワーク）の状態.....	101
インクの沈殿を防ぐ.....	102
出力の一時停止と中止.....	103
出力の一時停止と再開.....	103
出力の中止.....	104
メディアを切り離す.....	105
巻取装置からメディアを取り外す.....	107
インクの交換.....	109
インクが無くなったときのお知らせ.....	109
インクの交換方法.....	110
インクの沈殿を防ぐ.....	114
洗浄液の交換.....	115
洗浄液が無くなったときのお知らせ.....	115
洗浄液の交換方法.....	116
<b>出力方法</b> .....	<b>119</b>
<b>出力の準備と出力方法</b> .....	<b>120</b>
一日の作業前準備.....	121
1日のワークフローの確認.....	121
マニュアルクリーニングの方法.....	122
プリントの方法.....	128
プリント出力の準備.....	128
出力の開始.....	132
カットの方法.....	134
カット出力の準備.....	134

出力の開始 .....	138
プリント&カットの方法 .....	139
プリント&カット出力の準備 .....	139
出力の開始 .....	146
クロップ&カットの方法 .....	148
クロップマーク付き出力の準備 .....	148
クロップマーク付き出力の開始 .....	155
カット出力の準備 .....	157
カット出力の開始 .....	160

## 品質と効率を最適化する..... 161

### 出力品質を最適化する..... 162

補正機能を使う .....	163
必要な調整を自動で行う .....	163
手動調整：横すじを軽減する（送り補正） .....	164
手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正） .....	166
メディアの性質に応じた設定 .....	168
プリントヘッドの高さを変える .....	168
浮き上がりやすい／スムーズに動かないメディアを使用する .....	170
巻取装置の設定をする .....	171
メディアのずれを防ぐ .....	173
メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する .....	173
メディアを温めてメディア浮きを抑制する .....	174
待機時のヒーター温度を設定する .....	175
出力時のヒーター温度を設定する .....	177
カッティングの設定を細かく調整する .....	179
カッティング条件を細かく設定する .....	179
切り込み量を細かく調整する .....	181
印刷面にカットするときの調整をする .....	182
カッティング時の距離補正をする .....	185
角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット） .....	186
本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる .....	188
プリント&カットの設定を細かく調整する .....	189
印刷とカットのずれを補正する .....	189
カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する .....	192
クロップ&カットの設定を細かく調整する .....	194
クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット同時テスト） .....	194
クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ／カット分離テスト） .....	197
読み取りセンサーを補正する .....	202
クリーニングによる印刷の中断を回避する .....	203
印刷中に行われるクリーニングについて .....	203

### 作業効率を最適化する..... 206

メディア設定を管理する .....	207
メディア設定を変更する .....	207
登録済みのメディア設定を確認する .....	208
メディア名を変更する .....	209
メディア設定を複製する .....	210
カット用にメディア設定を複製する .....	211
メディア設定を削除する .....	212
出力開始位置を調整する .....	213
ベースポイントを設定する .....	213
出力時間を短縮する .....	215
幅のせまいメディアへの出力を速くする .....	215
その他の便利な機能 .....	216
テストプリントを横に並べて印刷する .....	216

<b>業務管理を最適化する</b> .....	<b>217</b>
業務を適切かつ効率的に管理する.....	218
現在日時を設定してメンテナンスに活用する.....	218
メディアの残量を確認する.....	219
通知の表示／非表示を切り替える.....	221
クリーニングまでの残り時間を表示する.....	223
スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する.....	225
プリンターの基本設定を管理する.....	226
表示言語を変更する.....	226
表示単位を変更する.....	227
プリンターの情報を確認する.....	228
ネットワークの情報を確認する.....	229
操作パネルの明るさを調整する.....	230
操作パネルの操作音を消す.....	231
すべての設定を工場出荷時の状態に戻す.....	232
<b>メンテナンス</b> .....	<b>233</b>
はじめに.....	<b>234</b>
取り扱いに際してのお願い.....	235
プリンター.....	235
インクカートリッジ.....	235
メンテナンスの基礎知識.....	236
メンテナンスの種類とタイミング.....	236
長期間使わないときの処置.....	238
レギュラーメンテナンス.....	<b>239</b>
印刷前のプリントヘッドチェック.....	240
ノズル抜けテストを実施する.....	240
機体の清掃.....	242
メディアの通り道の清掃.....	242
カッティングキャリッジのローラーの清掃.....	243
プリントヘッド周りの清掃.....	244
マニュアルクリーニングの方法.....	245
マニュアルクリーニングに関する消耗品、消耗部品について.....	251
月に1度以上必要なクリーニング.....	252
UV照射装置の清掃が必要なタイミング.....	252
UV照射装置の清掃方法.....	253
廃液の処理.....	<b>256</b>
廃液処理におけるご注意.....	257
廃液処理のメッセージが表示されたら.....	258
ハードメンテナンス.....	<b>260</b>
ドット抜け、ドットよれが発生したとき.....	261
ノーマルクリーニングの方法.....	261
ノーマルクリーニングの効果がないうち.....	263
ミディアムクリーニングの方法.....	263
パワフルクリーニングの方法.....	265
ホワイトインクの色ムラが発生したとき.....	267
インク循環の方法.....	267
パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法.....	268
ダンパー内インク更新の方法.....	269
重度のドット抜け、ドットよれ、色ムラへの対応.....	272
インク更新の方法.....	272
印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する.....	276
応急処置) プリントヘッド表面のクリーニング.....	278

操作パネルが汚れたとき .....	281
操作パネルの清掃方法 .....	281
<b>消耗部品の交換 .....</b>	<b>282</b>
メンテナンス用部品の交換 .....	283
ワイパーの交換 .....	283
プリントヘッドキャップの交換 .....	286
ワイパークリーナーの交換 .....	288
UV ミストフィルターの交換 .....	290
フラッシングスポンジの交換 .....	292
刃物の交換 .....	294
カッターの交換 .....	294
セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ) の交換 .....	299
交換前にお問い合わせが必要な消耗部品 .....	301
<b>トラブルへの対応方法 .....</b>	<b>302</b>
<b>出力品質のトラブル .....</b>	<b>303</b>
印刷が粗い／横すじが入る .....	304
プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか？ .....	304
プリントヘッド高さは適切ですか？ .....	304
[送り補正]はしてありますか？ .....	304
[メディアギャップ補正] (インクの着弾位置補正) はしてありますか？ .....	304
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？ .....	304
印刷モードは適切ですか？ .....	305
メディアの取り付け方法は適切ですか？ .....	305
[メディア設定]は適切ですか？ .....	305
印刷するとメディアが汚れる .....	306
プリントヘッドがメディアに当たっていませんか？ .....	306
プリントヘッドが汚れていませんか？ .....	306
ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか？ .....	306
色が安定しない／ムラになる .....	307
インクカートリッジを振ってから取り付けましたか？ .....	307
インクカートリッジを振ってインクを攪拌しても色ムラが発生しますか？ .....	307
メディアがしわになっていませんか？ .....	307
印刷途中に一時停止しませんでしたか？ .....	307
印刷中にクリーニングが行われていませんか？ .....	308
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？ .....	308
メディアの取り付け方法は適切ですか？ .....	308
動作条件を適切に設定してありますか？ .....	308
[メディア設定]は適切ですか？ .....	308
UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか？ .....	308
カットがずれる／ゆがむ／きれいでない .....	309
メディアの取り付け方法は適切ですか？ .....	309
カッティング条件の設定は適切ですか？ .....	309
出力の長さが長すぎませんか？ .....	309
伸縮の大きいメディアを使用していませんか？ .....	309
[カット設定]の[カット距離補正]は正しく設定されていますか？ .....	309
ピンチローラーを適切な位置に配置していますか？ .....	309
プリントとカットのずれを補正しましたか？ .....	310
カッターホルダーは適切に取り付けられていますか？ .....	310
カッターは消耗していませんか？ .....	310
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？ .....	310
<b>クロップ&amp;カットのトラブル .....</b>	<b>311</b>
クロップマークの自動検出に失敗した .....	312
ピンチローラーからクロップマークまでの余白が少なすぎませんか？ .....	312
メディアに"しわ"や"ゆがみ"がありませんか？ .....	312

メディアサイズが大きすぎませんか？ .....	312
光が反射しやすいメディアを使っていませんか？ .....	312
透明なメディアを使っていませんか？ .....	312
プリントとカットがずれる .....	313
クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか？ .....	313
<b>メディア送りのトラブル .....</b>	<b>314</b>
メディアがしわになる／縮む .....	315
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？ .....	315
メディアをセットしたまま放置しませんでしたか？ .....	315
メディアクランプはセットしてありますか？ .....	315
フロントヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか？ .....	315
フロントヒーターの温度が高すぎませんか？ .....	315
部屋の湿度が高すぎませんか？ .....	315
使用しているメディアにたわみがありませんか？ .....	315
メディアが斜行する .....	316
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？ .....	316
メディア送りがなめらかでない .....	317
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？ .....	317
メディアが厚すぎませんか？ .....	317
グリットローラーが汚れていませんか？ .....	317
メディアが詰まった .....	318
エラーメッセージが表示されていませんか？ .....	318
メディアが反ったりしわになったりしていませんか？ .....	318
プリントヘッド高さが低すぎませんか？ .....	318
グリットローラーが汚れていませんか？ .....	318
メディアクランプはセットしてありますか？ .....	318
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？ .....	318
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？ .....	319
メディアが厚すぎませんか？ .....	319
<b>機体のトラブル .....</b>	<b>320</b>
プリントヘッドが動かない .....	321
はじめに行う処置 .....	321
どうしても動かないときは .....	321
プリンター本体が動かない .....	323
電源がオンになっていますか？ .....	323
[出力できます。]と表示されていますか？ .....	323
カバーが開いていませんか？ .....	323
[出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか？ .....	323
画面にメッセージが表示されていませんか？ .....	323
ケーブルが接続されていますか？ .....	323
LAN のルーティングは適切ですか？ .....	324
LAN の設定は正しいですか？ .....	324
ソフトウェア RIP が異常終了していませんか？ .....	324
[インクカートリッジエラー]と表示されていませんか？ .....	324
フロントヒーターが熱くならない .....	326
メディアをセットアップしてありますか？ .....	326
[フロントヒーター]がオフになっていませんか？ .....	326
部屋の温度が低すぎませんか？ .....	326
メディアの切り離しができない .....	327
セパレーティングナイフは取り付けられていますか？ .....	327
<b>操作パネルのメッセージ .....</b>	<b>328</b>
メッセージ .....	329
[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。] .....	329
[マニュアルクリーニングの時期です。] .....	329
[ワイパー交換の時期です。] .....	329
[キャップ交換の時期です。] .....	329

[ワイパークリーナー交換の時期です。]	329
[UV ミストフィルター交換の時期です。]	330
[フラッシングスポンジ交換の時期です。]	330
[ヘッド保護モードに入ります。]	330
[洗浄液パウチを交換してください。]	330
[洗浄液パウチをセットしてください。]	331
[洗浄液が残りわずかです。]	331
[インク攪拌の時期です。]	331
[巻取装置の動作を停止しました。]	331
[すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してください。]	332
[メディアクランプを正しくセットしてください。]	332
[メディアクランプが検出できませんでした。]	332
[LAN ケーブルが接続されていません。]	333
[接続に時間がかかっています。IP アドレスを手動設定すると改善します。]	333
[消費期限が切れているインクがあります。]	333
[メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]	333
エラーメッセージ	335
[インクカートリッジエラー]	335
[カバーオープンエラー]	335
[メディアエンドエラー]	335
[ピンチレバーエラー]	335
[メディアセットエラー]	336
[廃液ボトルエラー]	336
[クロップマーク検出エラー]	336
[ワイパー洗浄液が充てんできません]	337
[ピンチローラーエラー]	337
[ヘッド高さ不整合]	337
[メディア幅が不足]	337
[モーターエラー]	338
[ヘッド乾燥エラー]	338
[低温エラー]	338
[高温エラー]	338
[ポンプ停止エラー]	338
[クリーニングエラー (インクカートリッジ)]	339
[クリーニングエラー (廃液ボトル)]	339
[巻取装置通信エラー]	340
[サービスコール]	340
[ソフトウェアエラー]	340
<b>付録</b>	<b>341</b>
<b>移送するときの作業</b>	<b>342</b>
移送の準備をする	343
Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す	343
Step 2: インクを循環させる (ホワイトインクを使用している場合のみ)	345
Step 3: 廃液を捨てる	346
Step 4: プリントヘッドを固定具で固定する	348
Step 5: 再設置する	350
<b>主な仕様</b>	<b>352</b>
印刷／カッティング領域	353
最大領域	353
クロップマーク使用時の最大印刷領域	354
連続印刷時のメディア切り離し位置	355
カッターについて	356
<b>Memo</b>	<b>357</b>
この文書について	358
ソフトウェアについて	359

# 基本的な扱い方



# 基本情報

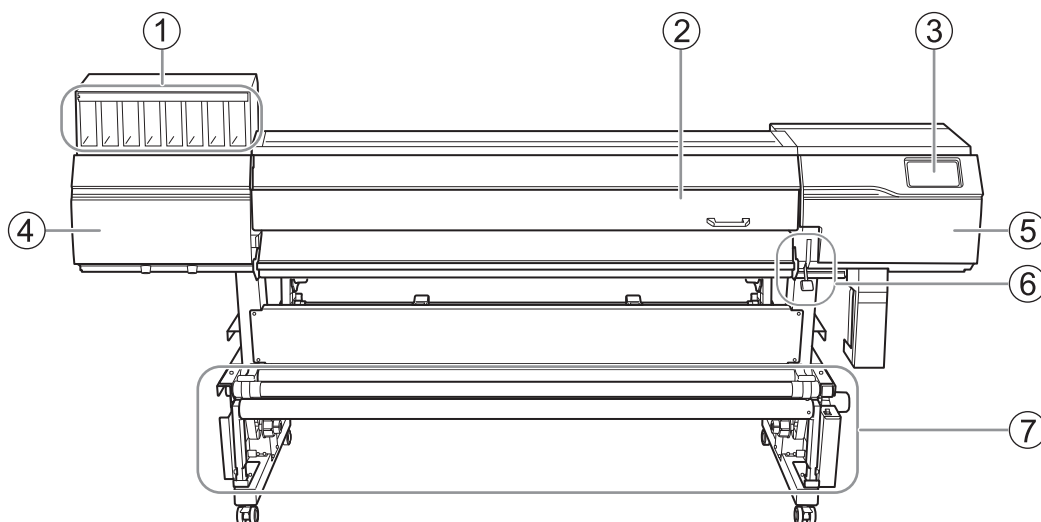
---

各部の名称と機能.....	9
プリンター本体.....	9
巻取装置.....	14
操作パネル.....	15
使用するメディアについて.....	22
メディアの種類について.....	22
使用可能なメディアの条件.....	23
巻取装置について.....	24
巻取装置の使用条件.....	24
紙管について.....	24
廃液ボトルについて.....	25
廃液ボトルの取り外しについて.....	25

# 各部の名称と機能

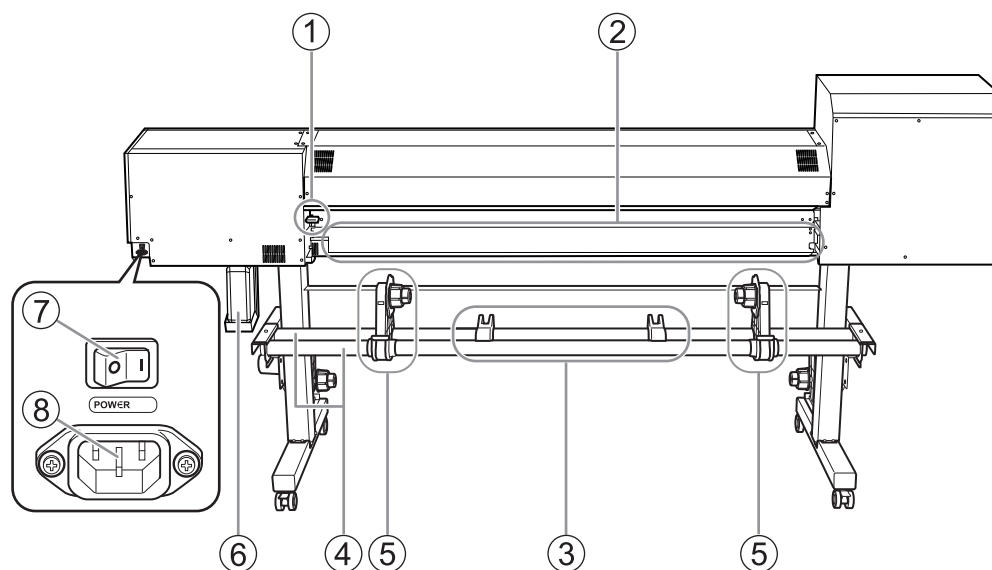
## プリンター本体

### 前面



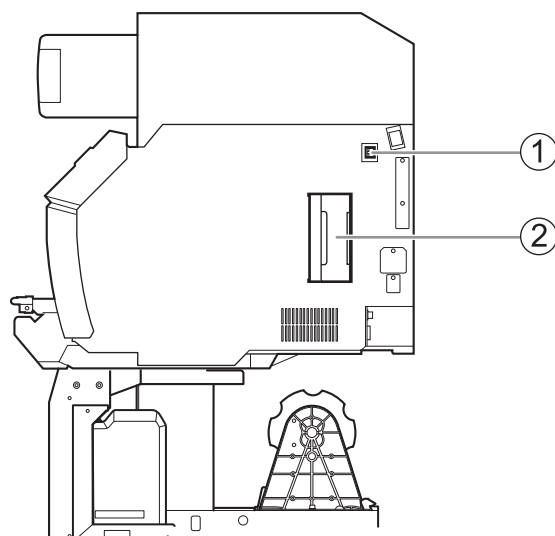
番号	名称	機能概要
①	インクスロット	インクカートリッジを保持します。 インクパウチをセットしたインクカートリッジを挿入します。
②	フロントカバー	機体作動時にプリントヘッドなどの高速で移動する部位との接触を防止します。 UV ランプの紫外線やホコリをカットする働きもあります。 メディアをセットするときやメンテナンスをするとき以外は、閉じておきます。
③	操作パネル	印刷、設定、メンテナンスなど、すべての機体操作を行います。 <b>P. 15 操作パネル</b>
④	カバー L	機体左側の内部にアクセスします。 プリントヘッド周辺の清掃など、メンテナンスをするときに開けます。
⑤	カバー R	機体右側の内部にアクセスします。 清掃や部品交換など、メンテナンスをするときに開けます。
⑥	ローディングレバー (前側)	メディアを固定したり、固定を解除したりします。 機体の前側で作業しているときに使用します。下ろすとメディアが固定されます。
⑦	巻取装置	印刷後のメディアを巻き取ります。 床に出力後のメディアが着かないように、出力物を巻き取ります。

## 背面



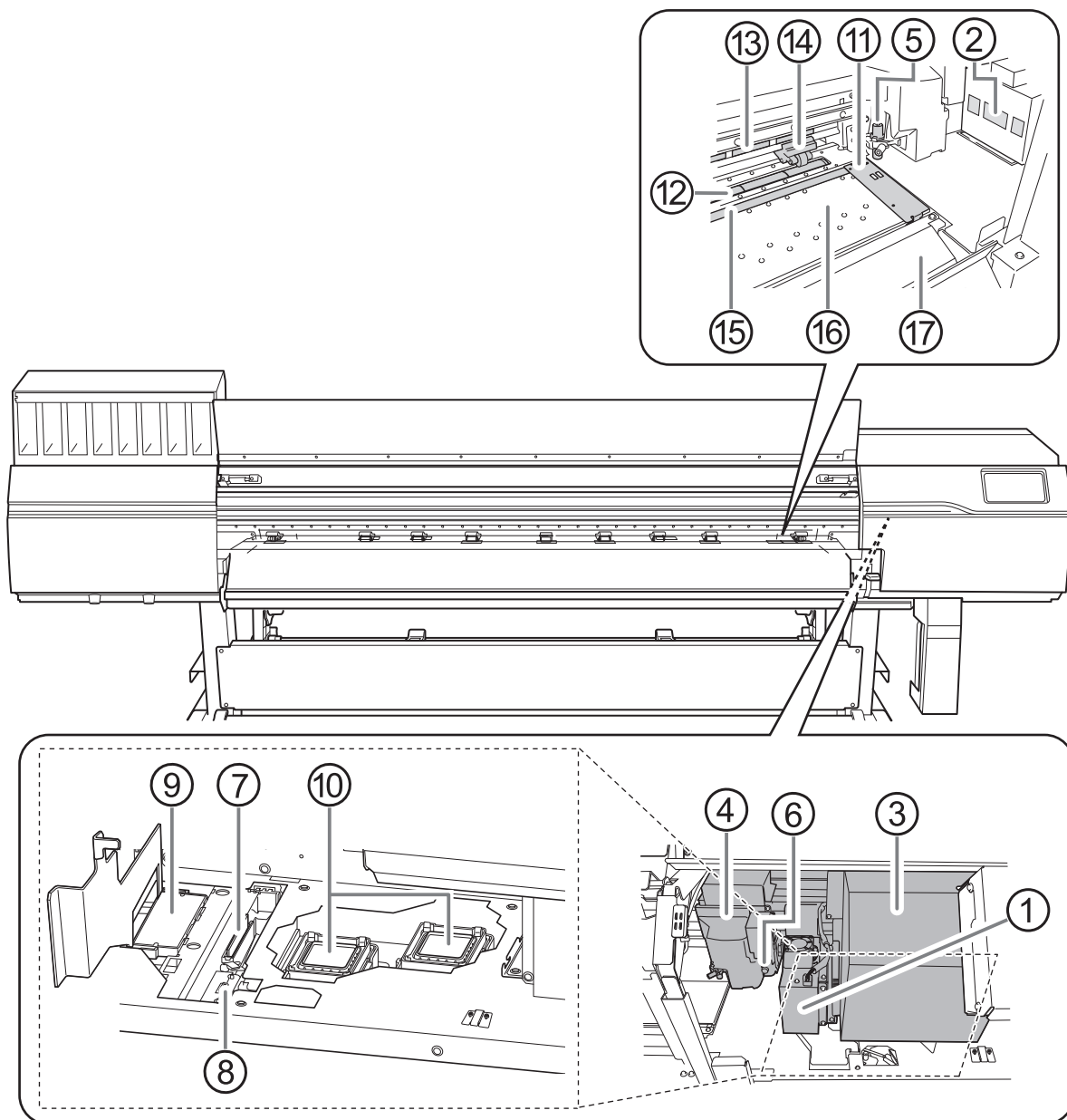
番号	名称	機能概要
①	ローディングレバー（後側）	メディアを固定したり、固定を解除したりします。 機体の後ろ側で作業しているときに使用します。下ろすとメディアが固定されます。
②	リア UV シールド	印刷時の UV ランプの光を遮光します。 メディアを取り付けるときに開け、終わったら閉じてください。 開けたままだと印刷できません。
③	メディアステイ	ロールメディアを一時的に保持します。 メディアホルダーにロールメディアを取り付けるときに、一時的にロールメディアを置きます。
④	シャフト	メディアステイやメディアホルダーの位置を調整します。 メディアの幅に合わせてメディアステイやメディアホルダーを左または右に移動します。
⑤	メディアホルダー	ロールメディアを保持します。 メディアホルダーのエンドキャップに紙管をはめ込みます。
⑥	廃液ボトル	洗浄液やインクの廃液を貯留します。 ボトルから廃液が溢れそうなときは、エラーが表示され印刷できなくなります。
⑦	メイン電源スイッチ	機体のメイン電源をオンオフします。
⑧	電源コネクタ	機体に電気を供給する電源ケーブルを接続します。

## 側面



番号	名称	機能概要
①	イーサネットコネクタ	イーサネットケーブルを接続します。
②	洗浄液スロット	洗浄液パウチをセットした洗浄カートリッジを保持します。

## フロントカバー内部／プリントヘッド周辺



番号	名称	機能概要
①	UV 照射装置	UV 光を照射します。 印刷面に UV 光を照射してインクを硬化します。
②	UV ミストフィルター	UV 照射装置に流入するインクミストを吸着します。
③	プリントヘッドキャリッジ	内蔵したプリントヘッドや UV 照射装置を搬送します。
④	カッティングキャリッジ	カッターとセパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）を装備しています。 カッターとセパレーティングナイフを左右に搬送します。
⑤	カッターホルダー	カッティングで使用するカッターを保持します。
⑥	セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）	メディアを切り離するナイフです。
⑦	ワイパー	プリントヘッドを清掃します。 プリントヘッドに付着した余分なインクや汚れを除去します。

番号	名称	機能概要
⑧	ワイパークリーナー	ワイパーに付着したインクや汚れを除去します。
⑨	フラッシングスポンジ	プリントヘッドからフラッシングされたインクを吸収します。
⑩	プリントヘッドキャップ	プリントヘッドの乾燥を防止します。 印刷待機時など、プリントヘッドが右側にあるときにプリントヘッドと密着して、インク吐出面を保護します。
⑪	メディアクランプ	メディアの左右端を押さえます。 メディアの浮き上がりを抑えたり、メディア切り口の毛羽がプリントヘッドにふれることを防ぎます。
⑫	グリットローラー	メディアを搬送します。
⑬	グリットマーク	グリットローラーの位置を示します。 メディアを取り付けるとき、ピンチローラーは必ずこのマークの範囲内に配置してください。
⑭	ピンチローラー (左ピンチローラー、右ピンチローラー、ミドルピンチローラー)	ローディングレバーの操作と連動して、下降/上昇します。 ローディングレバーをおろすと、ピンチローラーが下がりメディアを挟み込みます。 ピンチローラーは、それぞれの位置で左ピンチローラー、右ピンチローラー、ミドルピンチローラーと呼びます。
⑮	カッタープロテクション	カッティング時のカッターの通り道です。 カッターの刃先を保護します。
⑯	プラテン	メディアの通り道です。 メディアの浮きを防ぐ吸着ファンが内蔵されています。
⑰	エプロン	メディアの通り道です。 エプロンには、ヒーターが内蔵されています。メディアを温めてメディア浮きを抑えます。

## 動作中にカバーを開けた場合

出力動作中にフロントカバー、カバーL、カバーR、リアUVシールド（以下、総称して「カバー」）のいずれかを開けると、本機は緊急停止します。緊急停止すると、表示画面にカバーを閉じるように促すメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって、カバーを閉じてください。

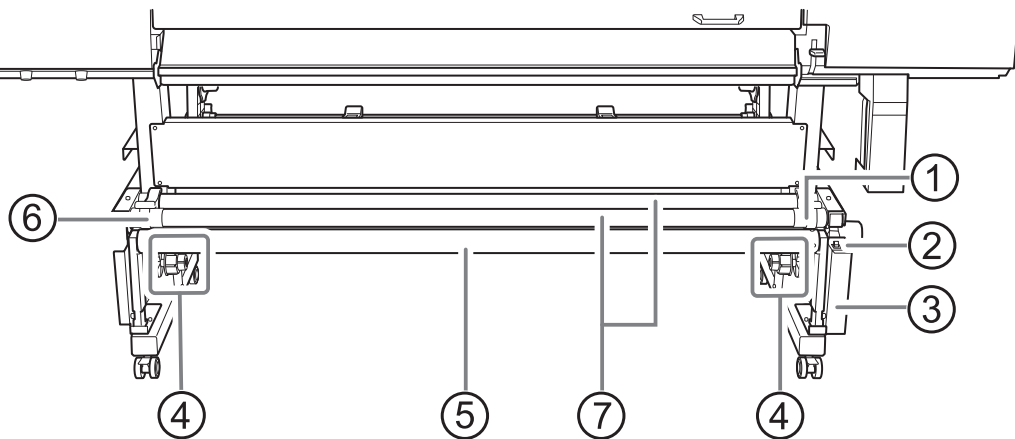
カバーを閉じると、作業を継続できるようになります。

カバーを閉じても作業を継続できない場合は、復帰できないエラーが発生している可能性があります。

### 関連情報

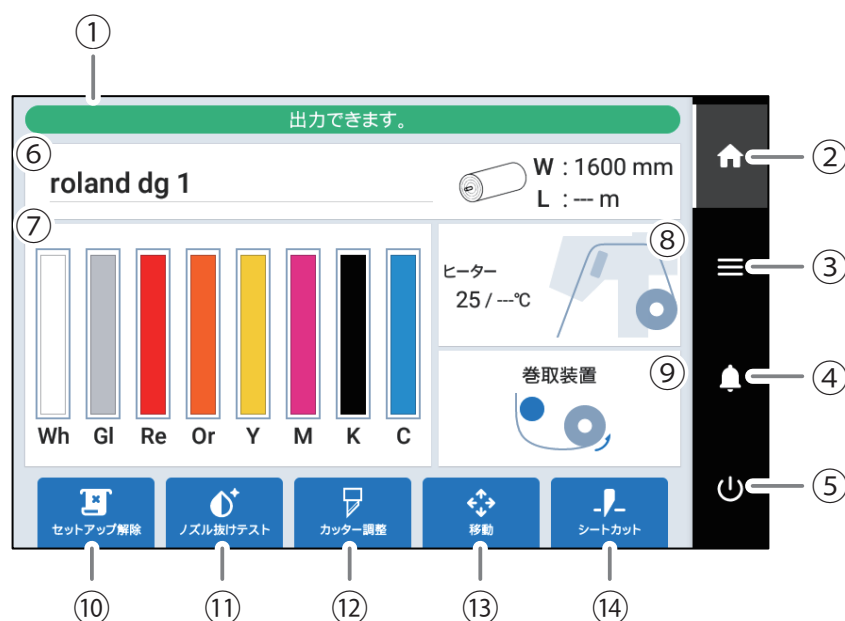
- [P. 335 エラーメッセージ](#)


巻取装置



番号	名称	機能概要
①	モーター付きメディアホルダー	巻取り用の紙管の右側を保持します。 紙管の幅に合わせて右または左に動かして紙管をエンドキャップの適切な位置まで差し込みます。 メディアホルダーに内蔵されたモーターでエンドキャップを回転させてメディアを巻取ります。
②	マニュアルスイッチ	メディアを巻取るときに使用します。 操作パネルに手が届かないときに使います。
③	コントロールボックス	メディアの巻取りを制御します。
④	エンドキャップ	巻取り用の紙管を保持します。 エンドキャップの適切な位置まで紙管を差し込みます。
⑤	ダンサーローラー	メディアがたるんだり張りすぎたりしないようにメディアにかかる張力を調整します。 巻取装置を使用しないときは奥に倒しておいてください。
⑥	メディアホルダー (左)	巻取り用の紙管の左側を保持します。 紙管の幅に合わせて右または左に動かして紙管をエンドキャップの適切な位置まで差し込みます。
⑦	シャフト	メディアホルダーの位置を調整します。 メディアの幅に合わせてメディアホルダーを左または右に移動します。

## 操作パネル



番号	名称	詳細
①	ステータスバー	プリンターの状態表示や次に行う操作を案内します。
②	ホーム	ホーム画面を表示します。
③	メニュー	各種の設定メニューを表示します。
④	通知	重要なお知らせを表示します。通知がある場合は、通知の数がアイコンの横に表示されます。
⑤	サブ電源	操作パネルの電源を操作します。
⑥	メディア情報	メディア名、メディア幅 (W)、メディア残量 (L) を表示します。メディアがセットアップされていて、メディア残量が設定されているときだけ表示されます。メディア幅 (W)、メディア残量 (L) をタップすると[メディア残量管理]画面が表示されて、メディアの残量を設定できます。 <a href="#">P. 219 メディアの残量を確認する</a>
⑦	インク残量	インクカートリッジごとのインク残量を表示します。交換時期を迎えた色のインクカートリッジには  が表示されます。タップすると各インクの詳細情報が表示されます。
⑧	フロントヒーター温度	フロントヒーターの温度を「現在の温度/設定温度」として表示します。 ☒は、ヒーターがオフの状態を表しています。オンの状態は、ヒーター部分が赤くなります。 タップすると画面が表示されて、以下の設定ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メディアがセットアップされていないとき [待機時ヒーター温度]の設定ができます。</li> <li>メディアがセットアップされているとき [ヒーター温度]の設定ができます。</li> </ul>
⑨	巻取装置	巻取装置の状態を表示します。タップすると、[巻き取り設定]画面が表示されて、[巻き取り方法]と[巻き取り方向]を設定できます。



## 各部の名称と機能

番号	名称	詳細
⑩	[セットアップ]／[セットアップ解除]	メディアのセットアップを開始または解除します。 <a href="#">P. 31 新規メディアのセットアップ</a> <a href="#">P. 68 登録済みメディアのセットアップ</a>
⑪	[クリーニング]／[ノズル抜けテスト]	ノズル抜けチェックのためのテストプリントやクリーニングに関するメニューを表示します。
⑫	[カッター調整]	カッティング条件を設定します。メディアをセットアップしたときだけ有効です。
⑬	[移動]	メディアを送ったり、キャリッジを移動したりできます。移動した位置を出力エリアの右端（ベースポイント）に設定することもできます。 <a href="#">P. 213 出力開始位置を調整する</a>
⑭	[シートカット]	セパレーティングナイフが動作し、メディアを切り離したり、ミシン目カットを入れたりすることができます。例えば、ミシン目カットにすることで、メディアを巻き取った後で切り離しが出来ます。

## メニュー一覧



をタップして操作する一覧を示します。

### メモ

[メディア設定]はメディアをセットアップしたときだけ表示されます。

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[メディア設定] <sup>*1</sup>	[メディア設定値一覧]			セットアップされたメディアの設定値を一覧で表示します。各設定値をタップすると、設定を変更する画面に移ります。
	[印刷設定]	[ヘッド高さ設定]		ヘッド高さの確認・変更をします。
		[一括自動補正]		[マルチセンサー調整]、[メディアギャップ補正]、[送り補正]を順番に実施します。
		[送り補正]	[簡易補正 (自動)]	印刷時のメディアの送り量を補正します。[簡易補正 (自動)]では、テストパターンを印刷し、それをセンサーで読み取ることによって自動で補正値を設定します。
			[詳細補正 (手動)]	印刷時のメディアの送り量を補正します。[詳細補正 (手動)]では、テストパターンを印刷し、印字された補正値を目視確認して補正値を手入力します。
		[メディアギャップ補正]	[簡易補正 (自動)]	インクの着弾位置を補正します。[簡易補正 (自動)]では、テストパターンを印刷し、それをセンサーが読み取ることによって自動で補正値を設定します。
			[詳細補正 (手動)]	インクの着弾位置を補正します。[詳細補正 (手動)]では、テストパターンを印刷し、印字された補正値を目視で確認して補正値を手入力します。
	[カット設定]	[カッター調整]		[カッター圧]や[カット速度]など、カッティングの条件を設定します。
		[プリント&カット位置調整]		プリント&カットする際に、印刷位置とカッティング位置のずれを補正します。
		[クロープカット位置調整]		クロープカットする際に、クロープマーク位置とカッティング位置のずれを補正します。
		[カット距離補正]		メディアの移動距離の変化によって起こるカット線の長さのずれを補正します。
		[オーバーカット]		カット線の外枠の角部分を少し長めにカットすることで、角をきれいにカットすることができます。

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[メディア設定] <sup>*1</sup>	[ヒーター温度]			メディアがセットアップされているときのフロントヒーター温度を設定します。
	[その他のメディア設定]	[マルチセンサー調整]		クロップマークの読み取りや自動補正機能で使うマルチセンサーを最適な状態に補正します。
		[メディア吸着力設定]		プラテンでのメディアの吸着力を調整します。
		[印刷時の動作幅]		印刷時、キャリッジの動作幅を[出力データ幅][メディア幅][全幅]から選択します。
		[ミドルピンチ自動昇降]		引き戻し印刷やプリント&カットのときにミドルピンチローラーを自動で上昇させます。
	[一括メディア設定]			操作パネルの案内に沿って操作を進めて行くことで、メディアのセットアップに必要なひと通りの設定ができます。
[メディア管理]				登録済みのメディア一覧が表示されます。最大 50 のメディア名を保持することができ、メディア設定について以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定内容を一覧で確認</li> <li>メディア名の変更</li> <li>メディア設定の複製</li> <li>メディア設定の削除</li> </ul>
[クリーニング]	[テストプリント]			印刷する前に[ノズル抜けテスト]でプリントヘッドから正常にインクが吐出されるかどうかを確認してください。ノズル抜けがあった場合はノズル抜けの重症度に合わせ各種クリーニングを行ってください。どうしても吐出不良が改善されない場合は、[ノズルマスクテスト]で問題のノズルを特定して使用しないようにもできます。
	[ノーマルクリーニング]			ドット抜けやドットよれが発生した際に、ノズルを[Aグループ][Bグループ][両方]から選択し、プリントヘッドのクリーニングを行います。改善しないときはさらに強力なクリーニングを行ってください。 また、[パワフルクリーニング]はホワイティンクの色ムラを改善する効果もあります。 メディアがセットアップ済の場合、[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。オンにするとクリーニングのあと、テストプリントを行います。
	[ミディアムクリーニング]			
	[パワフルクリーニング]			
		[マニュアルクリーニング]		

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[メンテナンス]	[ワイパー交換]			プリントヘッドを清掃するワイパーを交換します。
	[カッター交換]			カッティングに使うカッターを交換します。
	[セパレーティングナイフ交換]			メディアを切り離すときに使うセパレーティングナイフを交換します。
	[キャップ交換]			プリントヘッドを乾燥やほこりから保護するプリントヘッドキャップを交換します。
	[ワイパークリーナー交換]			ワイパーの汚れを拭き取るワイパークリーナーを交換します。
	[UV ミストフィルター交換]			インクミストを吸着する UV ミストフィルターを交換します。
	[フラッシングスポンジ交換]			フラッシングしたインクを吸収するフラッシングスポンジを交換します。
	[インク更新]			[ <b>ノーマルクリーニング</b> ]、[ <b>ミディアムクリーニング</b> ]、[ <b>パワフルクリーニング</b> ]や[ <b>マニュアルクリーニング</b> ]を行っても吐出不良や色ムらが直らないときに実施します。ただし、インクの消費量が多く、プリントヘッドも傷みやすくなるため必要以上に行わないでください。
	[ダンパー内インク更新] <sup>*2</sup>			インクカートリッジを振るインク攪拌や[ <b>インク循環</b> ]を行ってもホワイトインクの色ムらが直らないとき、出力を安定させるために使用します。ただし、インクの消費量が多く、プリントヘッドも傷みやすくなるため必要以上に行わないでください。
[ <b>インク循環</b> ] <sup>*2</sup>			ホワイトインクの色ムラを防ぐため、インクを循環します。 メディアがセットアップ済の場合、[ <b>インク循環後、テストプリントを行う</b> ]メニューが表示されます。オンにすると[ <b>インク循環</b> ]のあと、テストプリントを行います。	
[ <b>廃液ボトル</b> ]			廃液が廃液ボトルにたまるとメッセージが表示されます。廃液を捨てるときにこのメニューを使用します。	

## 各部の名称と機能

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[環境設定]	[メディアエッジ検出]			メディアの前端と後端の検出をするかどうかを設定します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用するときは、この設定を[無効]にすることで端を検出せずにメディアをセットアップすることができます。
	[巻き取り設定]			巻き取り装置の[巻き取り方法]と[巻き取り方向]を設定します。
	[メディア残量管理]			セットアップされたメディアの残量を設定して残量が表示されるようにします。メディアに残量を印刷することもできます。
	[セットアップ時の斜行矯正補助]			セットアップするときに音や自動吸着ファンが動作することにより、メディアが斜めに取り付けられないように補助します。
	[テストプリント位置]			テストパターンの印刷を[縦]方向に並べるか、[横]方向に並べるかを設定します。
	[ミシン目シートカット設定]			ミシン目シートカットの条件を設定します。
	[待機時ヒーター温度]			メディアがセットアップされていないときのフロントヒーター温度を設定します。
	[出力時の先送り設定]			メディアがカッティングなどで引き出されるときに、無理に引っ張られないように、メディアを先送りします。
	[カット設定の優先度]			本機とソフトウェア RIP とで、どちらのカット設定を優先するかを設定します。
	[インク循環の間隔]*2			ホワイトインクを循環する頻度を設定します。
	[通知の表示/非表示]			オンにすると適切な時期に通知を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [インク攪拌通知]*2</li> <li>• [ミドルピンチローラー配置通知]</li> <li>• [メディアクランプ配置通知]</li> <li>• [インクの消費期限通知]</li> </ul>
	[印刷中クリーニングまでの残り時間]			自動で行われるクリーニングまでの残り時間を表示するかどうかを設定します。 オンにすると、設定画面にクリーニング&カウントクリアのメニューとホーム画面にクリーニングが開始されるまでの残り時間を表示します。
	[スリープ時間設定]			スリープモード（省電力機能が働く状態）になるまでの時間を設定します。
[工場出荷時の設定に戻す]			[言語設定]と[単位設定]以外のすべての設定を出荷時の設定に戻します。	

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[システム情報]	[機体情報]			[モデル]、[シリアル]、[インクタイプ]、[ファームウェアバージョン]、[MAC アドレス]が確認できます。
	[ネットワーク設定]			機体をコンピューターと接続するために、[IP アドレスの自動取得][IP アドレス][サブネットマスク][デフォルトゲートウェイ]を設定します。
	[単位設定]			[長さ単位][温度単位]を設定します。
	[言語設定]			言語を設定します。設定できる言語は日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、欧州スペイン語、南米スペイン語、南米ポルトガル語などです。
	[日時設定]			現在の年・月・日・時・分・秒を設定します。
	[画面の明るさ]			操作パネルの画面の明るさを調整します。
	[画面の操作音]			操作パネルを操作するときの音のオン/オフを設定します。
	[ライセンス]			操作パネルのライセンス情報を表示します。

\*1 この設定はメディアをセットアップしたときだけ表示されます。

\*2 ホワイトインクを含むインクタイプの機体にだけ表示されるメニューです。

# 使用するメディアについて

## メディアの種類について

本書では、出力に使用する用紙を「メディア」と呼びます。本機で使用するメディアには大きく分けて次の2種類があります。

- ロールメディア：紙管などに巻かれているもの
- カットメディア：定型サイズのメディアなど、紙管などに巻かれていないもの

ロールメディア、カットメディア共に用途に合わせてさまざまな紙質の種類を選択できます。各メディアの詳細については、メディアの購入先にお問い合わせください。

## 使用可能なメディアの条件

本機は、どんなメディアにでも印刷できるわけではありません。メディアの選定にあたっては、必ずテストを行い、満足できる出力結果が得られるか事前に確認してください。

### サイズ

	64 インチモデル	54 インチモデル	30 インチモデル
幅*1	335 ~ 1,625 mm	295 ~ 1,371 mm	182 ~ 762 mm
カッティング可能なメディア厚み*1	0.08 ~ 0.22 mm (メディアの材質による)		
台紙 (剥離紙) を含む最大メディア厚み*1	印刷だけの場合: 1.0 mm カッティングする場合: 0.4 mm		
ロールメディアの最大外径	250 mm		
ロールメディアの紙管内径	76.2 mm (3 インチ) または 50.8 mm (2 インチ)		

\*1 ロールメディア、カットメディア共通

### ロール最大重量

- 64 インチモデル: 45 kg
- 54 インチモデル: 35 kg
- 30 インチモデル: 30 kg

### メモ

巻取装置を使用する場合は、巻取装置の条件に依存します。

### その他の条件

次のようなメディアは使用できません。

- メディアの巻き始めが紙管 (芯) に接着されているもの
- 強く反っているか、巻き癖の強いもの
- メディアヒーティングシステムの熱に耐えられないもの
- 紙管 (芯) が曲がったりつぶれたりしているもの
- 取り付け時にロールが自重で曲がってしまうもの
- ロール自体がたわんでいるもの
- ロールに巻きずれがあるもの



# 巻取装置について

## 巻取装置の使用条件

### メディアを無理に引っばらないでください

メディアが無理に引っばられると、保護機能が働きエラーの原因となります。メディアが無理に引っばられることを避けるため、次のことを必ず守ってください。

- ローディングレバーでメディアを固定した状態で巻取装置のマニュアルスイッチを操作しない。  
メディアが無理に引っばられてエラーの原因となります。

### メディアの自動切り離し機能を使わないでください

ソフトウェア RIP でメディアの自動切り離しを実行するように設定されていると、1 ページの印刷が終わるごとにメディアの切り離しが行われます。複数ページを続けて印刷し、巻き取る場合は、ソフトウェア RIP で自動切り離し機能を無効にしてください。メディアが切り離されると、巻き取りはそこで中断します。

### メモ

ソフトウェア RIP によってはミシン目シートカットが設定できます。ミシン目シートカットはメディアが切り離されないため、巻取装置を使用できます。

## 紙管について

### 紙管は消耗品です

紙管は消耗品です。交換時期はご使用の状況によって異なりますが、メディアの巻取りが良好な状態でできるよう、紙管の状態を見ながら適切な時期での交換をお願いします。

ご使用のメディアの紙管をお使いいただけます。同梱した紙管のお求めは、お買い上げの販売店へ問い合わせいただくか当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。


# 廃液ボトルについて

## 廃液ボトルの取り外しについて

### 出力中もしくはメンテナンス動作中は、廃液ボトルを取り外さないでください

機体の動作が不安定になったり、廃液が垂れる恐れがあります。

次の場合を除き、廃液ボトルを機体から取り外さないでください。

- [廃液を捨ててください]のメッセージが表示されて、廃液の処理をするとき
-  から[メンテナンス]>[廃液ボトル]をタップして廃液の処理をするとき

# 基本操作

---

電源の操作.....	27
電源オン.....	27
電源オフ.....	28
電源の操作に関するご注意.....	29
スリープモード（省電力機能）.....	30
新規メディアのセットアップ.....	31
ロールメディアのセットアップ.....	31
カットメディアのセットアップ.....	54
登録済みメディアのセットアップ.....	68
ロールメディアのセットアップ.....	68
カットメディアのセットアップ.....	89
出力前の確認.....	101
LAN（ローカルエリアネットワーク）の状態.....	101
インクの沈殿を防ぐ.....	102
出力の一時停止と中止.....	103
出力の一時停止と再開.....	103
出力の中止.....	104
メディアを切り離す.....	105
巻取装置からメディアを取り外す.....	107
インクの交換.....	109
インクが無くなったときのお知らせ.....	109
インクの交換方法.....	110
インクの沈殿を防ぐ.....	114
洗浄液の交換.....	115
洗浄液がなくなったときのお知らせ.....	115
洗浄液の交換方法.....	116

# 電源の操作

## 電源オン

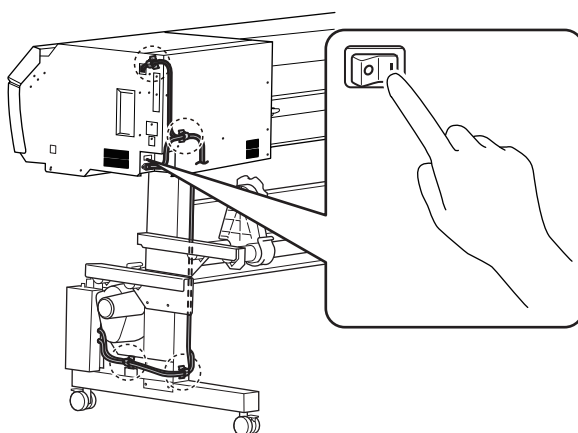
### ⚠ 警告

出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。

同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

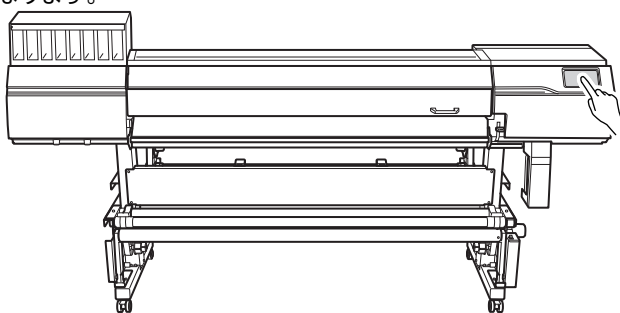
### 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. メイン電源をオンにする。



3. 操作パネルをタップする。

操作パネルの電源がオンになります。



4. 画面に案内が表示されたら、操作パネルをもう一度タップする。


## 電源オフ

### ⚠ 警告

出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。

同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

### 手順

1. 印刷が終了したら、操作パネルの  をタップする。

確認画面が表示されます。

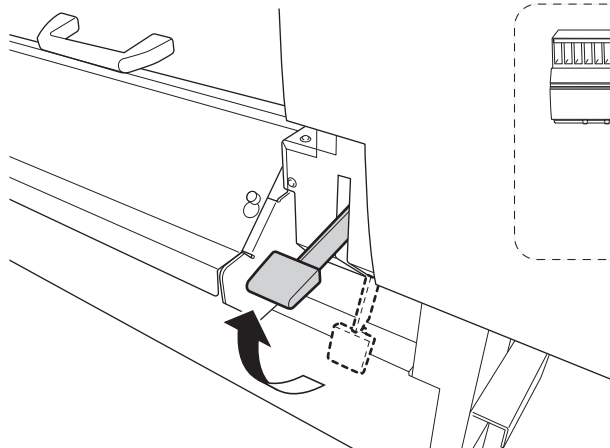
2. [はい]をタップする。

サブ電源がオフになります。

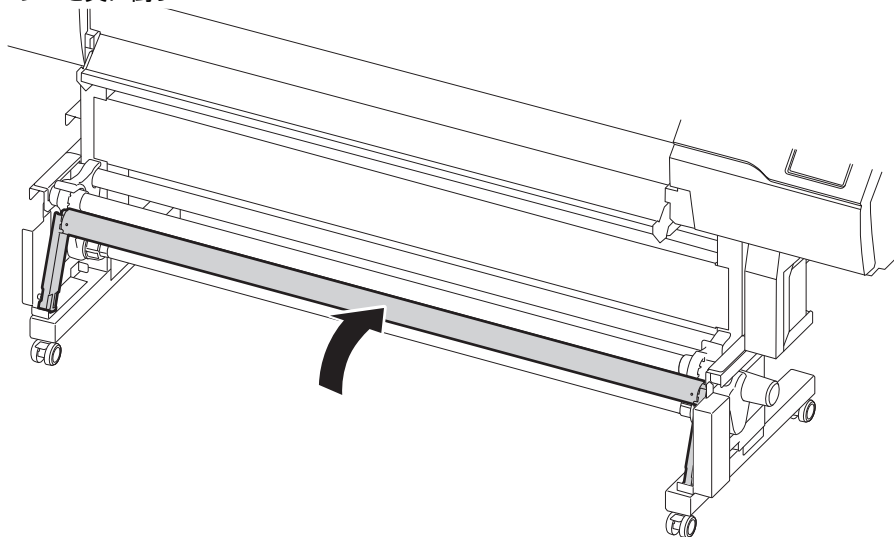
3. ローディングレバーを上げてメディアを取り外す。

サブ電源がオンの状態でも、本機を使用しないときは以下の状態にしてください。

- ローディングレバーを上げる



- ダンサーローラーを奥に倒す



## 電源の操作に関するご注意

**メイン電源は常にオンにしておいてください。**

メイン電源はオフにしないでください。オンにしておくことで自動メンテナンスが定期的に行われます。自動メンテナンスを行わないとプリントヘッドが壊れるなど、本機の故障の原因となります。

**動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりしないでください。**

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりすると、プリントヘッドが壊れることがあります。必ず先にサブ電源をオフにしてください。誤ってオフにしてしまったときは、すぐにメイン電源とサブ電源をオンにし直してください。

## スリープモード（省電力機能）

本機は省電力機能を持っており、何の動作もしていない状態が一定時間続くとより消費電力の少ない「スリープモード」に切り替わります。スリープモードになる時間は、工場出荷時には 30 分に設定されています。スリープモードになると、操作パネルが消灯します。操作パネルを操作したり、コンピューターから印刷データを送ったりすると、通常モードに戻ります。

スリープモードの設定は変更できますが、消費電力の節約や過熱事故防止のため、スリープモードへの移行時間は 30 分以下に設定することをおすすめします。

### 関連情報

- ・ [P. 225 スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する](#)

# 新規メディアのセットアップ

## ⚠ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

## ロールメディアのセットアップ

プリンターにロールメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[出力できます。]と表示されます。この作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

## ⚠ 注意

ロールメディアは正しくセットする。  
メディアが落下してけがをすることがあります。

## ⚠ 注意

ロールメディアは重さが 45 kg (54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg) 程度ある。  
取り扱うときはけがに注意すること。

## ⚠ 注意

重さが 45 kg (54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg) を超えるメディアをセットしない。  
本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

## 1. メディアをメディアホルダーに取り付ける

本機のメディアホルダーは、紙管内径 2 インチおよび 3 インチの両方に使用できます。

## ⚠ 警告


ロールメディアを取り扱うときは、2 人以上で持ち、落下に十分注意する。  
重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

## 手順

1. 操作パネルで  をタップする。

サブ電源がオンになります。

2. 巻取装置を使う場合は、以下の手順で設定をする。


(1)  をタップする。

(2) [環境設定]>[巻き取り設定]>[巻き取り方向]をタップする。

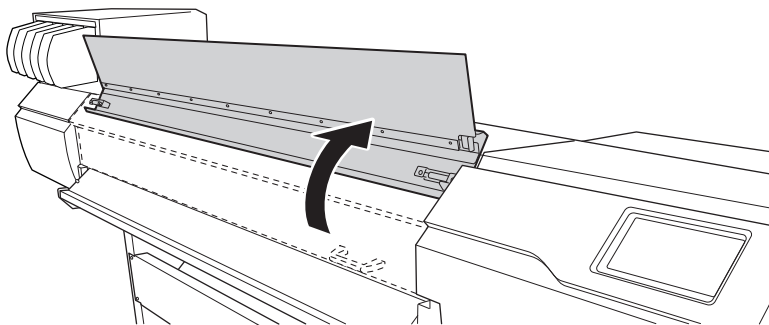
(3) [内巻き]または[外巻き]を選択する。

(4) [保存]をタップする。

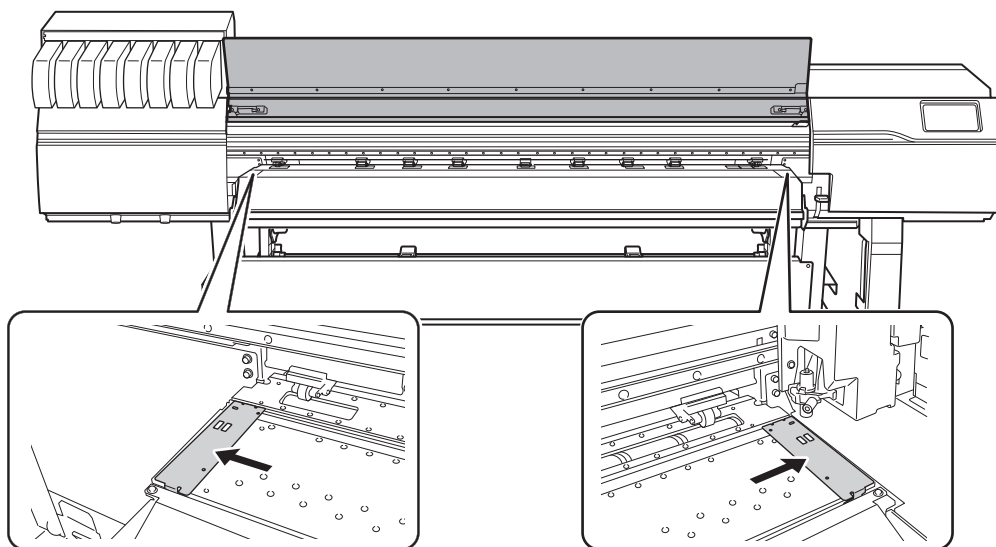


- (5)  をタップして、もとの画面に戻る。

3. フロントカバーを開ける。



4. メディアクランプを、左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。

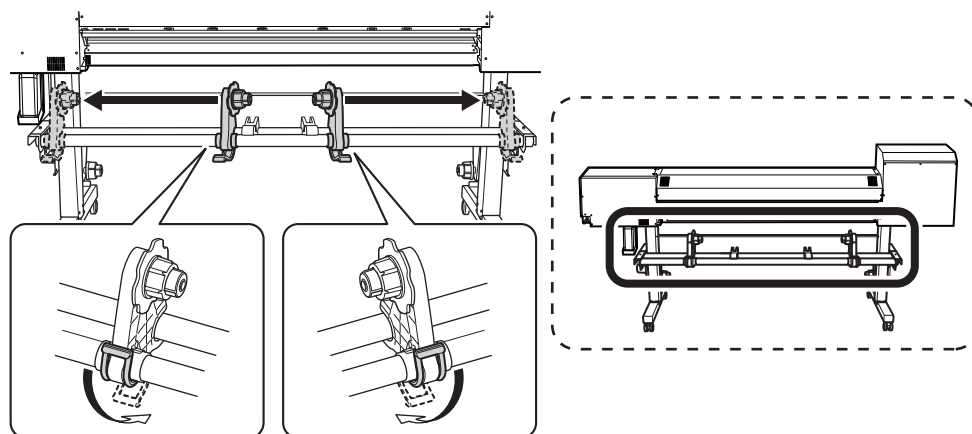


5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。

- a. リア UV シールド (①) を開ける。  
b. リア UV シールドを機体前方に押し、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。



6. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



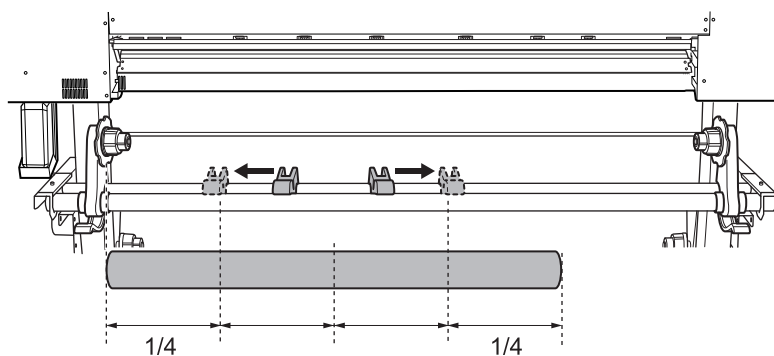
7. 機体にメディアを載せる。

**重要**

メディアをメディアステイまたはパイプの上に長時間置いたままにしないでください。メディアが変形する可能性があります。ご注意ください。

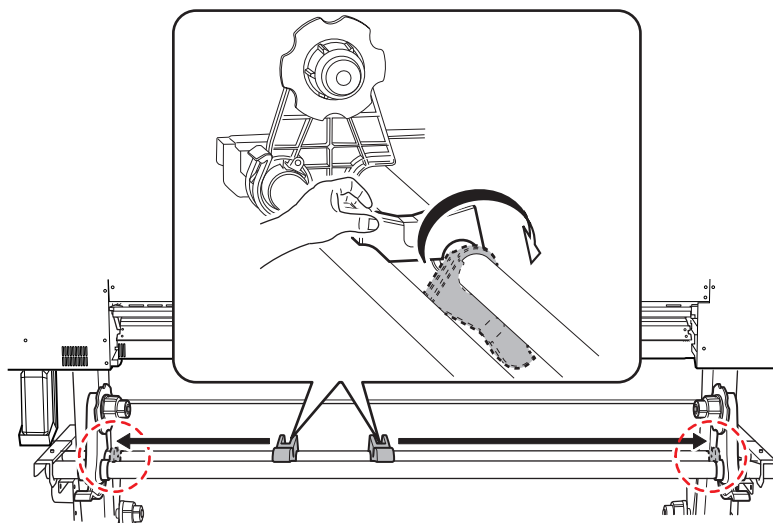
• 外径が 220 mm 以下のメディア

メディアステイをメディアの両端から 1/4 の位置に置いて、メディアを載せてください。

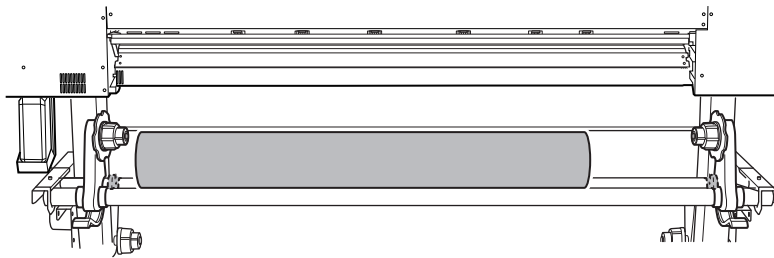


• 外径が 220 mm を超えるメディア

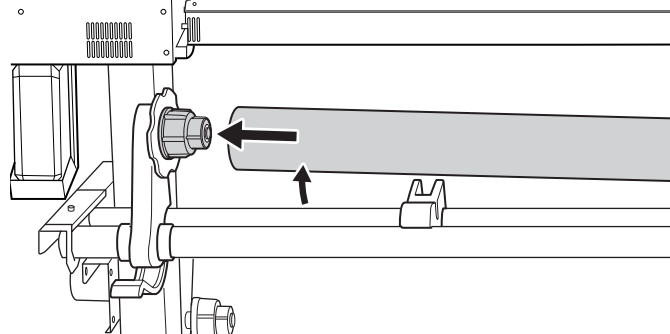
a. メディアステイを回転させて、メディアホルダーに寄せる。



b. 直接 2 本のパイプの間にメディアを置く。



8. メディアホルダー [左] のエンドキャップにメディアの紙管をはめ込む。

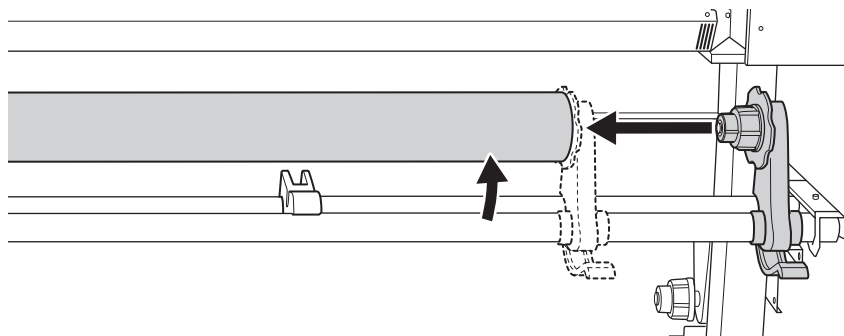


9. メディアホルダー [右] を動かしてエンドキャップをメディアの紙管にはめ込む。  
メディアが簡単に動かないように、しっかりとはめ込んでください。

**重要**

メディアホルダーはまだ固定しないでください。

この後メディアホルダーの位置を調整してから固定します。まだ固定しないでください。



メディアの種類や環境設定によって、次の作業は異なります。以下にしたがって進んでください。

- 一般的なメディアの場合：2. A：メディアの位置を決める (P. 35)
- 透明なメディアや[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合：2. B：メディアの位置を決める ([メディアエッジ検出]：[無効]の場合) (P. 40)

## 2. A：メディアの位置を決める

ここでは吸着ファンを利用してメディアの斜行を防止する方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、2. B：メディアの位置を決める（[メディアエッジ検出]：[無効]の場合）（P. 40）を参照してください。

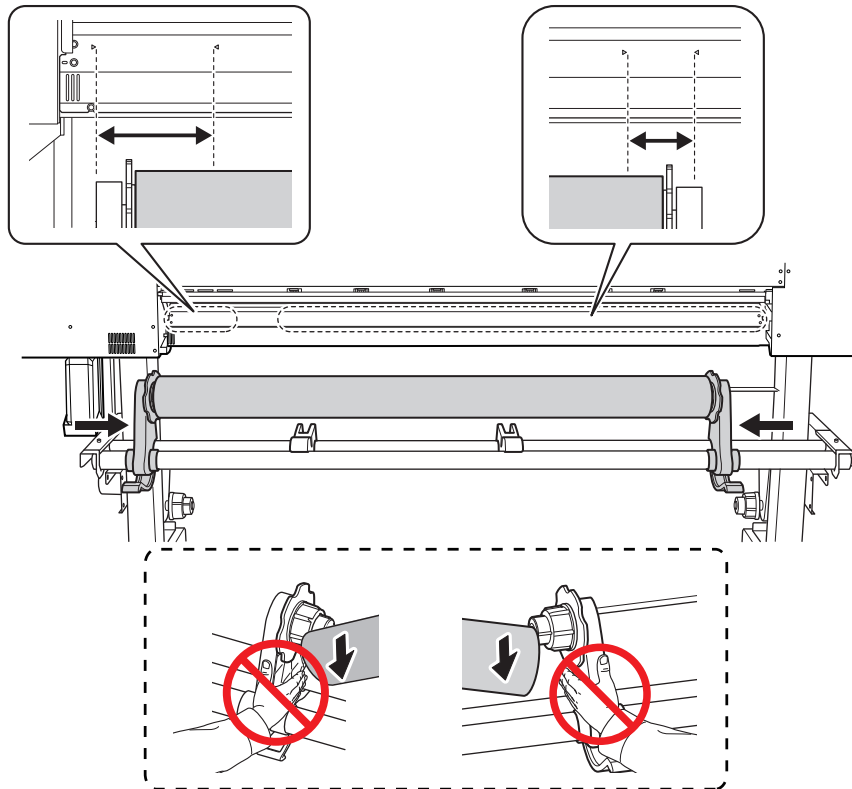
なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

### 手順

#### 1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。

位置を決めるときは、次の点に注意してください。

- メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
- メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
- メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



#### ⚠ 注意

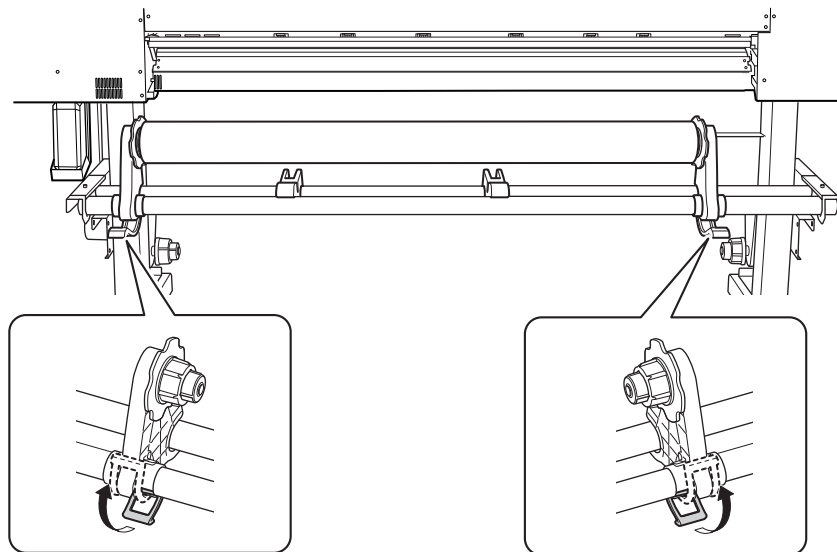
指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。  
メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

#### 重要

メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

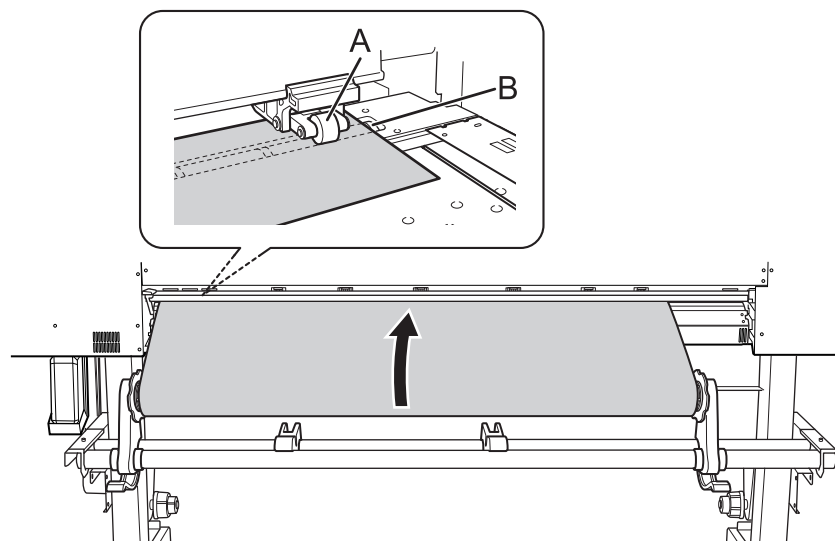
2. メディアホルダーを固定する。



3. 次の手順でメディアをセットする。

この手順を行うことでメディアの斜行を防止します。

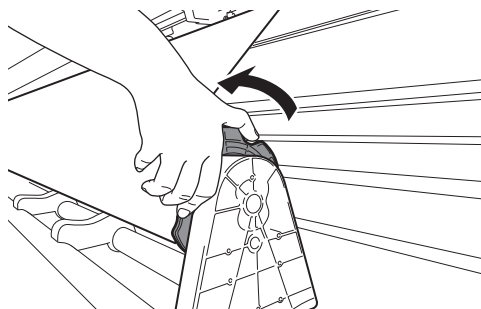
(1) メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通す。



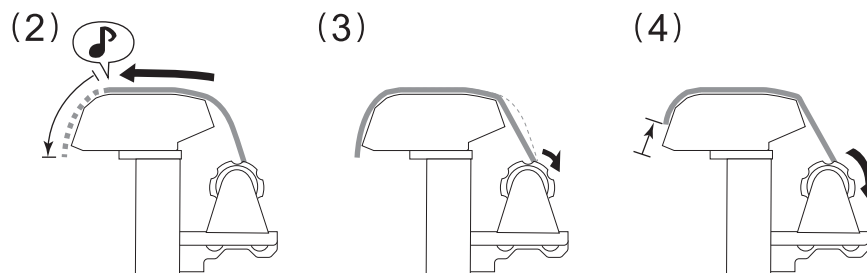
(2) ピッと音になるまでメディアを送り、約 20 cm さらにメディアを送る。

ピッと音が鳴ったあと、約 5 秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアを保持します。

(3) メディアホルダーのフランジを持ち、巻取方向にまわしてメディアのたるみを取る。



(4) たるみがない状態から、さらに 10 cm 程度メディアを巻き取る。

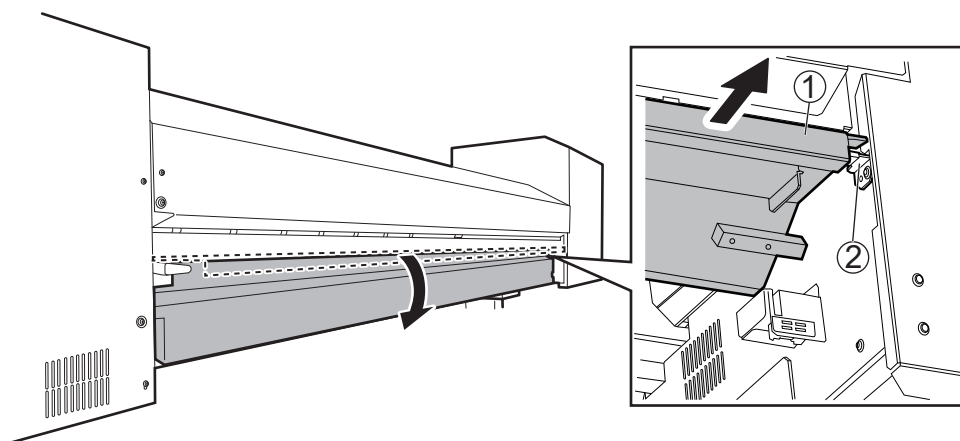


**メモ**

巻き取りすぎると、ピピッと音がして吸着ファンが止まります。メディアを巻き取り、手順 (1) からやり直してください。

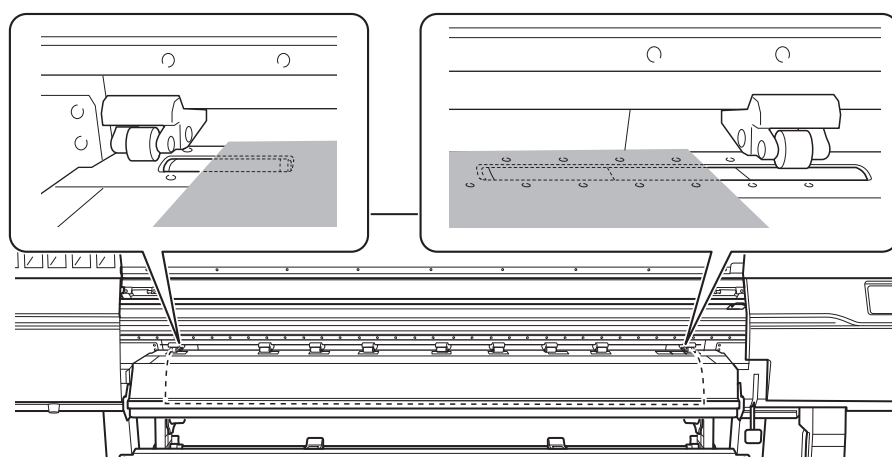
**4. リア UV シールドを閉じる。**

- a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。
- b. リア UV シールドを閉じる。



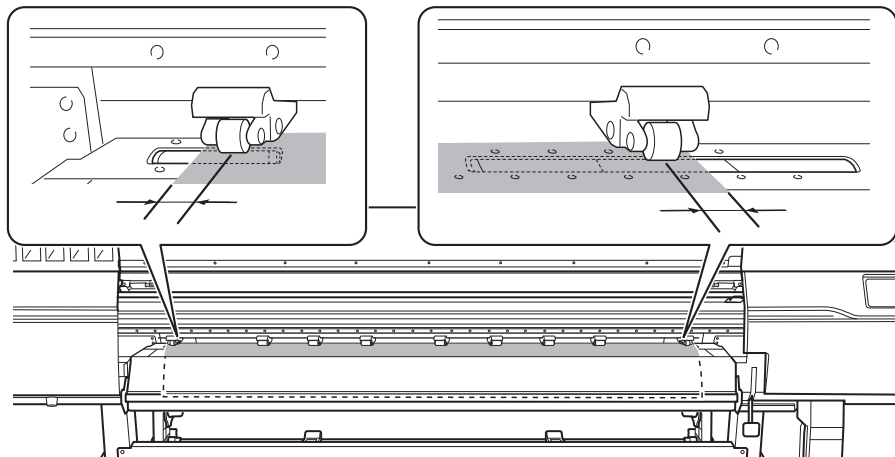
**5. プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。**

メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



**6. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。**

メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



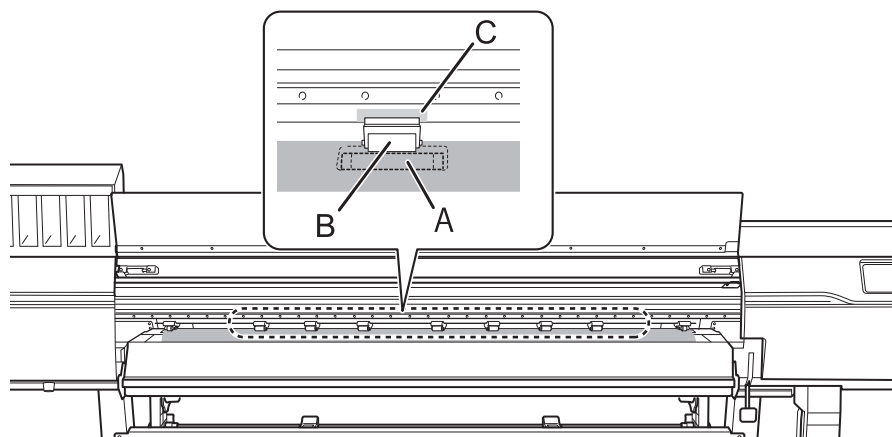
**重要**

- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

**メモ**

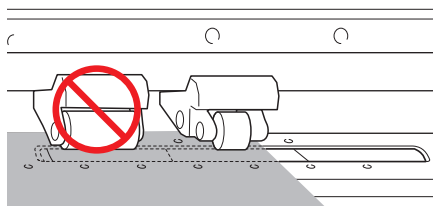
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

7. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

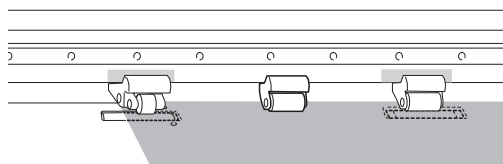


**重要**

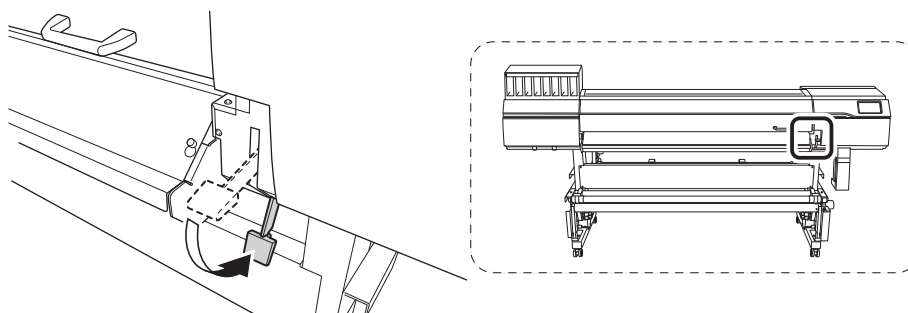
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



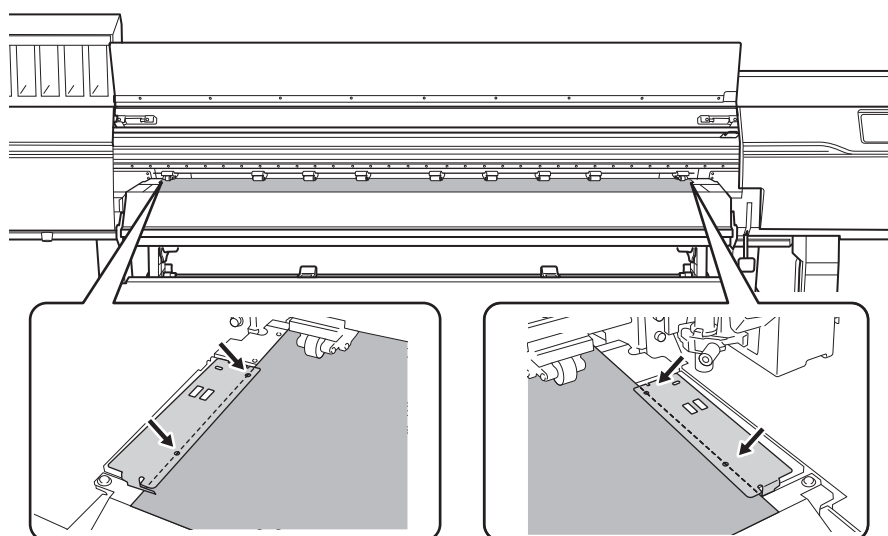
8. ローディングレバー（前側）を下ろす。



**重要**

メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

9. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。



10. フロントカバーを閉じる。



## 2. B : メディアの位置を決める ([メディアエッジ検出] : [無効]の場合)

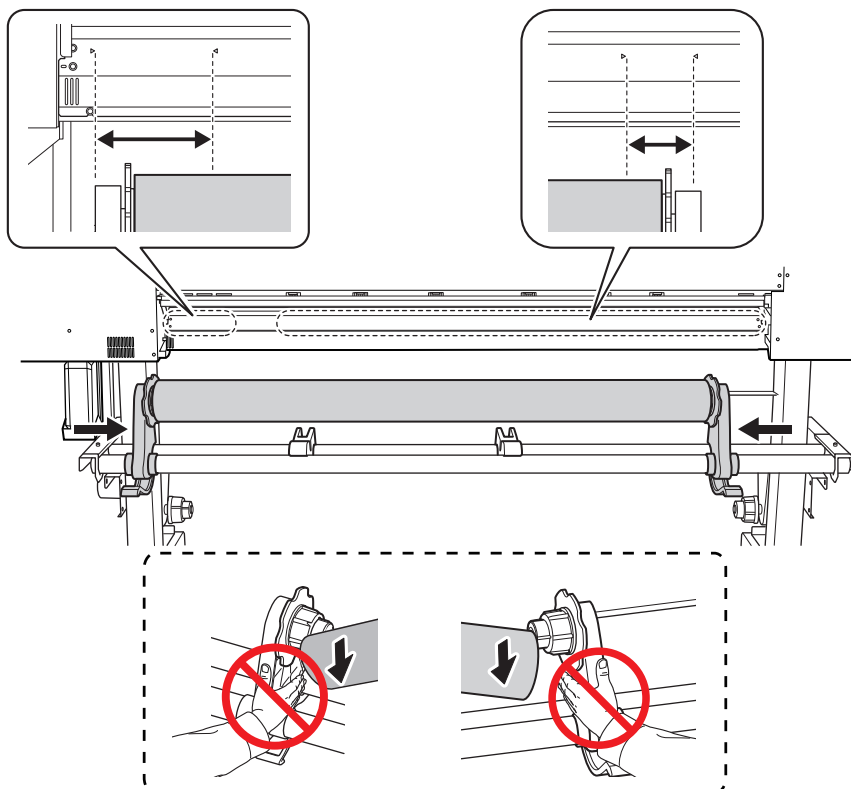
ここでは吸着ファンを利用しないでメディアの位置を決める方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアや、[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合が該当します。

### 手順

#### 1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。

位置を決めるときは、次の点に注意してください。

- メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
- メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
- メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



#### ⚠ 注意

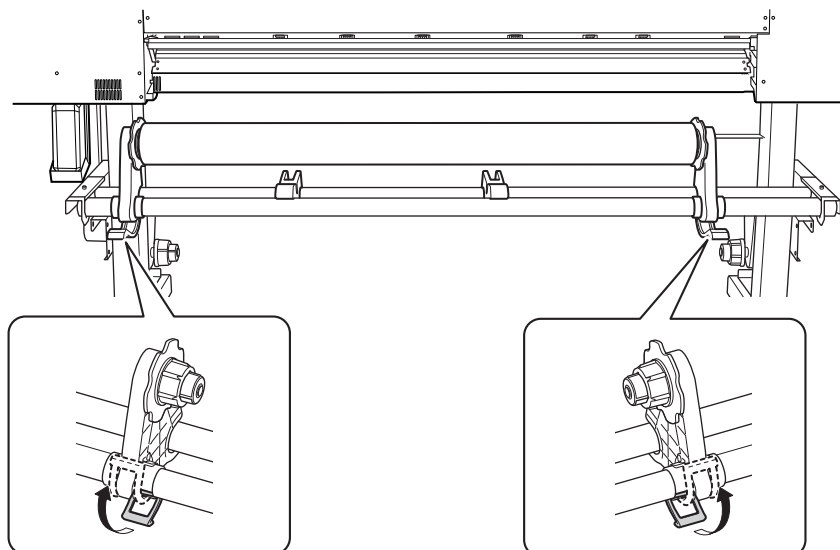
指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。  
メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

#### 重要

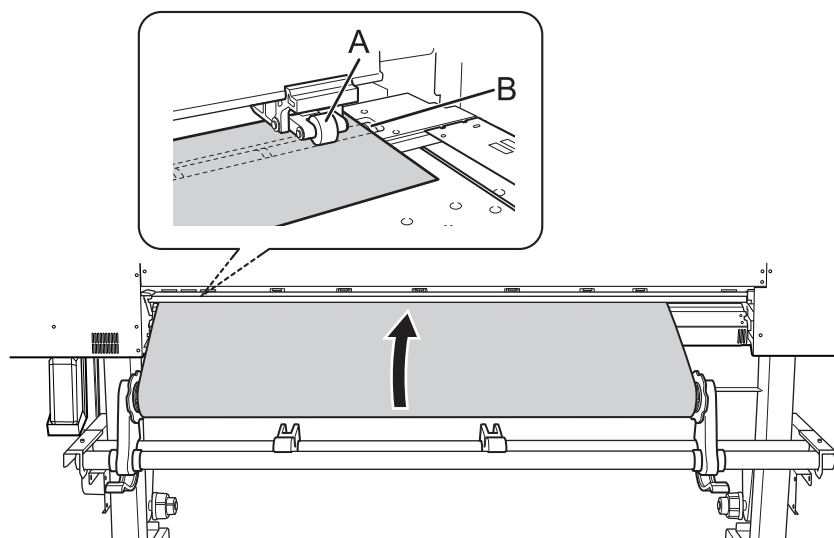
メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

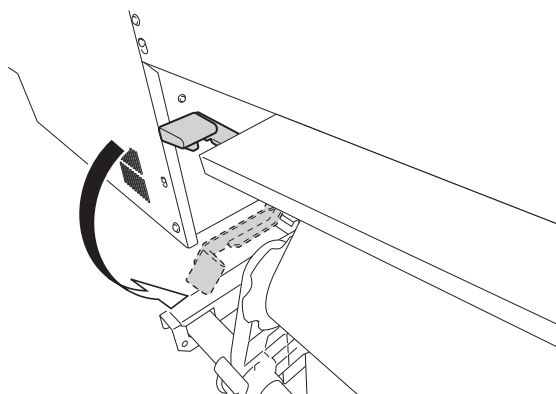
#### 2. メディアホルダーを固定する。



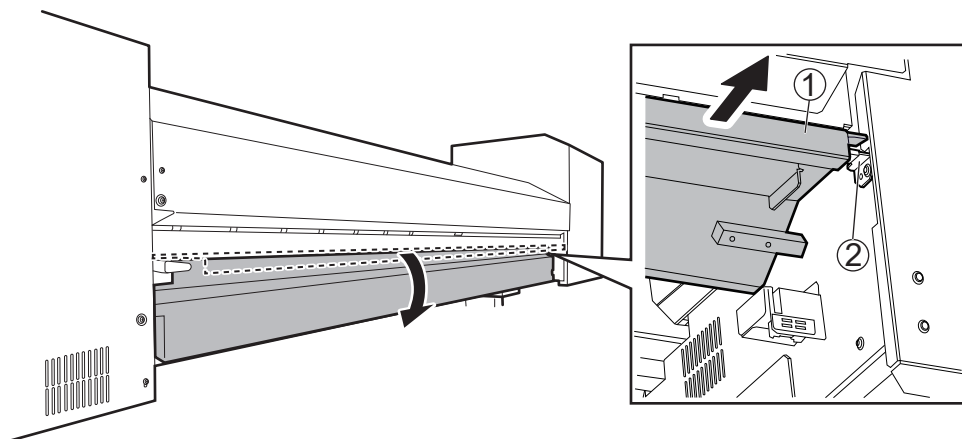
3. メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通す。



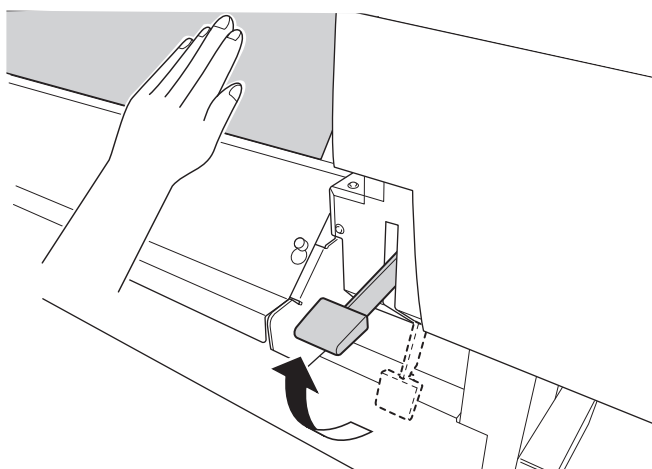
4. ローディングレバー (後側) を下ろす。  
メディアが固定されます。



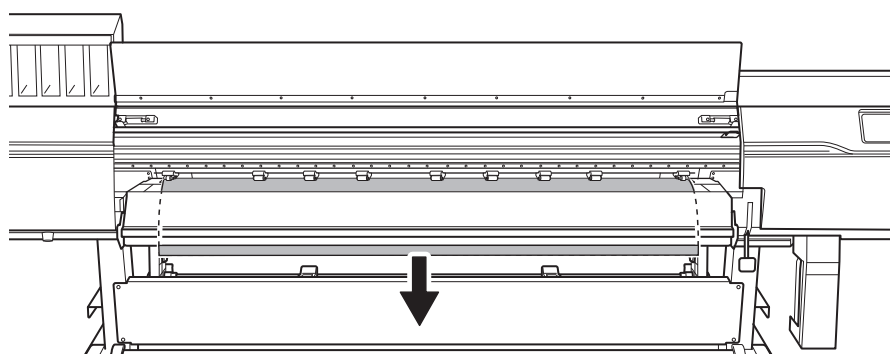
5. リア UV シールドを閉じる。  
a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。  
b. リア UV シールドを閉じる。



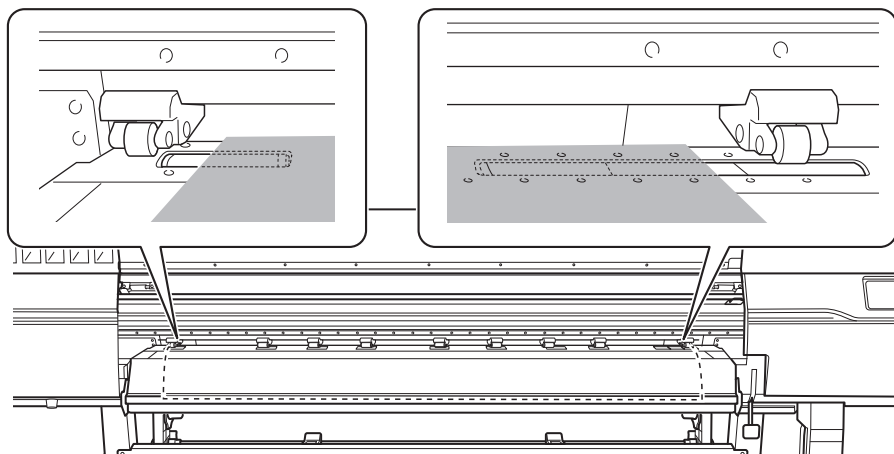
6. プリンターの前面に回り、メディアを軽く押さえながらローディングレバー（前側）を上げる。メディアの固定が解除されます。



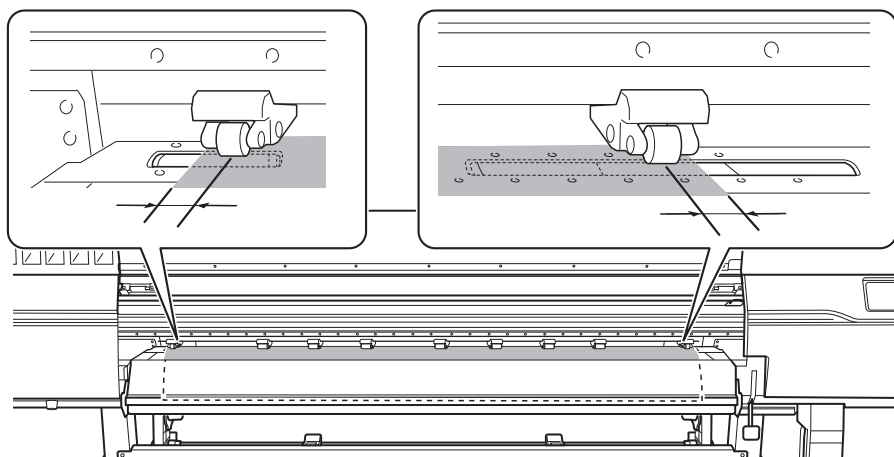
7. メディアをエプロンの上まで引き出す。



8. メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。  
メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



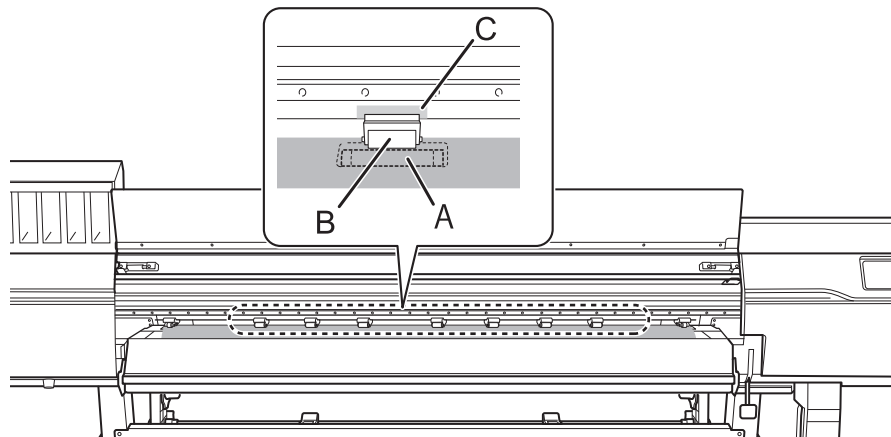
### 重要

- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

### メモ

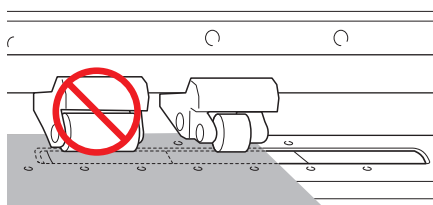
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

10. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

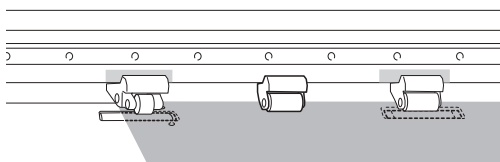


**重要**

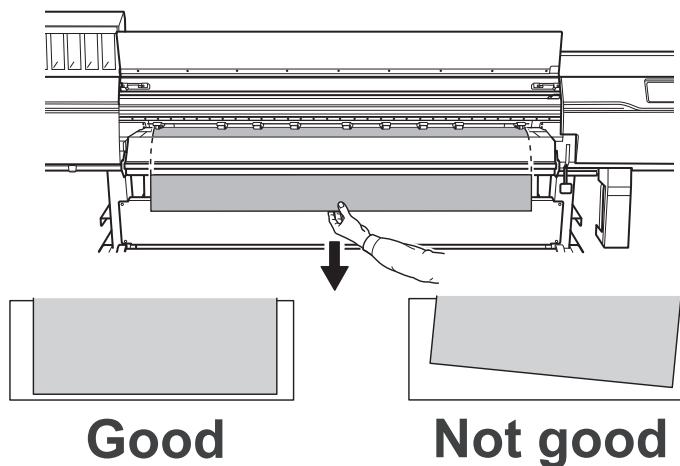
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



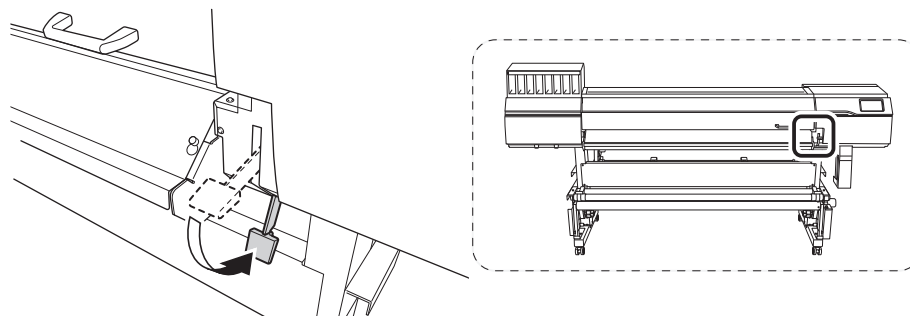
- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



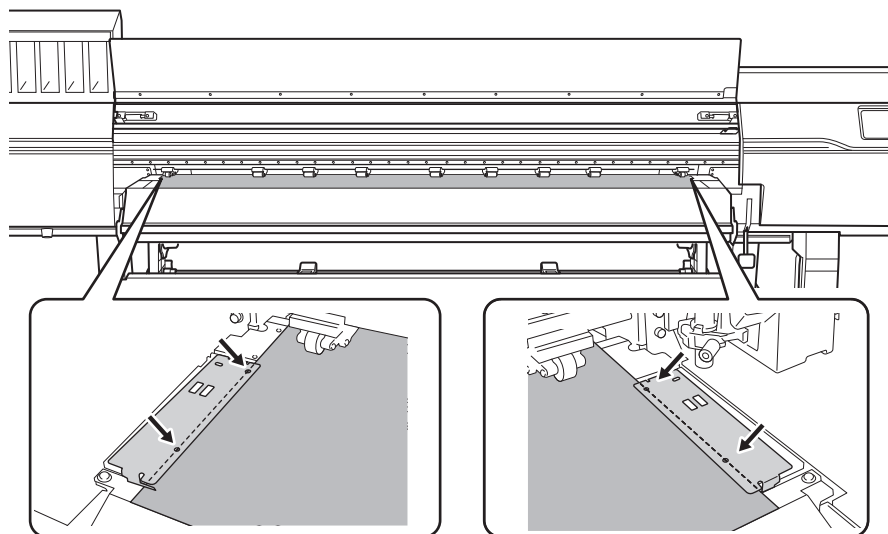
11. メディアの中央を持ってまっすぐに引き出し、メディア全体がピンと張るようにする。



12. ローディングレバー（前側）を下ろす。



13. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。



14. フロントカバーを閉じる。

### 3. メディアを登録する

#### 手順

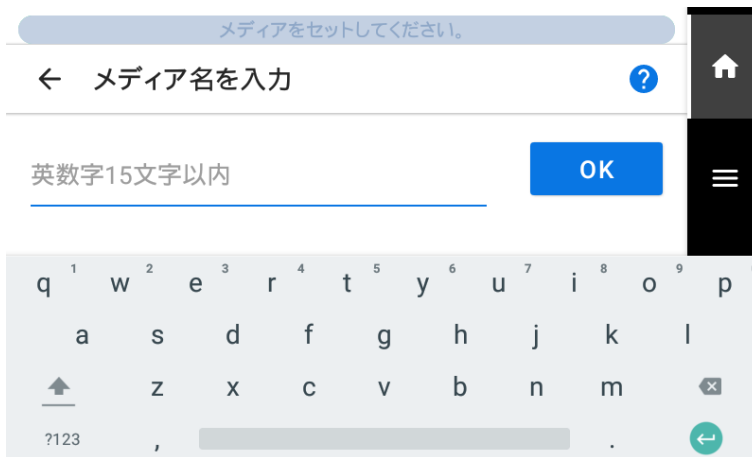
1.  [セットアップ]をタップする。

2. [新規作成]を選択する。

3. [次へ]をタップする。



4. 新しいメディア名を入力し、[OK]をタップする。



5. [次へ]をタップする。

6. [セットアップ方法]画面が表示されるので、巻取装置を使う/使わないを選択する。

7. [セットアップ開始]をタップする。

カッティングキャリッジが動いてメディアの幅およびメディアクランプの位置を検出します。この動作を初期動作と呼びます。

8. [メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]が表示された場合は、以下の手順で設定をする。



メモ

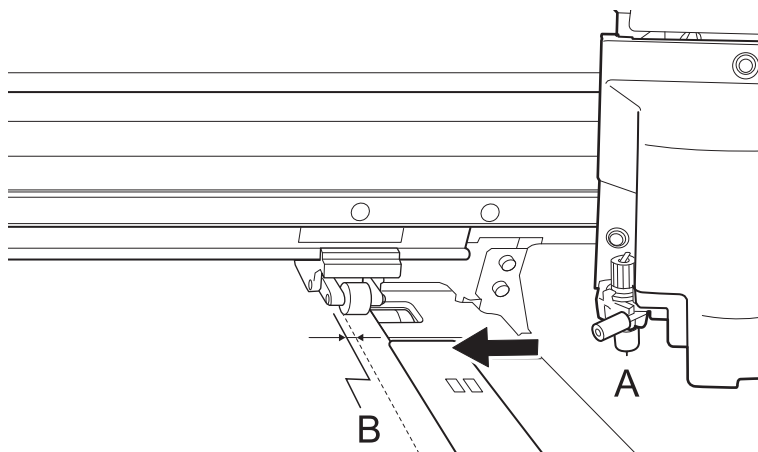
反射率が高いメディアをセットアップするときに表示されることがあります。

(1) [OK]をタップする。

(2) [変更]をタップする。



[ピンチローラーの内側に印刷領域の右端を設定してください。]画面が表示されます。

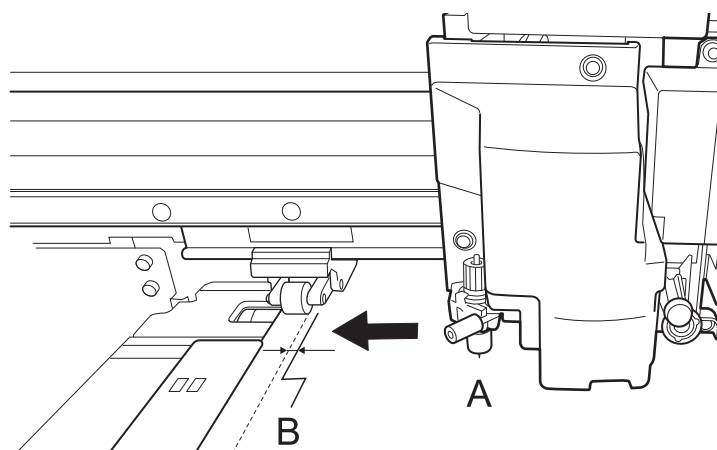
(3)   を押して、カッターの中心 (A) を右側ピンチローラーの左端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



(4) [OK]をタップする。

[ピンチローラーの内側に印刷領域の左端を設定してください。]画面が表示されます。

(5)   を押して、カッターの中心 (A) を左側ピンチローラーの右端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



(6) [OK]をタップする。

設定した左右の位置が[印刷領域 (幅)]に反映されます。

(7) [OK]をタップする。

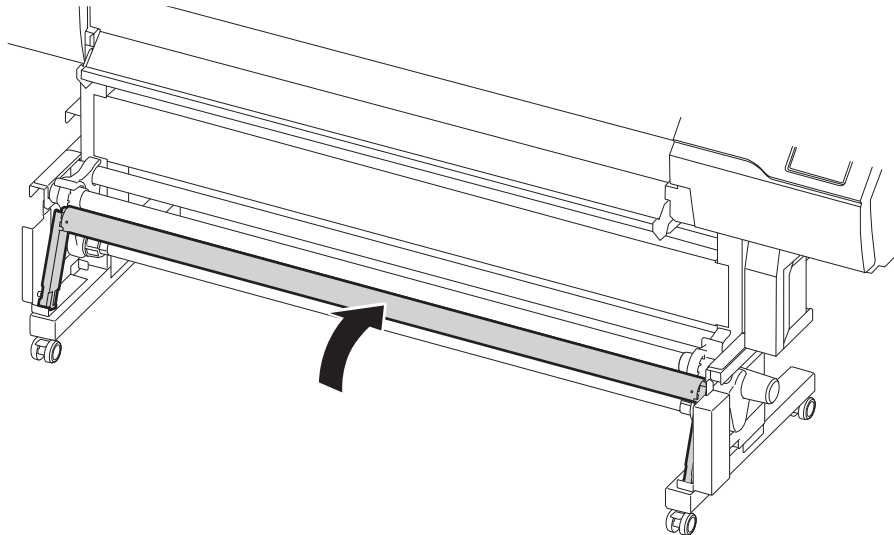


## 4. メディアを巻取装置に取り付ける

巻取装置を使用しない場合は、5. メディアに合った設定をする (P. 52) に進んでください。

### 手順

1. ダンサーローラーを奥に倒す。



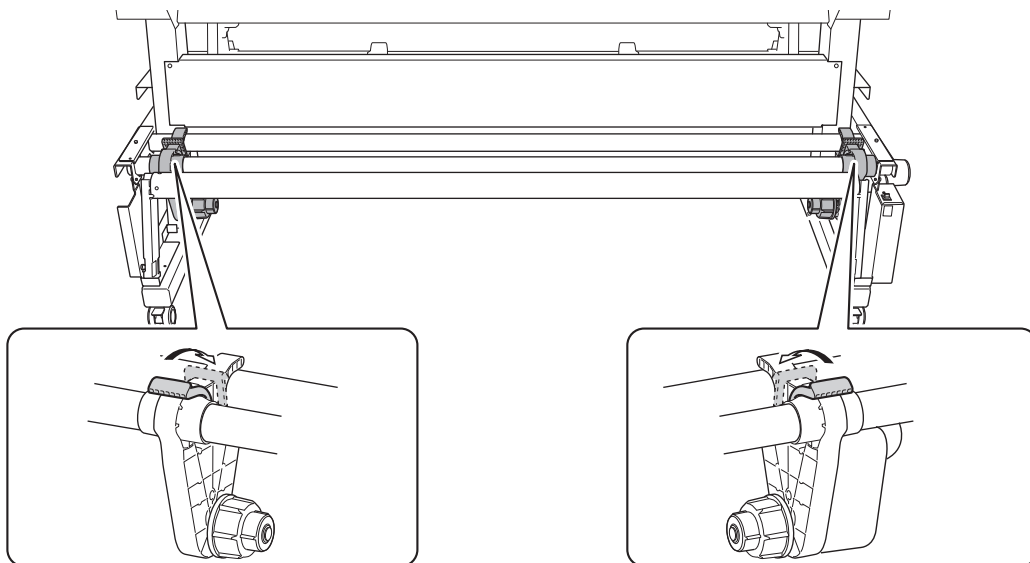
2. 次の手順で巻取装置のメディアホルダーに紙管を取り付ける。  
セットアップしたメディアより幅が広い紙管を準備してください。

#### 重要

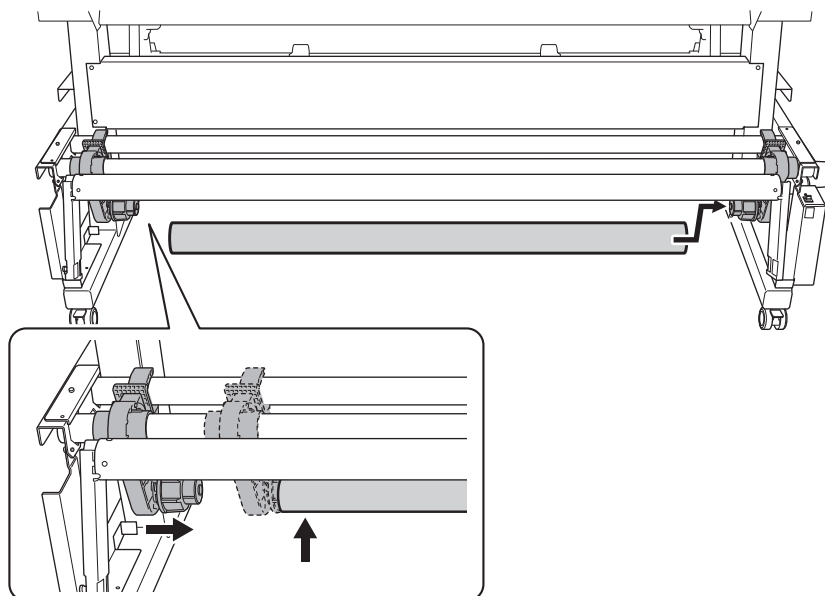
紙管は消耗品です。


メディアの巻取りが良好な状態で行えるよう、紙管の状態を見ながら適切な時期で交換してください。

- (1) メディアホルダーの固定を解除し、移動できる状態にする。



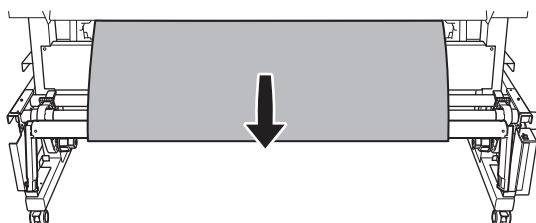
- (2) 右側のエンドキャップに紙管をはめ込む。  
紙管をエンドキャップの奥までしっかりはめ込んでください。
- (3) 左側のメディアホルダーを紙管に押し付ける。



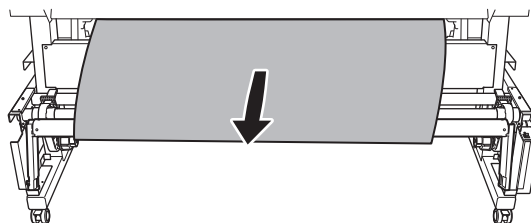
3. 操作パネルの  を長押しして、メディアの先端が紙管に届く位置までメディアを引き出す。

1 回押すと 10 mm 引き出されます。長押しすると連続で引き出すことができます。

**Good**

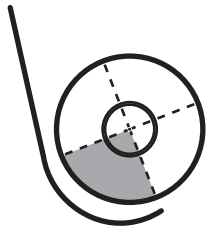
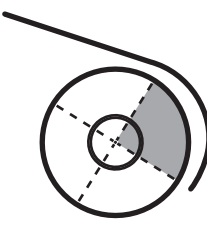


**Not Good**



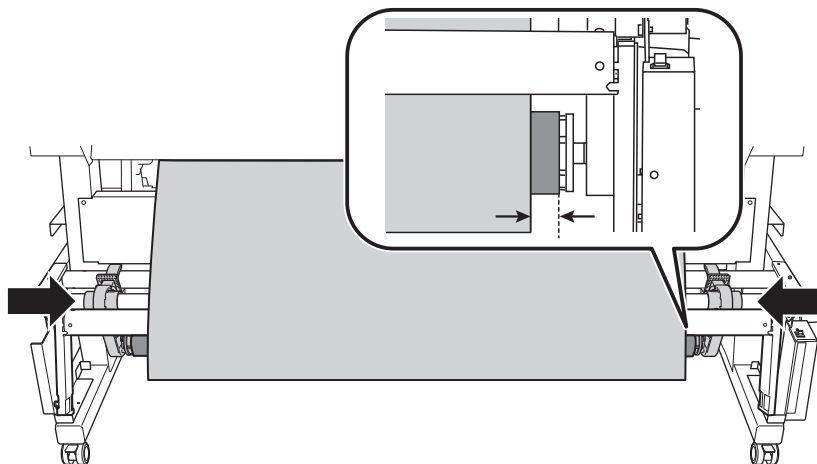
**メモ**

メディアは紙管に 1/4 以上巻きつく長さまで引き出してください。

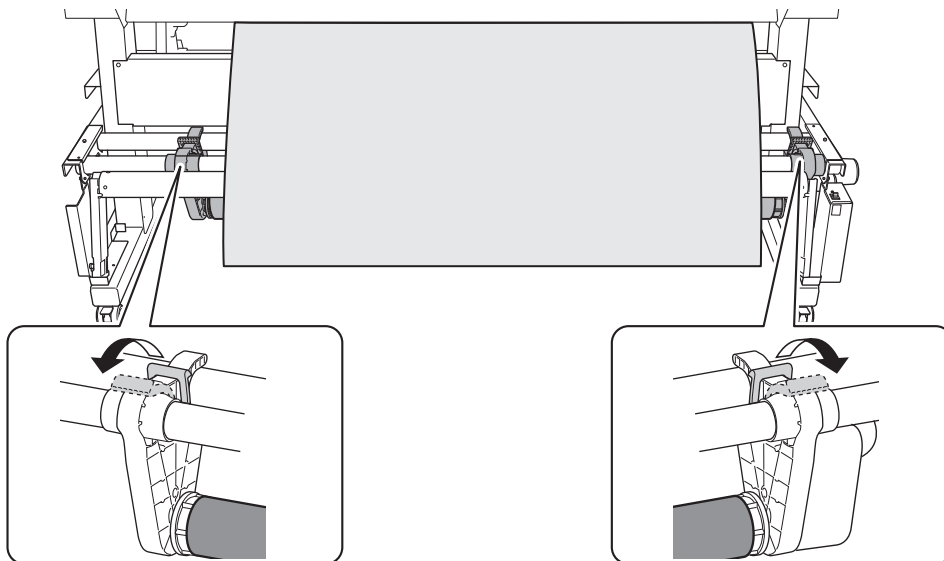
外巻きの場合	内巻きの場合
	

4. 以下の手順でメディアホルダーの位置を調整する。

- (1) メディア右端から紙管が見える位置に両側のメディアホルダーを移動する。  
メディアホルダーは外側を持って動かしてください。



(2) 左右のメディアホルダーを固定する。



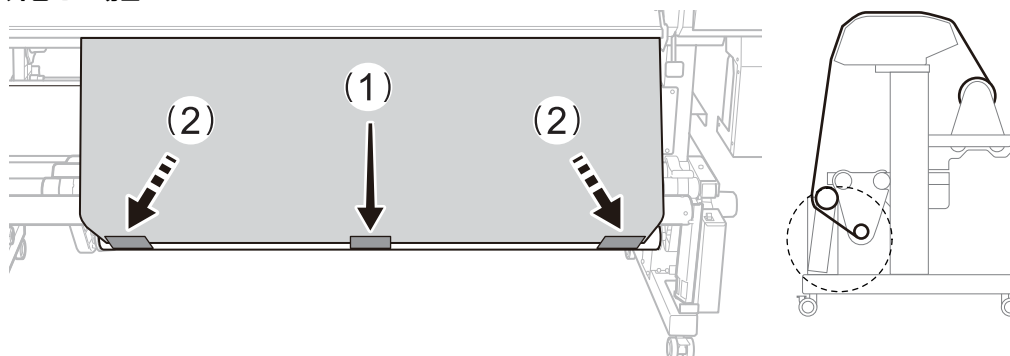
5. 以下の手順でメディアを紙管に固定する。

1. メディアをメディアホルダーに取り付ける (P. 31) の手順 2 で設定した[巻き取り方向]で固定してください。

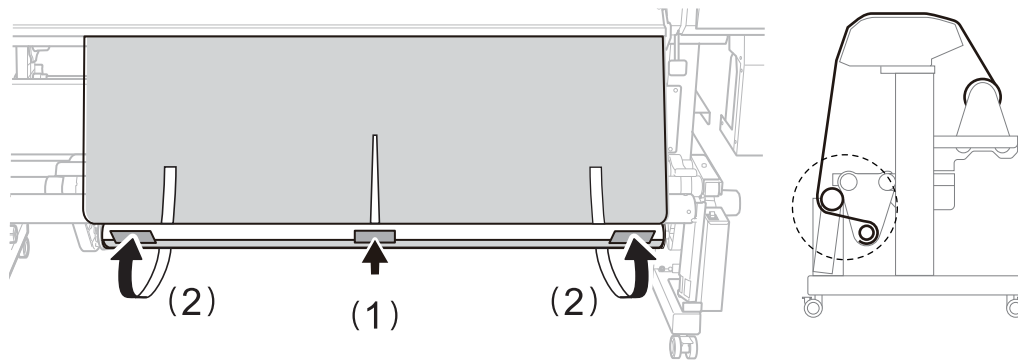
(1) メディアがたるまないように引っ張りながら、粘着テープでメディアの中央を紙管に固定する。

(2) 中央から外側へ向かってメディアを引っ張りながら、粘着テープでメディアの左右端を紙管に固定する。

• 外巻きの場合

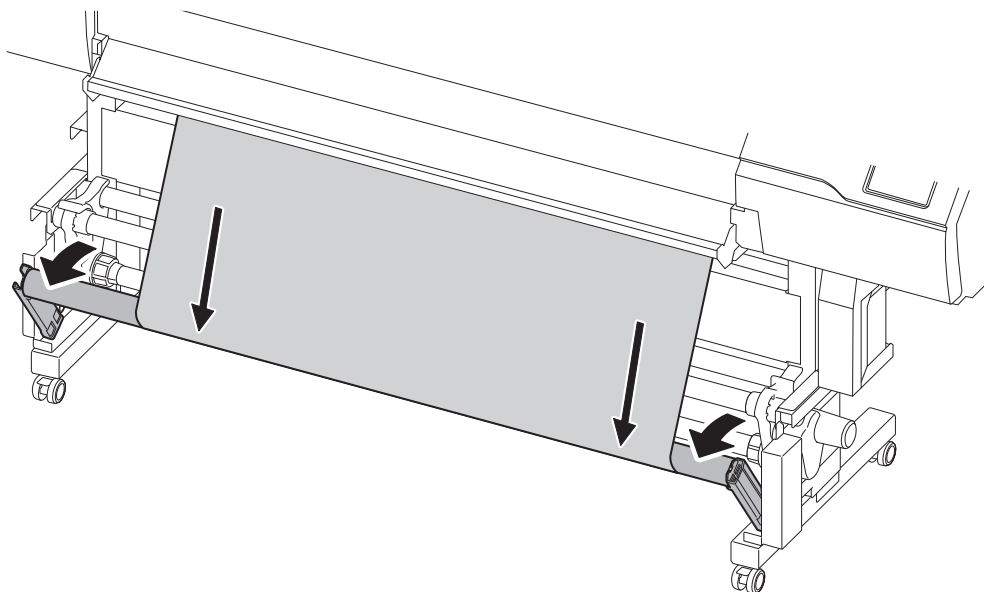


• 内巻きの場合



6. [OK]をタップする。  
メディアが少し引き出されます。

7. ダンサーローラーを手前に倒す。



8. [OK]をタップする。

## 5. メディアに合った設定をする

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、必要最低限の項目を設定します。ここで設定する項目はすべて個別にも設定できます。

### 手順

1. [メディア出力タイプ選択]画面で出力タイプを選択し、[次へ]をタップする。
  - [プリントのみ/プリント&カット]  
手順 2 へ遷移します。
  - [カットのみ]  
[マルチセンサー調整]画面に遷移します。自動調整後、[OK]をタップしてください。これで[カットのみ]の設定は終了です。  
調整に失敗した場合は、[読み取りセンサーを補正する \(P. 202\)](#) を参照して対処してください。
2. [ヘッド高さ設定]画面で、プリントヘッドの高さを調整する。
  - 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
  - 調整する場合は、以下の手順で調整してください。
    - a. [変更]をタップする
    - b. フロントカバーを開ける。
    - c. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。
    - d. フロントカバーを閉じる。
    - e. [OK]をタップする。
    - f. [次へ]をタップする。
 作業の詳細は、[プリントヘッドの高さを変える \(P. 168\)](#) を参照してください。
3. [ノズル抜けテスト]画面で、[テストプリント]および[出力開始位置]の設定をおこなう。
  - 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
  - [テストプリント]をする場合は、[テストプリント]>[実行]をタップしテストプリントをおこなってください。テストプリント後の対応は [Step 2: ノーマルクリーニングの方法 \(P. 130\)](#) を参照してください。  
完了後は、[次へ]をタップしてください。
4. [メディア調整方法選択]画面で、調整方法を選択する。  
ここで調整するのは、横すじを軽減するメディアの送り補正とインクの着弾位置の補正です。

### メモ

ここでの調整は[簡易補正 (自動)]をおすすめします。[詳細補正 (手動)]は自分で補正値を決めることができません。

- 自動調整する場合は、以下の手順で自動調整をおこなってください。
  - a. [簡易補正 (自動)]>[次へ]をタップする。
  - b. [一括自動補正]画面で、[実行]をタップする。  
自動調整が成功するとホーム画面に遷移します。設定は完了です。  
詳細は [必要な調整を自動で行う \(P. 163\)](#) を参照してください。
- 手動で調整する場合は、以下の手順で手動調整してください。
  - a. [詳細補正 (手動)]>[次へ]をタップする。
  - b. [マルチセンサー調整]画面で[実行]をタップする。  
読み取りセンサーを最適な状態に調整します。調整に失敗した場合は、[読み取りセンサーを補正する \(P. 202\)](#) を参照して対処してください。

- c. [次へ]をタップする。
- d. [詳細送り補正 (手動)]画面でテストプリントをおこなう。  
テストプリント結果から補正值を設定してください。詳細は[手動調整：横すじを軽減する \(送り補正\) \(P. 164\)](#)を参照してください。
- e. [保存して次へ]をタップする。
- f. [詳細メディアギャップ補正 (手動)]画面でテストプリントをおこなう。  
テストプリント結果から補正值を設定してください。詳細は[手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する \(メディアギャップ補正\) \(P. 166\)](#)を参照してください。
- g. [保存して終了]をタップする。

**重要**

プリント&カットやカッティングを行う場合、巻取装置からメディアを巻き戻してメディアをたるませる動作を行います。セットアップ直後で紙管にメディアが十分に巻かれていない場合、この動作がうまくできずに、カッティング品質が低下し巻き取りが継続できなくなる可能性があります。メディアを紙管に取り付けてからすぐにカッティングを行う場合は、あらかじめ数回巻き取りが行われる程度にメディアを送っておき、ベースポイントをセットしてください。

これでメディアのセットアップは完了です。

## カットメディアのセットアップ


プリンターにカットメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[出力できます。]と表示されます。この作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

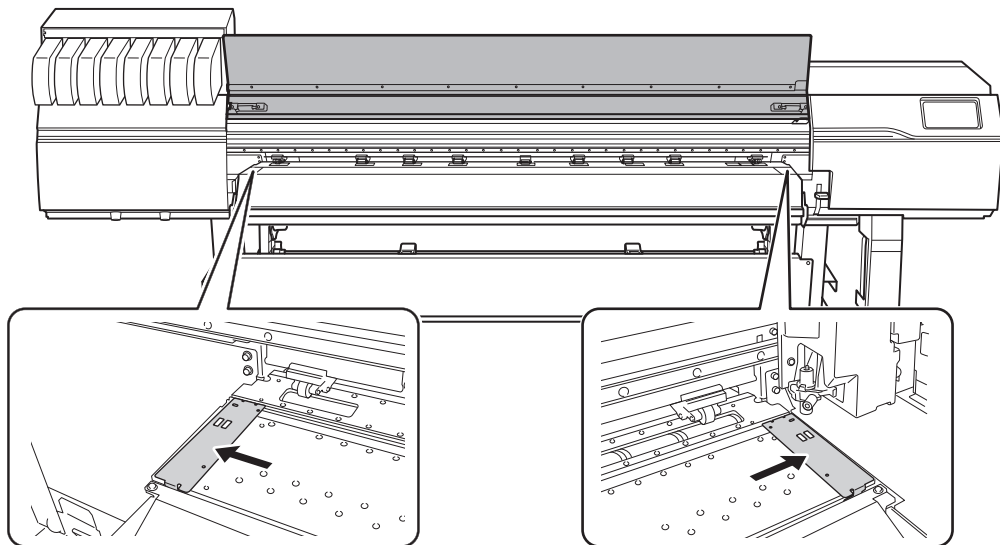
### 1. A：メディアの位置を決める

メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、[1. B：メディアの位置を決める（\[メディアエッジ検出\]：\[無効\]の場合）](#)（P. 59）を参照してください。

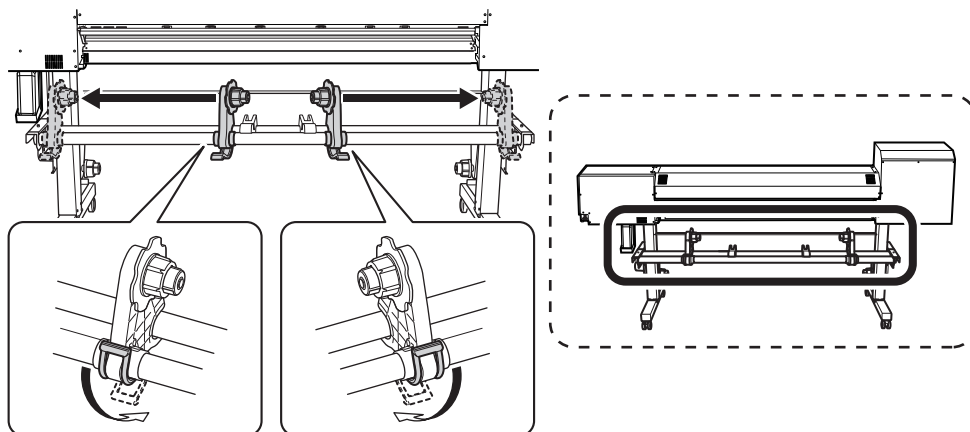
なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

#### 手順

1. 操作パネルで  をタップする。  
サブ電源がオンになります。
2. フロントカバーを開ける。
3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



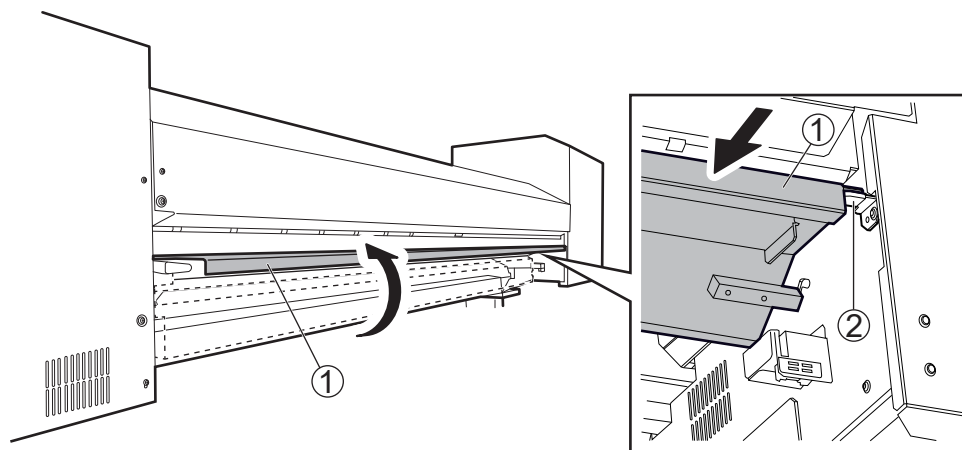
4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



**5.** プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。

a. リア UV シールド (①) を開ける。

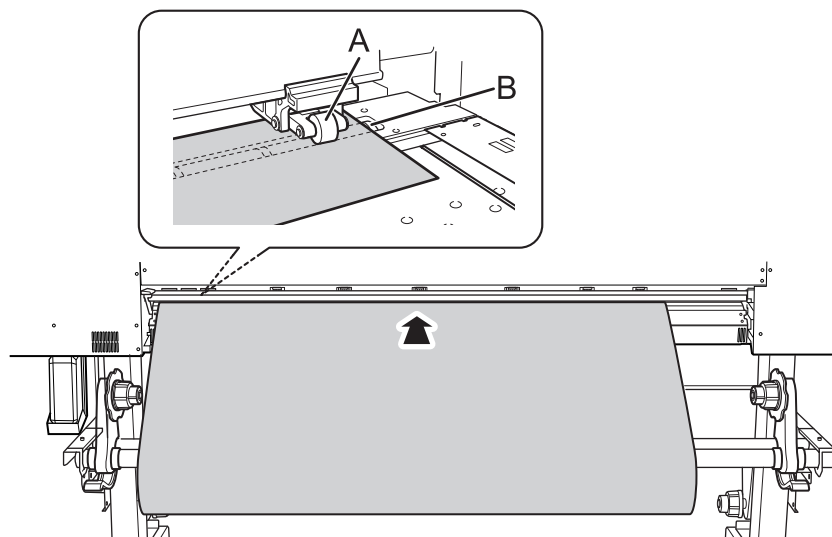
b. リア UV シールドを機体前方に押し、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。



**6.** プリンターの背面から、メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通し、ピッと音が鳴るまでメディアを送る。

ピッと音が鳴ったあと、約 5 秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアが戻ることはありません。

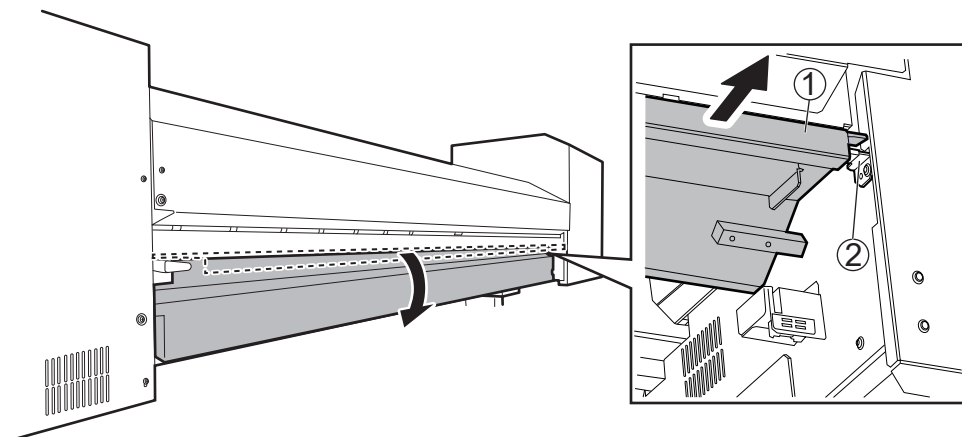
メディアをプリンターの前面からセットする場合は、メディアの前端 (印刷開始する側) を一度プラテン上まで送ってから手前に引くと、吸着ファンが動作します。





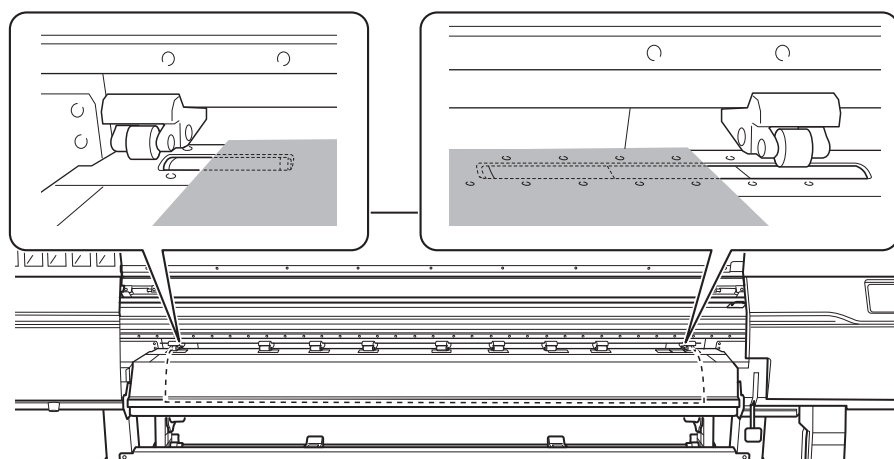
7. リア UV シールドを閉じる。

- a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。
- b. リア UV シールドを閉じる。



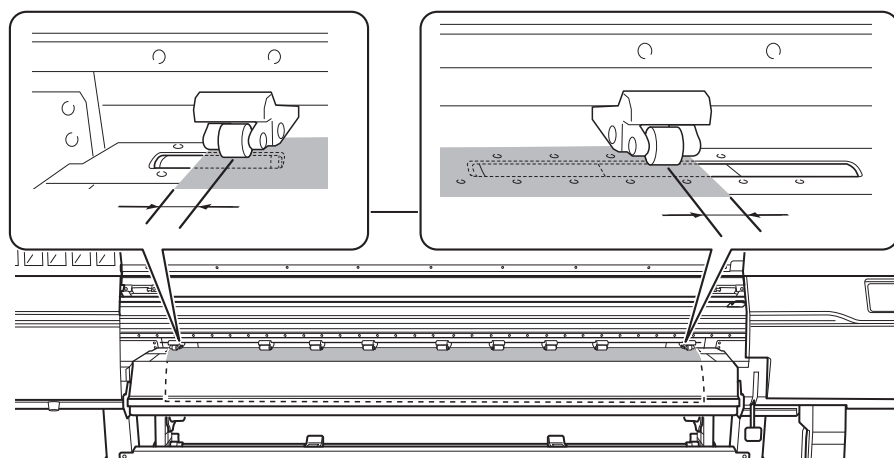
8. プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。

メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。

メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



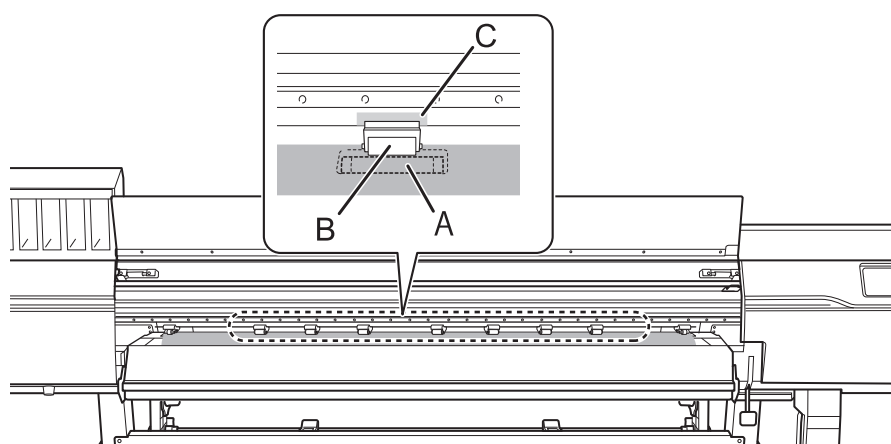
## 重要

- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- 固定する前にメディアの位置を直したい場合は、手順 5 まで戻ってやり直してください。

## メモ

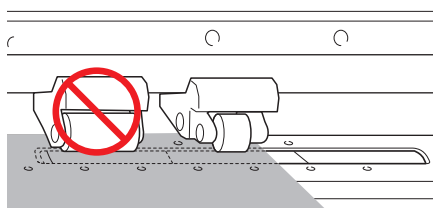
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

10. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

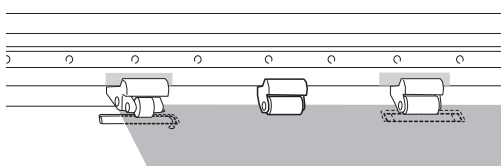


## 重要

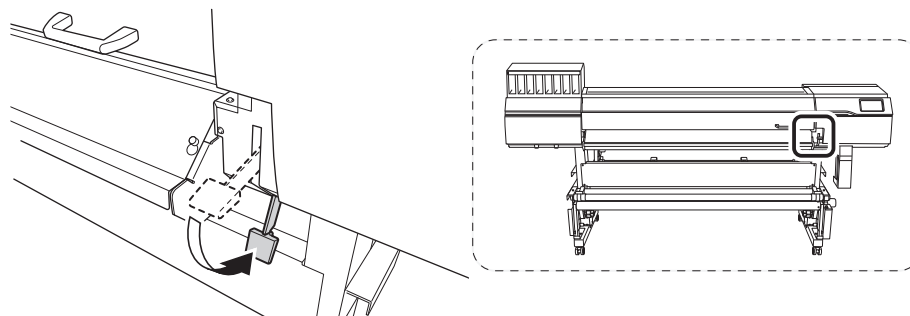
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に 3 つ並んだグリットローラーの上には下りません。この 3 つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



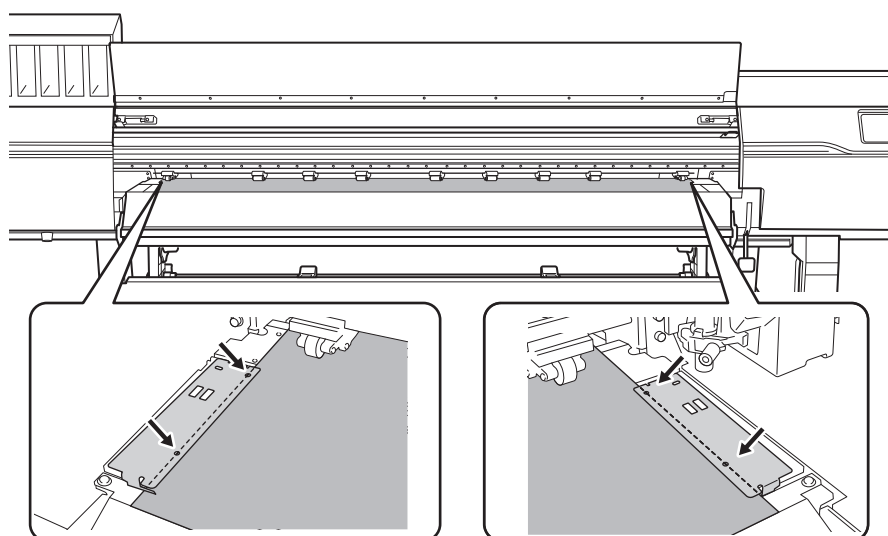
11. ローディングレバー (前側) を下ろす。



**重要**

固定する前にメディアの位置を直したい場合は、手順 5 まで戻ってやり直してください。

12. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。



13. フロントカバーを閉じる。

## 1. B : メディアの位置を決める ([メディアエッジ検出] : [無効]の場合)

メディアの端を検出できない透明なメディアや、[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、以下の手順でメディアの位置を決めてください。

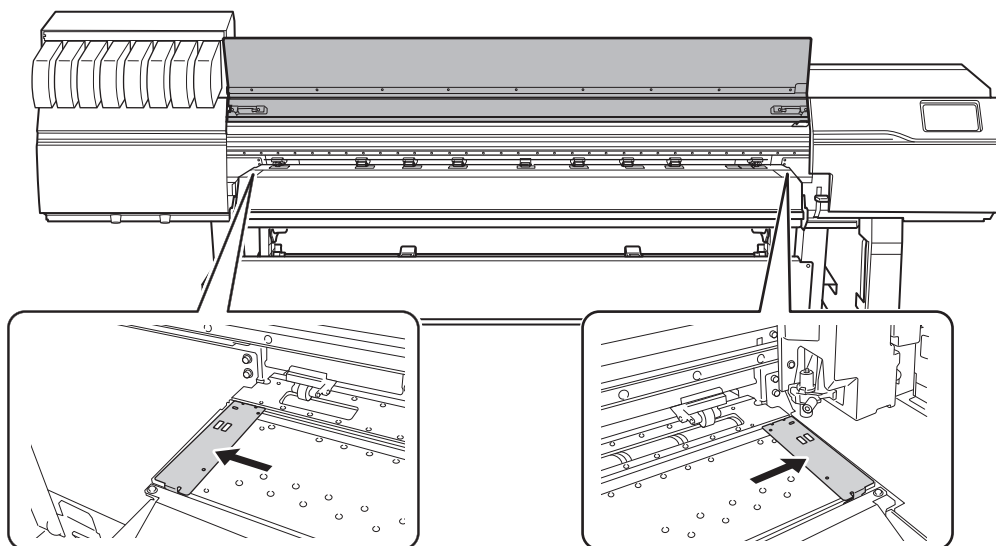
### 手順

1. 操作パネルで  をタップする。

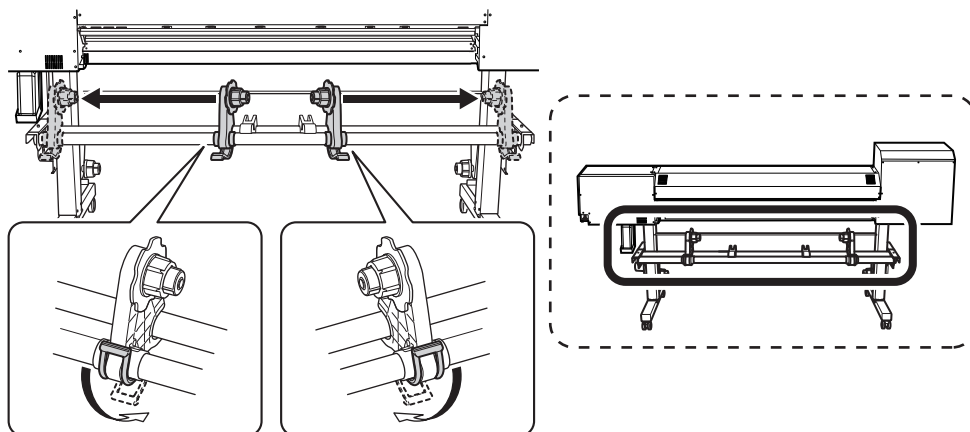
サブ電源がオンになります。

2. フロントカバーを開ける。

3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



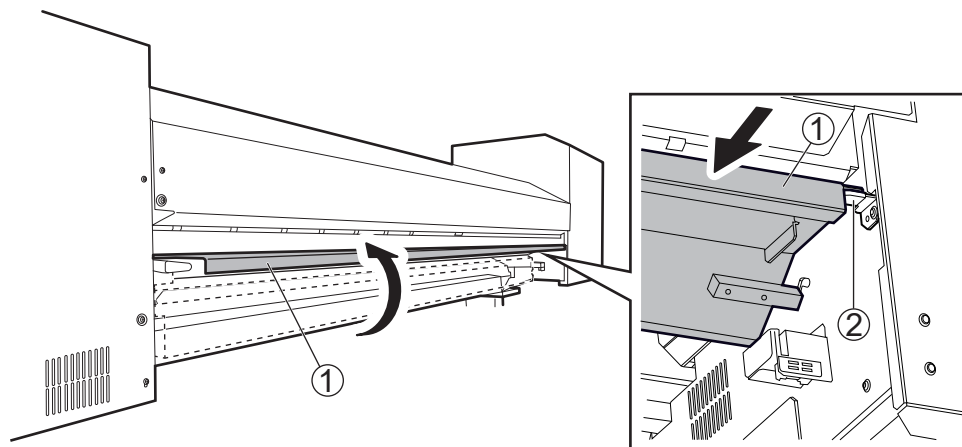
4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



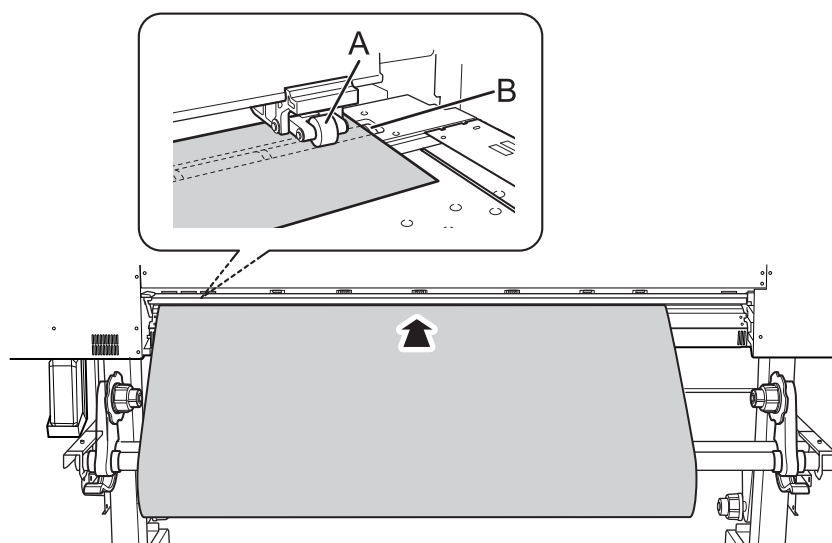
5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。

a. リア UV シールド (①) を開ける。

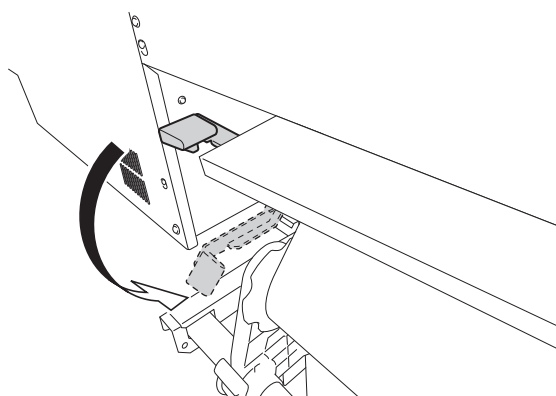
b. リア UV シールドを機体前方に押し、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。



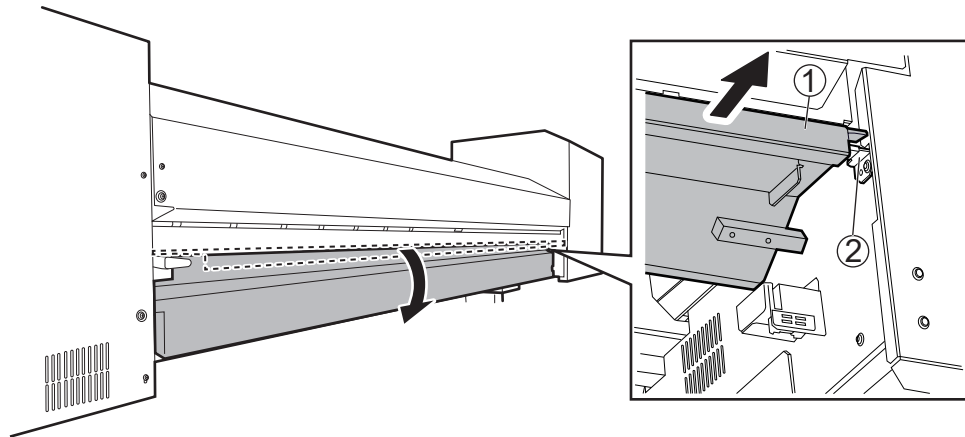
6. メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通す。



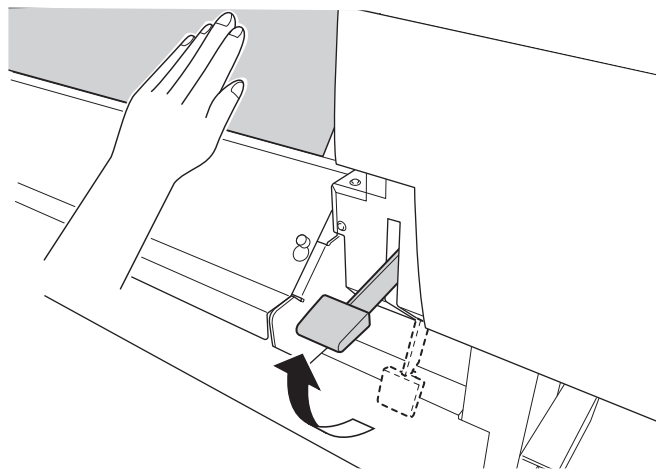
7. ローディングレバー (後側) を下ろす。  
メディアが固定されます。



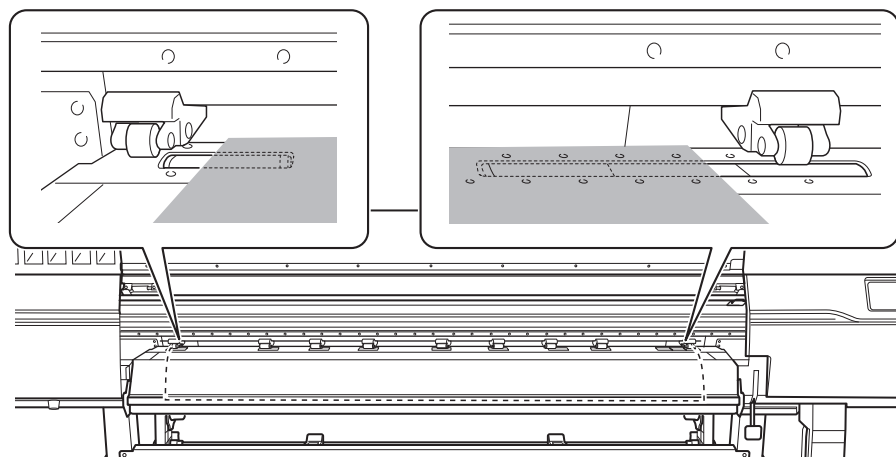
8. リア UV シールドを閉じる。  
a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。  
b. リア UV シールドを閉じる。



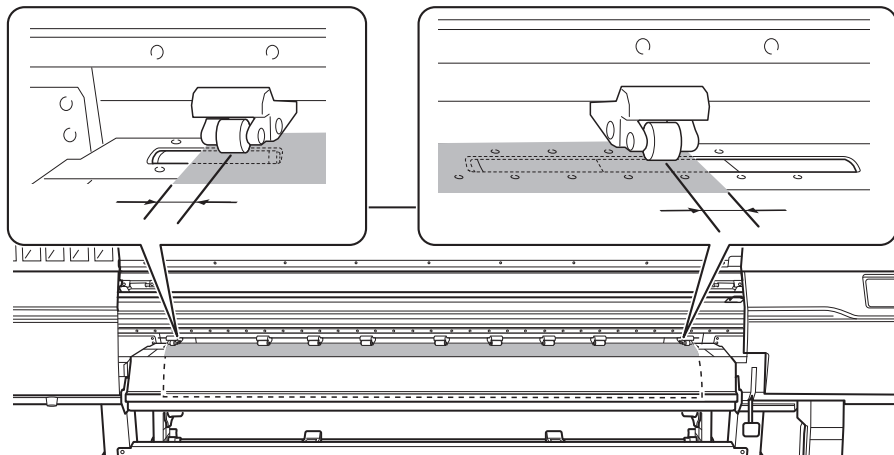
9. プリンターの前面に回り、メディアを軽く押さえながらローディングレバー（前側）を上げる。メディアの固定が解除されます。



10. メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



11. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



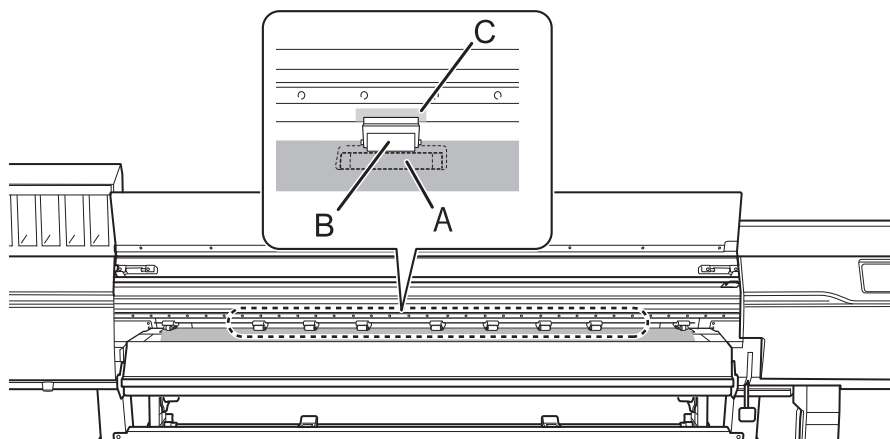
**重要**

必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。

**メモ**

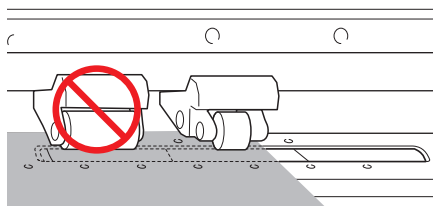
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

12. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

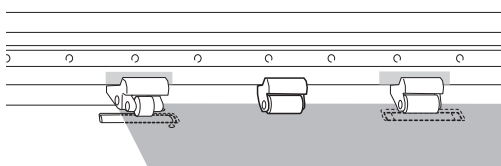


**重要**

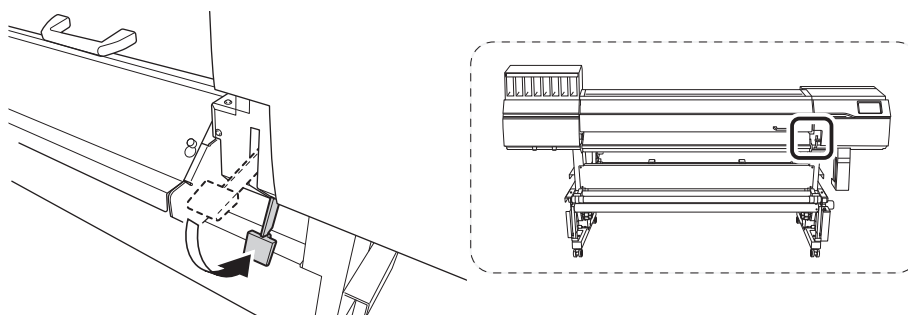
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



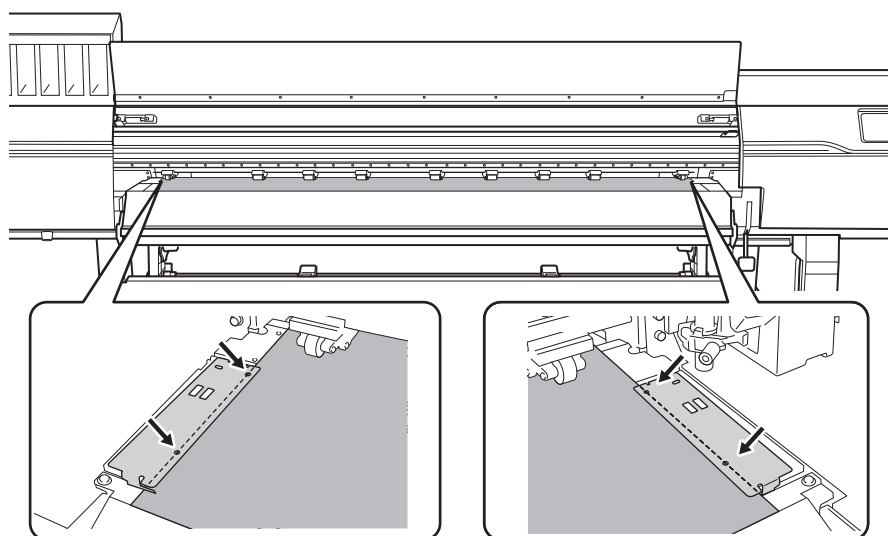
13. ローディングレバー（前側）を下ろす。



**重要**

固定する前にメディアの位置を直したい場合は、手順 10 まで戻ってやり直してください。

14. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。




15. フロントカバーを閉じる。



## 2. メディアを登録する

### 手順

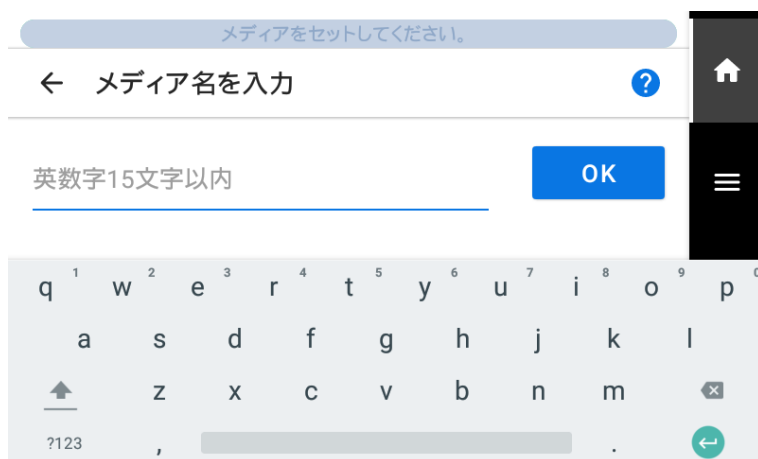
1.  [セットアップ]をタップする。

2. [新規作成]を選択する。

3. [次へ]をタップする。



4. 新しいメディア名を入力し、[OK]をタップする。



5. [次へ]をタップする。

6. [セットアップ方法]画面が表示されるので、巻取装置を使う/使わないを選択する。



7. [セットアップ開始]をタップする。

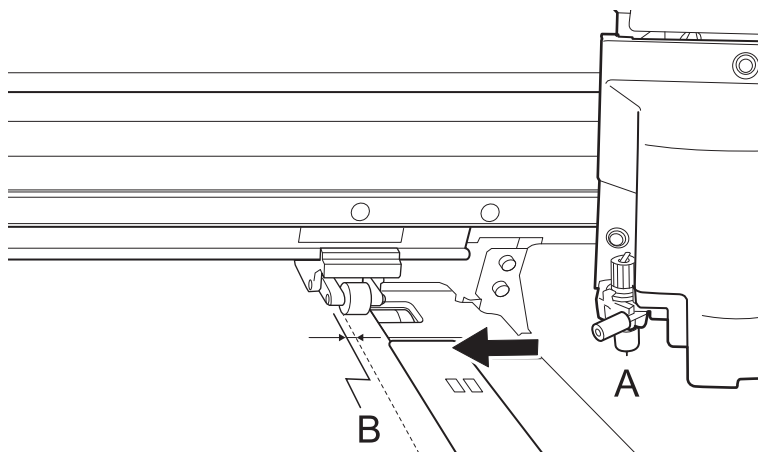
カッティングキャリッジが動いてメディアの幅およびメディアクランプの位置を検出します。この動作を初期動作と呼びます。



8. [メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]が表示された場合は、以下の手順で設定をする。

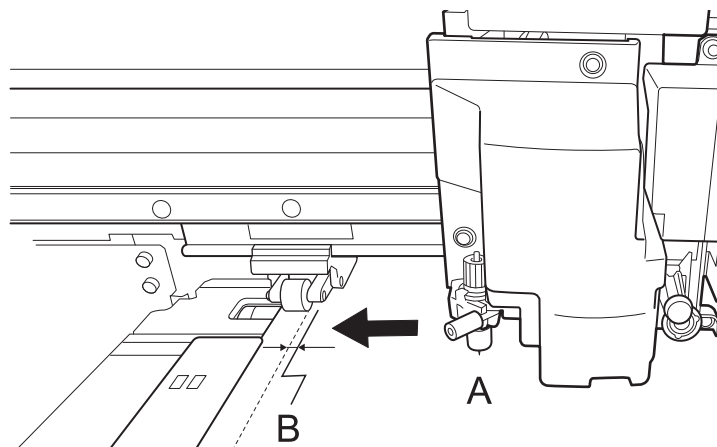
## メモ

反射率が高いメディアをセットアップするときに表示されることがあります。

- (1) [OK]をタップする。
- (2) [変更]をタップする。  
[ピンチローラーの内側に印刷領域の右端を設定してください。]画面が表示されます。
- (3)   を押して、カッターの中心 (A) を右側ピンチローラーの左端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



- (4) [OK]をタップする。  
[ピンチローラーの内側に印刷領域の左端を設定してください。]画面が表示されます。
- (5)   を押して、カッターの中心 (A) を左側ピンチローラーの右端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



- (6) [OK]をタップする。  
設定した左右の位置が[印刷領域 (幅)]に反映されます。
- (7) [OK]をタップする。

### 3. メディアに合った設定をする

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、必要最低限の項目を設定します。ここで設定する項目はすべて個別にも設定できます。

#### 手順

1. [メディア出力タイプ選択]画面で出力タイプを選択し、[次へ]をタップする。
  - [プリントのみ/プリント&カット]
    - 手順 2 へ遷移します。
  - [カットのみ]
    - [マルチセンサー調整]画面に遷移します。自動調整後、[OK]をタップしてください。これで[カットのみ]の設定は終了です。
    - 調整に失敗した場合は、[読み取りセンサーを補正する \(P. 202\)](#) を参照して対処してください。
2. [ヘッド高さ設定]画面で、プリントヘッドの高さを調整する。
  - 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
  - 調整する場合は、以下の手順で調整してください。
    - a. [変更]をタップする
    - b. フロントカバーを開ける。
    - c. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。
    - d. フロントカバーを閉じる。
    - e. [OK]をタップする。
    - f. [次へ]をタップする。
 作業の詳細は、[プリントヘッドの高さを変える \(P. 168\)](#) を参照してください。
3. [ノズル抜けテスト]画面で、[テストプリント]および[出力開始位置]の設定をおこなう。
  - 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
  - [テストプリント]をする場合は、[テストプリント]>[実行]をタップしテストプリントをおこなってください。テストプリント後の対応は [Step 2: ノーマルクリーニングの方法 \(P. 130\)](#) を参照してください。
4. [メディア調整方法選択]画面で、調整方法を選択する。
 

ここで調整するのは、横すじを軽減するメディアの送り補正とインクの着弾位置の修正です。

#### メモ

ここでの調整は[簡易補正 (自動)]をおすすめします。[詳細補正 (手動)]は自分で補正值を決めることができません。

- 自動調整する場合は、以下の手順で自動調整をおこなってください。
  - a. [簡易補正 (自動)]>[次へ]をタップする。
  - b. [一括自動補正]画面で、[実行]をタップする。
    - 自動調整が成功するとホーム画面に遷移します。設定は完了です。
    - 詳細は[必要な調整を自動で行う \(P. 163\)](#) を参照してください。
- 手動で調整する場合は、以下の手順で手動調整してください。
  - a. [詳細補正 (手動)]>[次へ]をタップする。
  - b. [マルチセンサー調整]画面で[実行]をタップする。
    - 読み取りセンサーを最適な状態に調整します。調整に失敗した場合は、[読み取りセンサーを補正する \(P. 202\)](#) を参照して対処してください。
  - c. [次へ]をタップする。

- d. **[詳細送り補正 (手動)]** 画面でテストプリントをおこなう。  
テストプリント結果から補正值を設定してください。詳細は[手動調整：横すじを軽減する \(送り補正\) \(P. 164\)](#)を参照してください。
- e. **[保存して次へ]**をタップする。
- f. **[詳細メディアギャップ補正 (手動)]** 画面でテストプリントをおこなう。  
テストプリント結果から補正值を設定してください。詳細は[手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する \(メディアギャップ補正\) \(P. 166\)](#)を参照してください。
- g. **[保存して終了]**をタップする。

これでメディアのセットアップは完了です。

# 登録済みメディアのセットアップ

## ⚠ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをすることがあります。

## ロールメディアのセットアップ

プリンターにロールメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして**[出力できます。]**と表示されます。この作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

## ⚠ 注意

ロールメディアは正しくセットする。  
メディアが落下してけがをすることがあります。

## ⚠ 注意

ロールメディアは重さが 45 kg (54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg) 程度ある。  
取り扱うときはけがに注意すること。

## ⚠ 注意

重さが 45 kg (54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg) を超えるメディアをセットしない。  
本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

## 1. メディアをメディアホルダーに取り付ける

本機のメディアホルダーは、紙管内径 2 インチおよび 3 インチの両方に使用できます。

## ⚠ 警告


ロールメディアを取り扱うときは、2 人以上で持ち、落下に十分注意する。  
重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

## 手順

1. 操作パネルで  をタップする。

サブ電源がオンになります。


2. 巻取装置を使う場合は、以下の手順で設定をする。

(1)  をタップする。

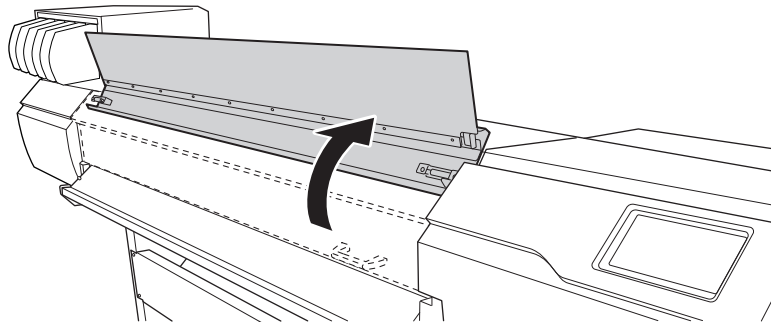
(2) [環境設定]>[巻き取り設定]>[巻き取り方向]をタップする。

(3) [内巻き]または[外巻き]を選択する。

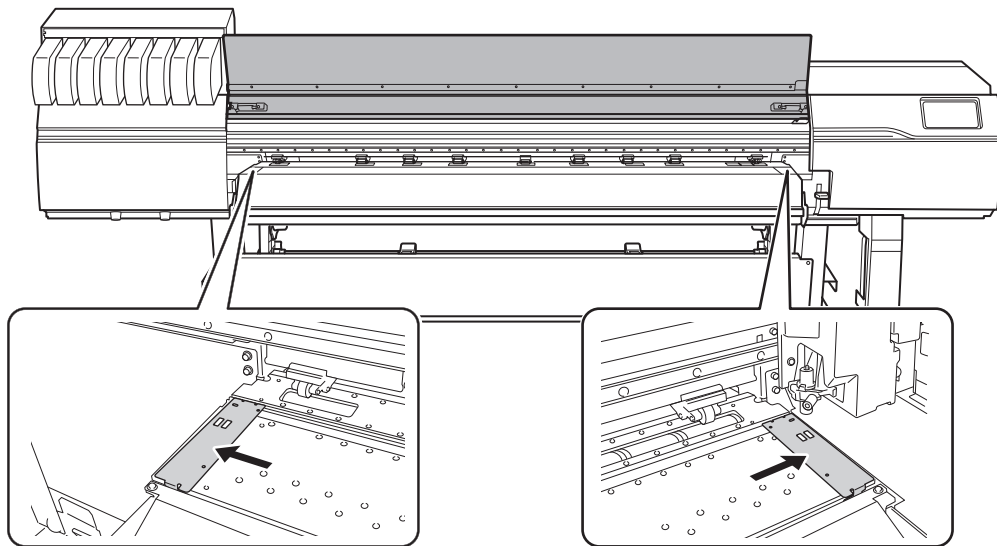
(4) [保存]をタップする。

- (5)  をタップして、もとの画面に戻る。

3. フロントカバーを開ける。

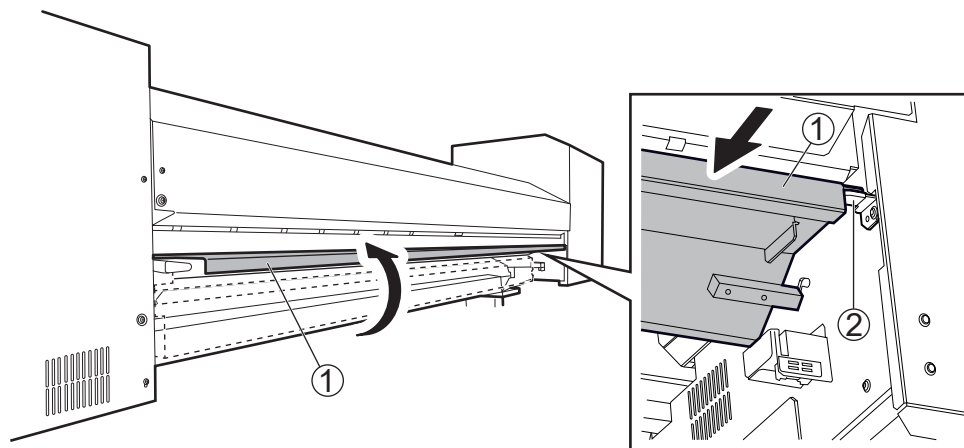


4. メディアクランプを、左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。

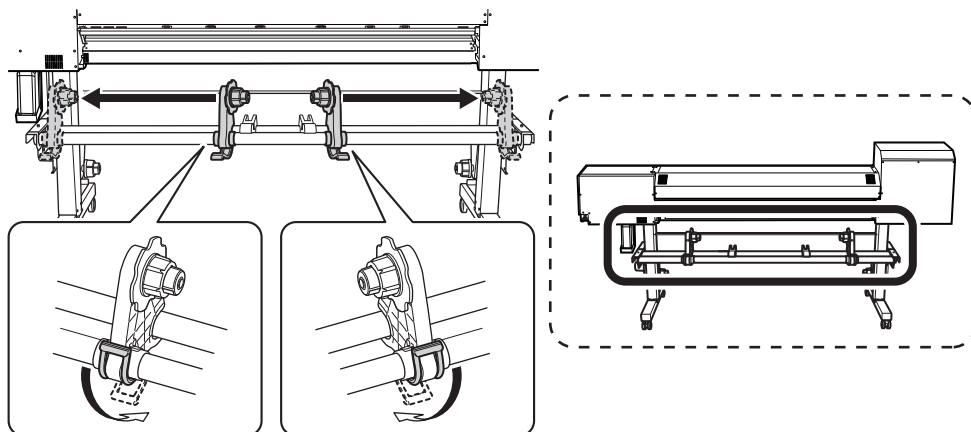


5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。

- a. リア UV シールド (①) を開ける。  
b. リア UV シールドを機体前方に押し、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。



6. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



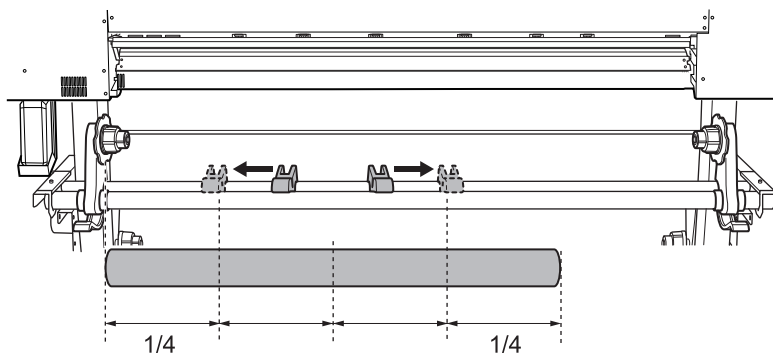
7. 機体にメディアを載せる。

**重要**

メディアをメディアステイまたはパイプの上に長時間置いたままにしないでください。メディアが変形する可能性があります。ご注意ください。

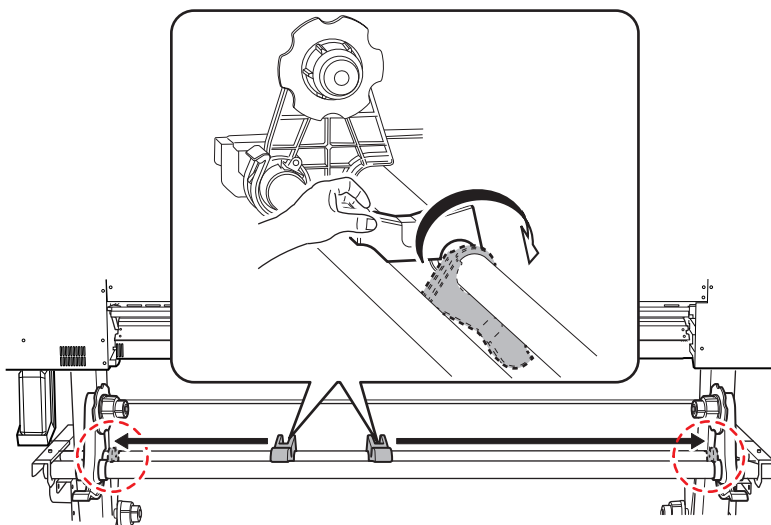
• 外径が 220 mm 以下のメディア

メディアステイをメディアの両端から 1/4 の位置に置いて、メディアを載せてください。

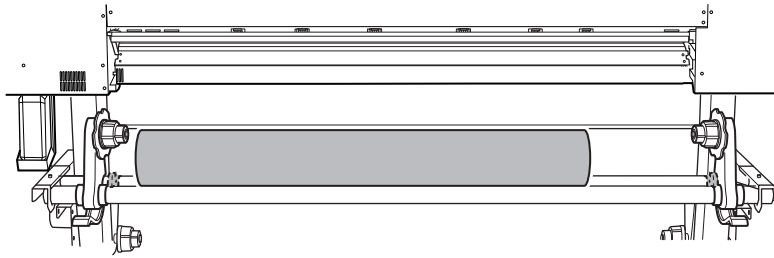


• 外径が 220 mm を超えるメディア

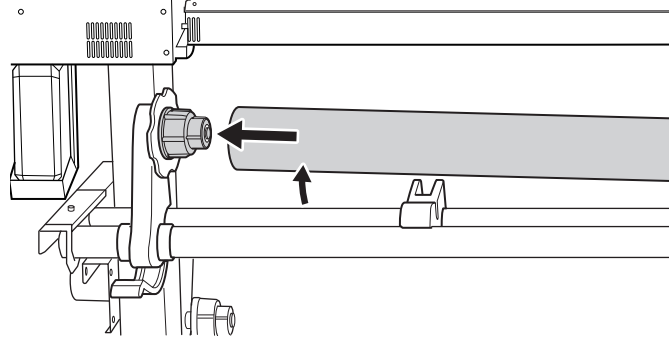
a. メディアステイを回転させて、メディアホルダーに寄せる。



b. 直接 2 本のパイプの間にメディアを置く。



8. メディアホルダー [左] のエンドキャップにメディアの紙管をはめ込む。

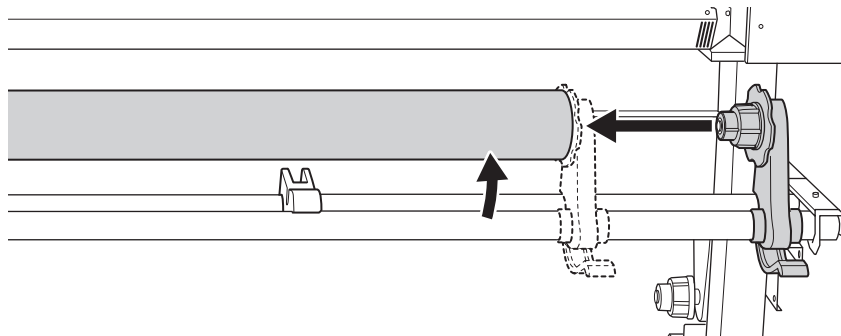


9. メディアホルダー [右] を動かしてエンドキャップをメディアの紙管にはめ込む。  
メディアが簡単に動かないように、しっかりとはめ込んでください。

**重要**

メディアホルダーはまだ固定しないでください。

この後メディアホルダーの位置を調整してから固定します。まだ固定しないでください。





## 2. A：メディアの位置を決める

ここでは吸着ファンを利用してメディアの斜行を防止する方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、2. B：メディアの位置を決める（[メディアエッジ検出]：[無効]の場合）（P. 77）を参照してください。

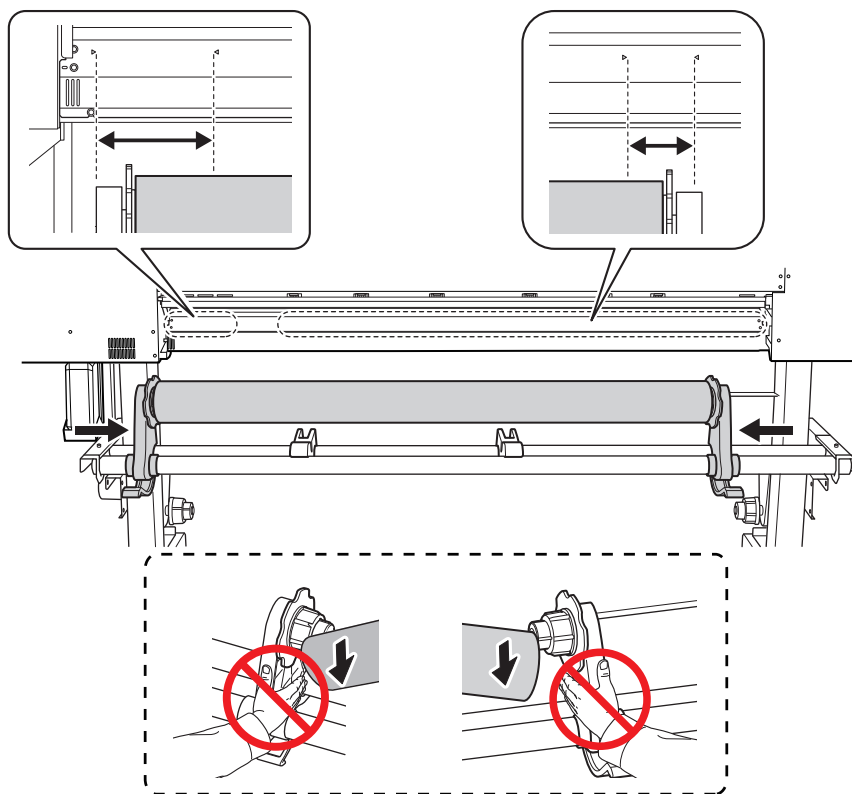
なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

### 手順

#### 1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。

位置を決めるときは、次の点に注意してください。

- メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
- メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
- メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



#### ⚠ 注意

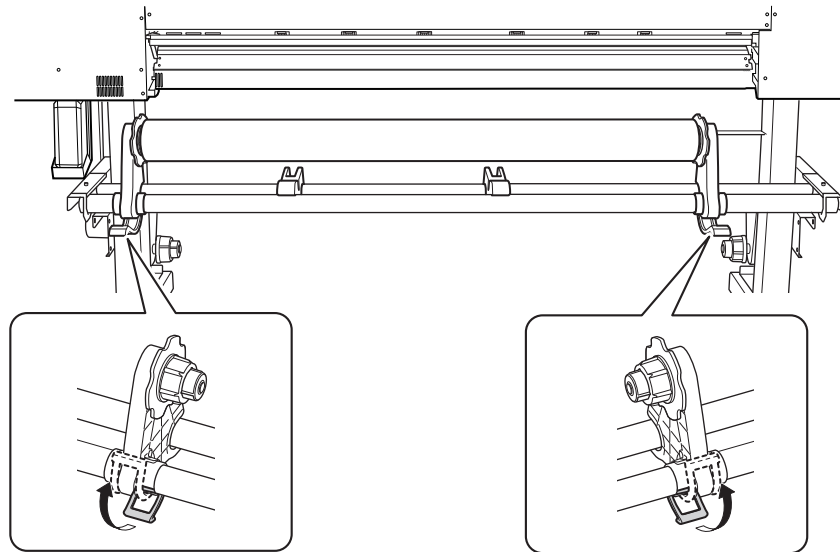
指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。  
メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

#### 重要

メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

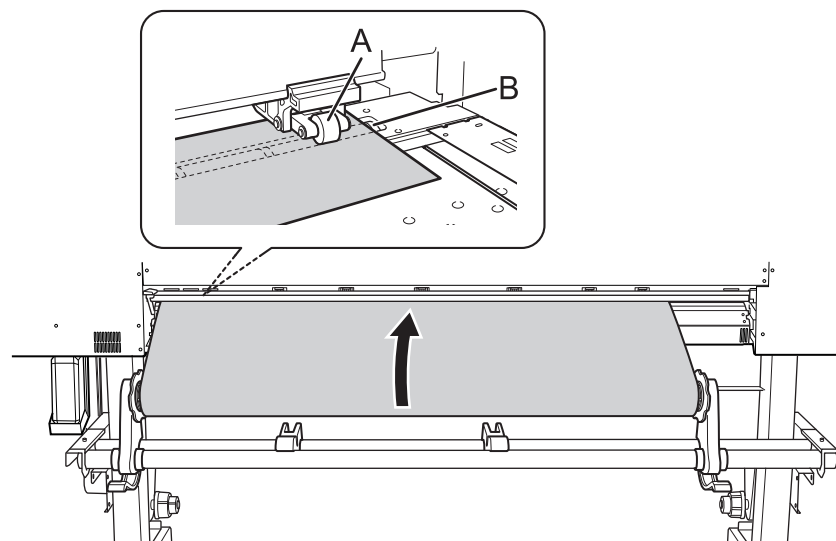
## 2. メディアホルダーを固定する。



## 3. 次の手順でメディアをセットする。

この手順を行うことでメディアの斜行を防止します。

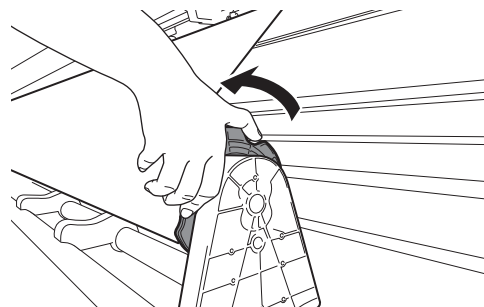
- (1) メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通す。



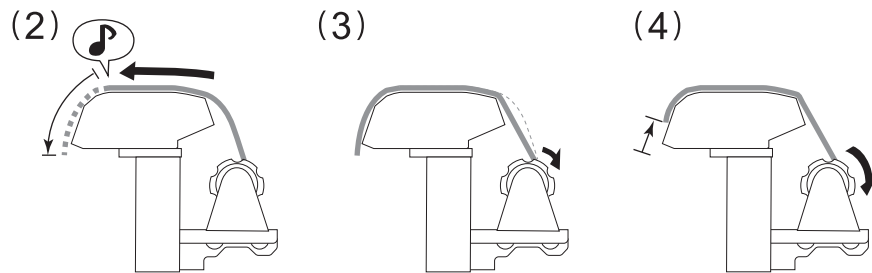
- (2) ピッと音がなるまでメディアを送り、約 20 cm さらにメディアを送る。

ピッと音が鳴ったあと、約 5 秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアを保持します。

- (3) メディアホルダーのフランジを持ち、巻取方向にまわしてメディアのたるみを取る。



- (4) たるみがない状態から、さらに 10 cm 程度メディアを巻き取る。

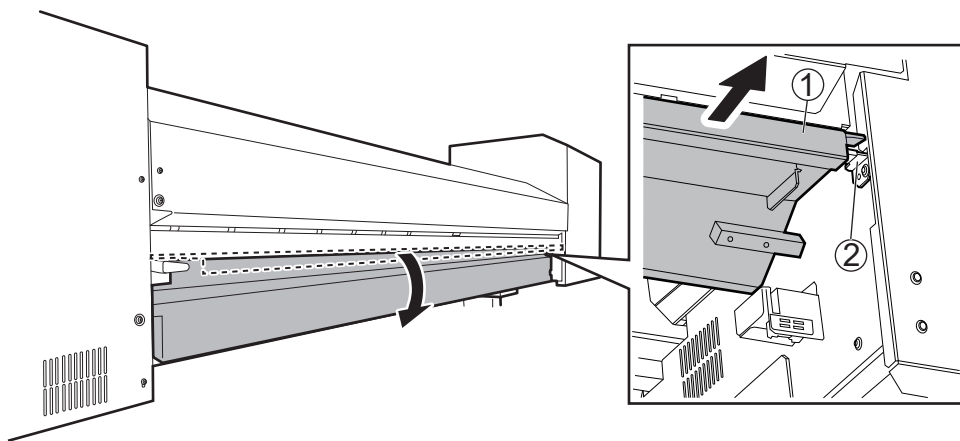


**メモ**

巻き取りすぎると、ピピッと音がして吸着ファンが止まります。メディアを巻き取り、手順 (1) からやり直してください。

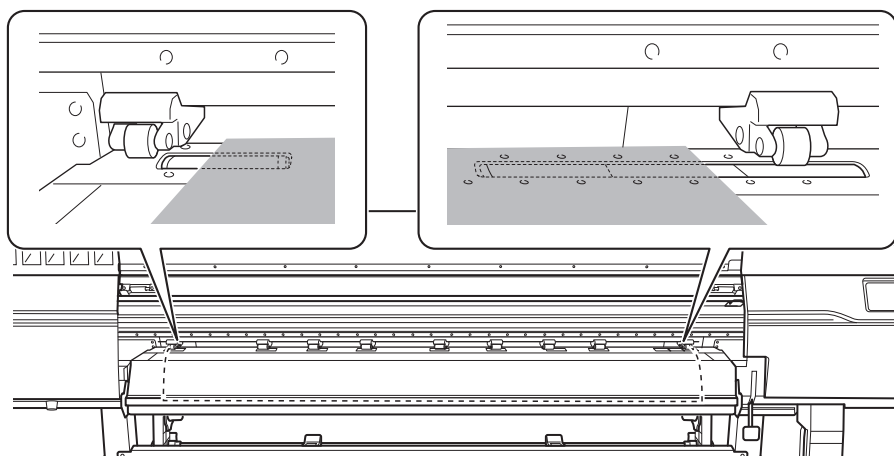
**4. リア UV シールドを閉じる。**

- a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。
- b. リア UV シールドを閉じる。



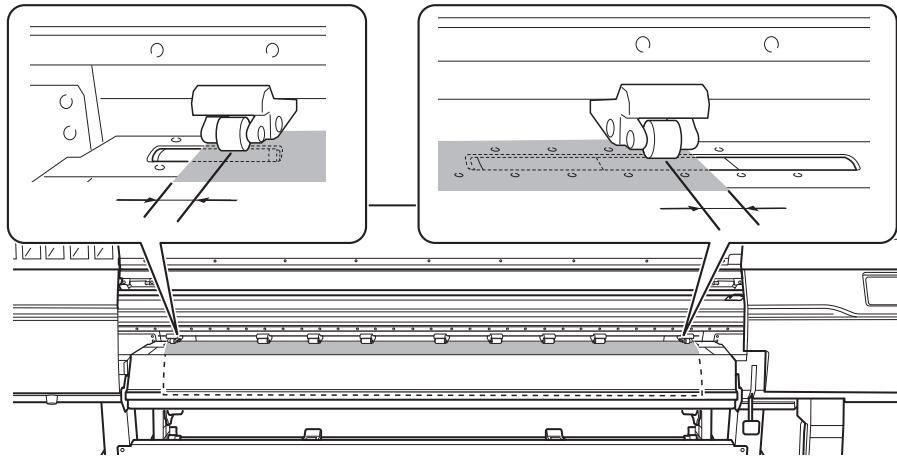
**5. プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。**

メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



**6. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。**

メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



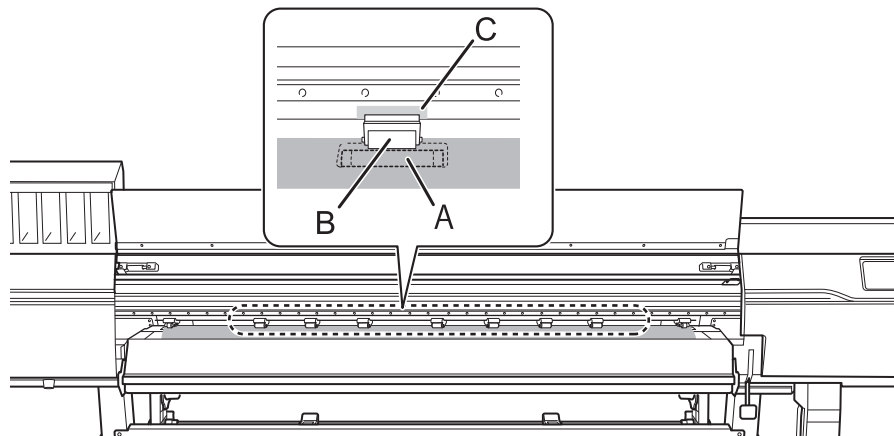
### 重要

- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

### メモ

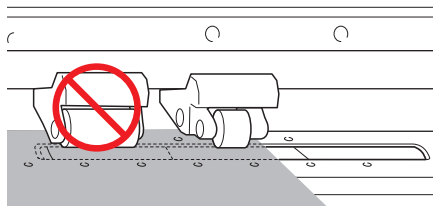
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

7. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

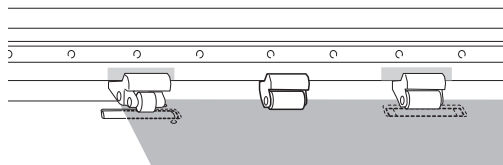


### 重要

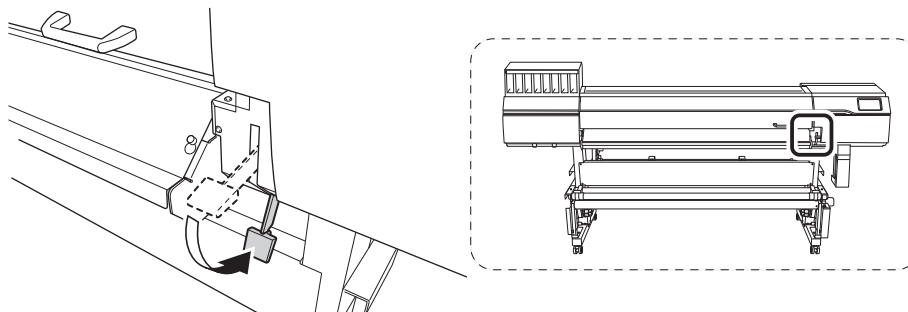
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



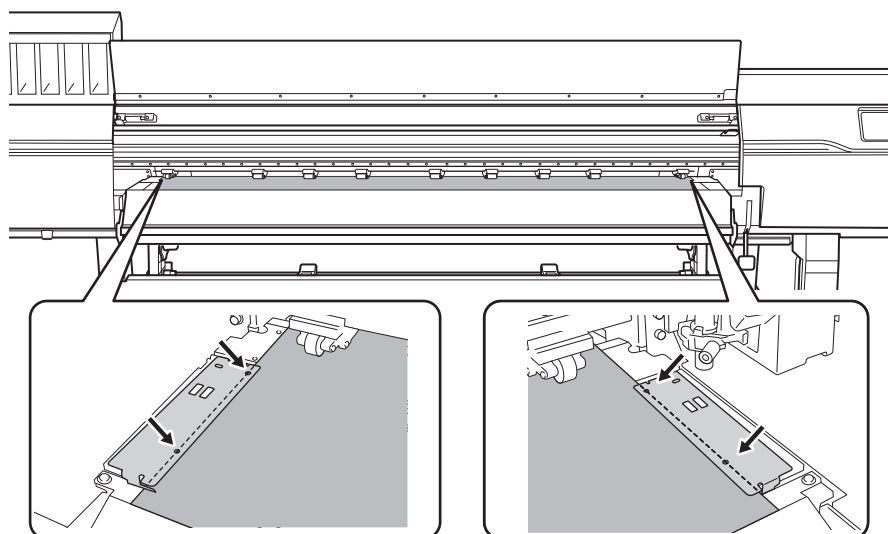
8. ローディングレバー（前側）を下ろす。



**重要**

メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

9. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。



10. フロントカバーを閉じる。

## 2. B : メディアの位置を決める ([メディアエッジ検出] : [無効]の場合)

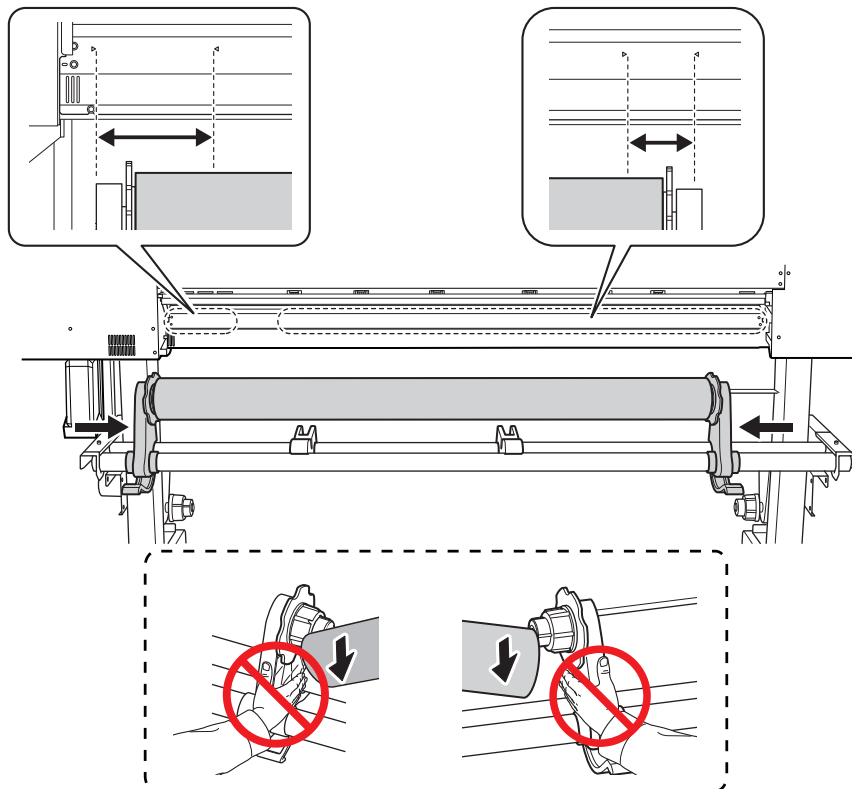
ここでは吸着ファンを利用しないでメディアの位置を決める方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアや、[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合が該当します。

### 手順

#### 1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。

位置を決めるときは、次の点に注意してください。

- メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
- メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
- メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



#### ⚠ 注意

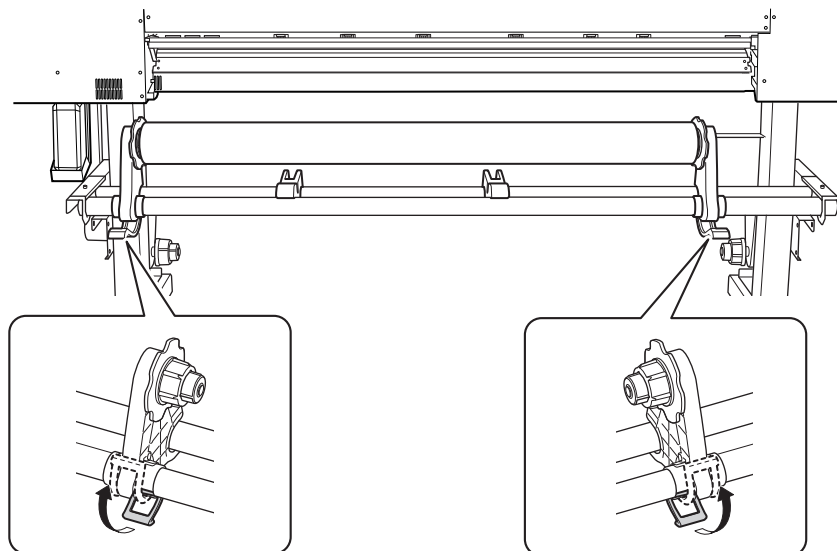
指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。  
メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

#### 重要

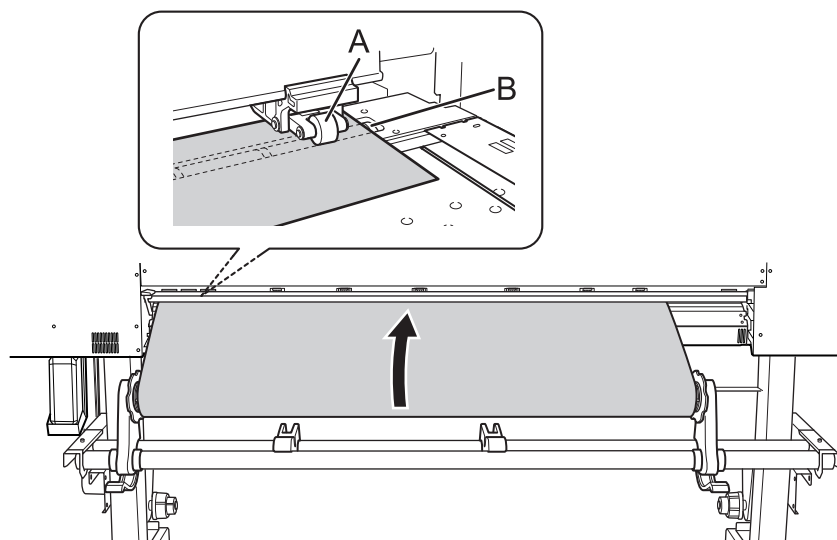
メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

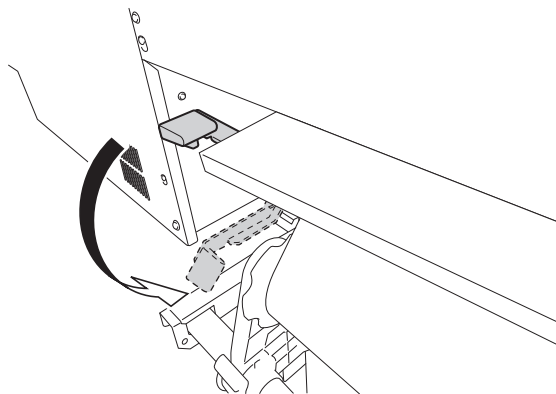
#### 2. メディアホルダーを固定する。



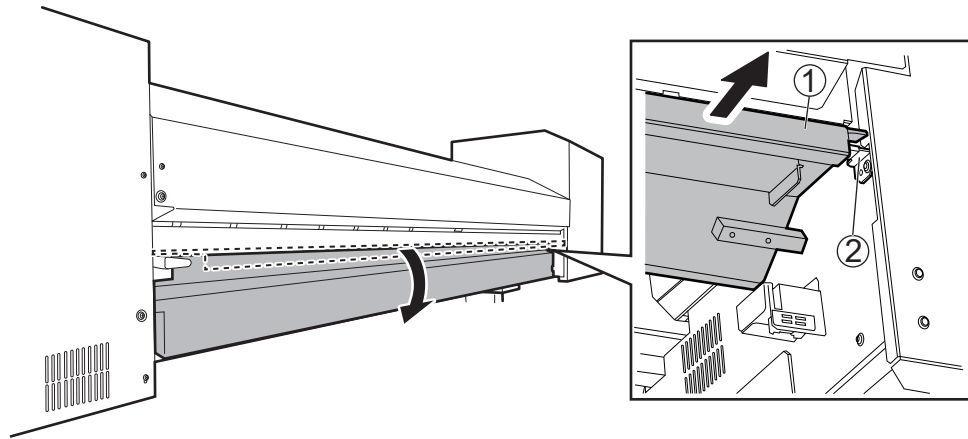
3. メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通す。



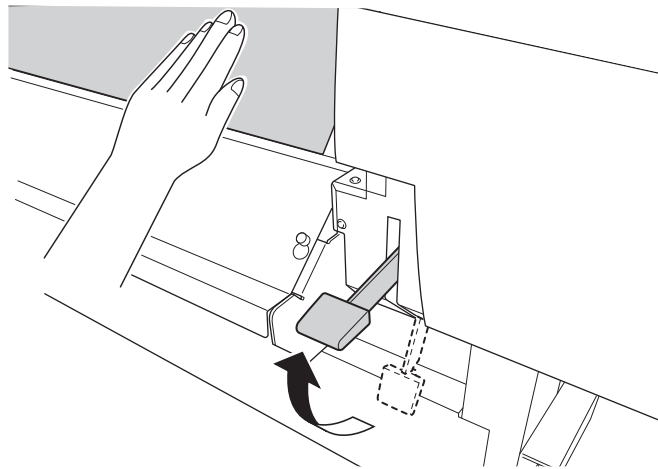
4. ローディングレバー (後側) を下ろす。  
メディアが固定されます。



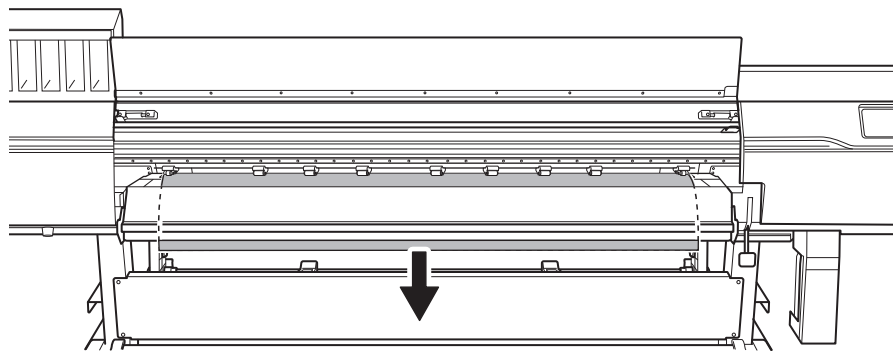
5. リア UV シールドを閉じる。  
a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。  
b. リア UV シールドを閉じる。



6. プリンターの前面に回り、メディアを軽く押さえながらローディングレバー（前側）を上げる。メディアの固定が解除されます。

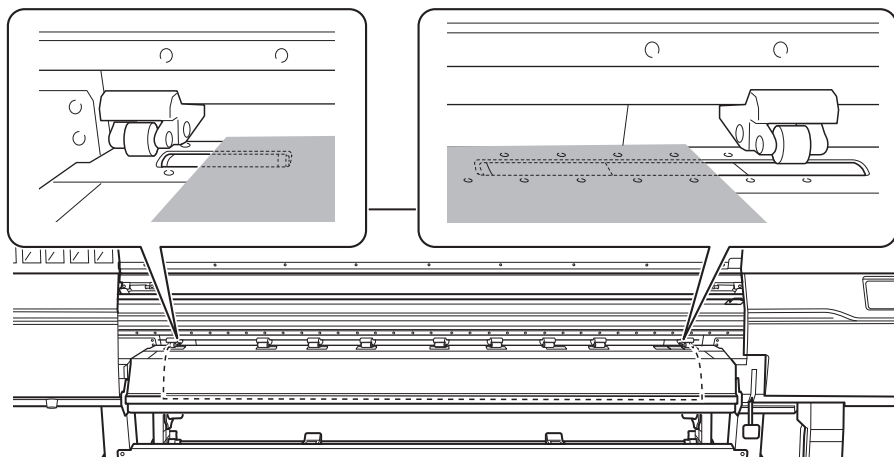


7. メディアをエプロンの上まで引き出す。

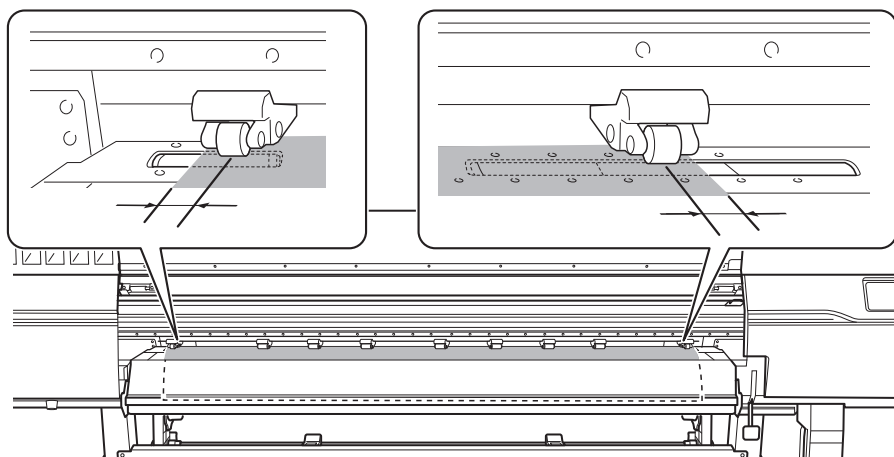


8. メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。





9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。  
メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



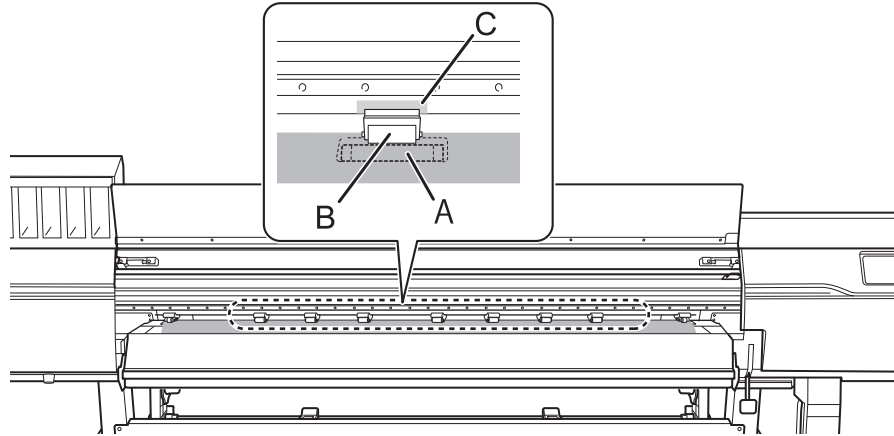
**重要**

- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

**メモ**

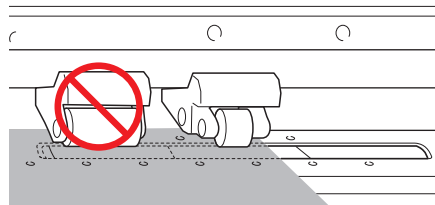
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

10. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

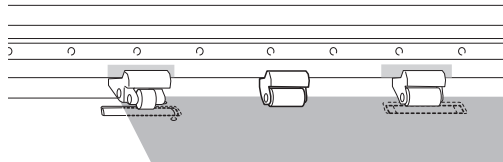


### 重要

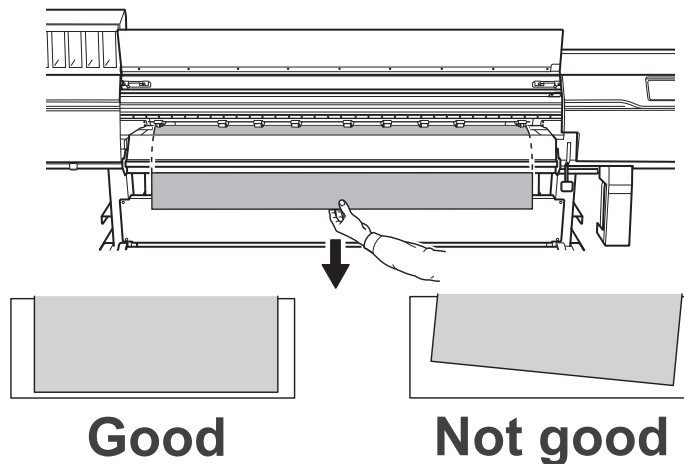
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



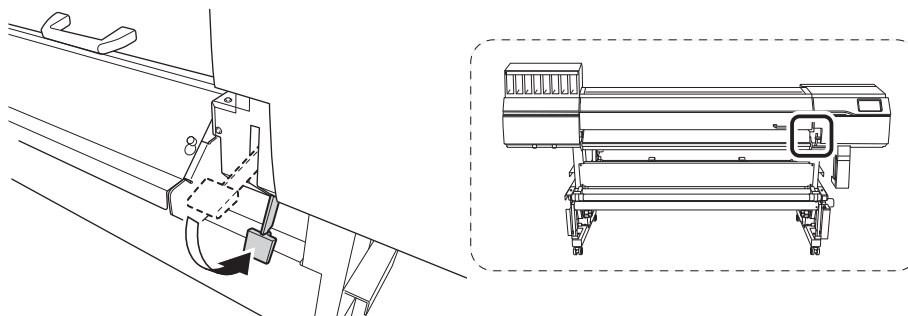
- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



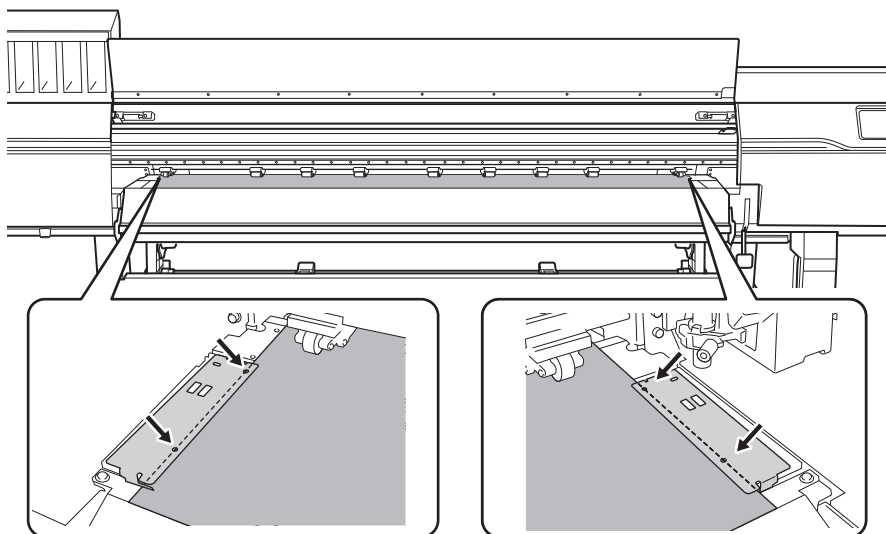
11. メディアの中央を持ってまっすぐに引き出し、メディア全体がピンと張るようにする。



12. ローディングレバー（前側）を下ろす。




13. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。



14. フロントカバーを閉じる。

### 3. メディアを選択する

#### 手順










1.  [セットアップ]をタップする。

すでに登録されたメディアが一覧で表示されます。



2. 使用するメディア名を選択する。

#### メモ

-  をタップして、登録済みメディアをキーワード検索することができます。  
入力したキーワードをリセットしたいときは、 をタップします。
- メディア名の右にある  をタップすると表示が  に変わり、お気に入り登録ができます。  
操作パネル上部のお気に入りフィルター  をタップしてオン  にするとお気に入り登録したメディアのみが表示されます。  
お気に入りフィルター機能をオフするときは  をタップします。
-  をタップすると、お気に入りフィルターがオフ  になるとともにキーワードもリセットされます。
- キーワード検索とお気に入りフィルター機能は、併用することもできます。

3. [次へ]をタップする。

4. [セットアップ方法]画面が表示されるので、巻取装置を使う/使わないを選択する。

5. [セットアップ開始]をタップする。

カッティングキャリッジが動いてメディアの幅およびメディアクランプの位置を検出します。この動作を初期動作と呼びます。



6. [印刷領域 (幅)]画面が表示された場合は、以下の手順で設定をする。

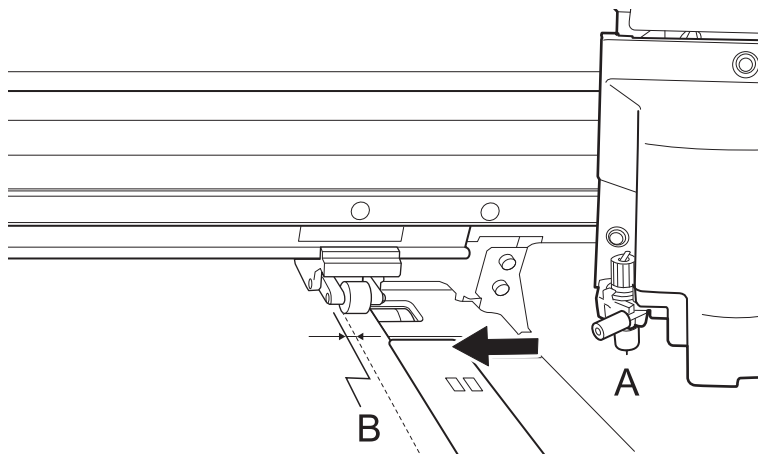
メモ

手順 2 で選択したメディアは、新規登録時に手で印刷範囲を設定したメディアです。印刷範囲は毎回手で設定する必要があるため、[印刷領域 (幅)]画面が表示されます。

- (1) [変更]をタップする。



[ピンチローラーの内側に印刷領域の右端を設定してください。]画面が表示されます。

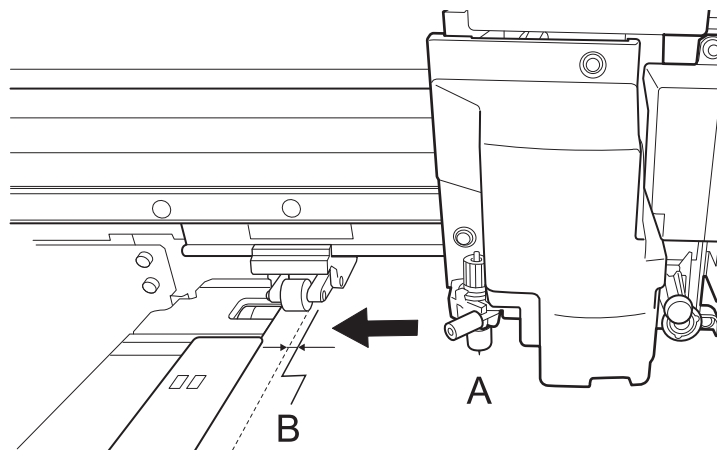
- (2)   を押して、カッターの中心 (A) を右側ピンチローラーの左端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



- (3) [OK]をタップする。

[ピンチローラーの内側に印刷領域の左端を設定してください。]画面が表示されます。

- (4)   を押して、カッターの中心 (A) を左側ピンチローラーの右端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



- (5) [OK]をタップする。

設定した左右の位置が[印刷領域 (幅)]に反映されます。

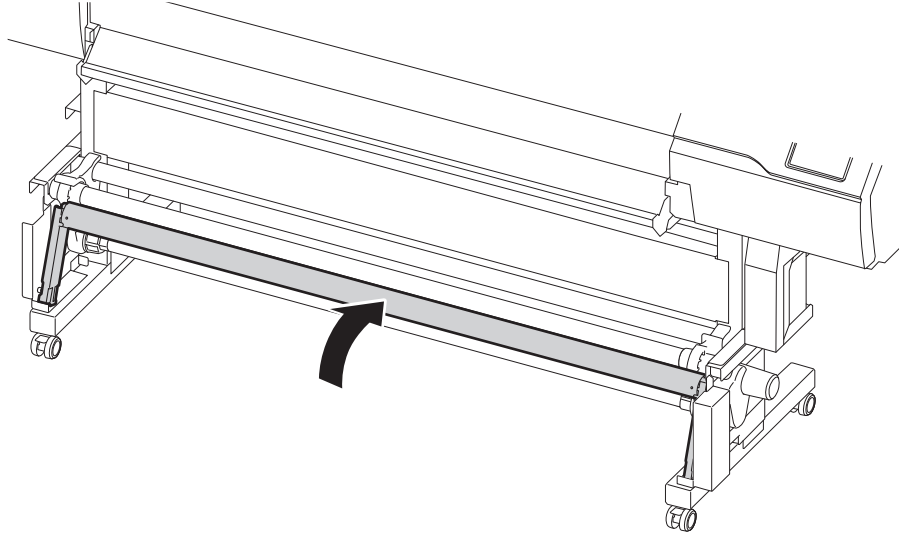
- (6) [OK]をタップする。

## 4. メディアを巻取装置に取り付ける

巻取装置を使用しない場合は、セットアップは完了です。

### 手順

1. ダンサーローラーを奥に倒す。



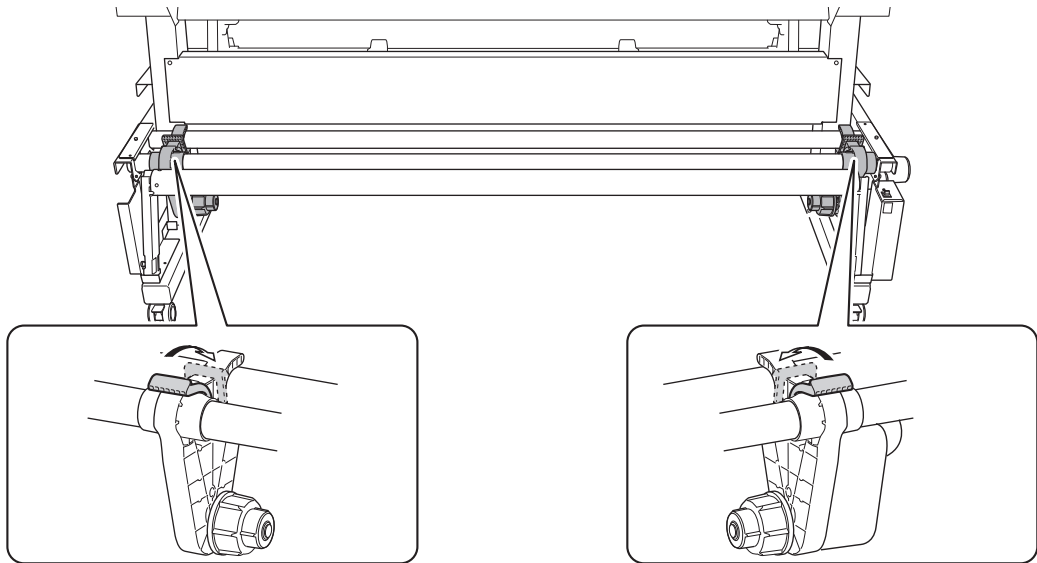
2. 次の手順で巻取装置のメディアホルダーに紙管を取り付ける。  
セットアップしたメディアより幅が広い紙管を準備してください。

#### 重要

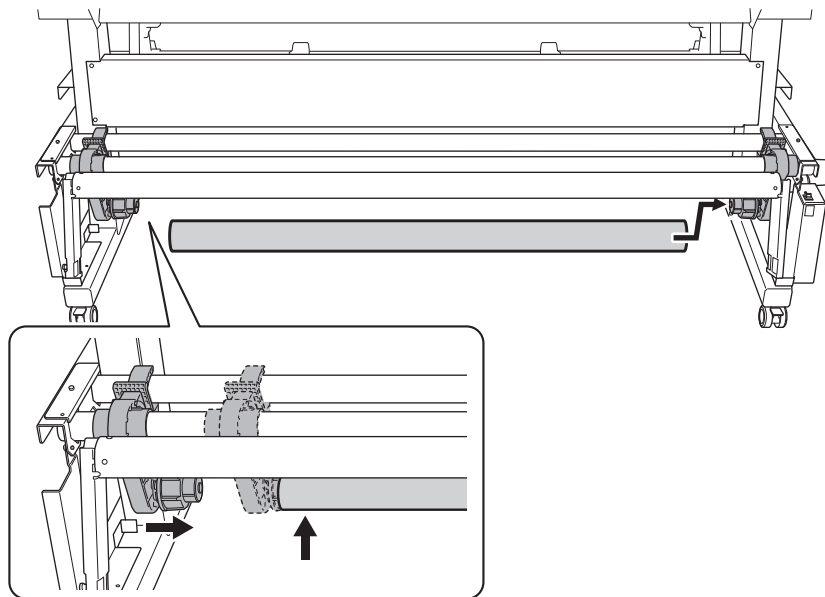
**紙管は消耗品です。**


メディアの巻取りが良好な状態で行えるよう、紙管の状態を見ながら適切な時期で交換してください。

- (1) メディアホルダーの固定を解除し、移動できる状態にする。



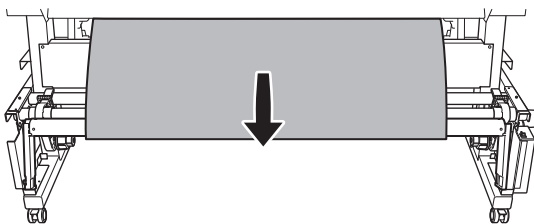
- (2) 右側のエンドキャップに紙管をはめ込む。  
紙管をエンドキャップの奥までしっかりはめ込んでください。
- (3) 左側のメディアホルダーを紙管に押し付ける。



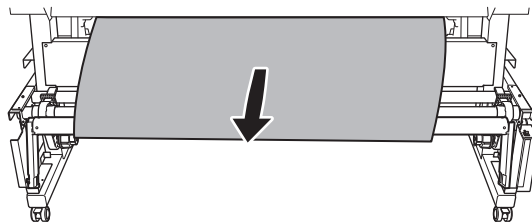
3. 操作パネルの  を長押しして、メディアの先端が紙管に届く位置までメディアを引き出す。

1 回押すと 10 mm 引き出されます。長押しすると連続で引き出すことができます。

**Good**

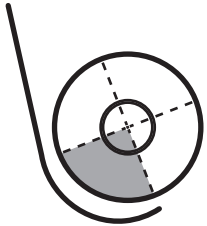
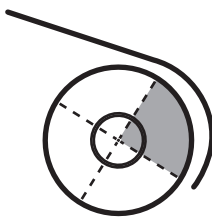


**Not Good**

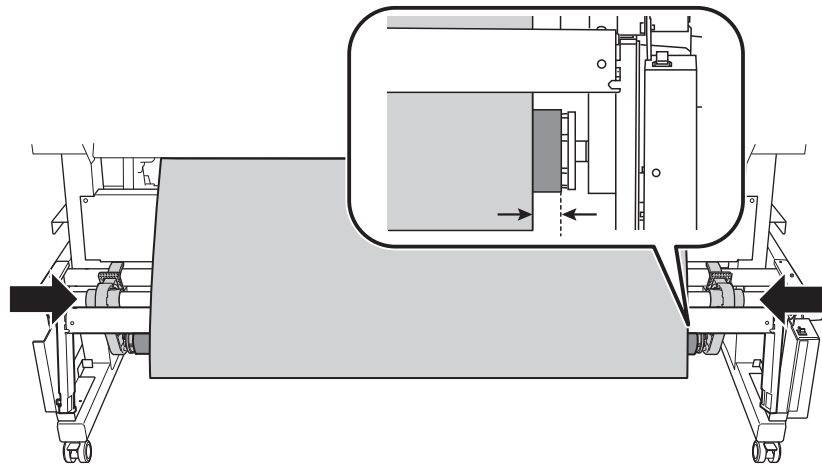


**メモ**

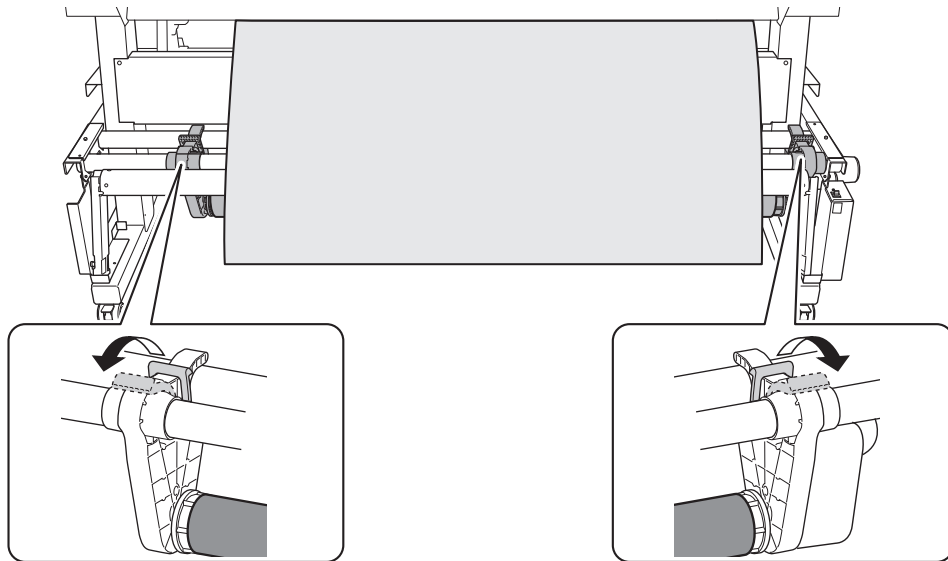
メディアは紙管に 1/4 以上巻きつく長さまで引き出してください。

外巻きの場合	内巻きの場合
	

4. 以下の手順でメディアホルダーの位置を調整する。
- (1) メディア右端から紙管が見える位置に両側のメディアホルダーを移動する。  
メディアホルダーは外側を持って動かしてください。



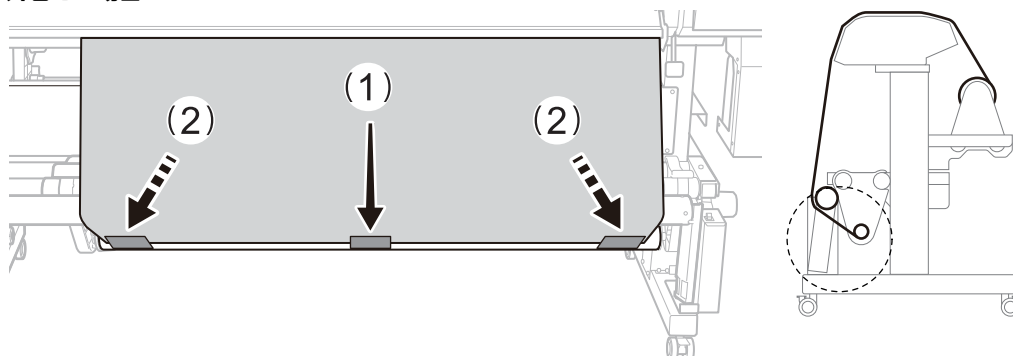
(2) 左右のメディアホルダーを固定する。



5. 以下の手順でメディアを紙管に固定する。

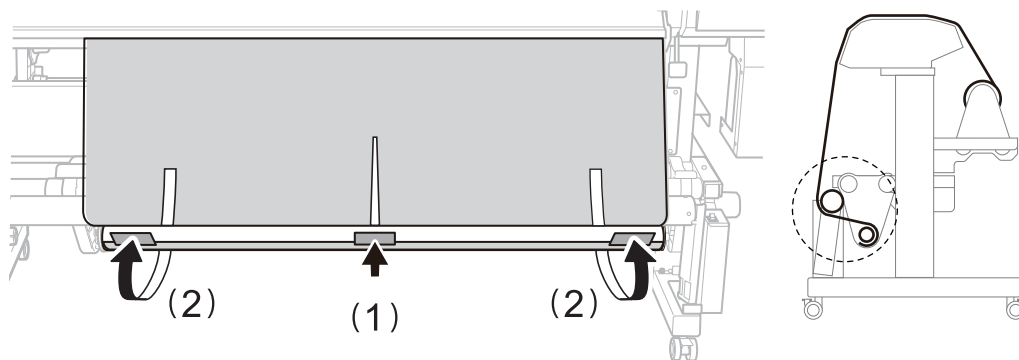
1. メディアをメディアホルダーに取り付ける (P. 68) の手順 2 で設定した[巻き取り方向]で固定してください。
  - (1) メディアがたるまないように引っ張りながら、粘着テープでメディアの中央を紙管に固定する。
  - (2) 中央から外側へ向かってメディアを引っ張りながら、粘着テープでメディアの左右端を紙管に固定する。

• 外巻きの場合



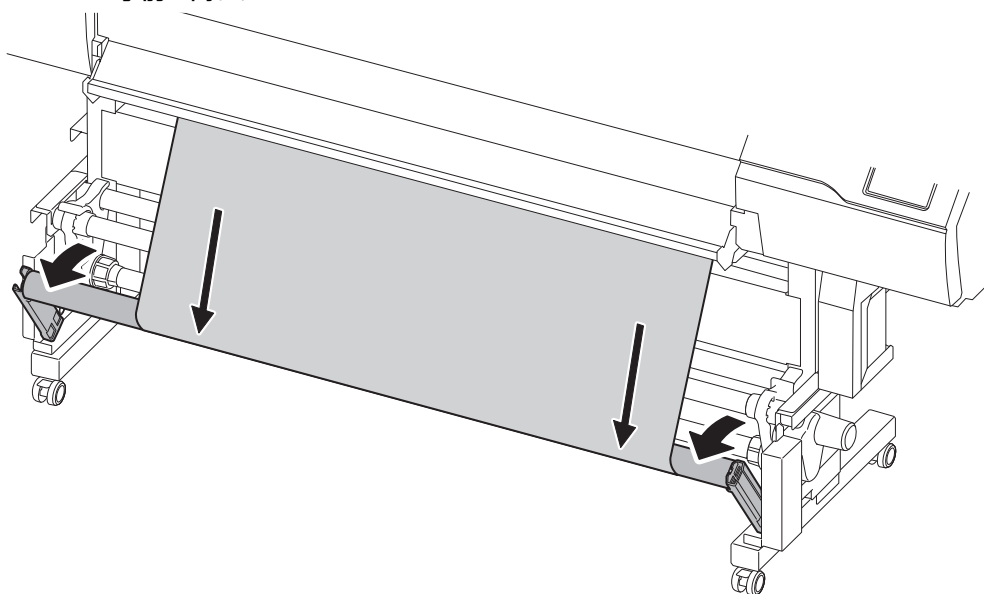
• 内巻きの場合





6. [OK]をタップする。  
メディアが少し引き出されます。

7. ダンサーローラーを手前に倒す。



8. [OK]をタップする。

### 重要

プリント&カットやカッティングを行う場合、巻取装置からメディアを巻き戻してメディアをたるませる動作を行います。セットアップ直後で紙管にメディアが十分に巻かれていない場合、この動作がうまくできずに、カッティング品質が低下し巻き取りが継続できなくなる可能性があります。メディアを紙管に取り付けてからすぐにカッティングを行う場合は、あらかじめ数回巻き取りが行われる程度にメディアを送っておき、ベースポイントをセットしてください。

## カットメディアのセットアップ


プリンターにカットメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[出力できます。]と表示されます。この作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

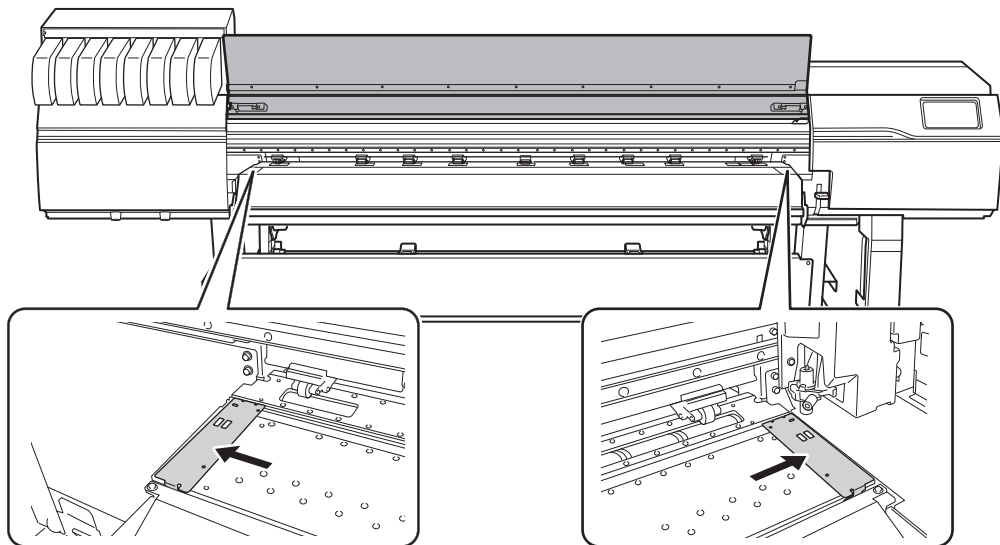
### 1. A：メディアの位置を決める

メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、[1. B：メディアの位置を決める \(\[メディアエッジ検出\]：\[無効\]の場合\) \(P. 94\)](#) を参照してください。

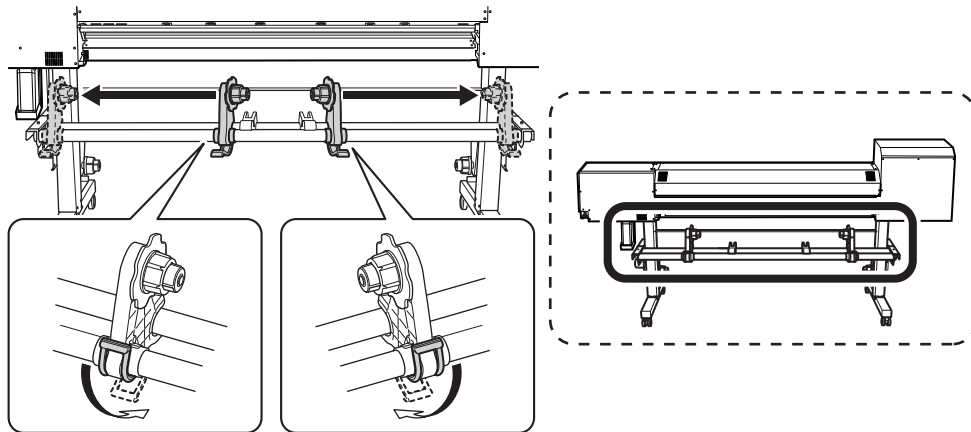
なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

#### 手順

1. 操作パネルで  をタップする。  
サブ電源がオンになります。
2. フロントカバーを開ける。
3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。

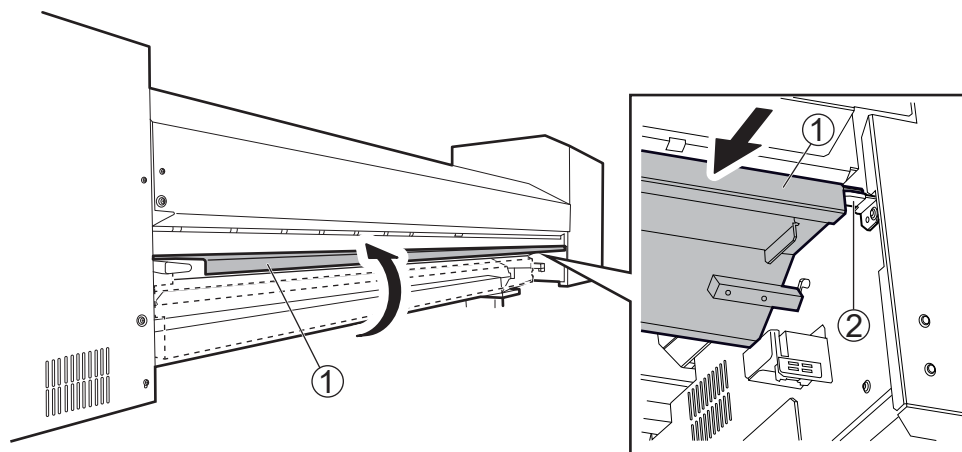


4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



**5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。**

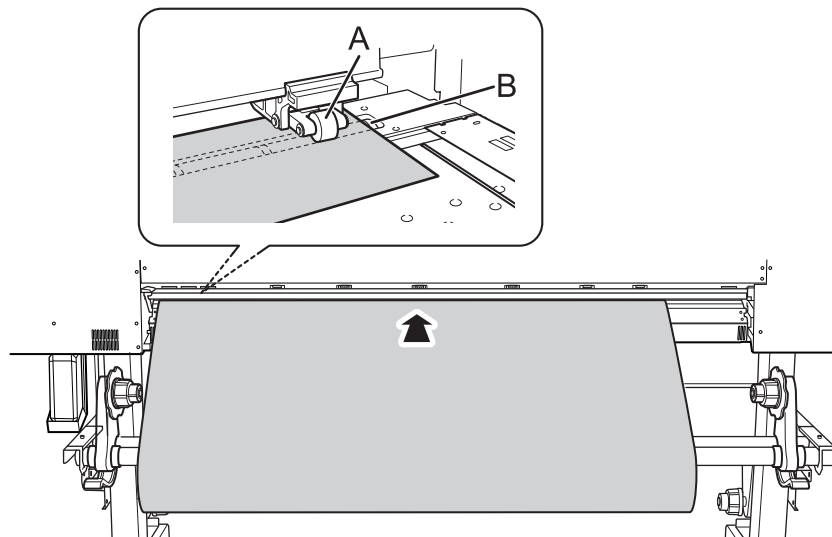
- a. リア UV シールド (①) を開ける。
- b. リア UV シールドを機体前方に押し、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。



**6. プリンターの背面から、メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通し、ピッと音が鳴るまでメディアを送る。**

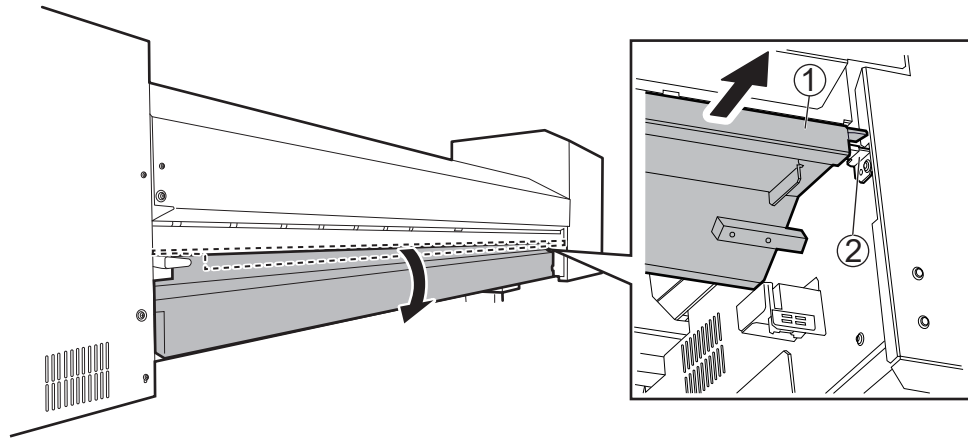
ピッと音が鳴ったあと、約 5 秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアが戻ることはありません。

メディアをプリンターの前面からセットする場合は、メディアの前端 (印刷開始する側) を一度プラテン上まで送ってから手前に引くと、吸着ファンが動作します。

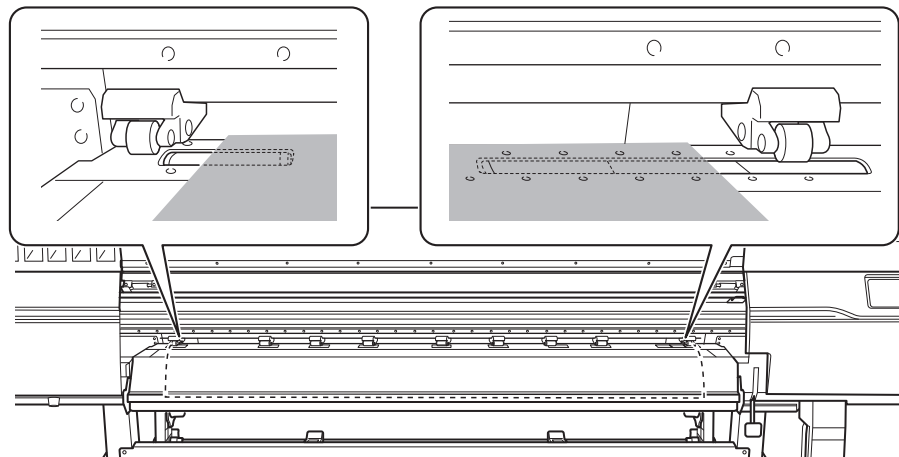


**7. リア UV シールドを閉じる。**

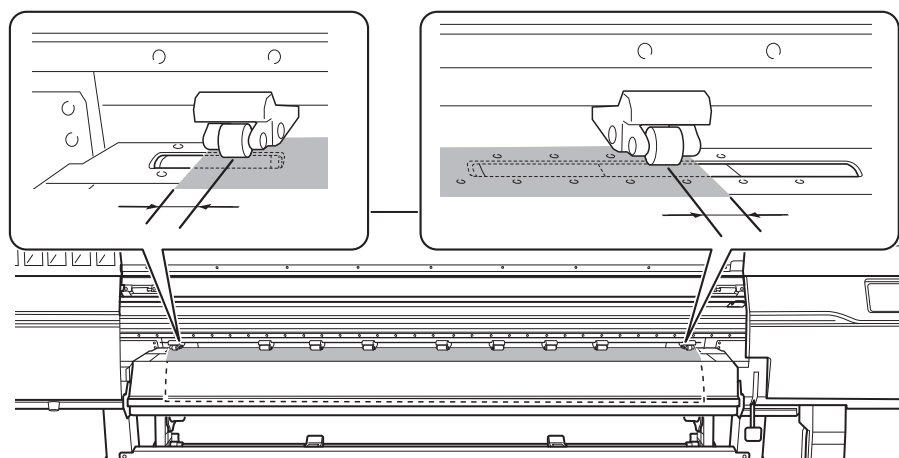
- a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。
- b. リア UV シールドを閉じる。

**8. プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。**

メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。

**9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。**

メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



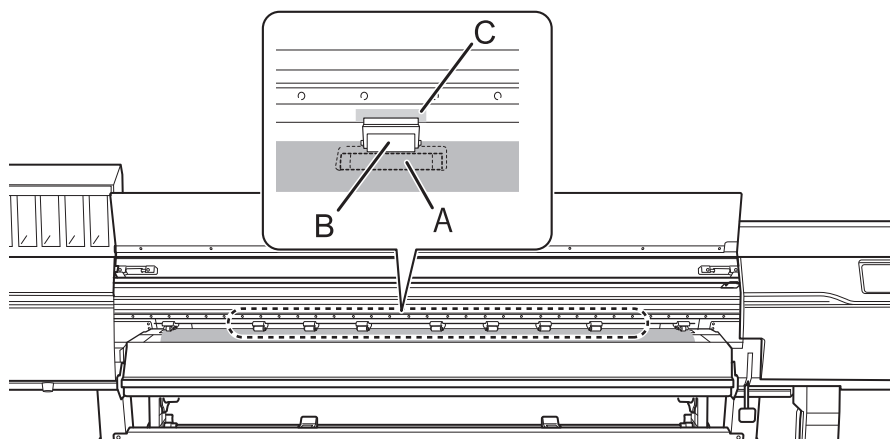
**重要**

必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。

**メモ**

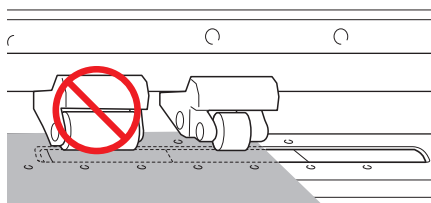
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

10. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

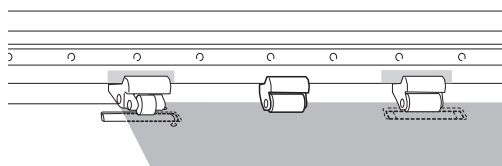


**重要**

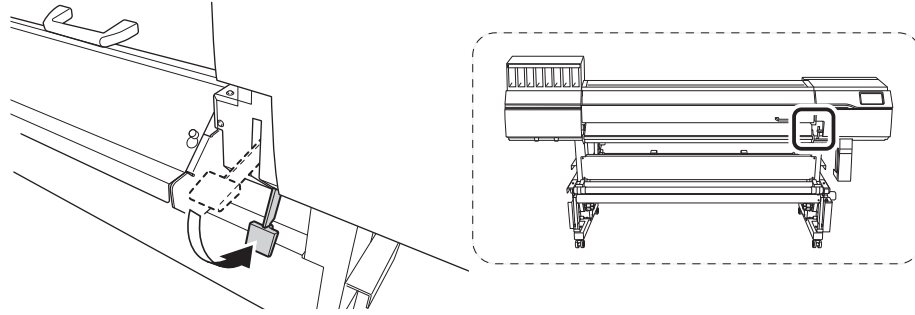
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



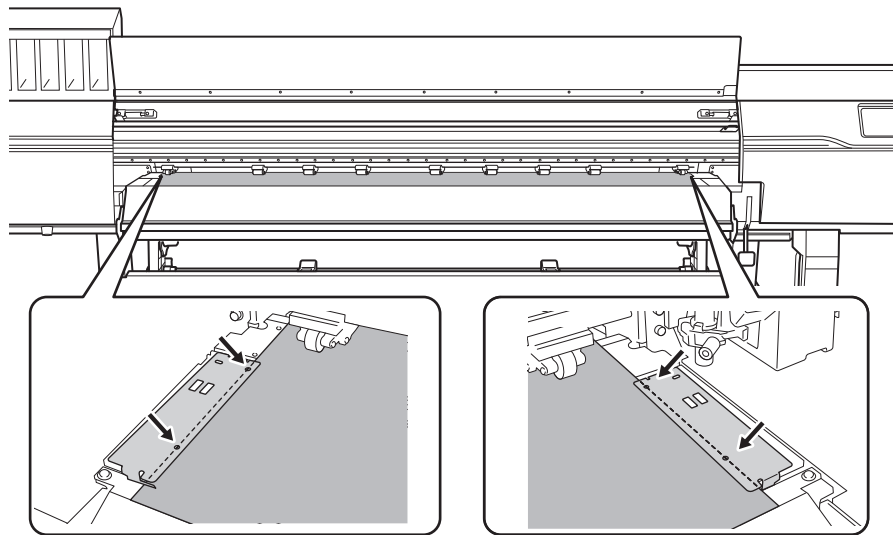
11. ローディングレバー (前側) を下ろす。



**重要**

固定する前にメディアの位置を直したい場合は、手順 5 まで戻ってやり直してください。

- 12.** 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。




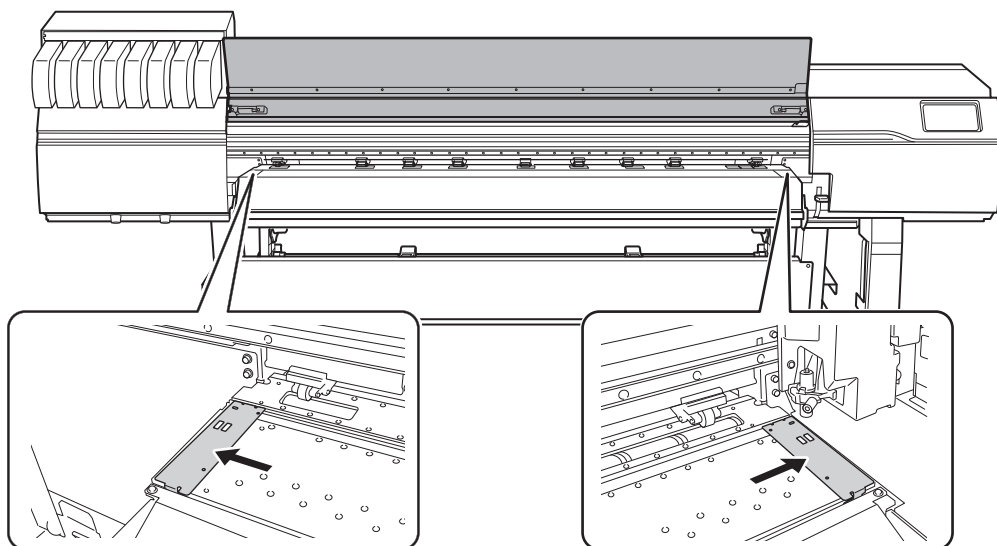
- 13.** フロントカバーを閉じる。

## 1. B : メディアの位置を決める ([メディアエッジ検出] : [無効]の場合)

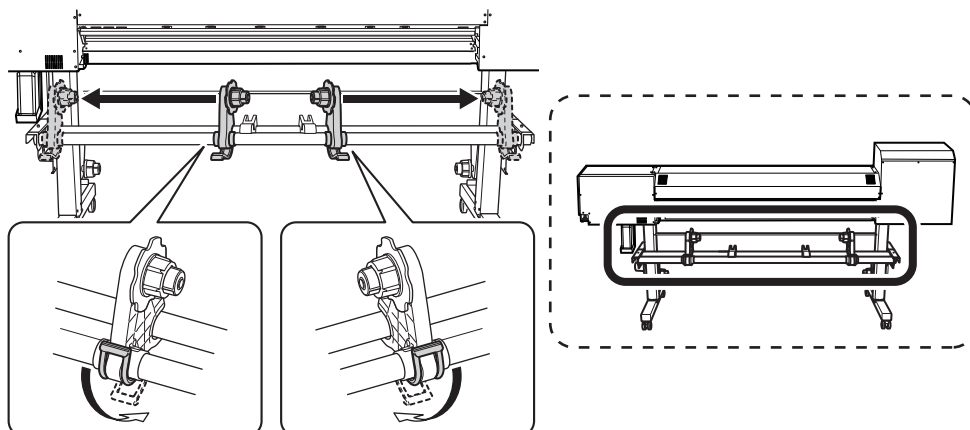
メディアの端を検出できない透明なメディアや、[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、以下の手順でメディアの位置を決めてください。

### 手順

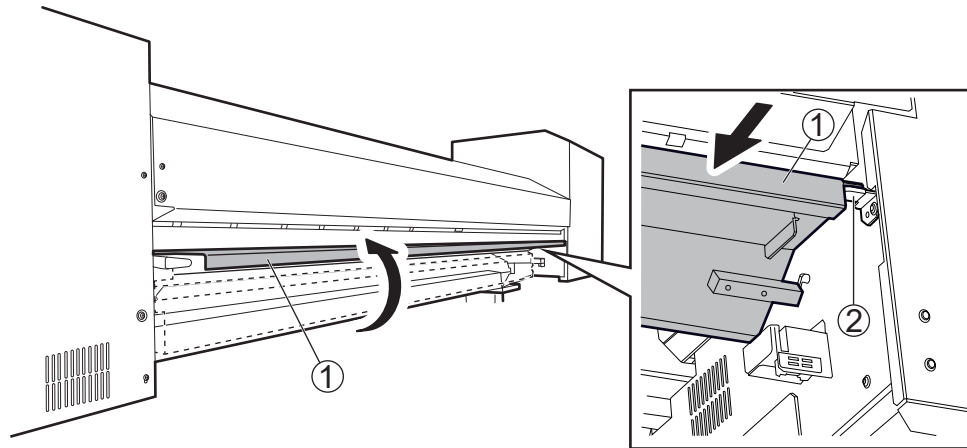
1. 操作パネルで  をタップする。  
サブ電源がオンになります。
2. フロントカバーを開ける。
3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



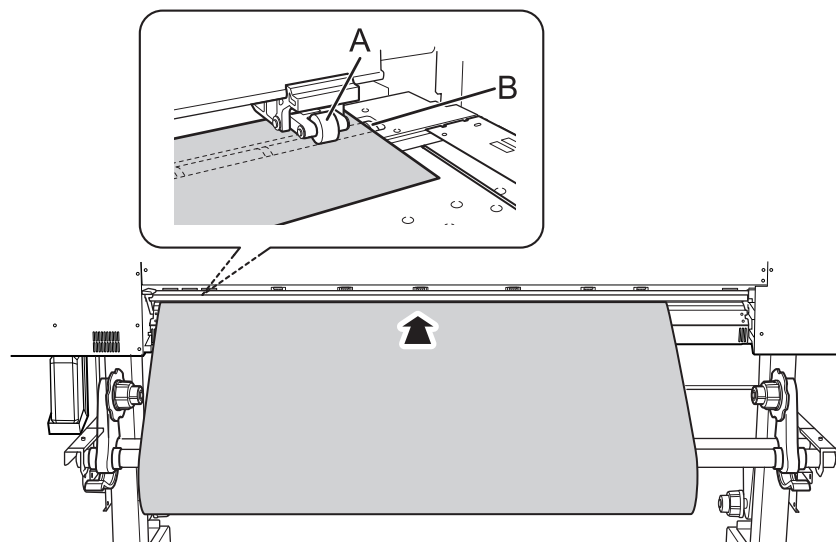
4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



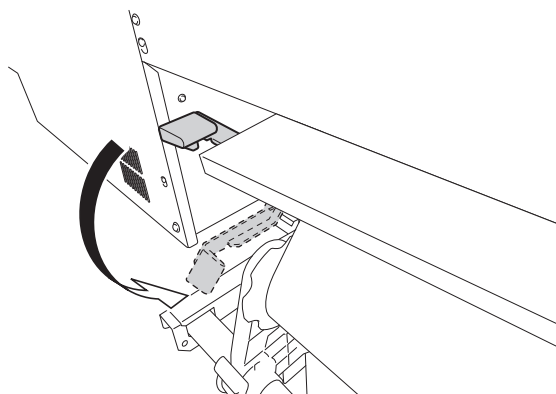
5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。
  - a. リア UV シールド (①) を開ける。
  - b. リア UV シールドを機体前方に押し、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。



6. メディアの先端をピンチローラー (A) とグリットローラー (B) の間に通す。

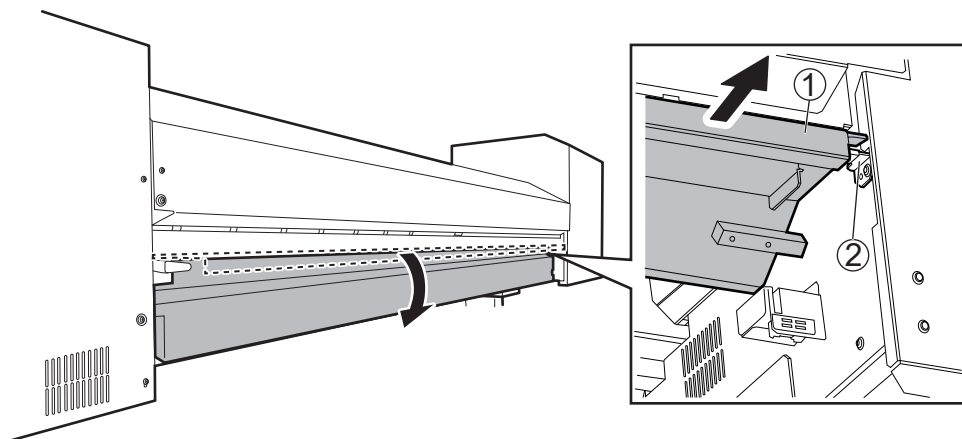


7. ローディングレバー (後側) を下ろす。  
メディアが固定されます。

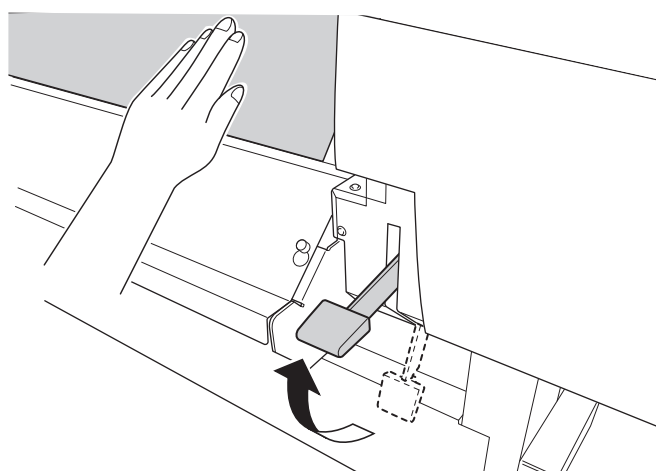


8. リア UV シールドを閉じる。  
a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、ストッパー (②) からリア UV シールド左右端を外す。  
b. リア UV シールドを閉じる。

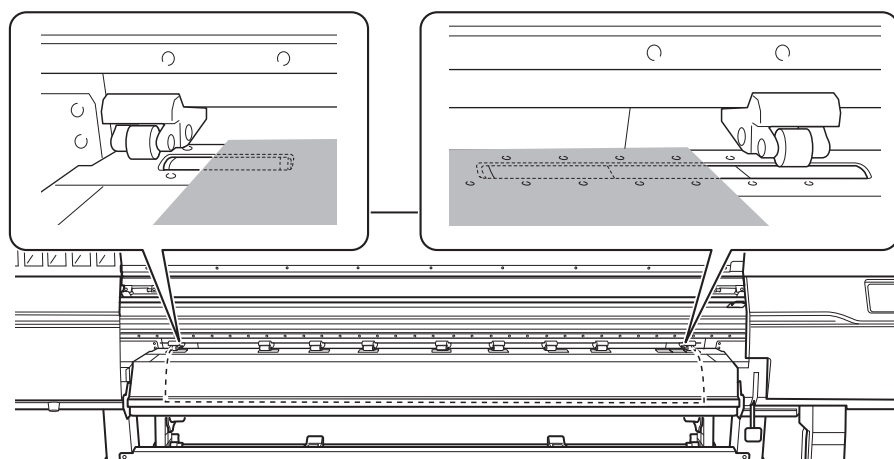




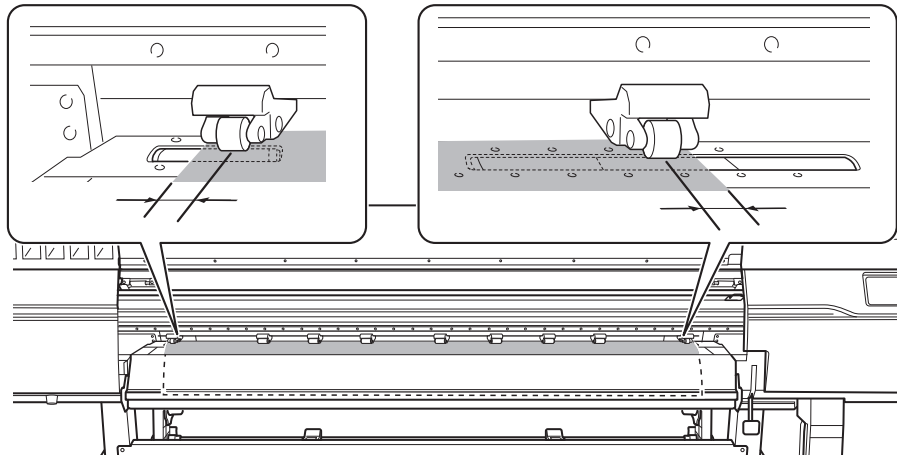
9. プリンターの前面に回り、メディアを軽く押さえながらローディングレバー（前側）を上げる。メディアの固定が解除されます。



10. メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



11. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。

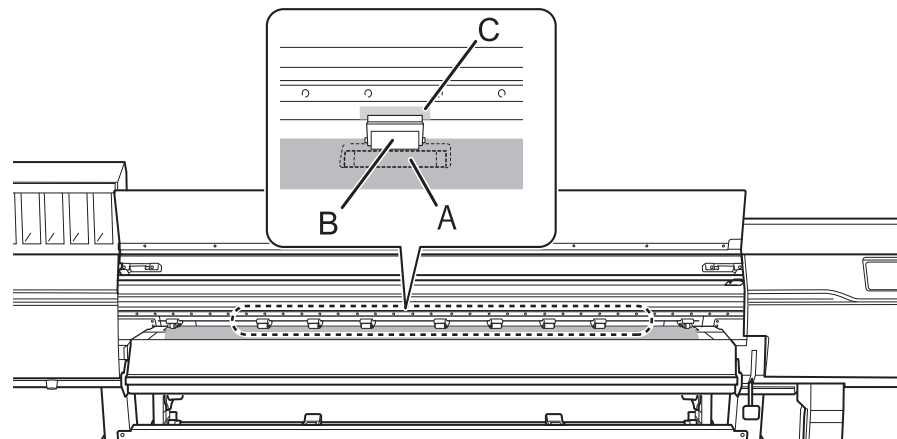
**重要**

必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。

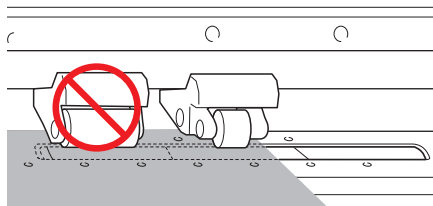
**メモ**

ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

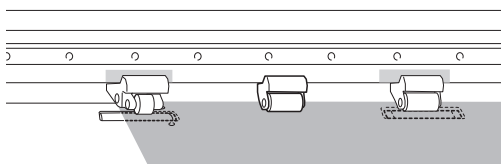
12. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (A) の上に、ミドルピンチローラー (B) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (C) があります。

**重要**

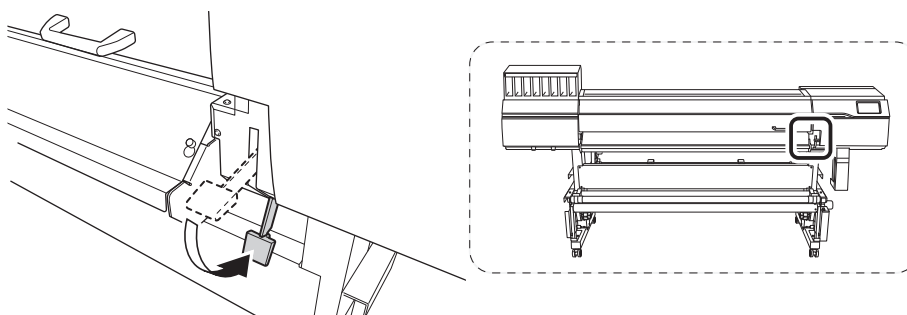
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、グリットマークの無いところに移動してください。グリットマークの無い位置では、ミドルピンチローラーは下りません。



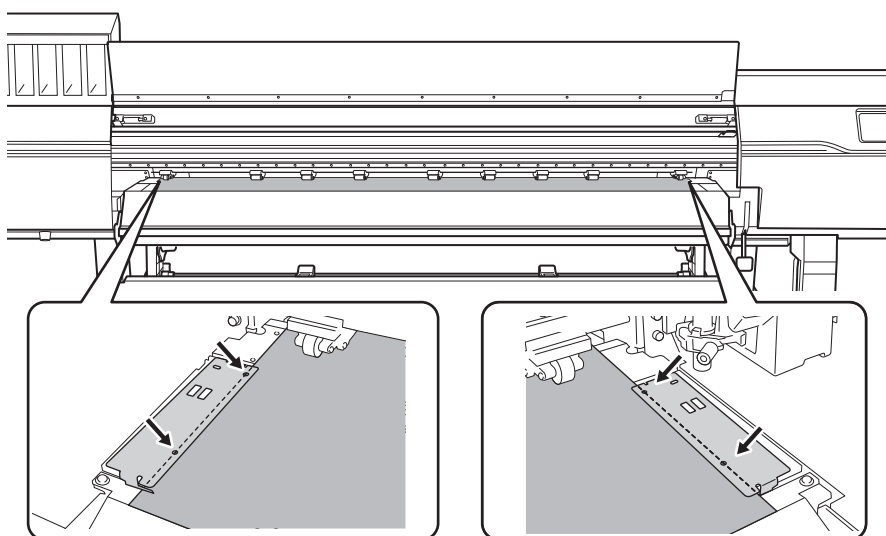
13. ローディングレバー（前側）を下ろす。



**重要**

固定する前にメディアの位置を直したい場合は、手順 10 まで戻ってやり直してください。


14. 左右のメディアクランプ穴の中心をメディアの端に合わせる。



15. フロントカバーを閉じる。

## 2. メディアを選択する

### 手順










1.  [セットアップ]をタップする。

すでに登録されたメディアが一覧で表示されます。



2. 使用するメディア名を選択する。

#### メモ

-  をタップして、登録済みメディアをキーワード検索することができます。  
入力したキーワードをリセットしたいときは、 をタップします。
- メディア名の右にある  をタップすると表示が  に変わり、お気に入り登録ができます。  
操作パネル上部のお気に入りフィルター  をタップしてオン  にするとお気に入り登録したメディアのみが表示されます。  
お気に入りフィルター機能をオフするときは  をタップします。
-  をタップすると、お気に入りフィルターがオフ  になるとともにキーワードもリセットされます。
- キーワード検索とお気に入りフィルター機能は、併用することもできます。

3. [次へ]をタップする。

4. [セットアップ方法]画面が表示されるので、巻取装置を使う/使わないを選択する。

5. [セットアップ開始]をタップする。

カッティングキャリッジが動いてメディアの幅およびメディアクランプの位置を検出します。この動作を初期動作と呼びます。



6. [印刷領域 (幅)]画面が表示された場合は、以下の手順で設定をする。

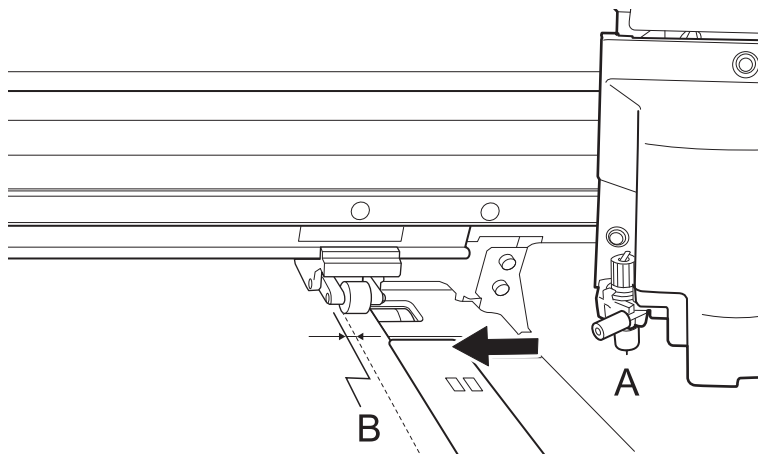
メモ

手順 2 で選択したメディアは、新規登録時に手で印刷範囲を設定したメディアです。印刷範囲は毎回手で設定する必要があるため、[印刷領域 (幅)]画面が表示されます。

- (1) [変更]をタップする。



[ピンチローラーの内側に印刷領域の右端を設定してください。]画面が表示されます。

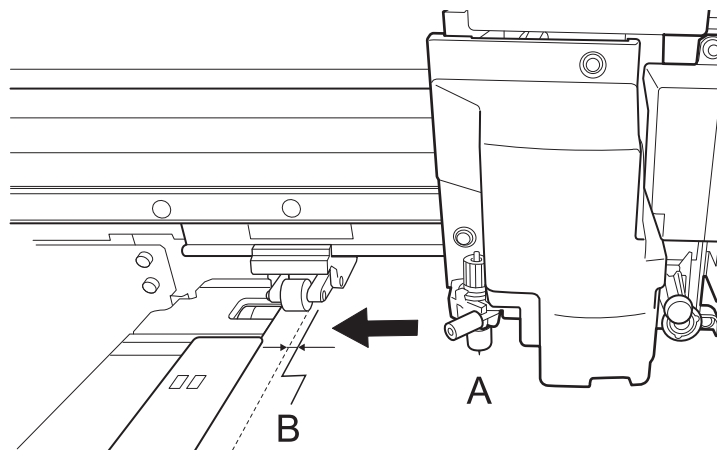
- (2)   を押して、カッターの中心 (A) を右側ピンチローラーの左端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



- (3) [OK]をタップする。

[ピンチローラーの内側に印刷領域の左端を設定してください。]画面が表示されます。

- (4)   を押して、カッターの中心 (A) を左側ピンチローラーの右端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



- (5) [OK]をタップする。

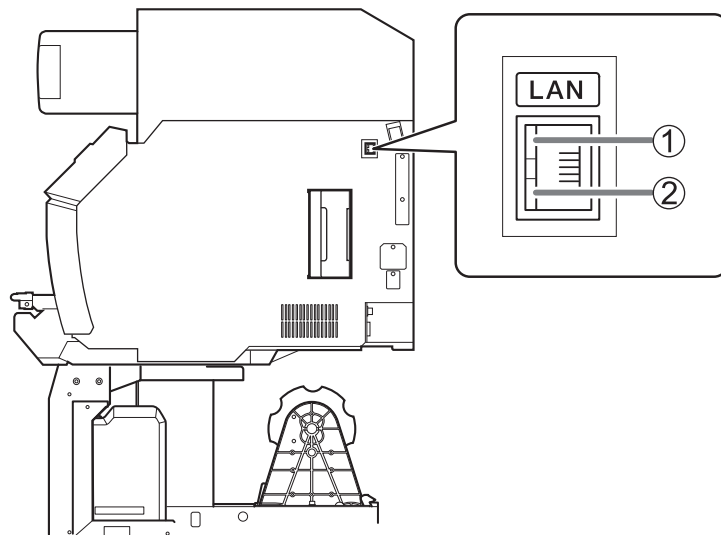
設定した左右の位置が[印刷領域 (幅)]に反映されます。

- (6) [OK]をタップする。

# 出力前の確認

## LAN（ローカルエリアネットワーク）の状態

LAN（ローカルエリアネットワーク）が通信可能な状態になっていることを確認してください。  
プリンター側面にある LAN コネクタのステータス LED が緑色に点灯していれば、LAN は有効な状態です。



①	アクティビティ LED	ネットワークからのデータを受信中に、橙色で点滅します。
②	ステータス LED	通信機能の状態を示します。緑色で点灯していれば、通信可能な状態です。

## インクの沈殿を防ぐ

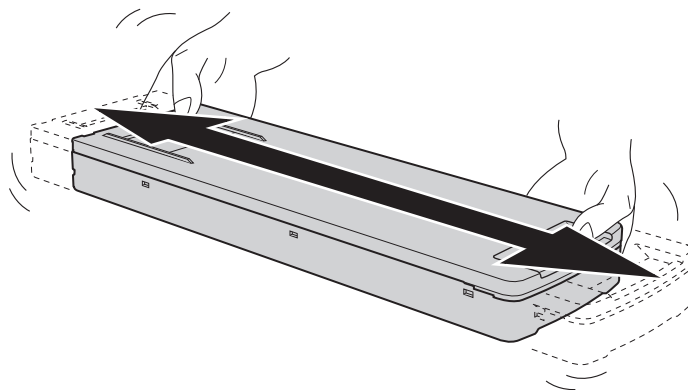
インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振り幅で水平に振ります。

インクカートリッジは以下の頻度で振ってください。

- すべてのインク：新品交換時
- ホワイトインク：毎日（その日の作業を始める前）

ホワイトインクのカートリッジをいったん抜き、50 回（20 秒程度）振ってから再び差し込んでください。

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



### 重要

- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- 振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れて落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1 週間に 1 回はホワイトインクのカートリッジを 50 回（20 秒程度）振ってください

# 出力の一時停止と中止

出力の途中で一時停止やキャンセルができます。

## 出力の一時停止と再開

### 重要

印刷の場合、一時停止した場所で横すじが出る場合がありますので、印刷の再開はおすすめできません。

### メモ

出力中に一部のメニューが操作ができますが、一時停止をしたい場合はホーム画面に戻ってから一時停止してください。

## 手順

1. 出力中に[一時停止]をタップする。  
出力が一時停止します。
2. [再開]をタップする。



出力を再開します。



## 出力の中止

### 手順

1. 出力中に[一時停止]をタップする。  
出力が一時停止します。
2. 以下の画面が表示されたら、[出力中止]をタップする。



出力が中止されます。

3. コンピューター側でデータの送信をストップする。


# メディアを切り離す



印刷後に[シートカット]または[ミシン目シートカット]のどちらかでメディアを切り離します。

## 手順

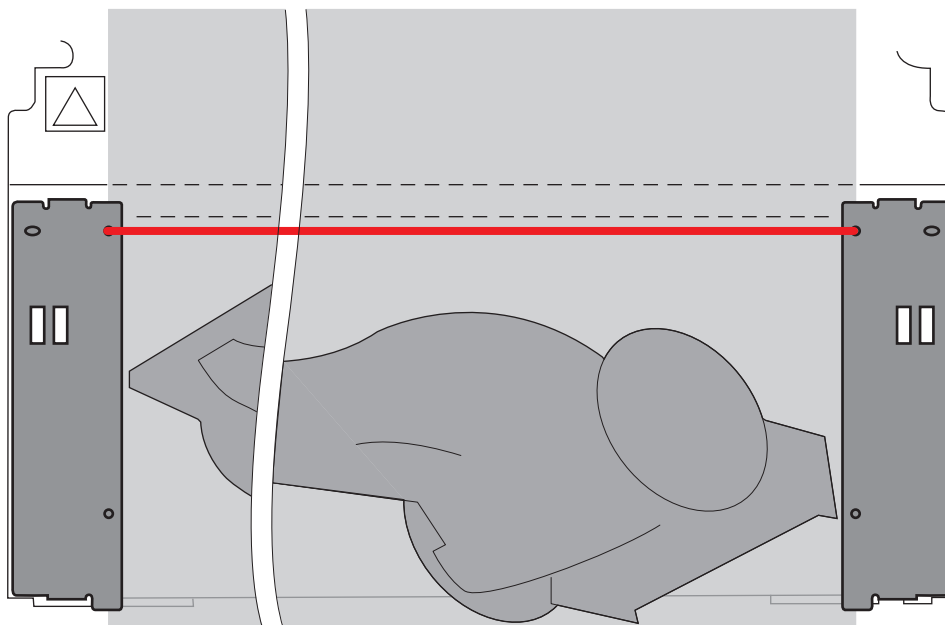
1. フロントカバーを閉じる。
2. 必要に応じて以下の手順で切り離す位置を設定する。

(1)  をタップする。

(2)  [移動]をタップする。

(3)   をタップして、メディアを切り離す位置に設定する。

下図の位置でメディアが切り離されます。メディアクランプの穴位置が目印です。



(4) [ここをベースポイントに設定]をタップする。  
切り離し位置が設定され、ホーム画面に戻ります。

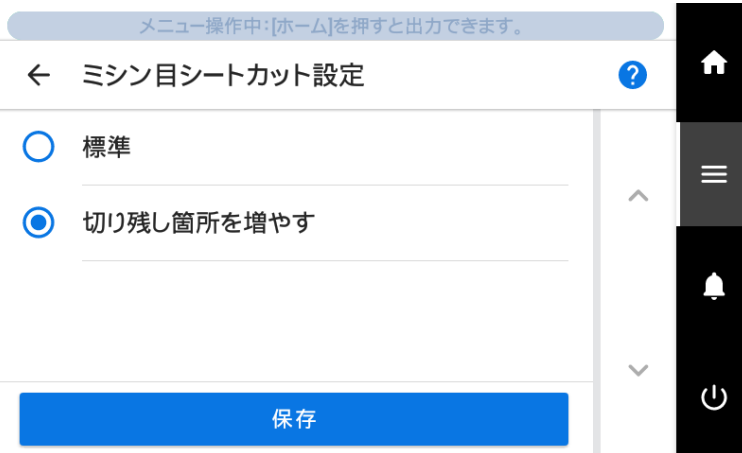
3. 操作パネルで  [シートカット]をタップする。

4. シートカット方法を選択する。

[シートカット]	メディアを切り離します。
[ミシン目シートカット]	メディアを切り離さず、ミシン目にカットします。

メモ

[ミシン目シートカット]をしてもメディアが切り離されてしまう場合は、[環境設定]>[ミシン目シートカット設定]で[切り残し箇所を増やす]設定に変更してください。重いメディアやメディアのたるませる量が多いときなどに、切り離されないように保持することができます。



5. [実行]をタップする。

メディアが切り離されます。手順4で[ミシン目シートカット]を選択した場合は、ミシン目にカットされます。

- 出力終了後に自動でメディアが切り離されるようにソフトウェア RIP で設定できます。設定の仕方はお使いのソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。
- 巻取装置を使用している場合はメディアが切り離されることで巻き取りが中断してしまうことがあるため、自動切り離し機能はオフにするか、付属のソフトウェア RIP であればミシン目シートカットを入れて切り離されないようにしておくことをおすすめします。

重要

切り離し操作について

- メディア先端から切り離し位置までの長さが短いと、うまく切り離せないことがあります。

巻取装置を使っている場合

- ローディングレバーを下ろした状態で巻取装置のマニュアルスイッチを操作しないでください。巻取装置によりメディア張力が働くため、メディアが無理に引っ張られる操作は避けてください。

メディアの材質にご注意ください

- 切り離しができないものがあります。
- 切り離し後にメディアがプラテン上に残ってしまうものがあります。メディアがプラテン上に残っているときは、手で取り外してください。

# 巻取装置からメディアを取り外す

出力が完了したらメディアを切り離し、手動で巻き取ってからメディアを取り外してください。

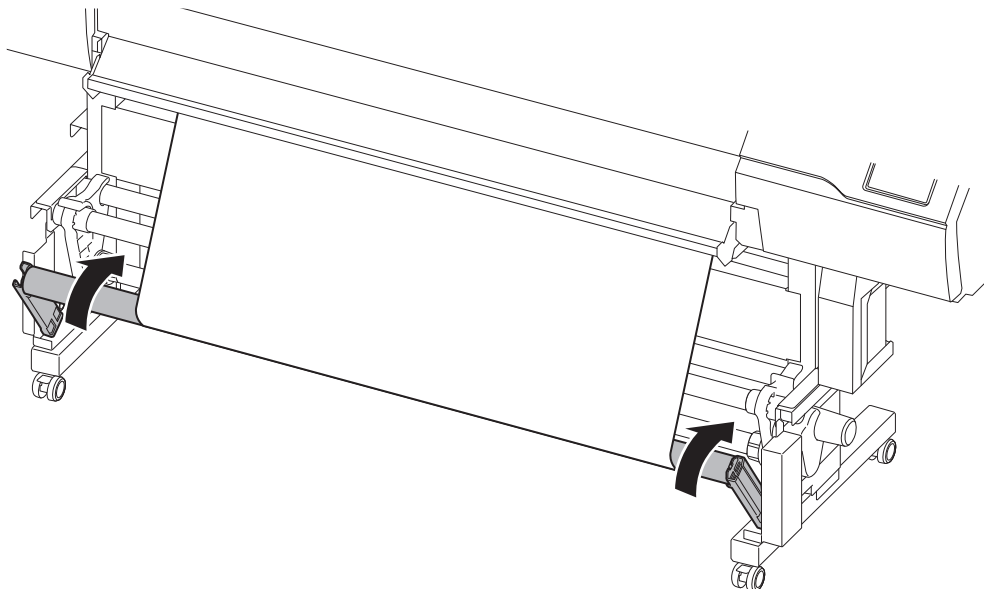
## 警告

ロールメディアを取り扱うときは、2人以上で持ち、落下に十分注意する。


重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

## 手順

1. ダンサーローラーを奥に倒す。



2. フロントカバーを閉じる。

3. メディアを押さえながら、操作パネルで  [シートカット] をタップする。

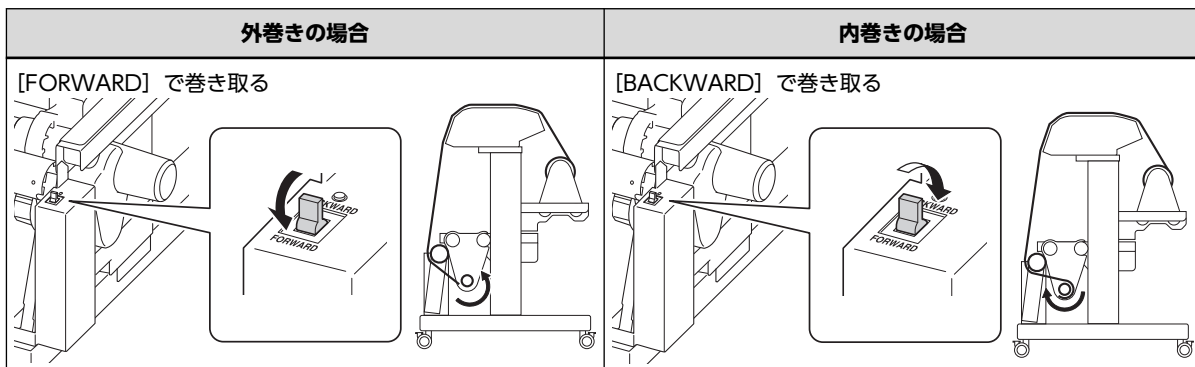
4. [シートカット]を選択して[実行]をタップする。

## 重要

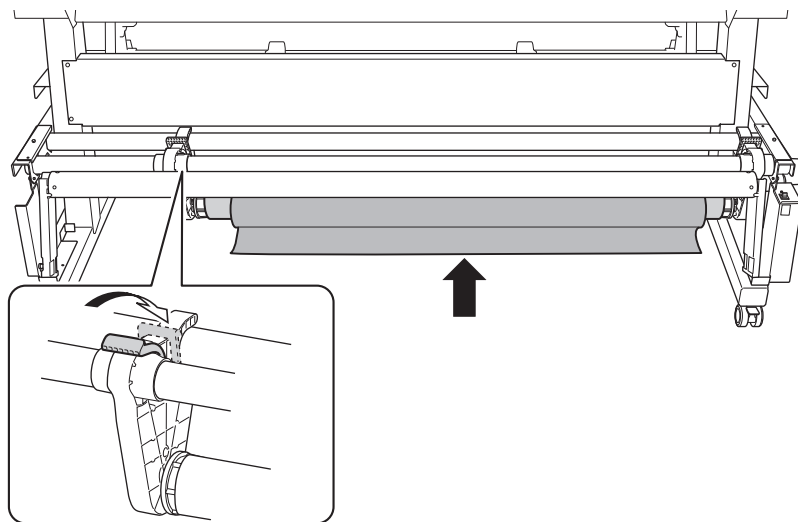
メディアの材質にご注意ください

- 切り離しができないものがあります。
- 切り離し後にメディアがプラテン上に残ってしまうものがあります。メディアがプラテン上に残っているときは、手で取り外してください。

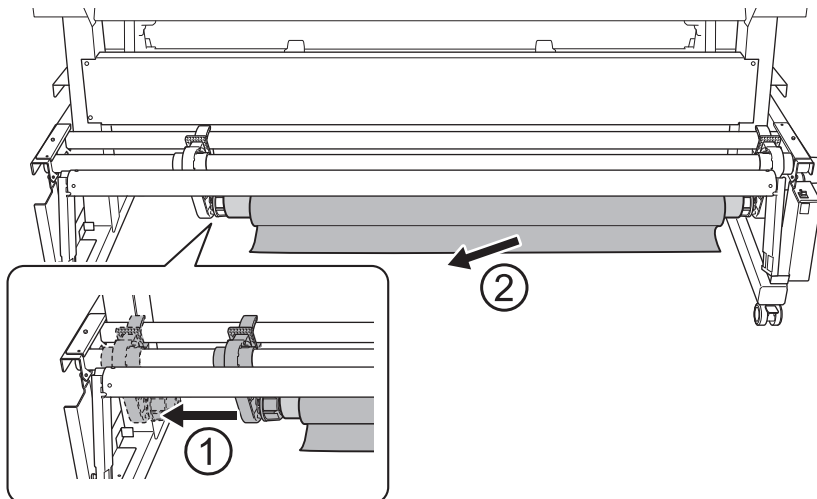
5. メディアをマニュアルスイッチで巻き取る。



6. メディアを下から支えながら、左側のメディアホルダーの固定レバーを緩める。



7. メディアを支えた状態で、紙管およびメディアをエンドキャップから抜き取る。



# インクの交換

## インクが無くなったときのお知らせ

### インクが無くなると、[インクカートリッジエラー]が表示されます。

無くなったインクには[Empty]が表示されています。表示画面を確認し、空になったインクを交換してください。

#### 重要

- 印刷中にインクが無くなったときは、印刷が一時停止します
- クリーニング中にインクが無くなったときは、クリーニングが中止されます。



#### 重要

**インクが無いことが表示されたインクカートリッジ内のインクパウチは、再使用しないでください。**

インクが無いことが表示されてもパウチにわずかな量のインクが残っていることがありますが、使用しないでください。そのようなインクパウチは、インクを吸引できない状態です。そのまま使用すると、インク経路に空気が侵入し、プリンターの故障の原因となります。

#### 関連情報

- [P. 110 インクの交換方法](#)

## インクの交換方法

### 警告

インク、洗浄液、廃液は、次の場所に保管しない。

- 火気のある場所
- 高温になる場所
- 漂白剤などの酸化剤、爆発物のそば
- 子供の手の届く場所

火災の恐れがあります。子供が誤って飲むと、健康障害の恐れがあります。

### 重要

#### インクパウチ交換時に注意すること

- 必ず同じ種類、同じ色のものと交換してください。
- 同じ種類のものでも他の機体で使用したものは使わないでください。
- 他の種類を決して混ぜないでください。
- インクカートリッジを抜いたまま放置しないでください。プリントヘッドが目づまりすることがあります。
- 印刷中、クリーニング動作中およびインク循環動作中にインクカートリッジを抜き差ししないでください。インクがもれ出すことがあります。
- インクカートリッジカバーがしっかりロックされなくなったときには、インクカートリッジの交換が必要です。  
インクカートリッジの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト <https://www.rolanddg.co.jp/> をご覧ください。

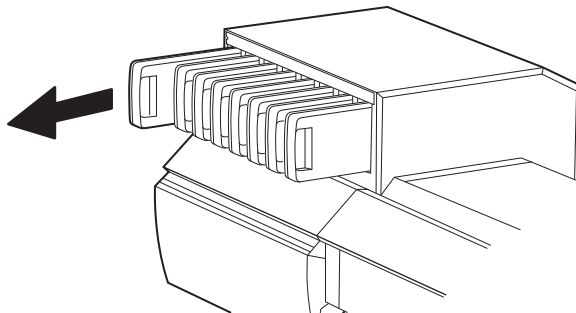
### 重要

インクが無いことが表示されたインクカートリッジ内のインクパウチは、再使用しないでください。

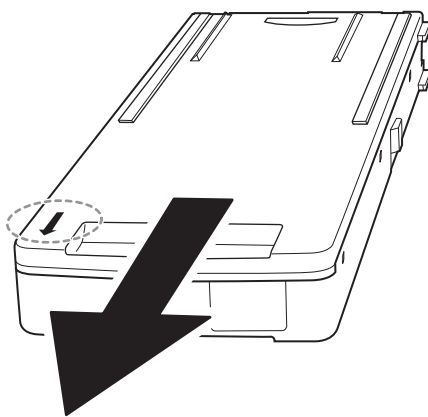
インクが無いことが表示されてもパウチにわずかな量のインクが残っていることがありますが、使用しないでください。そのようなインクパウチは、インクを吸引できない状態です。そのまま使用すると、インク経路に空気が侵入し、プリンターの故障の原因となります。

## 手順

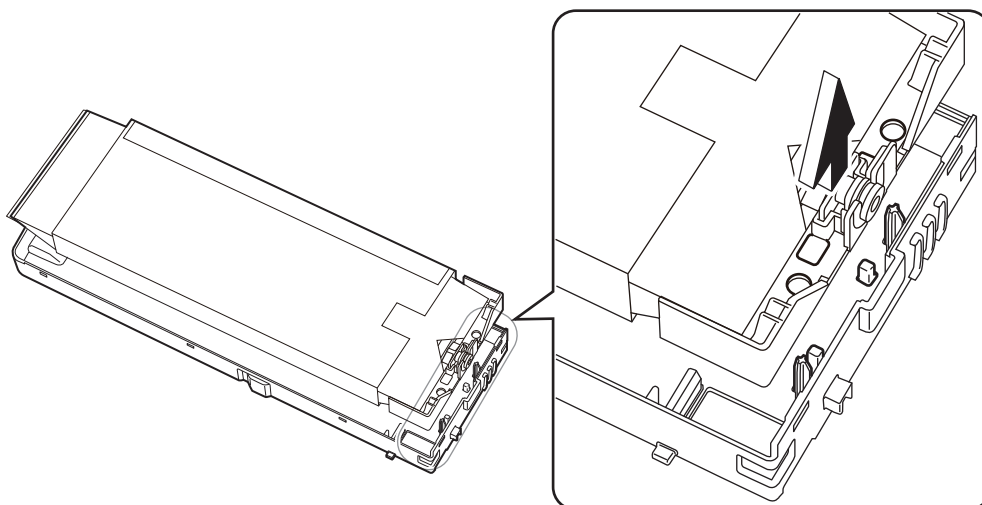
1. 交換する色のインクカートリッジを機体から引き抜く。



2. カートリッジのカバーを取り外す。
  - a. 矢印マークがある面を上にする。
  - b. カバーを矢印の方向にスライドして取り外す。



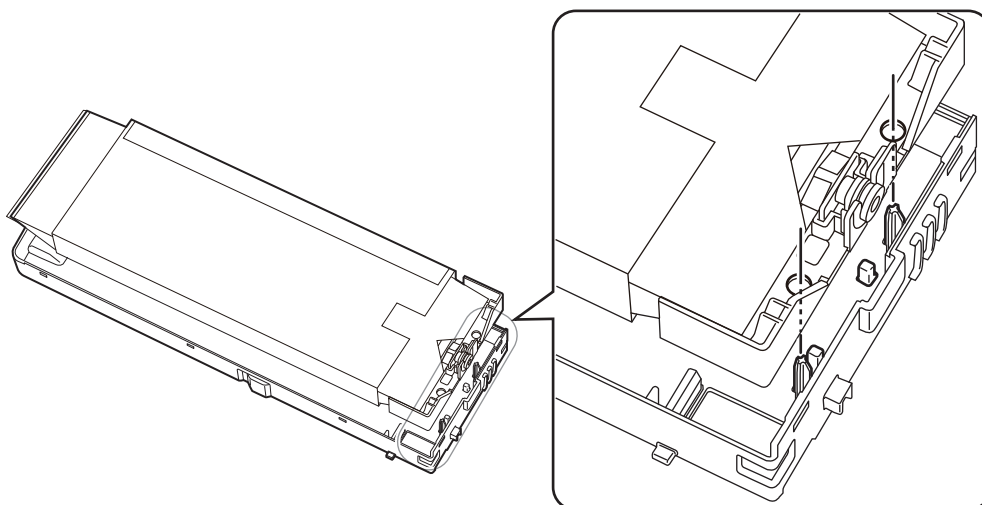
3. カートリッジケースから使用済みのインクパウチを取り外す。



4. カートリッジケースに新品のインクパウチをセットする。

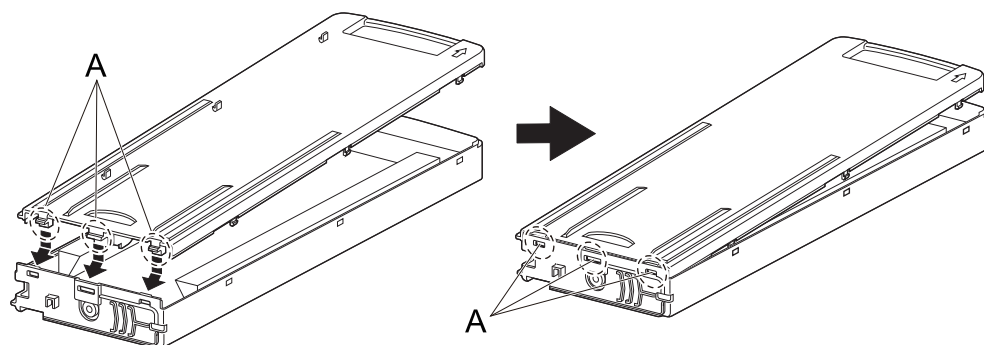
**メモ**

カートリッジケースの突起をインクパウチの穴に通すことで、正しい位置にセットされます。

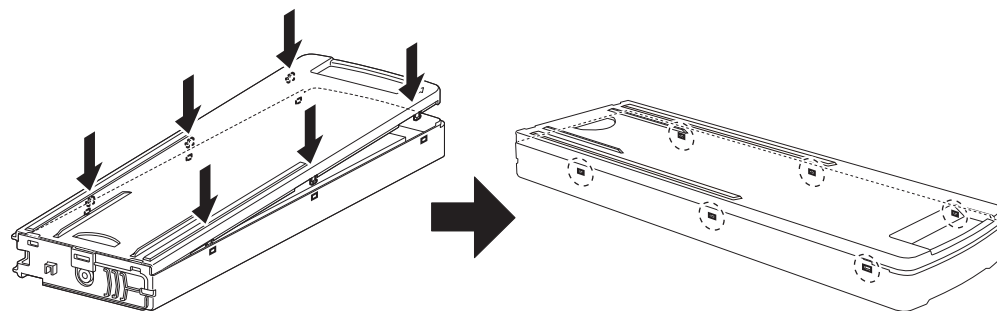


5. カートリッジケースにカバーを取り付ける。  
 a. カバー後端の突起 (A) をカートリッジケースの穴に差し込む





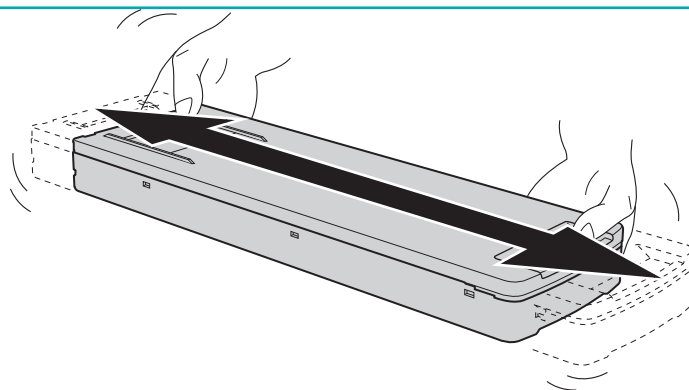
- b. カバーを押して、カバーのツメをカートリッジケースの穴にはめ込む。  
つめは6箇所あります。つめが穴にはめ込まれ、カバーがカートリッジケースから浮き上がっていないことを確認してください。



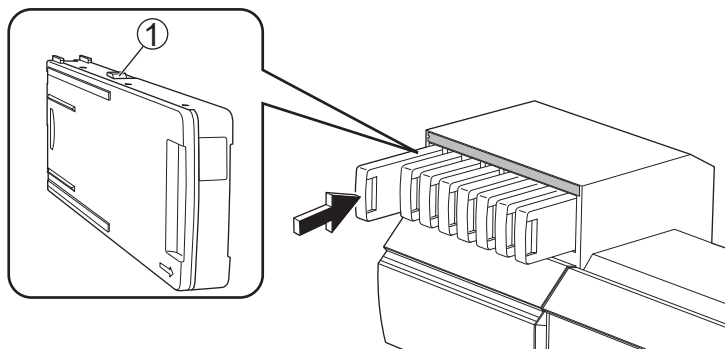
6. インクカートリッジを軽く振る。  
インクカートリッジを両端5cmの振り幅で50回（20秒程度）水平に振ってください。

**重要**

振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れて落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。



7. インクカートリッジをインクスロットにセットする。  
カートリッジの突起①を上にして、奥に突き当たるまで水平に差し込んでください。

**重要**

- インクが空になったパウチが取り付けられているインクカートリッジをインクスロットに差し込まないでください。インク経路に空気が侵入し、プリンターの故障の原因になります。
- インクスロットとインクカートリッジに表示された色名を確認し、正しい位置にセットしてください。

### インクの沈殿を防ぐ

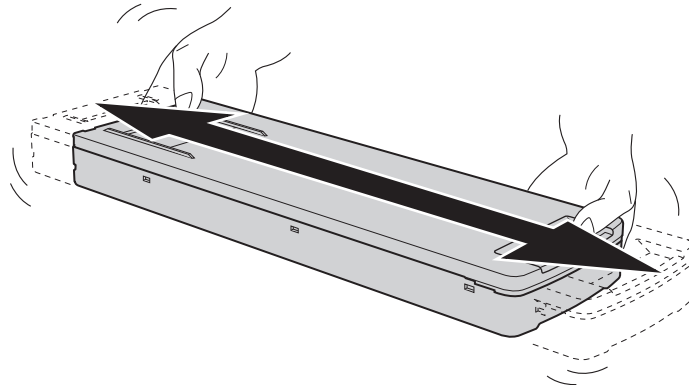
インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振り幅で水平に振ります。

インクカートリッジは以下の頻度で振ってください。

- すべてのインク：新品交換時
- ホワイトインク：毎日（その日の作業を始める前）

ホワイトインクのカートリッジをいったん抜き、50 回（20 秒程度）振ってから再び差し込んでください。

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。




#### 重要

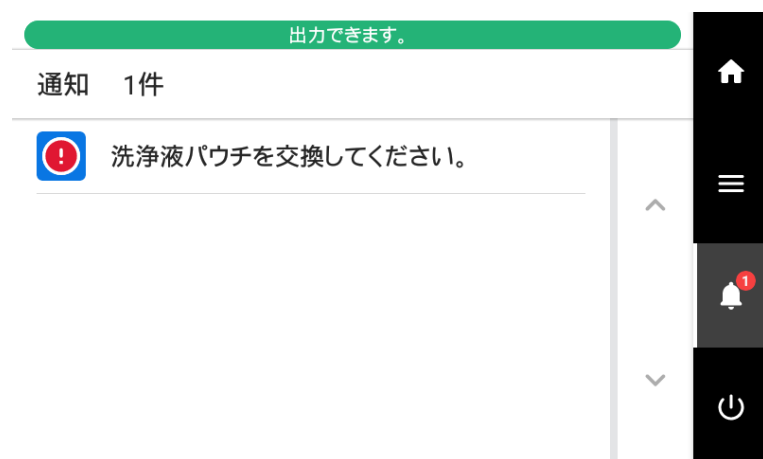
- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- 振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れて落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1 週間に 1 回はホワイトインクのカートリッジを 50 回（20 秒程度）振ってください

# 洗浄液の交換

## 洗浄液がなくなったときのお知らせ

洗浄液が無くなると、画面に [洗浄液パウチを交換してください。] と表示されます。[OK] をタップしてメッセージを閉じてください。

メッセージは、 をタップして確認することもできます。



### 関連情報

- [P. 116 洗浄液の交換方法](#)

## 洗浄液の交換方法

### 警告

インク、洗浄液、廃液は、次の場所に保管しない。

- 火気のある場所
- 高温になる場所
- 漂白剤などの酸化剤、爆発物のそば
- 子供の手の届く場所

火災の恐れがあります。子供が誤って飲むと、健康障害の恐れがあります。

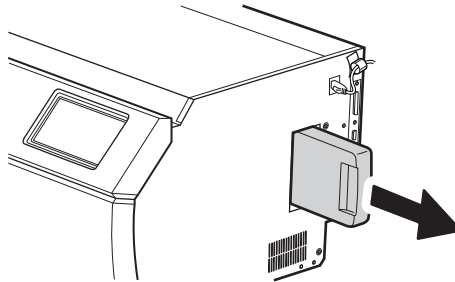
### 重要

洗浄液パウチ交換時に注意すること

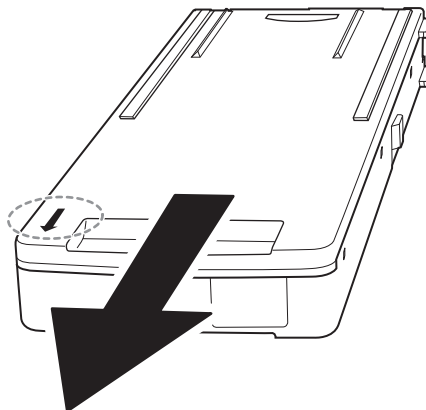
- 洗浄カートリッジをむやみに抜き差ししないでください。洗浄液がもれ出すことがあります。
- 洗浄カートリッジカバーがしっかりロックされなくなったときには、洗浄カートリッジの交換が必要です。  
洗浄カートリッジの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト <https://www.rolanddg.co.jp/> をご覧ください。

## 手順

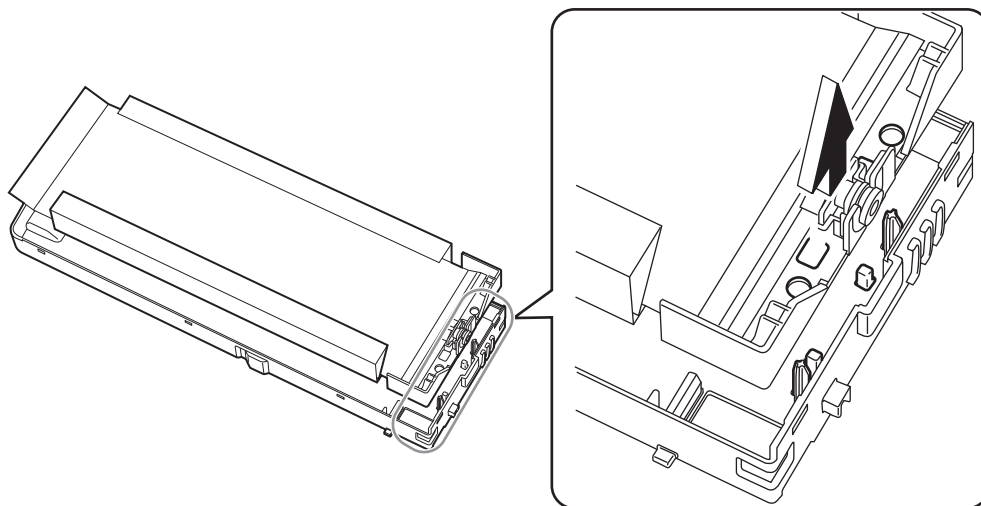
1. 洗浄カートリッジを機体から引き抜く。



2. カートリッジのカバーを取り外す。
  - a. 矢印マークがある面を上にする。
  - b. カバーを矢印の方向にスライドして取り外す。



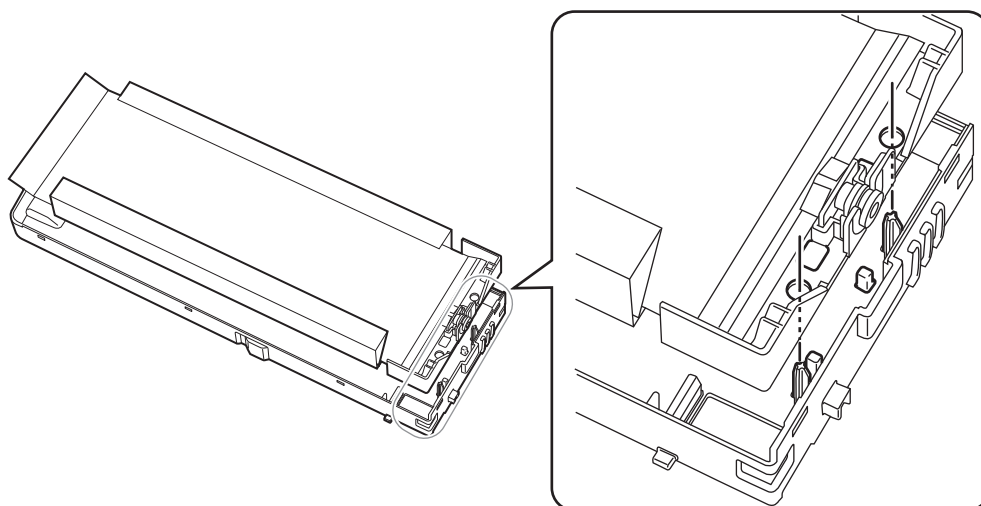
3. カートリッジケースから使用済みの洗浄液パウチを取り外す。



4. カートリッジケースに新品の洗浄液パウチをセットする。

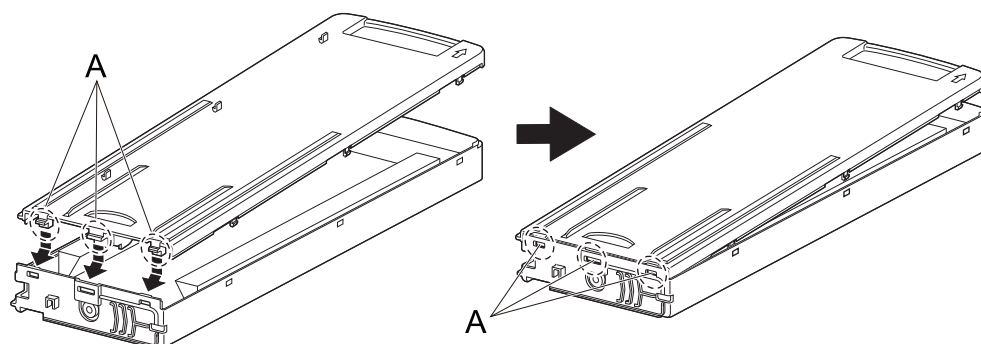
メモ

カートリッジケースの突起を洗浄液パウチの穴に通すことで、正しい位置にセットされます。



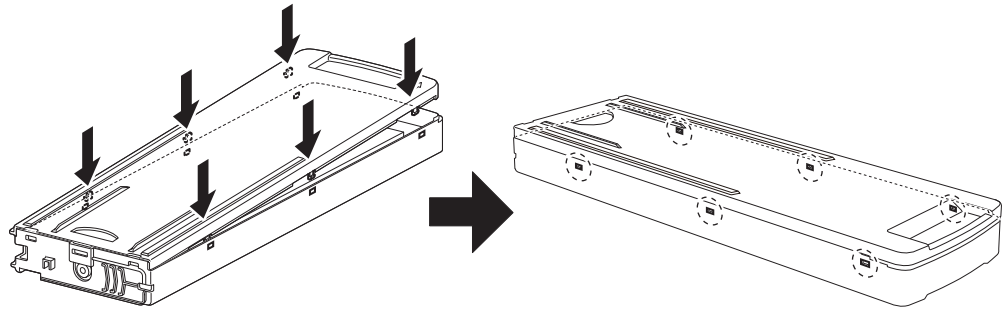
5. カートリッジケースにカバーを取り付ける。

a. カバー後端の突起 (A) をカートリッジケースの穴に差し込む



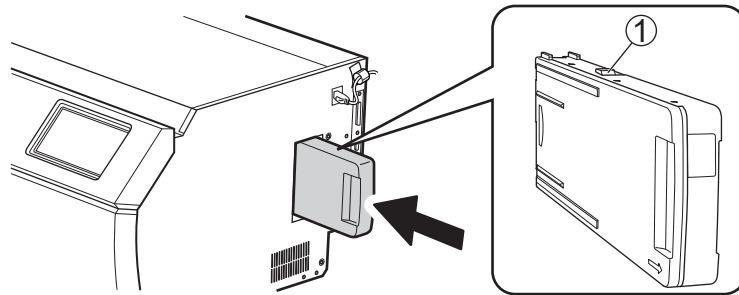
b. カバーを押して、カバーのツメをカートリッジケースの穴にはめ込む。

つめは6箇所あります。つめが穴にはめ込まれ、カバーがカートリッジケースから浮き上がっていないことを確認してください。



6. 洗浄カートリッジを洗浄液スロットにセットする。

カートリッジの突起 (①) を上にして、奥に突き当たるまで水平に差し込んでください。



7. 洗浄液パウチ交換の確認画面が表示されたら、[はい]をタップする。

[はい]をタップして洗浄液の残量をリセットすると、洗浄液パウチは新品と認識されます。

メモ

洗浄液パウチを交換していないのに洗浄液パウチ交換の確認画面で[はい]をタップすると、洗浄液の残量がリセットされます。その場合、洗浄液の残量が残りわずかになっても通知が表示されずに、洗浄液がなくなるタイミングで[洗浄液パウチを交換してください。]が表示されます。洗浄液を準備する時間を確保するため、洗浄液を交換していないときは[いいえ]をタップしてください。

# 出力方法



# 出力の準備と出力方法

---

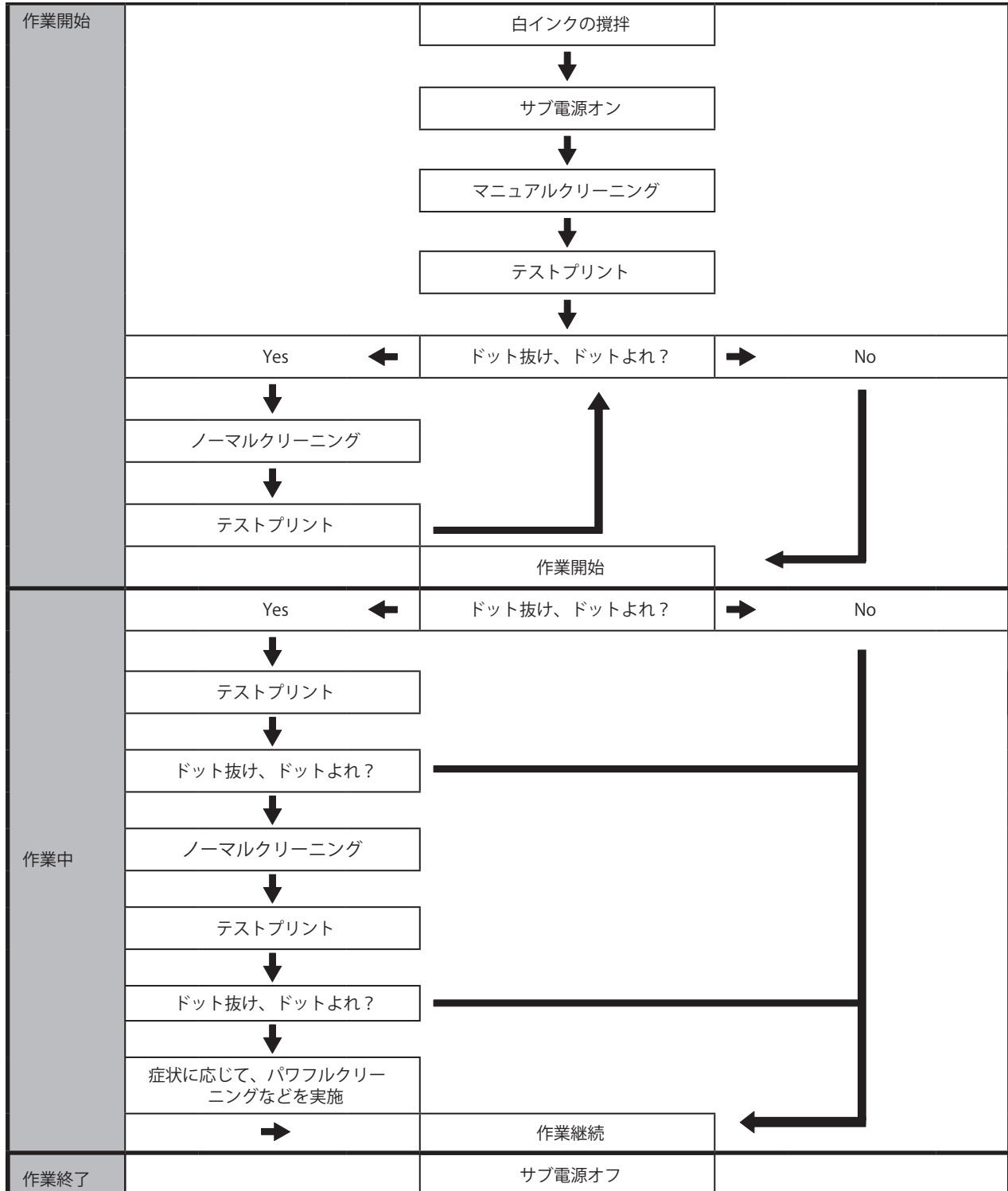
一日の作業前準備.....	121
1日のワークフローの確認.....	121
マニュアルクリーニングの方法.....	122
プリントの方法.....	128
プリント出力の準備.....	128
出力の開始.....	132
カットの方法.....	134
カット出力の準備.....	134
出力の開始.....	138
プリント&カットの方法.....	139
プリント&カット出力の準備.....	139
出力の開始.....	146
クロップ&カットの方法.....	148
クロップマーク付き出力の準備.....	148
クロップマーク付き出力の開始.....	155
カット出力の準備.....	157
カット出力の開始.....	160

# 一日の作業前準備

## 1日のワークフローの確認

1日の作業における、基本的なワークフローを説明します。

適切なタイミングで適切なメンテナンスを実施することで、本機的能力を最大限に引き出し、故障を防ぐことに繋がります。



## マニュアルクリーニングの方法

以下のタイミングでマニュアルクリーニングを実施してください。

- 一日の作業を開始するまえ
- [マニュアルクリーニングの時期です。]という通知が表示されたとき
- 夜間、無人で印刷をしたい場合の印刷データを送るまえ
- パワフルクリーニングでも改善できないドット抜けやインクポタ落ちなどが発生したとき

### ⚠ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約 15 分待つ)  
UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

### ⚠ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。


### 重要

#### 作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10 分以内に作業を終わらせてください。10 分を過ぎると警告音が鳴ります。
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえてプリントヘッドを傷めます。
- 付属の洗浄液以外は使わないでください。
- 必ず新品のクリーニングスティックを使用してください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響を与えます。
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- プリントヘッド表面（ノズル面）はこすらないでください。
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。




#### クリーニング中に警告音がなったときは

- 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[すべて完了]をタップし、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。

必要なもの	
	
クリーニングスティック	洗浄液

## 1. プリントヘッドキャップを清掃する

### 手順

1. メディアを取り外す。
2.  をタップする。
3. [マニュアルクリーニング]をタップする。
4. [実行]をタップする。  
プリントヘッドが機体の左端まで移動します。
5. 操作パネルの指示にしたがって、[マニュアルクリーニング]を実施する。
  -   をタップして手順を確認できます。
  - 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[すべて完了]をタップしてください。

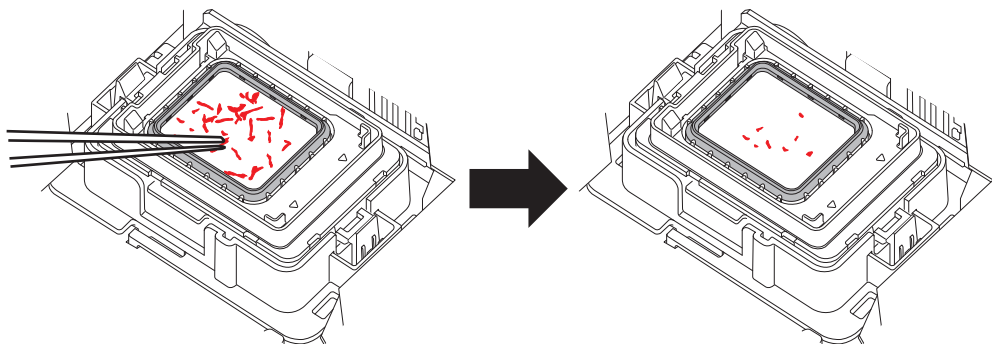
### 重要

- 必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。
- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。



### 重要

インク硬化物はピンセットを使って、長さ 3 mm 以上のものを取り除いてください。  
取りにくいインク硬化物を無理に引っ張らないでください。プリントヘッドキャップが破損する恐れがあります。

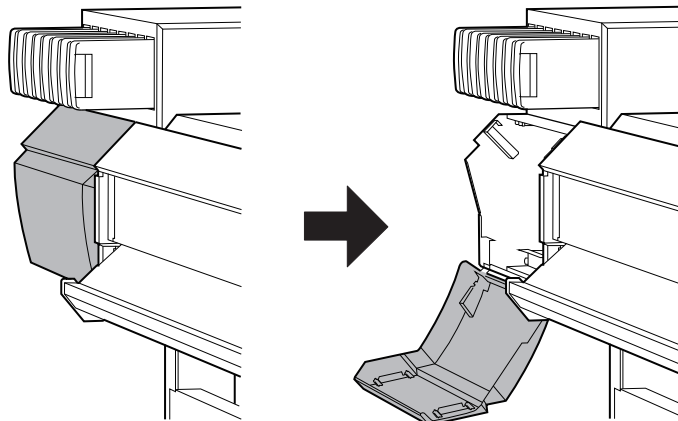


清掃が終了したら、カバー R を閉じる。

## 2. プリントヘッドを清掃する

### 手順

1. カバーLを開ける。



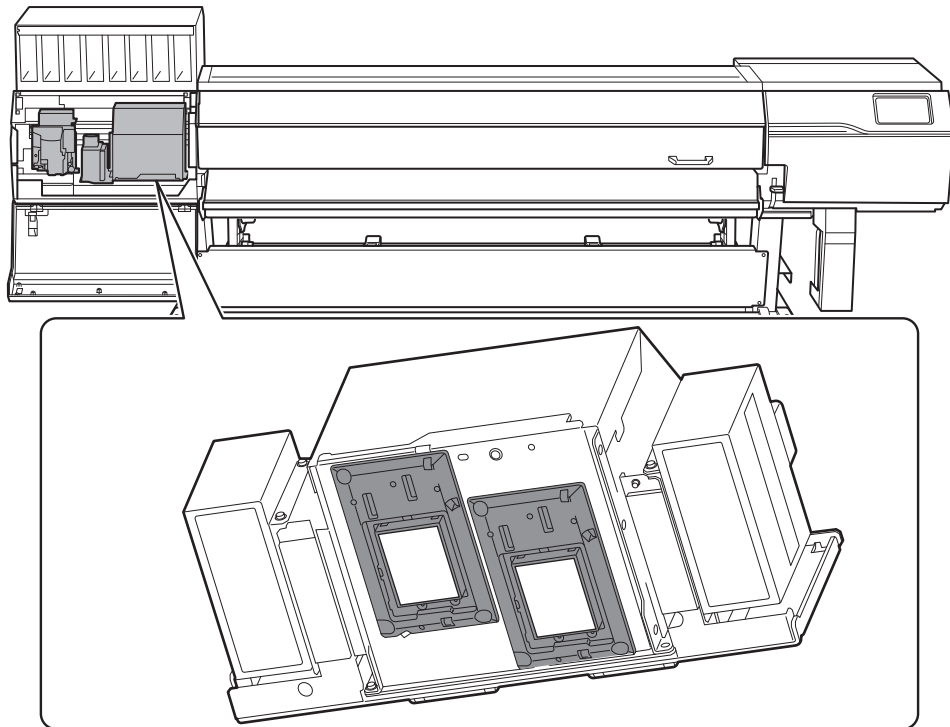
2. 新品のクリーニングスティックを洗浄液に浸す。

#### 重要

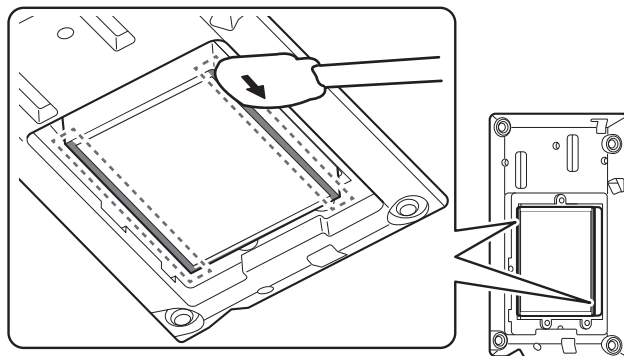
- 必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。
- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。



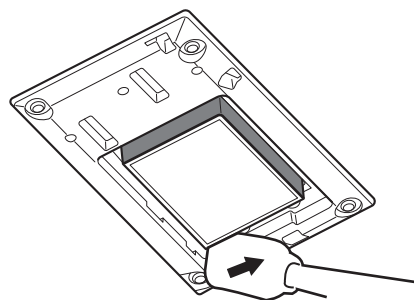
3. 下図の場所を清掃する。  
特に繊維状のほこりをよく清掃してください。



(1) クリーニングスティックの広い面を当て左側を拭いたあと、汚れていない反対の面を当てて右側を拭く。

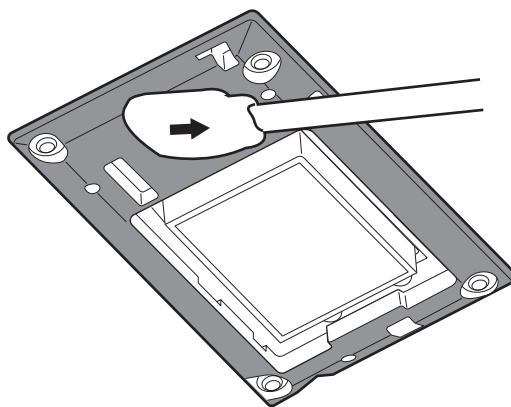


(2) クリーニングスティックを縦にしてすべての側面を拭く。



(3) クリーニングスティックの広い面を使って、図の場所の汚れを拭き取る。


この部分に垂れそうなインクや洗浄液が残っている場合は、毛羽立たない乾いた布でやさしく拭き取ってください。



4. カバーLを閉じる。


5. [すべて完了]をタップする。

画面上部に[ノーマルクリーニング中です。]と表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間(目安)が表示されます。

6.  をタップして、もとの画面に戻る。


### 3. テストプリントを実施して結果を確認する

#### 手順

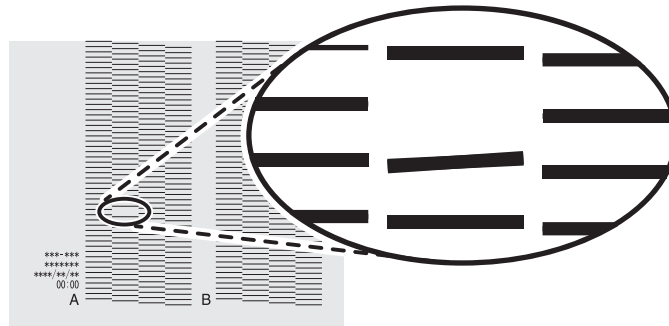
1. メディアをセットアップする。  
P. 31 新規メディアのセットアップ
2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。
3. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターン印刷を開始します。

#### メモ


ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。  
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。

ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。  をタップして、もとの画面に戻ってください。

ドット抜けやドットよれがある場合は、ノーマルクリーニングなどのクリーニングを実施してください。

#### 関連情報

- ・ P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき



# プリントの方法

## プリント出力の準備

### Step 1: ノズル抜けテストを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

#### メモ

連続してテストプリントを行う場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して[縦]（縦に並べて印刷）にするか[横]（横に並べて印刷）にするか設定できます。

P. 216 [テストプリントを横に並べて印刷する](#)

#### 手順

1. メディアをセットアップする。


2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。

3. [テストプリント]の[実行]をタップする。

テストパターンの印刷を開始します。

#### メモ

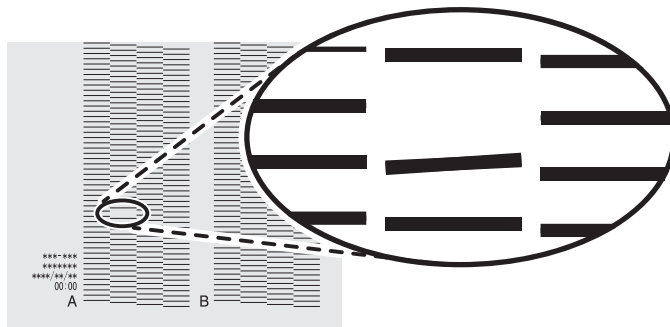
ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。

ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。

ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。

ドット抜けやドットよれが無い場合は、出力の準備は完了です。

**関連情報**

- ・ [P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき](#)

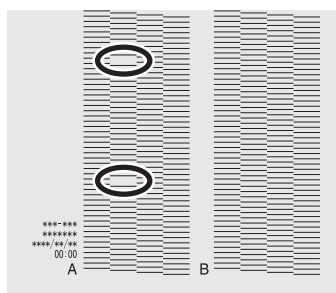
## Step 2: ノーマルクリーニングの方法

### メモ

メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

### 手順

1. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、Aグループ。[B] の文字から右のすべてが Bグループです。

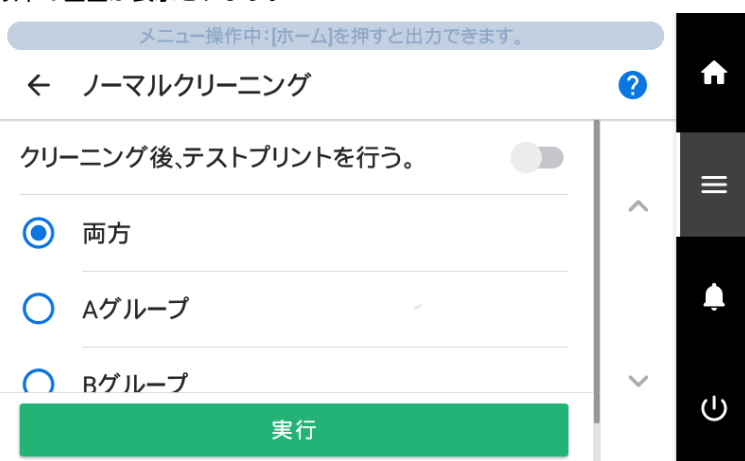


### メモ


#### テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

2. [クリーニング]をタップする。
3. [ノーマルクリーニング]をタップする。  
以下の画面が表示されます。



4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。
5. [実行]をタップする。  
クリーニングを開始します。操作パネル上部に[ノーマルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。

6.  をタップする。
7. もう一度テストプリントを実施する。
8. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。  
ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

#### 関連情報

- [P. 128 ノズル抜けテストを実施する](#)
- [P. 263 ノーマルクリーニングの効果がでないとき](#)

## 出力の開始

### 警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。  
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

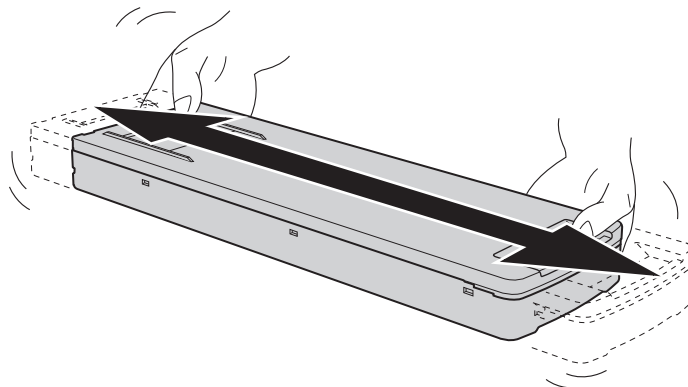
### 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをすることがあります。

### 重要

#### ホワイトインクをご使用されている方へ

1日の作業開始前に、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回（20秒程度）振って再び差し込んでください。ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。




- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- 振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れて落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1週間に1回はホワイトインクのカートリッジを50回（20秒程度）振ってください

## 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
3. コンピューターから出力データを送信する。  
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。


## メモ

- 出力データを送信すると、表示画面に[インク循環中です。]または[ノーマルクリーニング中です。]と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている場合は、温度が設定値に達するまでお待ちください。
- 出力中のデータを画像表示して確認することができます。下図の  をタップすると、インク残量画面に切り替わります。もう一度タップすると、出力中データの確認画面にもどります。ただし、出力データの画像（サムネイル）表示に対応したソフトウェア RIP に限ります。



## 重要

### こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リア UV シールド）が開いていると動きません。
- [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている間は、出力は始まりません。
- [メニュー操作中：[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、 をタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

### 出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リア UV シールド）を開けないでください。出力が中断します。
- 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

### 使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出る場合があります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

## 関連情報

- P. 175 待機時のヒーター温度を設定する

# カットの方法


## カット出力の準備

### Step 1: ヒーターをオフにする

#### メモ

カットメディアを選択した場合やカット用にメディア設定を複製する (P. 211) でメディアを作成した場合、この作業は不要になります。



#### 手順

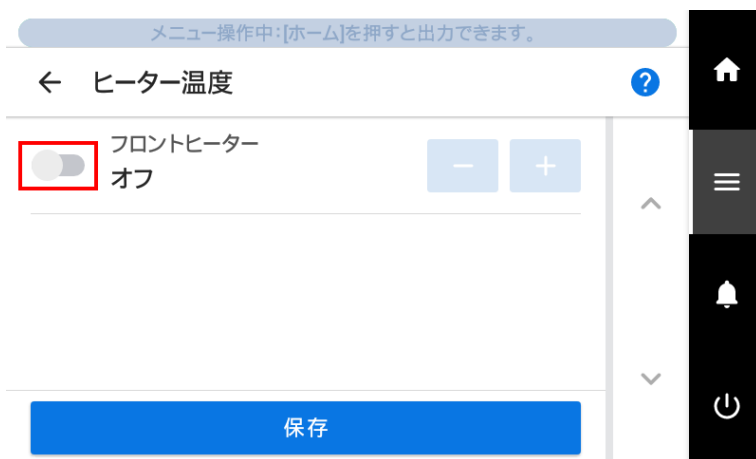
1.  をタップして、ホーム画面を表示する。

2. 以下の部分をタップする。




3. フロントヒーターがオフであることを確認する。

フロントヒーターがオンのときは、 をタップして、フロントヒーターをオフ  にする。



4. [保存]をタップして決定する。



- 
5.  をタップして、もとの画面に戻る。



## Step 2: メディアが無理に引っ張られないようにする

---


### 手順

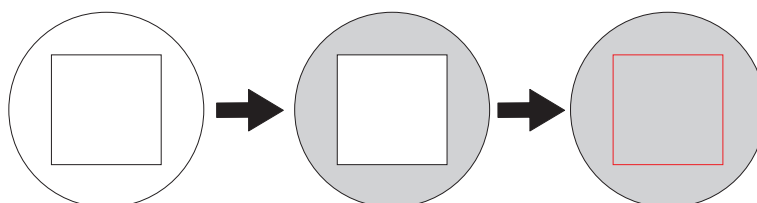
1.  をタップする。
2. [環境設定]>[出力時の先送り設定]をタップする。
3. [有効]を選択する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

## Step 3: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはテストカットを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

### 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. ホーム画面で  [カッター調整]をタップする。
3. [テストカット]の[実行]をタップする。  
テストパターンがカットされます。
4. カットされた図形をはがして切れ具合に応じて、[カッター調整]の設定を変更する。  
2つの図形が別々にはがれ、台紙にカッターの跡(赤線)が残り、かつ台紙が切れていない状態であることを確認する。



- **2つの図形が別々にはがれた場合**  
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた場合**  
カッター圧を大きくします。
- **台紙まで切れた場合**  
カッター圧を小さくします。

5. [保存]をタップする。  
変更した設定値が保存されます。
6. [テストカット]の[実行]をタップする。  
テストパターンがカットされます。
7. 調整が成功したか確認する。

[カッター調整]メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。

### 関連情報

- [P. 179 カッティング条件を細かく設定する](#)

## 出力の開始


### ⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。  
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

### ⚠ 注意


ダンサーローラーにむやみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをすることがあります。

## 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2.  をタップしてホーム画面を表示する。
3. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
4. コンピューターから出力データを送信する。  
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

### 重要

#### こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リア UV シールド）が開いていると動きません。
- [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- [メニュー操作中：[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、 をタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

#### 出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リア UV シールド）を開けないでください。出力が中断します。
- 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

#### 使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出る場合があります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

# プリント&カットの方法

## プリント&カット出力の準備

### Step 1: ノズル抜けテストを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

#### メモ

連続してテストプリントを行う場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して[縦]（縦に並べて印刷）にするか[横]（横に並べて印刷）にするか設定できます。

P. 216 [テストプリントを横に並べて印刷する](#)

#### 手順

1. メディアをセットアップする。


2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。

3. [テストプリント]の[実行]をタップする。

テストパターンの印刷を開始します。

#### メモ

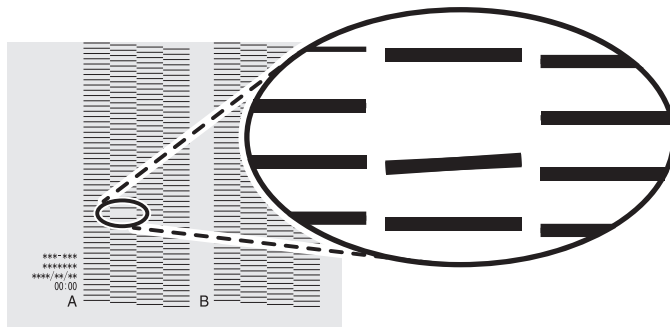
ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。

ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。

ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。

ドット抜けやドットよれが無い場合は、出力の準備は完了です。

**関連情報**

- ・ [P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき](#)

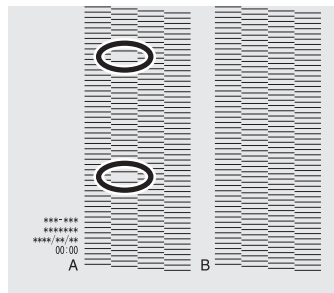
## Step 2: ノーマルクリーニングの方法

### メモ

メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

### 手順

1. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、Aグループ。[B] の文字から右のすべてが Bグループです。

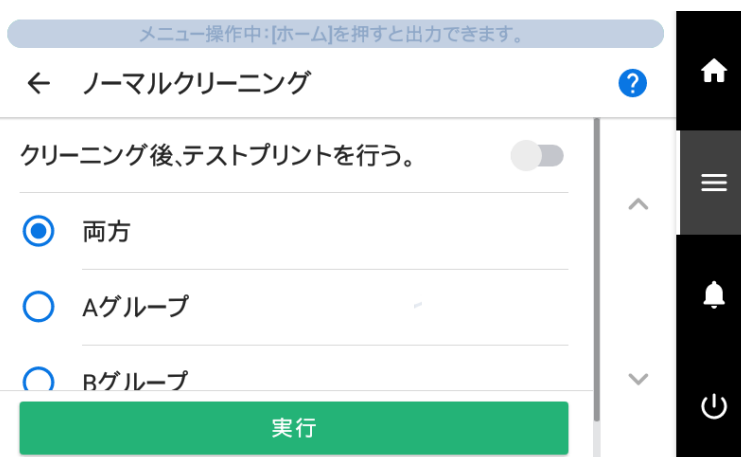


### メモ

#### テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

2. [クリーニング]をタップする。
3. [ノーマルクリーニング]をタップする。  
以下の画面が表示されます。



4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。
5. [実行]をタップする。  
クリーニングを開始します。操作パネル上部に[ノーマルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。

6. ← をタップする。

7. もう一度テストプリントを実施する。

8. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。

ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

### 関連情報

- [P. 128 ノズル抜けテストを実施する](#)
- [P. 263 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)

## Step 3: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはテストカットを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

### 手順

1. フロントカバーを閉じる。

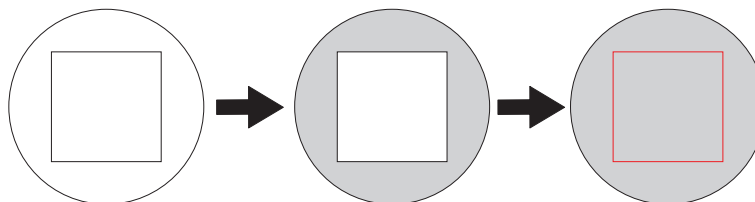
2. ホーム画面で  [カッター調整]をタップする。

3. [テストカット]の[実行]をタップする。

テストパターンがカットされます。

4. カットされた図形をはがして切れ具合に応じて、[カッター調整]の設定を変更する。

2つの図形が別々にはがれ、台紙にカッターの跡(赤線)が残り、かつ台紙が切れていない状態であることを確認する。



- **2つの図形が別々にはがれた場合**  
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた場合**  
カッター圧を大きくします。
- **台紙まで切れた場合**  
カッター圧を小さくします。

5. [保存]をタップする。

変更した設定値が保存されます。

6. [テストカット]の[実行]をタップする。

テストパターンがカットされます。

7. 調整が成功したか確認する。

[カッター調整]メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。

### 関連情報

- [P. 179 カッティング条件を細かく設定する](#)



## Step 4: 印刷とカットのずれを補正する

### 手順

1.  をタップする。

2. [メディア設定]>[カット設定]>[プリント&カット位置調整]をタップする。

3. [テストプリント 1 (ズレの有無)]の[実行]をタップする。

テストプリント 1 がプリント&カットされます。テストパターンはメディアの両端に 1 箇所ずつ出力されます。

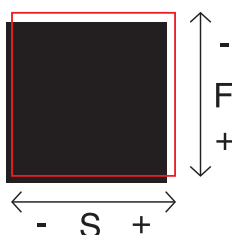
#### メモ

メディアが傾いていると、両端で位置がずれてしまいます。テストパターンを両端に印刷することで、メディアの傾きによるずれも調整できます。

4. テストプリント 1 の結果を確認する。

プリント位置（塗りつぶし）とカット位置（赤線）のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

[F]はメディアの送り方向（FEED 方向）、[S]はプリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。

プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

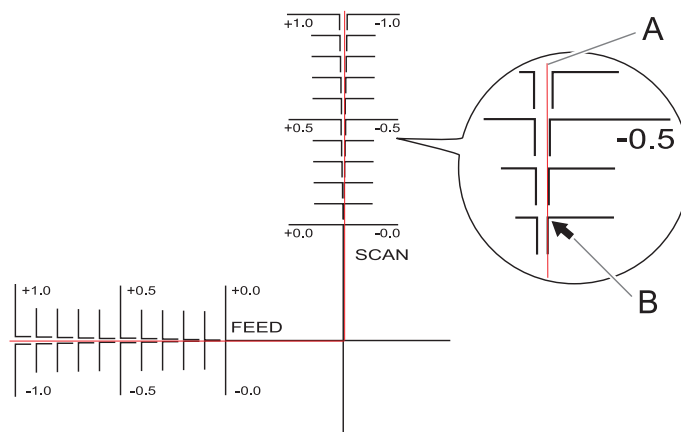
5. [テストプリント 2 (補正值決め)]の[実行]をタップする。

テストプリント 2 がプリント&カットされます。



6. テストプリント 2 の状態から補正值を確認する。



カッティングライン (A) と補正值目盛りの交点 (B) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。

メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。



7. メディアの送り方向（FEED 方向）とプリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）の補正値を設定する。



(1) [補正値 (Feed)] の   をタップして、メディアの送り方向（FEED 方向）の補正値を設定する。

(2) [補正値 (Scan)] の   をタップして、プリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）の補正値を設定する。

8. [保存]をタップする。

補正値が保存されます。

9. [テストプリント 1 (ズレの有無)] の [実行] をタップする。

テストプリント 1 がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、[補正値 (Feed)] と [補正値 (Scan)] の   をタップしてプリント&カットの位置を微調整し、[保存] してください。

メモ

出荷時設定

- [補正値 (Feed)] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
- [補正値 (Scan)] (プリントヘッドの移動方向の補正値) : 0.00 mm

10.  をタップして、もとの画面に戻る。

## 出力の開始

### ⚠ 警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。  
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

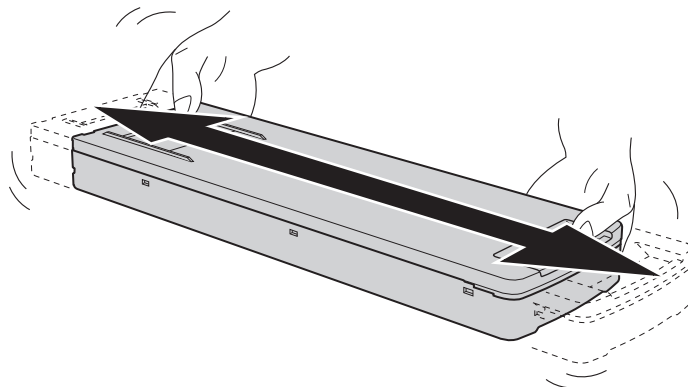
### ⚠ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをすることがあります。

### 重要

#### ホワイトインクをご使用されている方へ

1日の作業開始前に、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回（20秒程度）振って再び差し込んでください。ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。




- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- 振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れて落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1週間に1回はホワイトインクのカートリッジを50回（20秒程度）振ってください

## 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
3. コンピューターから出力データを送信する。  
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。


## メモ

- 出力データを送信すると、表示画面に[インク循環中です。]または[ノーマルクリーニング中です。]と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている場合は、温度が設定値に達するまでお待ちください。
- 出力中のデータを画像表示して確認することができます。下図の  をタップすると、インク残量画面に切り替わります。もう一度タップすると、出力中データの確認画面にもどります。ただし、出力データの画像（サムネイル）表示に対応したソフトウェア RIP に限ります。



## 重要

### こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リア UV シールド）が開いていると動きません。
- [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている間は、出力は始まりません。
- [メニュー操作中：[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、 をタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

### 出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リア UV シールド）を開けないでください。出力が中断します。
- 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

### 使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出る場合があります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

## 関連情報

- P. 175 待機時のヒーター温度を設定する

# クロップ&カットの方法

## クロップマーク付き出力の準備

### クロップ&カットとは

印刷したメディアをいったん取り外し、再セットしてカッティングする場合（例：印刷後にラミネートなどの加工をしたメディアを、再セットしてカッティングする）、印刷位置とカッティング位置を合わせる必要があります。そこで、印刷するときあらかじめクロップマークを付けて印刷することで、メディアを再セットしてカッティングするときにクロップマークを目印として位置合わせができるようにします。本書では、この出力方法を「クロップ&カット」と呼びます。

「クロップマーク」とは、位置合わせ用の目印です。「トンボ」と呼ばれることもあります。

## Step 1: ノズル抜けテストを実施する


印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

### メモ

連続してテストプリントを行う場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して[縦]（縦に並べて印刷）にするか[横]（横に並べて印刷）にするか設定できます。


P. 216 テストプリントを横に並べて印刷する

## 手順

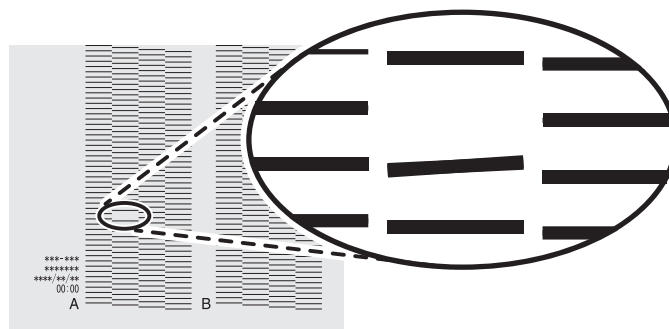
1. メディアをセットアップする。
2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。
3. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。

### メモ

ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。  
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。  
ドット抜けやドットよれが無い場合は、出力の準備は完了です。

#### 関連情報

- ・ [P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき](#)

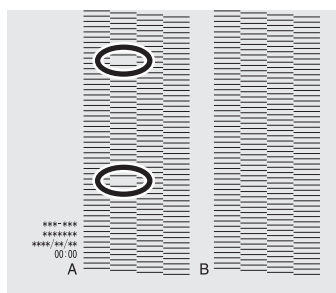
## Step 2: ノーマルクリーニングの方法

### メモ

メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

### 手順

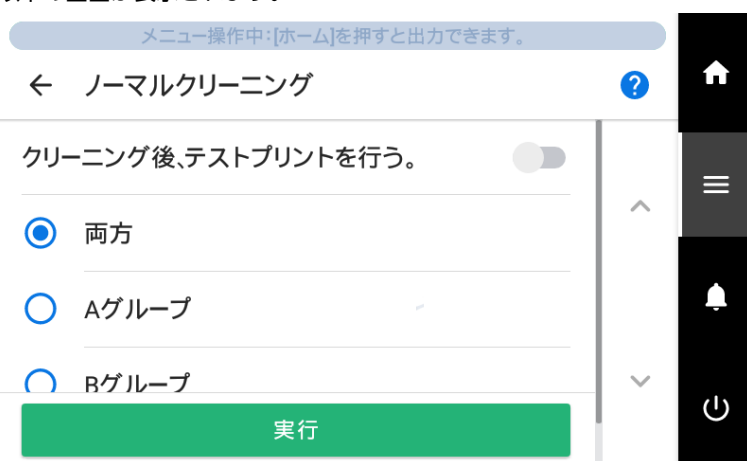
1. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、Aグループ。[B] の文字から右のすべてが Bグループです。



### メモ

**テストプリントの結果がわかりにくいときは**  
明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

2. [クリーニング]をタップする。
3. [ノーマルクリーニング]をタップする。  
以下の画面が表示されます。



4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。
5. [実行]をタップする。  
クリーニングを開始します。操作パネル上部に[ノーマルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。

6. ← をタップする。

7. もう一度テストプリントを実施する。

8. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。

ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

#### 関連情報

- [P. 128 ノズル抜けテストを実施する](#)
- [P. 263 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)



## Step 3: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはテストカットを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

### 手順

1. フロントカバーを閉じる。

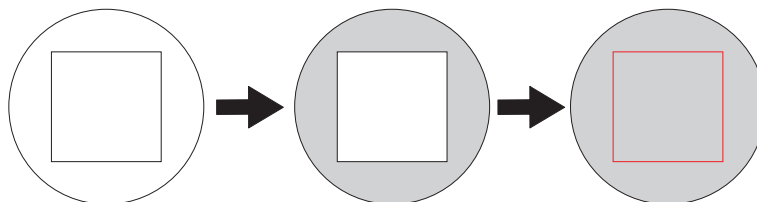
2. ホーム画面で  [カッター調整]をタップする。

3. [テストカット]の[実行]をタップする。

テストパターンがカットされます。

4. カットされた図形をはがして切れ具合に応じて、[カッター調整]の設定を変更する。

2つの図形が別々にはがれ、台紙にカッターの跡(赤線)が残り、かつ台紙が切れていない状態であることを確認する。



- **2つの図形が別々にはがれた場合**  
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた場合**  
カッター圧を大きくします。
- **台紙まで切れた場合**  
カッター圧を小さくします。

5. [保存]をタップする。

変更した設定値が保存されます。

6. [テストカット]の[実行]をタップする。

テストパターンがカットされます。

7. 調整が成功したか確認する。

[カッター調整]メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。

### 関連情報

- [P. 179 カッティング条件を細かく設定する](#)

## Step 4: クロープ印刷とカットのずれを同時に補正する

クロープマーク印刷とカットを実施して、位置のずれがないかを確認します。ここでは、簡易的にクロープマーク印刷後にメディアを取り外さず、クロープマークを読んでテストカットを実行します。実際の工程と同じようにクロープマーク印刷後にメディアを取り外してラミネートなどのあと処理をし、再度メディアを取り付けてカット位置のずれがないかを確認する場合は、[\[クロープ/カット分離テスト\]](#)をオンにしてください。詳細は、[クロープ印刷とカットのずれを補正する \(クロープ/カット分離テスト\) \(P. 197\)](#) を参照してください。

### 手順

1.  をタップする。

2. [\[メディア設定\]](#)>[\[カット設定\]](#)>[\[クロープカット位置調整\]](#)をタップする。

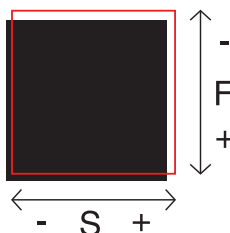
3. [\[テストプリント 1 \(ズレの有無\)\]](#)の[\[実行\]](#)をタップする。

テストプリント 1 がプリント&カットされます。テストパターンはメディア上に 1 つ出力されます。

4. テストプリント 1 を確認する。

プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (赤線) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

[F]はメディアの送り方向 (FEED 方向)、[S]はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。

プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

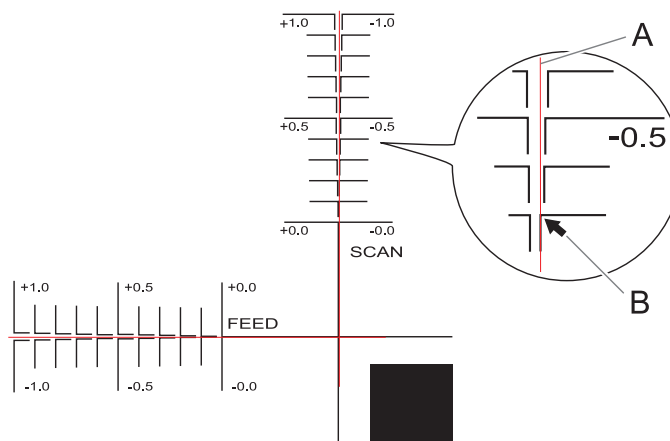
5. [\[テストプリント 2 \(補正值決め\)\]](#)の[\[実行\]](#)をタップする。

テストプリント 2 がプリント&カットされます。



6. テストプリント 2 の状態から補正值を確認する。



カッティングライン (A) と補正值目盛りの交点 (B) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。

メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。





7. メディアの送り方向 (FEED 方向) とプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

(1) [補正値 (Feed)] の   をタップして、メディアの送り方向 (FEED 方向) の補正値を設定する。

(2) [補正値 (Scan)] の   をタップして、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

8. [保存] をタップする。  
補正値が保存されます。

9. [テストプリント 1 (ズレの有無)] の [実行] をタップする。  
テストプリント 1 がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、[補正値 (Feed)] と [補正値 (Scan)] の   をタップしてプリント&カットの位置を微調整し、[保存] してください。

### メモ

- 出荷時設定
  - [補正値 (Feed)] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
  - [補正値 (Scan)] (プリントヘッドの移動方向の補正値) : 0.00 mm
- ラミネート加工によるメディアの状態変化や、カット前のメディアの取り付け位置によって、カット位置がずれることがあります。そのような場合は、クロープ印刷とカットのずれの補正を行ってください。

10.  をタップして、もとの画面に戻る。

### 関連情報

- P. 197 クロープ印刷とカットのずれを補正する (クロープ/カット分離テスト)

## クロップマーク付き出力の開始

### 警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。  
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

### 注意

ダンサーローラーにおよみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをすることがあります。


### メモ

ここでは、カッティングデータを含まず印刷だけのデータをご準備ください。お使いのソフトウェア RIP で、クロップマークを付けて印刷するように設定します。設定方法はお使いのソフトウェア RIP の取扱説明書をご確認ください。

## 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
3. コンピューターから出力データを送信する。  
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。


### メモ

- 出力データを送信すると、表示画面に[インク循環中です。]または[ノーマルクリーニング中です。]と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている場合は、温度が設定値に達するまでお待ちください。
- 出力中のデータを画像表示して確認することができます。下図の  をタップすると、インク残量画面に切り替わります。もう一度タップすると、出力中データの確認画面にもどります。ただし、出力データの画像（サムネイル）表示に対応したソフトウェア RIP に限ります。



### 重要

#### こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リア UV シールド）が開いていると動きません。
- [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている間は、出力は始まりません。
- [メニュー操作中：[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、 をタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

#### 出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リア UV シールド）を開けないでください。出力が中断します。
- 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

#### 使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

### 関連情報

- P. 175 待機時のヒーター温度を設定する

## カット出力の準備

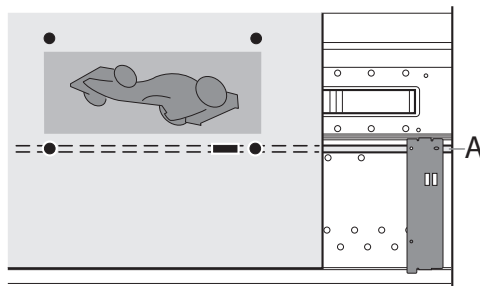
### Step 1: クロップマーク付きのメディアをセットする

#### 手順

1. クロップマークが印刷されたメディアをセットする。  
手前側の左右クロップマークをカッタープロテクション (A) に沿ってまっすぐ配置してください。

#### 重要

クロップマークの傾きが、5°を超えないようにしてください。クロップマークが読み取れなくなります。



2. メディアのセットアップを完了して、ホーム画面が表示されていることを確認する。  
これでクロップマーク付きのメディアのセットアップ完了です。[Step 1: ヒーターをオフにする \(P. 134\)](#) へ進んでください。

#### 関連情報


- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)
- [P. 353 印刷／カッティング領域](#)

## Step 2: ヒーターをオフにする

### メモ

カットメディアを選択した場合やカット用にメディア設定を複製する (P. 211) でメディアを作成した場合、この作業は不要になります。



### 手順

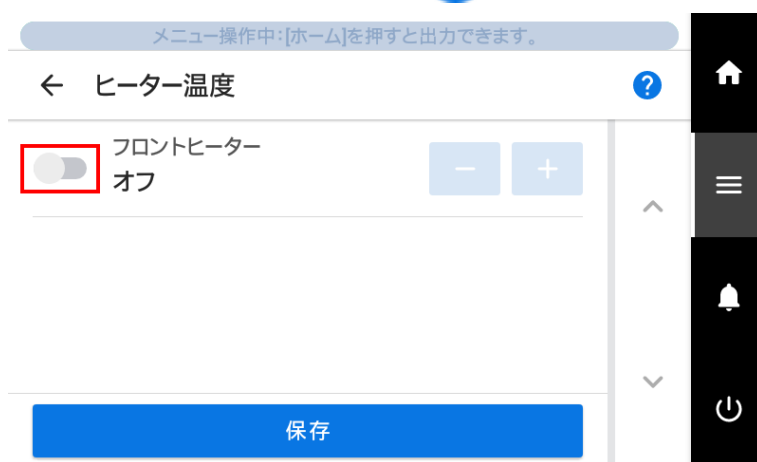
1.  をタップして、ホーム画面を表示する。

2. 以下の部分をタップする。




3. フロントヒーターがオフであることを確認する。

フロントヒーターがオンのときは、 をタップして、フロントヒーターをオフ  にする。





4. [保存]をタップして決定する。

5.  をタップして、もとの画面に戻る。

## Step 3: メディアが無理に引っ張られないようにする

### 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[出力時の先送り設定]をタップする。
3. [有効]を選択する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。



## カット出力の開始

### 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。  
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。


### 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。  
メディア巻き取り装置／繰り出し装置が突然動き、けがをすることがあります。

### メモ


ここでは、印刷データを含まずカッティングだけのデータをご準備ください。

## 手順

1. フロントカバーを閉じる。
2.  をタップしてホーム画面を表示する。
3. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
4. コンピューターから出力データを送信する。  
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

### 重要

#### こんなときは出力されません

- ・ カバー（フロント、L、R、リア UV シールド）が開いていると動きません。
- ・ [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- ・ [メニュー操作中：[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、 をタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

#### 出力時に守っていただきたいこと

- ・ 出力中にカバー（フロント、L、R、リア UV シールド）を開けないでください。出力が中断します。
- ・ 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります。
- ・ 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- ・ 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

#### 使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- ・ メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出る可能性があります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

**品質と効率を最適化する**

# 出力品質を最適化する

補正機能を使う .....	163
必要な調整を自動で行う .....	163
手動調整：横すじを軽減する（送り補正） .....	164
手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正） .....	166
メディアの性質に応じた設定 .....	168
プリントヘッドの高さを変える .....	168
浮き上がりやすい／スムーズに動かないメディアを使用する .....	170
巻取装置の設定をする .....	171
メディアのずれを防ぐ .....	173
メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する .....	173
メディアを温めてメディア浮きを抑制する .....	174
待機時のヒーター温度を設定する .....	175
出力時のヒーター温度を設定する .....	177
カッティングの設定を細かく調整する .....	179
カッティング条件を細かく設定する .....	179
切り込み量を細かく調整する .....	181
印刷面にカットするときの調整をする .....	182
カッティング時の距離補正をする .....	185
角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット） .....	186
本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる .....	188
プリント&カットの設定を細かく調整する .....	189
印刷とカットのずれを補正する .....	189
カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する .....	192
クロップ&カットの設定を細かく調整する .....	194
クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット同時テスト） .....	194
クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ／カット分離テスト） .....	197
読み取りセンサーを補正する .....	202
クリーニングによる印刷の中断を回避する .....	203
印刷中に行われるクリーニングについて .....	203

# 補正機能を使う

出力品質を最適化するためには、いくつかの補正機能を活用することが有効です。

## 必要な調整を自動で行う

出力品質を最適化するため、メディアや印刷条件に合った補正が必要です。

印刷条件によってインクの着弾位置がずれたり、メディアを送るときの移動距離が微妙に変化したりします。これらをメディアに合わせて自動で補正します。

はじめにテストパターンを印刷し、マルチセンサーでテストパターンを読み取り、補正値を自動入力します。

自動補正を実行すると、テストパターンの印刷、読み取り、補正値の入力を以下のそれぞれに対して実施します。

- マルチセンサー調整（補正に使うセンサーを最適な状態に調整する）
- メディアギャップ補正（インクの着弾位置の補正）
- 送り補正（横すじを軽減するための補正）

### 手順

1. メディアをセットアップする。

2. フロントカバーを閉じる。

3.  をタップする。

4. [メディア設定]>[印刷設定]>[一括自動補正]をタップする。


5. [実行]をタップする。

以下の内容について、テストパターンの印刷と補正値の入力が実施されます。

- マルチセンサー調整
- 送り補正
- メディアギャップ補正

6. 終了画面が表示されたら[OK]をタップする。

7. [結果]に応じて以下を実施する。

- 操作パネルに[成功]と表示されている場合は、 をタップしてもとの画面にもどります。
- 操作パネルに[失敗]と表示されている場合は、 手動調整を実施してください。

### 関連情報

- P. 164 手動調整：横すじを軽減する（送り補正）
- P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）




## 手動調整：横すじを軽減する（送り補正）

印刷面に入った帯状の「すじ」を目立たなくするように補正します。

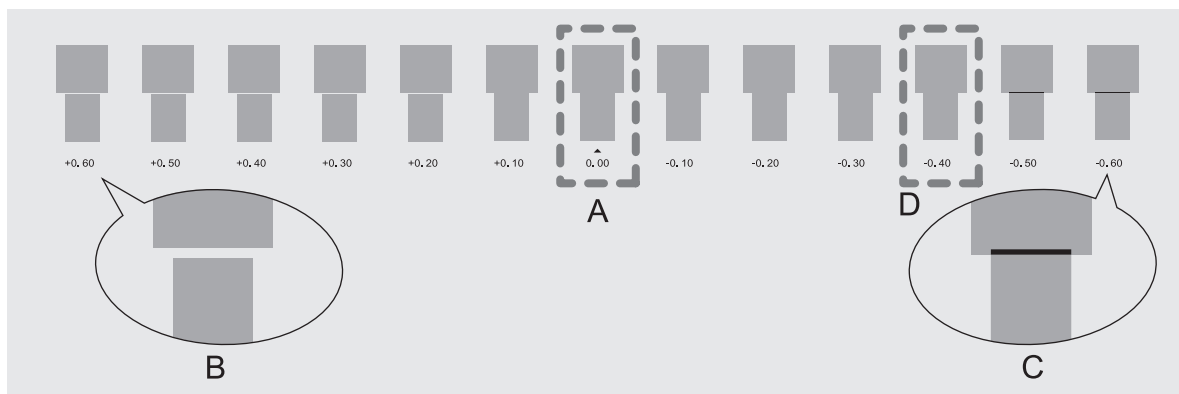
帯状の「すじ」のことを、「横すじ」や「バンディング」と呼びます。横すじは、メディアの厚みやフロントヒーターの温度によって、メディアを送るとき移動距離が微妙に変化することで生じます。お使いのメディアやフロントヒーターの設定温度に合わせた補正をお勧めします。

はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補正結果を確認してください。テストパターンの印刷と補正値の入力を何度か繰り返し、最適な補正値を探してください。



### 手順


1. メディアをセットアップする。
2. フロントカバーを閉じる。
3.  をタップする。
4. [メディア設定]>[印刷設定]>[送り補正]をタップする。
5. [詳細補正（手動）]を選択し、[次へ]をタップする。
6. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。
7. 印刷したテストパターンを確認し、  をタップして補正値を入力する。

「▲」が指している図形が現在の補正値です（A）。上下の四角形のすき間（B）や重なり（C）が最も小さいものを選んでください。下図の場合は、「-0.40」（D）を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の数値を指定してください。



### メモ

- テストパターンが見にくい場合は、[メディア送り]の   をタップして見やすい位置までメディアを移動してください。
- 手で確認したい場合は、[シートカット]の[実行]をタップしてメディアを切り離すこともできます。

8. [保存]をタップする。  
入力した補正值が保存されます。
9. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンをもう一度印刷します。
10. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。  
「▲」が指している図形（＝現在の補正值）が、すき間と重なりが最も小さいことを確認してください。すき間と重なりが小さい図形が他にある場合は、補正值を再設定してください。
11. 調整が成功したら、 をタップしてもとの画面に戻る。

## 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）




プリントヘッドから吐出するインクの着弾位置を調整します。着弾位置は、プリントヘッドの高さやメディアの厚みによって変わりますので、お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

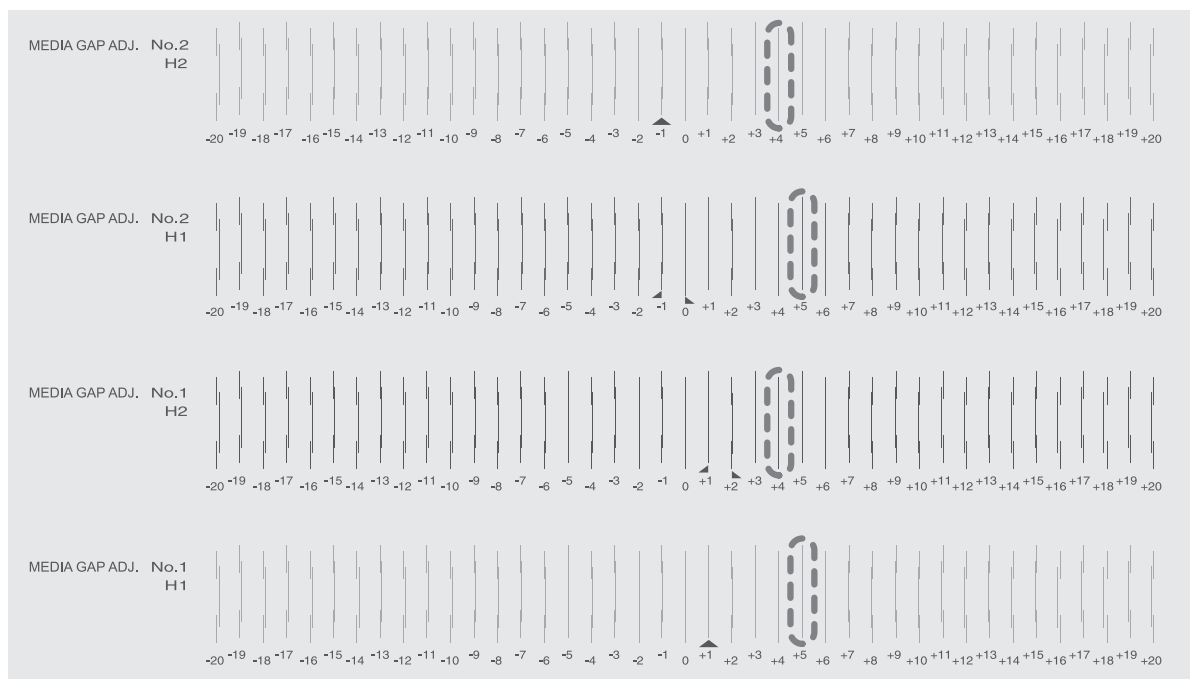
はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補正結果を確認してください。

次の場合は、必ずこの調整を実施してください。



- 本機を初めて使用する場合
- 使用するメディアの種類を変更する場合
- ヘッド高さを変更した場合

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2. フロントカバーを閉じる。
3.  をタップする。
4. [メディア設定]>[印刷設定]>[メディアギャップ補正]をタップする。
5. [詳細補正（手動）]を選択し、[次へ]をタップする。
6. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。
7. 印刷したテストパターンを確認し、  をタップして No.1 の H1 と H2 および No.2 の H1 と H2 の補正値を入力する。  
2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合、No.1 と No.2 の {H1} は「+5」、No.1 と No.2 の {H2} は「+4」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正値は「0.5」ずつ設定できません）。



## メモ

- テストパターンが見にくい場合は、[メディア送りの]   をタップして見やすい位置までメディアを移動してください。
- 手で確認したい場合は、[シートカット]の[実行]をタップしてメディアを切り離すこともできます。  
P. 105 メディアを切り離す

## 8. [保存]をタップする。

入力した補正値が保存されます。

## 9. [テストプリント]の[実行]をタップする。

テストパターンをもう一度印刷します。

## 10. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。

すべての補正値において、「▲」が指している2本の縦線（＝現在の補正値）の“ずれ”が最も少ないことを確認してください。“ずれ”が小さい縦線が他にある場合は、補正値を再設定してください。

11. 調整が成功したら、 をタップしてもとの画面に戻る。




# メディアの性質に応じた設定

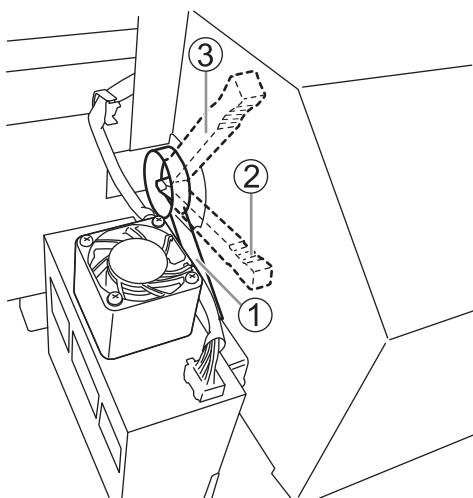
## プリントヘッドの高さを変える

しわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアがプリントヘッドに当たらないように、プリントヘッドの高さを調整します。

プリントヘッドの高さは[低い][中間][高い]から選べます。[中間]または[高い]にしたときは、[低い]のときに比べて印刷結果が粗くなるなど、印刷品質の低下を招くことがあります。

### 手順


1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[印刷設定]>[ヘッド高さ設定]をタップする。
4. [変更]をタップする。  
プリントヘッドが操作できる位置まで移動します。
5. フロントカバーを開ける。
6. 高さ調整レバーでプリントヘッド高さを調整する。  
高さ調整レバーの位置を変えると、表示画面の表示が変わります。



位置	操作パネルの表示	説明
①	[低い]	通常は[低い]に設定してください。
②	[中間]	印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアの場合は、[中間]に設定してください。
③	[高い]	[中間]にしても印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりする場合は、[高い]に設定してください。

**重要**

メディアとプリントヘッドの距離が離れるほど、印刷品質は低下します。むやみに[中間]または[高い]にしないようにしてください。

7. フロントカバーを閉じる。
8. [OK]をタップする。  
プリントヘッドがもとの位置まで移動します。
9.  をタップして、もとの画面に戻る。

**メモ**

- 出荷時設定：[低い]
- プリントヘッドの高さを高くしたことにより印刷品質の低下がみられた場合は、下記を参照して、品質の最適化を試みてください。


**関連情報**



- P. 163 必要な調整を自動で行う
- P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）

## 浮き上がりやすい／スムーズに動かないメディアを使用する


メディアを安定させるため、プラテンはメディアを吸着しています。メディアの性質や状態などに合わせて吸着力を調整することができます。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[メディア吸着力設定]をタップする。

4.   をタップして値を入力する。

0～100 %	コシがなくてスムーズに移動しにくいメディアでは、値を小さくする（吸着力を弱める）とスムーズに移動するようになることがあります。
オート	メディア幅に最適な吸着力に自動調整されます。

5. [保存]をタップして決定する。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

### メモ


- 出荷時設定：[オート]
- ソフトウェア RIP によってはこの設定をソフトウェア RIP でも行うことができます。ソフトウェア RIP で設定したときは、本機側の設定は無視されます。

# 巻取装置の設定をする

巻取装置を使用する場合、以下の設定が実際のメディアの取り付け方法と出力方法に則した設定かどうかを確認してください。次のいずれかのような場合は、出荷時設定から設定を変更する必要があります。

- カutting動作をとまなわない印刷だけの出力で、かつコシの弱いメディアを使用するとき。
- 内巻きで巻き取りたいとき。
- ホワイトインクの上に CMYK インクを重ねて印刷するなど、複数の色を重ねて印刷するとき

## 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[巻き取り設定]をタップする。
3. [巻き取り方法]をタップする。
4. 以下から設定を選択し、[保存]をタップする。

[たるみ巻き]	メディアを少したるませながら巻き取ります。塩ビなどのコシが強く、裏面がすべりやすいメディアに適しています。
[テンション巻き]	メディアを張りながら巻き取ります。ターポリンなどのコシが弱く、裏面がすべりにくいメディアに適しています。
[まとめて巻く]	ひとつのデータの出力が完了したのちにメディアを巻き取ります。色を重ねて印刷をする出力データに適しています。 <sup>*1</sup>

<sup>\*1</sup> 出力中は巻き取りを行わないため、前後 (Feed) 方向に長いデータを出力するとメディアが床に接触します。印刷面を汚さないように、あらかじめ床にきれいな段ボールなどを敷いてください。

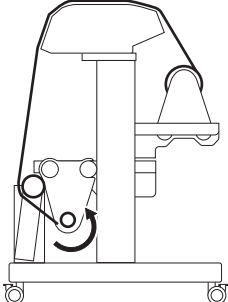
### 重要

カutting動作を伴う出力データのときはこの設定は無効になり、ひとつのデータの出力が完了するまでは巻き取りません。

### メモ

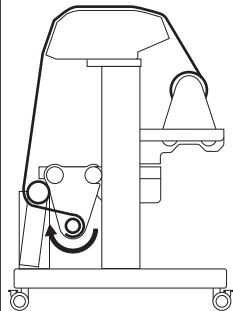
- 出荷時設定：[たるみ巻き]

5. [巻き取り方向]をタップする。
6. 以下から設定を選択し、[保存]をタップする。

[外巻き]	印刷された面を外側にして紙管に巻き取ります。 
-------	---


[内巻き]

印刷された面を内側にして紙管に巻き取ります。



メモ

- 出荷時設定：[外巻き]

7.  をタップして、もとの画面に戻る。

# メディアのずれを防ぐ



## メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する

引き戻し印刷やプリント&カットのときにミドルピンチローラーが自動的に上昇する設定を[無効]にします。メディアの斜行や浮きを抑えて、印刷やカットのずれを抑える効果があります。

[ミドルピンチ自動昇降]は、メディアを引き戻す際にミドルピンチローラーを自動的に上昇させ、上昇したまま重ね印刷やカットを実施する機能です。しかし、長尺印刷の場合やコシのないメディアなどでは、メディアが斜行したり浮いたりして、出力品質に影響することがあります。

[ミドルピンチ自動昇降]を[無効]に設定すると、ミドルピンチローラーがメディアを押さえながら移動するため、メディアの斜行や浮きを防ぎます。ただし、ミドルピンチローラーが印刷表面に押し付けられたままになるため、印刷表面にローラーの跡が付きやすくなります。メディアを引き戻す前に、しっかりと乾燥させておくようにしてください。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[ミドルピンチ自動昇降]をタップする。
4. [無効]を選択する。  
メディアを送るときと引き戻しのときにミドルピンチローラーが降りて、メディアを押さえながら移動するようになります。
5. [保存]をタップして決定する。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### メモ

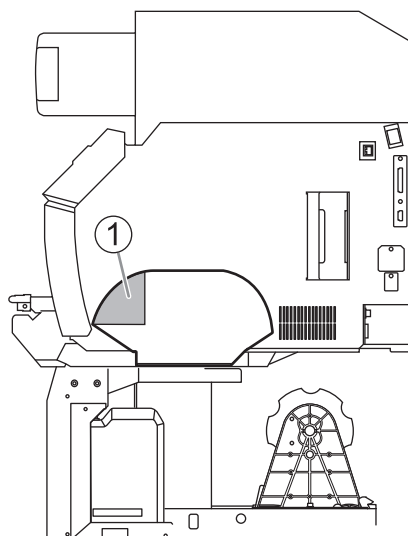
- 出荷時設定：[有効]

### 関連情報

- P. 174 メディアを温めてメディア浮きを抑制する

# メディアを温めてメディア浮きを抑制する

本機は、エプロン部にメディアを温めるフロントヒーター (①) を搭載しています。メディアを温めることにより、メディアをしなやかにして、プラテン部のメディア浮きを抑えます。メディアの種類や印刷速度に応じて、温度を調整することができます。



## ⚠ 警告

高温注意。

ヒーターなど熱くなる場所があります。やけどに注意してください。

## ⚠ 警告

出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。

同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

## ⚠ 警告

熱に耐えられないメディアは使わない。

メディアが変質したり、火災や有害ガス発生のおそれがあります。

## ⚠ 警告

ヒーターで服を乾かすなど、用途以外の使い方をしない。

過熱による火災など、思わぬ事故の原因になります。

## 重要

**20～32℃の環境でお使いください**

20℃未満の環境で本機をお使いの場合、メディアの種類や幅によっては、しわになったり、温度ムラになったりすることがあります。このような場合は、メディアヒーティングシステムの温度を 2℃程度低くしてみてください。ただし、安定した印刷結果を得るためには、20～32℃の環境で本機をお使いください。

## 待機時のヒーター温度を設定する

使用する環境によって設定温度より高くなることがありますが、異常ではありません。

### 手順



1. ローディングレバーが上がっていることを確認する。
2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。




[待機時ヒーター温度] 画面が表示されます。

3.  をタップして、[待機時ヒーター温度]をオン  にする。




4.   をタップして、[待機時ヒーター温度]を設定する。

[待機時ヒーター温度] が  になっていると温度設定ができません。

温度が高すぎるとメディアがしわになったり、変質したりします。

5. [保存]をタップして決定する。



6.  をタップして、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：オフ

## 出力時のヒーター温度を設定する

使用する環境によって設定温度より高くなることがありますが、異常ではありません。

### 手順



1. メディアをセットアップする。
2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。





[ヒーター温度]画面が表示されます。

3.  をタップして、[フロントヒーター]をオン  にする。



4.   をタップして、[フロントヒーター]の温度を設定する。

[フロントヒーター]が  になっていると温度設定ができません。  
温度が高すぎるとメディアがしわになったり、変質したりします。

5. [保存]をタップして決定する。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

メモ


- 出荷時設定：オフ

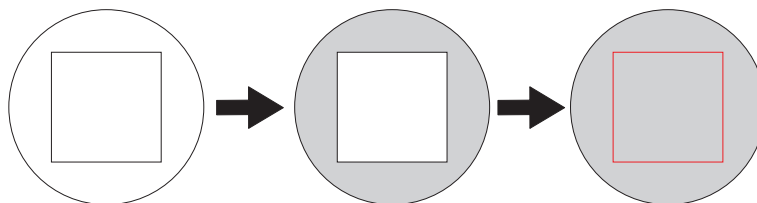
# カッティングの設定を細かく調整する




## カッティング条件を細かく設定する



カッターの圧力、移動速度、刃先補正量などを、メディアの性質やカットする形状に合わせて、細かく設定することができます。はじめにテストカットを実施し、設定値を決めて入力します。設定値を入力したら、あらためてテストカットを実施して結果を確認してください。テストカットと設定を何度かくり返し、最適な設定値を探してください。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2. フロントカバーを閉じる。
3. ホーム画面で  [カッター調整] をタップする。
4. [テストカット] の [実行] をタップする。  
テストパターンがカットされます。
5. テストカットの結果を確認する。  
結果が見にくい場合は、[シートカット] を [実行] してメディアを切り離し、手元で確認してください。




確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する。	形がゆがんでいる。	[カット速度]	小さくする
円をはがす。	四角形が一緒にはがれる。	[カッター圧]	大きくする
	部分的な切り残しがある。	[カット速度]	小さくする
四角形をはがす。	うっすらと台紙にカッターの跡がある。	[カッター圧]	そのまま
	カッターの跡がわからない。		大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている。		小さくする
はがした四角形の形を確認する。	 角に丸みやツノが無い	[カッターオフセット]	そのまま
	 角がとれて丸くなっている		大きくする
	 角にツノができています		小さくする

6.   をタップして、各設定を変更する。

## カッティングの設定を細かく調整する

表示画面 (カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
[カッター圧]	カッターの圧力を設定します。	50 gf
[カット速度]	カッティングの速度を設定します。	30 cm/s
[カッターオフセット]	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください。 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です。	0.250 mm
[UP 移動速度]	カッティング中のカッターの空送り速度 (1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが移動するときの速度) を設定します。空送り中に、メディアが浮き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速度を落としてください。	30 cm/s

7. [保存]をタップして決定する。

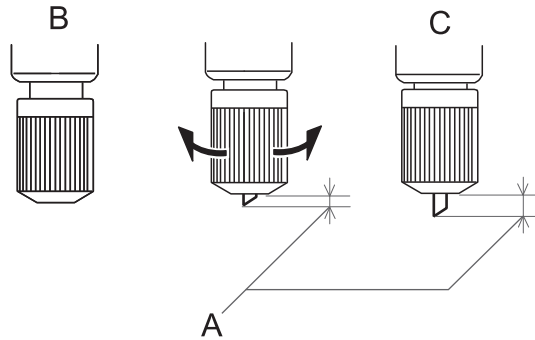
8.  をタップして、もとの画面に戻る。

## 切り込み量を細かく調整する

台紙が薄いメディアのカッティングなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整するとよい結果が得られます。刃先突出量は、カッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。1目盛で0.1 mm、1回転で0.5 mmの調整ができます。

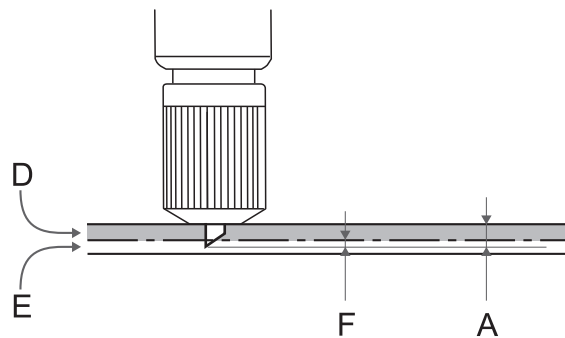
ただし、刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり傷つけたりすることがあります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。

刃先突出量 (A) は、最小で 0 mm (B)、最大で 2.5 mm (C) です。



### 刃先突出量の目安 (ステッカーを作成する場合)

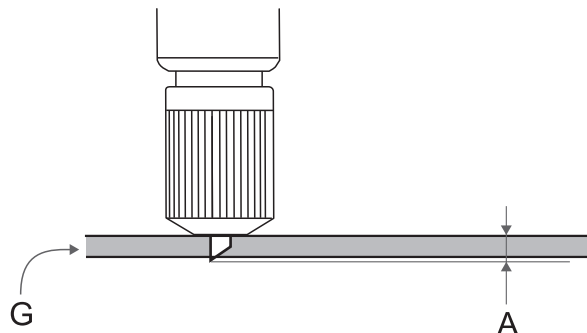
刃先突出量 (A) は、「シート部分の厚み (D)」と「台紙の厚み (E) の半分 (F)」を足した量にしてください。



### 刃先突出量の目安 (ミシン目カットを実施する場合)

刃先突出量 (A) は、カッターがメディア (G) を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。

ミシン目カットの出力設定については、VersaWorks の取扱説明書を参照してください。



### 重要

刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。


## 印刷面にカットするときの調整をする

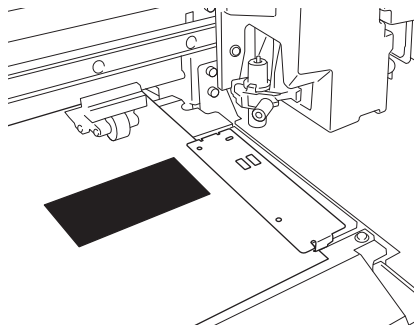
硬化したインクには厚みがあります。そのため、印刷面をカットするときと印刷してないところをカットするときとはカッティング条件が異なります。印刷面にカットするときには、この[テストカット用プリント]を使ってカッティング条件の調整を行なってください。

この調整は、おおよその目安です。その精度を保証するものではありません。

### Step 1: テストカット用プリントをしてテストカットする

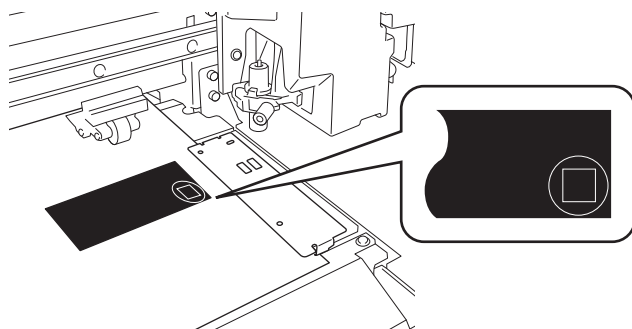
#### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[カット設定]>[カッター調整]をタップする。
4. [テストカット用プリント]の[実行]をタップする。



5. [テストカット]の[実行]をタップする。

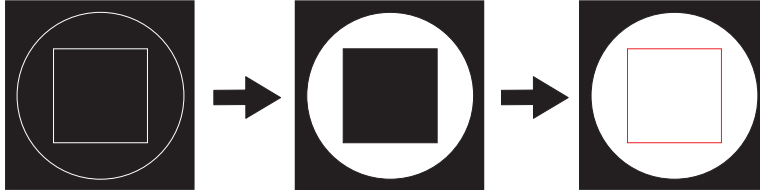
テストパターンがカットされます。








## Step 2: テストカットの結果を確認して調整する

### 手順

1. フロントカバーを開ける。
2. テストカットの結果を確認する。



確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する。	形がゆがんでいる。	[カット速度]	小さくする
円をはがす。	四角形が一緒にはがれる。	[カッター圧]	大きくする
	部分的な切り残しがある。	[カット速度]	小さくする
四角形をはがす。	うっすらと台紙にカッターの跡がある。	[カッター圧]	そのまま
	カッターの跡がわからない。		大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている。		小さくする
はがした四角形の形を確認する。	 角に丸みやツノが無い	[カッターオフセット]	そのまま
	 角がとれて丸くなっている		大きくする
	 角にツノができています		小さくする

3.   をタップして、各設定を変更する。

表示画面 (カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
[カッター圧]	カッターの圧力を設定します。	50 gf
[カット速度]	カッティングの速度を設定します。	30 cm/s
[カッターオフセット]	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください。 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です。	0.250 mm
[UP 移動速度]	カッティング中のカッターの空送り速度（1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが移動するときの速度）を設定します。空送り中に、メディアが浮き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速度を落としてください。	30 cm/s





4. [保存]をタップして決定する。



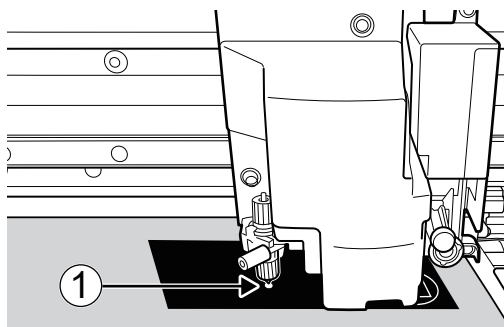
## Step 3: 調整結果を確認する

### 手順

1. [出力開始位置]の[実行]をタップする。

2.     をタップして、カッターの中心をベースポイントにしたい位置に移動する。

  をタップするとメディアが動き、  をタップするとカッティングキャリッジが動きます。



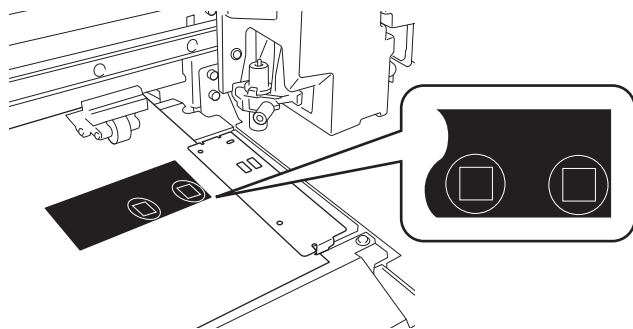
・ ①：ベースポイント（出力エリアの右端）

3. 位置が決まったら、[ここをベースポイントに設定]をタップして決定する。

4. フロントカバーを閉じる。

5. [テストカット]の[実行]をタップする。

テストパターンがカットされます。



6. フロントカバーを開ける。

7. テストカットの結果を再確認する。




8. 調整が完了したら、 をタップして、もとの画面に戻る。

## カッティング時の距離補正をする


カッティング時、カット線の長さを正確に合わせたいときの補正を行います。カッティングのみ、またはプリント&カットでも適用されます。

メディアの厚みによって、メディアの移動距離が微妙に変化します。そのためカッティングしたときの線の長さがデータで設定された長さとはずれることがあります。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[カット設定]>[カット距離補正]をタップする。
4.   をタップして、補正值を変更する。

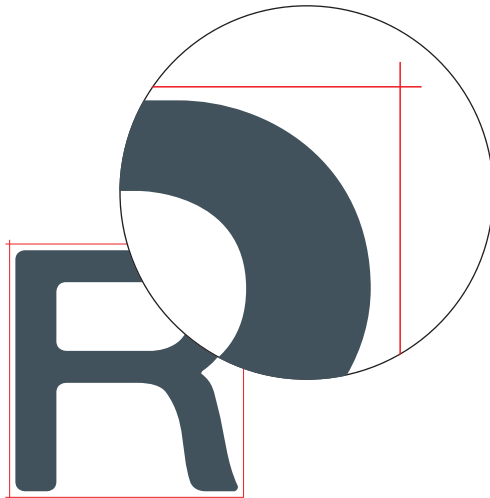
設定項目	設定内容	出荷時設定
[補正值 (Feed) ]	メディアの送り方向の補正值	0.00 %
[補正值 (Scan) ]	プリントヘッドの移動方向の補正值	0.00 %

5. [保存]をタップして決定する。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。



## 角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット）

カット線の外枠の角部分を少し長めにカットして、角をきれいにカットすることができます。

ラミネートした後や、厚みのあるメディア、コシのないメディアを使用する場合に効果的です。また、ステッカーを剥がしやすくする効果もあります。

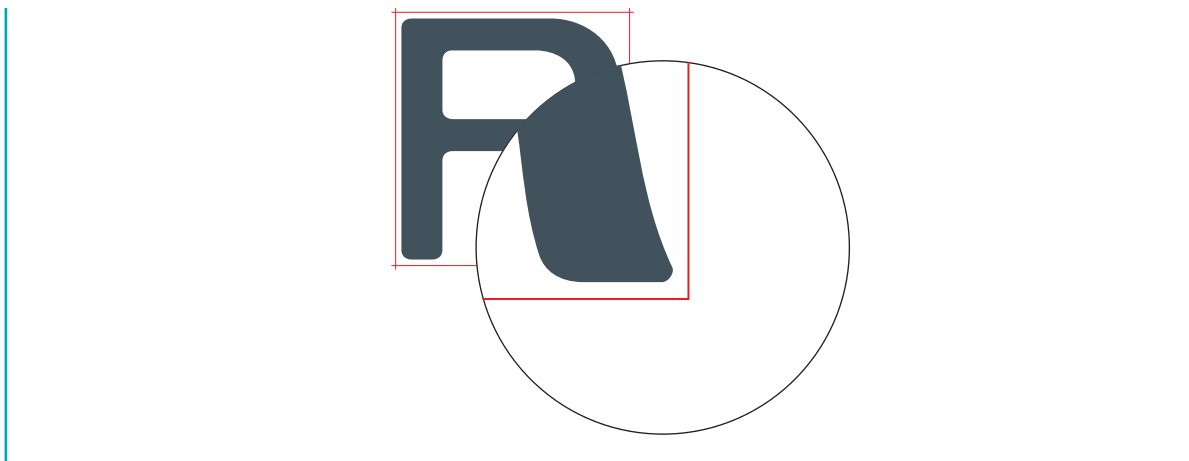


### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[カット設定]>[オーバーカット]をタップする。
4. [有効]をタップする。
5. [保存]をタップして決定する。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

### メモ



- 出荷時設定：[無効]
- カッティングの始点ではオーバーカットされません。



## 本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる

ソフトウェア RIP の設定よりも、本機で設定したカッティング条件を優先するように設定します。カッティング条件はソフトウェア RIP でも設定でき、通常はソフトウェア RIP の設定を優先します。

### 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[カット設定の優先度]をタップする。
3. [機体優先]を選択する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### メモ

- 出荷時設定：[ソフトウェア RIP 優先]

# プリント&カットの設定を細かく調整する



## 印刷とカットのずれを補正する

印刷とカッティングを連続して行った場合に、印刷とカッティングが微妙にずれした場合の補正方法です。

位置合わせマークを印刷して読み取り、ずれを補正します。メディアの厚みやヘッド高さによって印刷とカッティングの位置が微妙にずれることがあります。お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

### 1. インクの着弾位置のずれを調整する

#### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[印刷設定]>[メディアギャップ補正]をタップする。
4. [簡易補正 (自動)]を選択し、[次へ]をタップする。
5. [実行]をタップする。  
テストパターンの印刷とメディアギャップの補正が自動で実施されます。
6. 終了画面が表示されたら[OK]をタップする。
7. [結果]に応じて以下を実施する。
  - 操作パネルに[成功]と表示されている場合は、 をタップしてもとの画面にもどります。
  - 操作パネルに[失敗]と表示されている場合は、手動でメディアギャップ補正を実施してください。

#### 関連情報

- P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する (メディアギャップ補正)

## 2. 印刷とカットのずれを補正する

### 手順

1.  をタップする。

2. [メディア設定]>[カット設定]>[プリント&カット位置調整]をタップする。

3. [テストプリント 1 (ズレの有無)]の[実行]をタップする。

テストプリント 1 がプリント&カットされます。テストパターンはメディアの両端に 1 箇所ずつ出力されます。

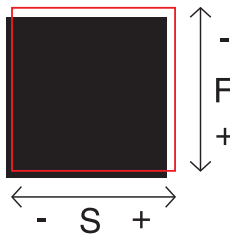
#### メモ

メディアが傾いていると、両端で位置がずれてしまいます。テストパターンを両端に印刷することで、メディアの傾きによるずれも調整できます。

4. テストプリント 1 の結果を確認する。

プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (赤線) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

[F]はメディアの送り方向 (FEED 方向)、[S]はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。

プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

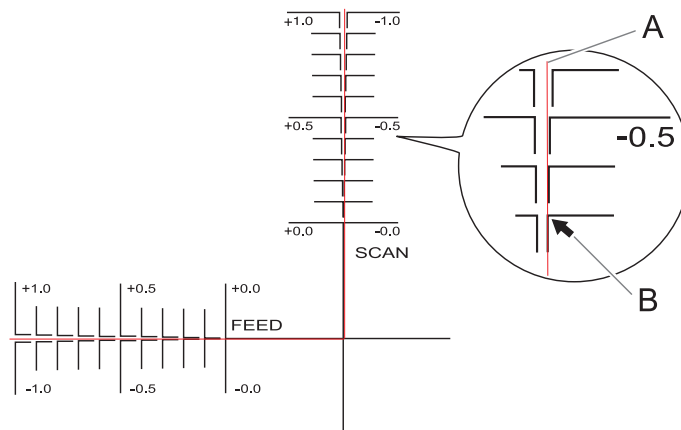
5. [テストプリント 2 (補正值決め)]の[実行]をタップする。

テストプリント 2 がプリント&カットされます。



6. テストプリント 2 の状態から補正值を確認する。



カッティングライン (A) と補正值目盛りの交点 (B) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。

メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。





7. メディアの送り方向 (FEED 方向) とプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

(1) [補正値 (Feed)] の   をタップして、メディアの送り方向 (FEED 方向) の補正値を設定する。

(2) [補正値 (Scan)] の   をタップして、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。


8. [保存]をタップする。  
補正値が保存されます。

9. [テストプリント 1 (ズレの有無)] の[実行]をタップする。  
テストプリント 1 がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、[補正値 (Feed)] と [補正値 (Scan)] の   をタップしてプリント&カットの位置を微調整し、[保存]してください。

メモ

出荷時設定

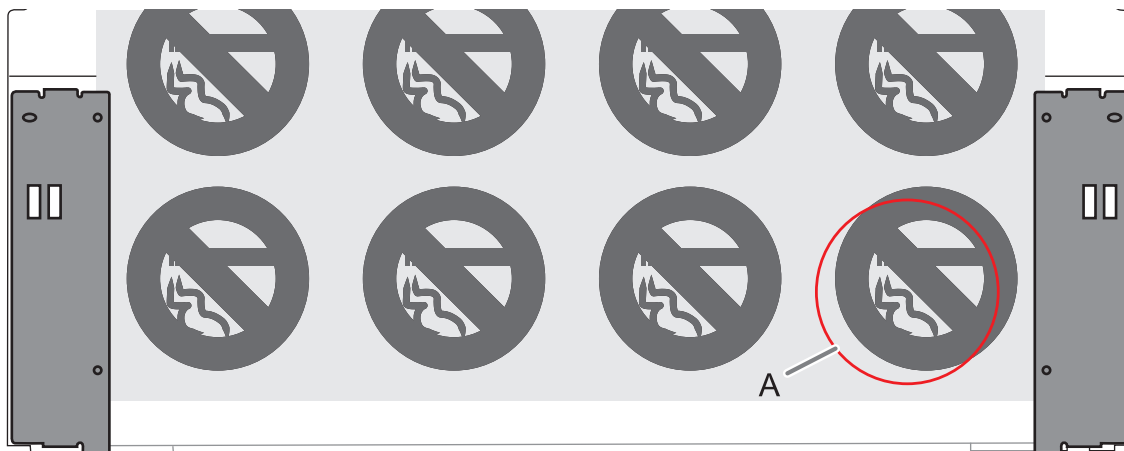
- [補正値 (Feed)] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
- [補正値 (Scan)] (プリントヘッドの移動方向の補正値) : 0.00 mm

10.  をタップして、もとの画面に戻る。




## カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する

プリント後のカッティング中にカット位置のずれ (A) を見つけた場合、動作を一時停止してカット位置のずれを補正する方法です。ここで設定した補正値は、セットアップ中のメディア設定に反映されます。



通常は、印刷位置とカット位置のずれは、テストパターンを見ながら補正してください。

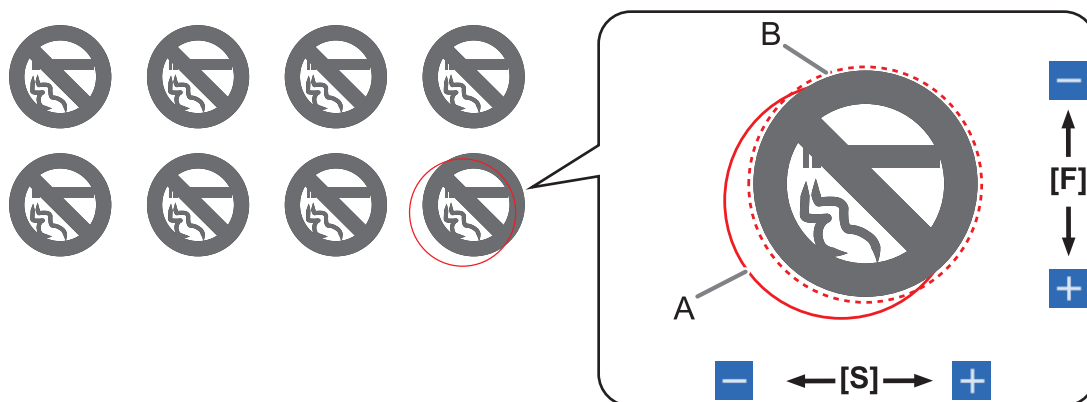
### 手順

1. カッティング動作中に[一時停止]をタップする。  
カッティング動作が一時停止します。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[カット設定]>[プリント&カット位置調整]をタップする。
4. カット位置の補正値を決める。

### メモ

#### 補正値の決め方



下図の場合は現在のカット位置：実線 (A) を破線 (B) の位置に移動します。





- メディアの送り方向 (Feed 方向) がプラス方向にずれている。
  - カット位置をマイナス方向に移動します。
- プリントヘッドの移動方向 (Scan 方向) がマイナス方向にずれている。


- カット位置をプラス方向に移動します。

5. メディアの送り方向 (FEED 方向) とプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

(1) [補正値 (Feed)] の   をタップして、メディアの送り方向 (FEED 方向) の補正値を設定する。

(2) [補正値 (Scan)] の   をタップして、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

6. [保存] をタップして決定する。

7.  をタップして、もとの画面に戻る。

8. [再開] をタップして、カッティング動作を再開する。

このとき[出力中止]をタップすると、カッティング動作はキャンセルされます。

メモ

- 出荷時設定
  - [補正値 (Feed)] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
  - [補正値 (Scan)] (プリントヘッドの移動方向の補正値) : 0.00 mm

関連情報

- [P. 189 印刷とカットのずれを補正する](#)

# クロップ&カットの設定を細かく調整する



## クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット同時テスト）

メディアの材質によっては、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

クロップ&カットは、印刷後にメディアをいったん取り外してからカットしますが、この方法ではメディアは取り外さずに、印刷位置とカット位置の補正を一度に実施することができます。

### 1. インクの着弾位置のずれを調整する

#### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[印刷設定]>[メディアギャップ補正]をタップする。
4. [簡易補正（自動）]を選択し、[次へ]をタップする。
5. [実行]をタップする。  
テストパターンの印刷とメディアギャップの補正が自動で実施されます。
6. 終了画面が表示されたら[OK]をタップする。
7. [結果]に応じて以下を実施する。
  - ・ 操作パネルに[成功]と表示されている場合は、 をタップしてもとの画面にもどります。
  - ・ 操作パネルに[失敗]と表示されている場合は、手動でメディアギャップ補正を実施してください。

#### 関連情報

- ・ P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）

## 2. クロープ印刷とカットのずれを同時に補正する

クロープマーク印刷とカットを実施して、位置のずれがないかを確認します。ここでは、簡易的にクロープマーク印刷後にメディアを取り外さず、クロープマークを読んでテストカットを実行します。実際の工程と同じようにクロープマーク印刷後にメディアを取り外してラミネートなどのあと処理をし、再度メディアを取り付けてカット位置のずれがないかを確認する場合は、**[クロープ/カット分離テスト]**をオンにしてください。詳細は、**クロープ印刷とカットのずれを補正する (クロープ/カット分離テスト) (P. 197)** を参照してください。

### 手順

1.  をタップする。

2. **[メディア設定]>[カット設定]>[クロープカット位置調整]**をタップする。

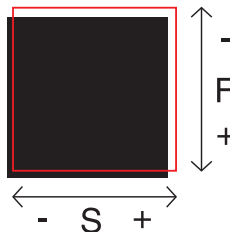
3. **[テストプリント 1 (ズレの有無)]**の**[実行]**をタップする。

テストプリント 1 がプリント&カットされます。テストパターンはメディア上に 1 つ出力されます。

4. テストプリント 1 を確認する。

プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (赤線) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

[F]はメディアの送り方向 (FEED 方向)、[S]はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。

プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

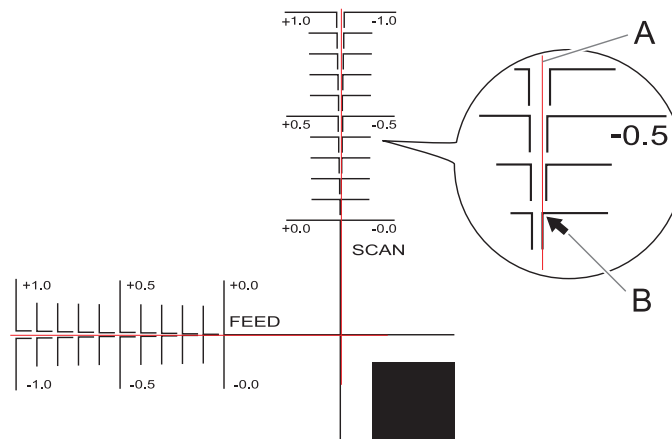
5. **[テストプリント 2 (補正值決め)]**の**[実行]**をタップする。

テストプリント 2 がプリント&カットされます。



6. テストプリント 2 の状態から補正值を確認する。



カッティングライン (A) と補正值目盛りの交点 (B) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。

メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。





7. メディアの送り方向 (FEED 方向) とプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

(1) [補正値 (Feed)] の   をタップして、メディアの送り方向 (FEED 方向) の補正値を設定する。

(2) [補正値 (Scan)] の   をタップして、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) の補正値を設定する。

8. [保存] をタップする。  
補正値が保存されます。

9. [テストプリント 1 (ズレの有無)] の [実行] をタップする。  
テストプリント 1 がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、[補正値 (Feed)] と [補正値 (Scan)] の   をタップしてプリント&カットの位置を微調整し、[保存] してください。

#### メモ

- 出荷時設定  
[補正値 (Feed)] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm  
[補正値 (Scan)] (プリントヘッドの移動方向の補正値) : 0.00 mm
- ラミネート加工によるメディアの状態変化や、カット前のメディアの取り付け位置によって、カット位置がずれることがあります。そのような場合は、クロップ印刷とカットのずれの補正を行ってください。

10.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### 関連情報

- P. 197 クロップ印刷とカットのずれを補正する (クロップ/カット分離テスト)



## クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ／カット分離テスト）

ラミネート加工によってメディアの厚みが変わったり、カット前後のメディア取り付け位置がずれたりすることで、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアや状態に合わせて、印刷とカットのずれを補正してください。

このテストでは、実際の作業と同じ条件にするため、クロップマークだけを印刷した後にメディアを取り外し、もう一度メディアを取り付けてからカットのテストを実施します。

### 1. インクの着弾位置のずれを調整する

#### 手順






1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[印刷設定]>[メディアギャップ補正]をタップする。
4. [簡易補正（自動）]を選択し、[次へ]をタップする。
5. [実行]をタップする。  
テストパターンの印刷とメディアギャップの補正が自動で実施されます。
6. 終了画面が表示されたら[OK]をタップする。
7. [結果]に応じて以下を実施する。
  - 操作パネルに[成功]と表示されている場合は、 をタップしてもとの画面にもどります。
  - 操作パネルに[失敗]と表示されている場合は、手動でメディアギャップ補正を実施してください。

#### 関連情報

- P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）





## 2. クロップマークだけを印刷する

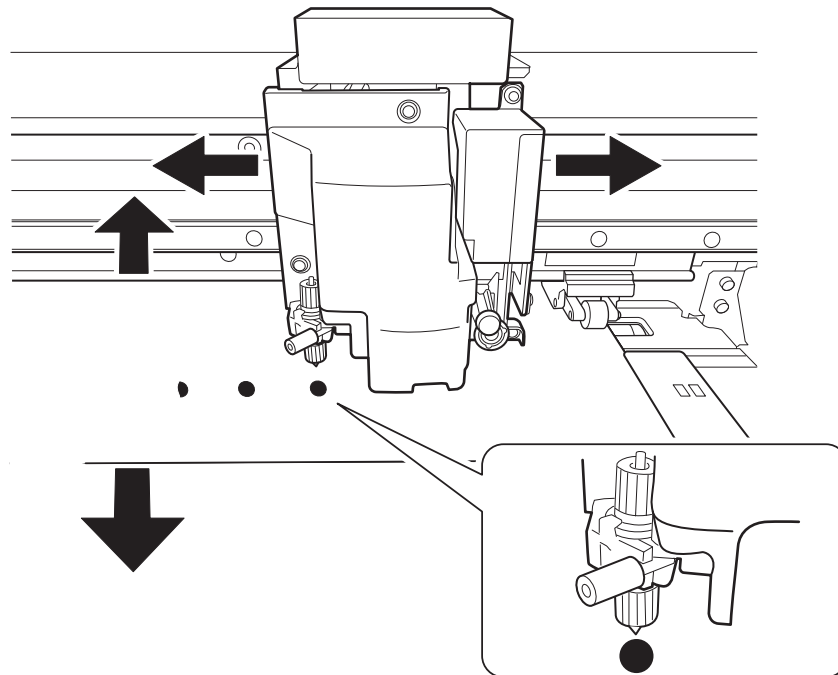
### 手順

1.  をタップする。
2. [メディア設定]>[カット設定]>[クロップカット位置調整]をタップする。
3. [クロップ/カット分離テスト]の  をタップしてオン  にする。
4. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。  
クロップマークを印刷します。印刷が完了すると、もとの画面に戻ります。
5. メディアを取り外す。  
メディアを切り離す場合は、下記の手順を実施してください。
  - (1) フロントカバーを閉じる。
  - (2) [出力開始位置]の[変更]をタップする。
  - (3)  をタップしてメディアを送り、印刷したクロップマークのあとに 130 mm 以上の余白を設ける。
  - (4)  をタップして、1 つ前の画面に戻る。
  - (5) [シートカット]の[実行]をタップする。
  - (6) 確認画面で[はい]をタップする。
6. ラミネート加工など、通常のクロップ&カット出力のカット出力前の作業を完了する。

### 3. テストカットを実施する

#### 手順

1. ラミネート加工など、カット出力前の作業を完了したメディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[カット設定]>[クランプカット位置調整]をタップする。
4. [クランプ/カット分離テスト]の  をタップしてオン  にする。
5. [テストカット]の[実行]をタップする。  
[クランプマークの上にカッターを移動してください]画面が表示されます。
6.  をタップして、カッターの中心をテストカットするクランプマークの上に移動する。  
カッターの中心がクランプマークの上にあればよく、クランプマークの中心に合わせる必要はありません。



7. [実行]をタップする。  
テストカットを開始します。

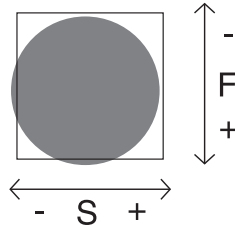


## 4. 補正值を設定する

### 手順

**1. テストカットの結果を見て、補正值を決める。**

クロップマーク（塗りつぶし）とカット位置（赤線）のずれを確認してください。下図は、クロップマークとカット位置がずれた状態です。





- カット線の中にテストプリントしたクロップマークが収まっていれば、補正の必要はありません。
- カット線からテストプリントしたクロップマークがはみ出ている場合は、補正が必要です。



[F]はメディアの送り方向（FEED 方向）、[S]はプリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）です（実際のテストパターンでは「F」「S」「+」「-」と矢印の表示はありません）。

#### メモ

カット位置のずれを補正するように値を決めます。上図の場合、FEED 方向[F]がマイナス方向に、SCAN 方向[S]がプラス方向にずれています。したがって、補正值は FEED 方向[F]はプラスの値、SCAN 方向[S]はマイナスの値にします。実際にずれている量を計測して、値を決めてください。

**2. メディアの送り方向（FEED 方向）とプリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）の補正值を設定する。**


(1) [補正值 (Feed)] の   をタップして、メディアの送り方向（FEED 方向）の補正值を設定する。

(2) [補正值 (Scan)] の   をタップして、プリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）の補正值を設定する。

**3. [保存]をタップする。**

**4. 3. テストカットを実施する (P. 199) の手順 5~7 をやり直して、補正が成功したかどうか確認する。**

- カット線の中にテストプリントしたクロップマークが収まっていれば、補正は完了です。
- カット線からテストプリントしたクロップマークがはみ出ている場合は、補正をやり直してください。

**5.  をタップして、もとの画面に戻る。**

#### メモ

- 出荷時設定  
 [補正值 (Feed)] (メディアの送り方向の補正值) : 0.00 mm  
 [補正值 (Scan)] (プリントヘッドの移動方向の補正值) : 0.00 mm
- メディアを取り外さずに、印刷位置とカット位置の補正を一度に実施することもできます


**関連情報**

- ・ [P. 194 クロップ印刷とカットのずれを補正する \(クロップ&カット同時テスト\)](#)

## 読み取りセンサーを補正する

メディアの特性（反射性や色など）によって、クロップマークが読み取れないことがあります。そのような場合は、クロップマークを読み取るセンサーを補正します。クロップ&カットを行わないときは、失敗と表示されていても動作に支障はありません。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[マルチセンサー調整]をタップする。
4. [実行]をタップする。  
[調整結果]が表示されます。

• [成功]：



をタップして、もとの画面に戻る。

• [失敗]：

次の項目を確認してください。

原因	対策
プリンターを設置している部屋、またはプリンター周辺の照明が明るすぎる	部屋の照明を調整してください
何等かの理由で補正に失敗した	もう一度やり直してください
メディアの特性（反射性や色）により、クロップマークが認識できない	クロップ&カットをする場合は、メディアを変更してください
印刷直後のメディアがあたるなどして、マルチセンサーにインクがついた	お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

# クリーニングによる印刷の中断を回避する

## 印刷中に行われるクリーニングについて

本機は印刷している時間をカウントしており、印刷積算時間が規定時間に達すると自動的にクリーニングを行います。クリーニングが終了すると、印刷積算時間はリセットされます。このクリーニングは印刷中でも行われるため、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。


印刷中のクリーニングを回避するために、まずクリーニングまでの時間を把握します。その後、ソフトウェア RIP で印刷に必要な時間を確認します。印刷に必要な時間がクリーニングするまでの時間より長い場合は、印刷前にクリーニング&カウントクリアを行います。これにより印刷積算時間がリセットされます。または印刷品質を変更して印刷に必要な時間を短くします。これらのどちらかまたは両方を行うことで、印刷中のクリーニングを回避することができます。

### 1. 印刷積算時間を確認する

ホーム画面にクリーニングまでの時間が表示されていないときは、メニューからクリーニングまでの残り時間を表示する設定に変更してください。

[P. 223 クリーニングまでの残り時間を表示する](#)

#### 手順

1. ホーム画面が表示されていないときは、 をタップする。

2. [CL.まで]の表示を確認する。

自動クリーニング開始までの残りの時間が表示されています。

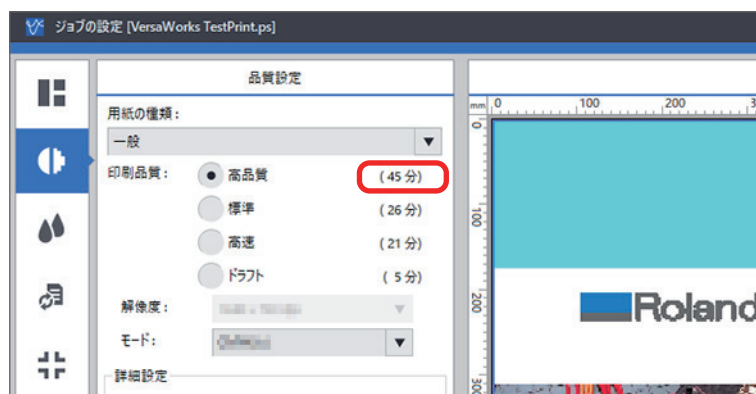


## 2. 印刷に必要な時間を確認する

印刷に必要な時間はご使用のソフトウェア RIP でご確認ください。以下は VersaWorks の確認方法です。

### 手順

1. [ジョブの設定]画面を表示する。
2. 印刷に必要な時間を確認する。



### 関連情報

- VersaWorks マニュアル (<https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6>)

### 3. 自動クリーニングまでの時間をリセットする

自動クリーニングまでの時間と印刷に必要な時間を確認し、必要に応じて積算時間をリセットするクリーニング&カウントクリアを実施します。

#### 手順

1.  をタップする。


2. [環境設定]>[印刷中クリーニングまでの残り時間]をタップする。

以下の画面が表示されます。



3. [クリーニング&カウントクリア]の[実行]をタップする。

クリーニングを開始します。操作パネル上部に[メンテナンス中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。

4.  をタップして、もとの画面に戻る。

# 作業効率を最適化する

---


メディア設定を管理する .....	207
メディア設定を変更する .....	207
登録済みのメディア設定を確認する .....	208
メディア名を変更する .....	209
メディア設定を複製する .....	210
カット用にメディア設定を複製する .....	211
メディア設定を削除する .....	212
出力開始位置を調整する .....	213
ベースポイントを設定する .....	213
出力時間を短縮する .....	215
幅のせまいメディアへの出力を速くする .....	215
その他の便利な機能 .....	216
テストプリントを横に並べて印刷する .....	216

# メディア設定を管理する

## メディア設定を変更する


メディア設定を変更します。変更できるメディア設定は、セットアップ中のメディアのみです。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[メディア設定値一覧]をタップする。
4. 変更したい設定をタップし、各設定の編集画面に移動する。  
変更できるメディア設定は次のとおりです。

設定メニュー	参照ページ
[ヘッド高さ設定]	P. 168 プリントヘッドの高さを変える
[送り補正]	P. 164 手動調整：横すじを軽減する（送り補正）
[メディアギャップ補正]	P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）
[カッター調整]	P. 179 カッティング条件を細かく設定する
[プリント&カット位置調整]	P. 189 印刷とカットのずれを補正する
[クロップカット位置調整]	P. 194 クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット同時テスト） P. 197 クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ／カット分離テスト）
[カット距離補正]	P. 185 カッティング時の距離補正をする
[オーバーカット]	P. 186 角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット）
[ヒーター温度]	P. 175 待機時のヒーター温度を設定する P. 177 出力時のヒーター温度を設定する
[マルチセンサー調整]	P. 202 読み取りセンサーを補正する
[メディア吸着力設定]	P. 170 浮き上がりやすい／スムーズに動かないメディアを使用する
[印刷時の動作幅]	P. 215 幅のせまいメディアへの出力を速くする
[ミドルピンチ自動昇降]	P. 173 メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する


5. 設定を変更した場合は、[保存]をタップする。

6.  をタップして、もとの画面に戻る。



## 登録済みのメディア設定を確認する

### 手順




1.  をタップする。
2. [メディア管理]をタップする。  
登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
3. 任意のメディア設定をタップする。
4. [メディア設定値一覧]をタップする。  
登録済みのメディア設定値が一覧表示されます。

設定メニュー	参照ページ
[ヘッド高さ設定]	P. 168 プリントヘッドの高さを変える
[送り補正]	P. 164 手動調整：横すじを軽減する（送り補正）
[メディアギャップ補正]	P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）
[カッター調整]	P. 179 カッティング条件を細かく設定する
[プリント&カット位置調整]	P. 189 印刷とカットのずれを補正する
[クロップカット位置調整]	P. 194 クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット同時テスト） P. 197 クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ/カット分離テスト）
[カット距離補正]	P. 185 カッティング時の距離補正をする
[オーバーカット]	P. 186 角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット）
[ヒーター温度]	P. 175 待機時のヒーター温度を設定する P. 177 出力時のヒーター温度を設定する
[マルチセンサー調整]	P. 202 読み取りセンサーを補正する
[メディア吸着力設定]	P. 170 浮き上がりやすい/スムーズに動かないメディアを使用する
[印刷時の動作幅]	P. 215 幅のせまいメディアへの出力を速くする
[ミドルピンチ自動昇降]	P. 173 メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する

5.  をタップして、もとの画面に戻る。

## メディア名を変更する



### 手順

1.  をタップする。
2. [メディア管理]をタップする。  
登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
3. メディア名を変更したいメディアをタップする。
4.  をタップする。
5. 入力領域をタップし、任意のメディア名を入力する。  
メディア名として入力できる文字は、15文字以内の英数字のみです。
6. [OK]をタップして決定する。
7.  をタップして、もとの画面に戻る。

## メディア設定を複製する

作成済みのメディア設定を複製します。



### 手順

1.  をタップする。
2. [メディア管理]をタップする。  
登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
3. 複製したいメディア設定をタップする。
4. [メディアを複製]をタップする。  
複製されたメディア名の入力画面が表示されます。複製されたメディア名は、複製元のメディア名の先頭に[COPY]が追加されています。
5. 任意のメディア名を入力し、[OK]をタップする。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

## カット用にメディア設定を複製する

作成済みのメディア設定をカット用に複製します。

### 手順

1.  をタップする。
2. [メディア管理]をタップする。  
登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
3. 複製したいメディア設定をタップする。
4. [カット用メディアとして複製]をタップする。
  - 複製されたメディア名の入力画面が表示されます。複製されたメディア名は、複製元のメディア名の先頭に[**COPY**]が追加されています。
  - 複製元のメディアからヒーターパワーをオフにした設定で複製されます。
5. 任意のメディア名を入力し、[OK]をタップする。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。



## メディア設定を削除する

作成済みのメディア設定を削除します。

### メモ

セットアップ中のメディアに対しては、この操作は実行できません。メディアのセットアップを解除してから実行してください。

### 手順

1.  をタップする。
2. [メディア管理]をタップする。  
登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
3. 削除したいメディアをタップする。
4. [メディアを削除]をタップする。
5. 確認画面が表示されたら、[はい]をタップする。  
メディア設定が削除され、登録済みのメディア設定一覧画面に戻ります。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

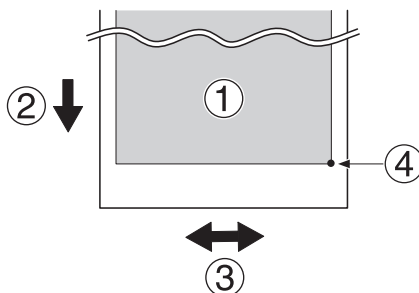
# 出力開始位置を調整する

## ベースポイントを設定する

セットしたメディアへの出力エリアを決めるために、ベースポイントを設定します。

ベースポイント (④) とは、出力エリア (①) の右端を指します (②：メディアの送り方向、③：プリントヘッドキャリッジの移動方向)。ベースポイントを設定しなくても出力はできますが、出力エリアを定めることでメディアを無駄なく使ったり、狙った場所に印刷したりできます。

印刷後は初期状態に戻りますので、1 ページごとにベースポイントを設定してください。



### メモ





- テストパターンの場合、左右の位置は初期状態に戻りません

## 手順

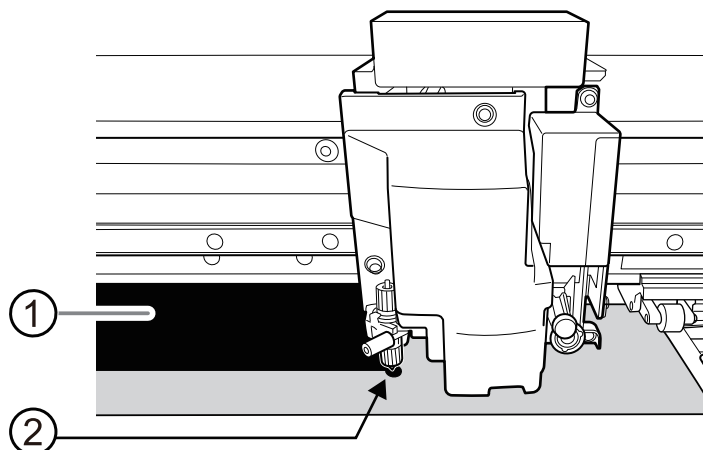
1. メディアをセットアップする。

2.  [移動] をタップする。

移動画面が表示されます。

3.     をタップして、カッターの中心をベースポイントにしたい位置に移動する。

  をタップするとメディアが動き、  をタップするとカッティングキャリッジが動きます。



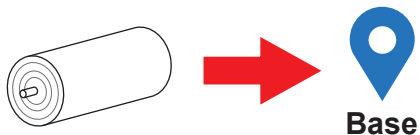
- ①：出力エリア

- ②：ベースポイント（出力エリアの右端）

4. 位置が決まったら、[ここをベースポイントに設定]をタップして決定する。  
ベースポイント位置が更新され、ホーム画面に戻ります。

### メモ

ホーム画面では、アイコンの表示が変わり、ベースポイント位置が更新されたことをお知らせします。




# 出力時間を短縮する


## 幅のせまいメディアへの出力を速くする

ヘッドの動く幅を必要最小限にすることで出力時間を短縮します。メディアの幅がせまいときや出力データの幅がせまいときに効果があります。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[印刷時の動作幅]をタップする。
4. 印刷時にプリントヘッドが動く範囲を指定する。

[出力データ幅]	プリントヘッドの動く範囲を出力データに合わせます。必要最小限の動きになり、最も速い出力が期待できます。ただし、メディアの移動速度が一定ではなくなり、色がムラになることがあります。
[メディア幅]	プリントヘッドの動く範囲をメディアの幅に合わせます。
[全幅]	プリントヘッドが機体の端から端まで動きます。メディアの移動速度が常に一定になり、最も安定した出力結果になります。

5. [保存]をタップして決定する。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

### メモ

- 出荷時設定：[出力データ幅]





# その他の便利な機能

## テストプリントを横に並べて印刷する

連続してテストプリントを行なう場合の2回目以降の印刷位置を、1回目の印刷位置に対して[縦]（縦に並べて印刷）にするか[横]（横に並べて印刷）にするか設定できます。

### 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[テストプリント位置]をタップする。
3. [横]を選択する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### メモ

出荷時設定：[縦]

# 業務管理を最適化する

---





業務を適切かつ効率的に管理する .....	218
現在日時を設定してメンテナンスに活用する .....	218
メディアの残量を確認する .....	219
通知の表示／非表示を切り替える .....	221
クリーニングまでの残り時間を表示する .....	223
スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する .....	225
プリンターの基本設定を管理する .....	226
表示言語を変更する .....	226
表示単位を変更する .....	227
プリンターの情報を確認する .....	228
ネットワークの情報を確認する .....	229
操作パネルの明るさを調整する .....	230
操作パネルの操作音を消す .....	231
すべての設定を工場出荷時の状態に戻す .....	232

# 業務を適切かつ効率的に管理する

## 現在日時を設定してメンテナンスに活用する

現在の日付と時間を設定します。この設定をすることで、テストプリントを実施したときにテストプリント実施日時がテストパターン印刷の横にプリントされます。

### 手順

1.  をタップする。
2. [システム情報]>[日時設定]をタップする。
3.   をタップして、日付と時間を設定する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

## メディアの残量を確認する

使用中のメディアの残量を表示させることができます。はじめに現在の残量を設定しておくことで、残量が0になるまで常に表示画面に残量が表示されます。

残量表示はメディアを交換しても自動更新されませんので、メディアを交換するたびに設定しなおしてください。




### メモ

表示される残量はおおよその目安です。その精度を保証するものではありません。

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。



3.   をタップして、残りのメディアの長さを入力する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

メディアの残量が表示されます。



## メディア残量を印刷する

ホーム画面に表示されているメディア残量を印刷します。

現在使用中のメディアの残り長さを記録したいときに使います。メディアの交換前にそのときの残量を印刷しておく、次回使用するときにはその印刷結果を見て残量を設定できます。

ただし、続けて次の印刷を行うと、メディア残量が印刷された部分の上に印刷を開始してしまいます。続けて次の印刷を行う場合は、印刷前にメディアを切り離してください。

### 手順

1. ホーム画面でメディア残量が表示されていることを確認する。  
メディア残量が表示されていないときは、[メディアの残量を確認する \(P. 219\)](#) を参照してメディア残量を設定してください。

2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。





[メディア残量管理]画面が表示されます。

3. [メディア残量印刷]>[実行]をタップする。  
メディア残量が印刷されます。


## 通知の表示／非表示を切り替える

作業者に適切な操作を促すため、以下の通知を表示するかどうかを設定します。

### 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[通知の表示/非表示]をタップする。
3.  をタップして各通知の表示、非表示を切り替える。

	表示される通知	説明
[インク攪拌通知]	[インク攪拌の時期です。]	インクの沈殿を予防するため、インクパウチトレイの攪拌を促します。有効にした場合は、1日に1度インクの攪拌を促すメッセージが表示されます。
[ミドルピンチローラー配置通知]	[すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してください。]	メディアの送り精度を上げたり、メディアが浮いてしまうのを防止したりするためにミドルピンチローラーの使用を促します。有効にした場合は、ミドルピンチローラーが配置されていないとメッセージが表示されます。
[メディアクランプ配置通知]	[メディアクランプを正しくセットしてください。]	メディア浮きを防止するためメディアクランプを正しく配置することを促します。有効にした場合は、メディアクランプが正しくメディアの端に配置されていないとメッセージが表示されます。
	[メディアクランプが検出できませんでした。]	メディアクランプがメディアで隠れているか、インクなどにより汚れているか検出できないとメッセージが表示されます。
[インクの消費期限通知]	[消費期限が切れているインクがあります。]	まもなくインクが消費期限をむかえます。消費期限前にインクを交換してください。 <a href="#">P. 110 インクの交換方法</a>

4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

### メモ

出荷時設定：

- [インク攪拌通知]:オン
- [ミドルピンチローラー配置通知]:オン
- [メディアクランプ配置通知]:オン

- [インクの消費期限通知]:オン

## クリーニングまでの残り時間を表示する

自動で行われるクリーニングまでの残り時間を表示させることができます。

残り時間表示をオンにすると、クリーニング&カウントクリアのメニューが表示されるとともに、ホーム画面にクリーニングが開始されるまでの残り時間を表示します。

### メモ

プリントヘッドの高さを変更すると、クリーニングまでの残りの時間が変化します。

メディアとプリントヘッドとの距離が広いと、インクミストが発生しやすくなるため、クリーニングまでの残りの時間が短くなります。

### 手順


1.  をタップする。

2. [環境設定]>[印刷中クリーニングまでの残り時間]をタップする。

3.  をタップして、[残り時間表示]をオン  にする。



4. [保存]をタップして決定する。

5.  をタップして、もとの画面に戻る。

ホーム画面に[CL.まで]の残り時間が表示されます。

### メモ

[CL.まで]の残り時間をタップすると、設定画面を開くことができます。









メモ

- 出荷時設定 : OFF

## スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する

出力データの受信や、操作のない状態が続いたときに、どの程度の時間が経ったらスリープモード（省電力機能が働く状態）になるかを設定します。

### 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[スリープ時間設定]をタップする。
3.   をタップして時間を設定する。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

### メモ


- 出荷時設定：[30 min]

# プリンターの基本設定を管理する

## 表示言語を変更する

操作パネルの表示画面に表示される言語を設定します。

### 手順

1.  をタップする。
2. [システム情報]>[言語設定]をタップする。
3. [言語]をタップする。
4. 表示言語を選択する。
5. [OK]をタップする。
6. [保存]をタップして決定する。  
表示言語が変更され、ホーム画面に戻ります。

### メモ



出荷時設定

- [言語設定] : ENGLISH

## 表示単位を変更する

操作パネルの表示画面に表示される単位を設定します。

### 手順

1.  をタップする。
2. [システム情報]>[単位設定]をタップする。
3. [長さ単位]をタップする。
4. 単位を選択する。
5. [保存]をタップして決定する。
6. [温度単位]をタップする。
7. 単位を選択する。
8. [保存]をタップして決定する。
9.  をタップして、もとの画面に戻る。



### メモ

- 出荷時設定
  - [長さ単位]：mm
  - [温度単位]：°C

## プリンターの情報を確認する

シリアル番号やインクの種類など、本機の情報を確認する方法です。

### 手順

1.  をタップする。
2. [システム情報]>[機体情報]をタップする。  
以下の情報を確認できます。
  - [モデル]：機種名
  - [シリアル]：シリアル番号
  - [インクタイプ]：インクの種類
  - [ファームウェアバージョン]
  - [MAC アドレス]
3.  をタップして、もとの画面に戻る。

## ネットワークの情報を確認する

IP アドレスやデフォルトゲートウェイなど、ネットワークの情報を確認する方法です。

### 手順

1.  をタップする。

2. [システム情報]>[ネットワーク設定]をタップする。


以下の情報を確認できます。

- [IP アドレスの自動取得]：DHCP による IP アドレスの自動取得の有効／無効を切り替えます。無効の場合は、



をタップして以下の設定を変更できます。

- [IP アドレス]
- [サブネットマスク]
- [デフォルトゲートウェイ]

3.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### メモ





- ネットワークの設定方法については「セットアップガイド」をご覧ください。

### 関連情報

- LG-640/540/300 セットアップガイド

## 操作パネルの明るさを調整する

### 手順

1.  をタップする。
2. [システム情報]>[画面の明るさ]をタップする。
3.   をタップして、明るさを調整する。  
数値が大きいほど、画面は明るくなります。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。



#### メモ

- 出荷時設定：[50 %]

## 操作パネルの操作音を消す

操作パネルをタップするたびに鳴る音をオフにします。

### 手順

1.  をタップする。
2. [システム情報]>[画面の操作音]をタップする。
3. [オフ]をタップする。  
操作音が鳴らなくなります。
4. [保存]をタップして決定する。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### メモ

- 出荷時設定：[オン]





## すべての設定を工場出荷時の状態に戻す

すべてのメニューを出荷時設定に戻します。

[言語設定]、[単位設定]の設定は、出荷時の設定にはもどりません。

### 手順

1.  をタップする。
2. [環境設定]>[工場出荷時の設定に戻す]をタップする。
3. [初期化]をタップする。
4. 確認画面で[はい]をタップする。
5.  をタップして、もとの画面に戻る。

# メンテナンス

# はじめに

---

取り扱いに際してのお願い.....	235
プリンター .....	235
インクカートリッジ .....	235
メンテナンスの基礎知識 .....	236
メンテナンスの種類とタイミング .....	236
長期間使わないときの処置 .....	238

# 取り扱いに際してのお願い

## プリンター

- **本機は精密機器です**
  - 衝撃や無理な力を加えないようにしてください。
  - カバーの中やインクカートリッジ挿入口など、本機の内部にむやみに手を入れないでください。
- **適切な場所に設置してください**
  - 決まった温度と湿度の場所に設置してください。
  - 静かで安定している、条件のよい場所に設置してください。
- **プリントヘッド、UV 照射装置はデリケートです**
  - むやみにさわったり、印刷対象物でこすったりしないでください。ていねいに扱わないと壊れます。
  - プrintヘッドは乾燥すると壊れます。本機は自動で乾燥を防ぎますが、不適切な操作をすると、この機能が働かないことがあります。本書に従って適切に操作してください。
  - インクカートリッジを抜いたまま放置しないでください。プリンターに残ったインクが固まり、プリントヘッドが目づまりすることがあります。
  - 毎日のメンテナンス、状態に応じた各種のメンテナンスが必要です。本書をよく読んで、適切なタイミングで適切なメンテナンスを行うようにしてください。
  - プrintヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。
- **操作パネルはいつもきれいに**
  - 操作パネルに汚れやインクが付着したときは、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

## インクカートリッジ

- **インクカートリッジ内のインクパウチには種類があります**
  - プリンターに適合した種類のものをお使いください。また、必ず当社純正品をお使いください。
- **インクカートリッジやインクパウチに衝撃を加えたり、インクパウチを分解したりしないでください**
  - 落としたり強く振ったりしないでください。衝撃で中の袋が破れ、インクがもれ出すことがあります。
  - インクパウチを分解しないでください。
  - インクパウチにインクを補充しないでください。
  - インクが手や服などに付いたときは、なるべく早く洗ってください。放っておくと落ちにくくなります。
- **保管について**
  - インクパウチに記載されている使用期限内に使い切ってください。
  - 直射日光や強い照明が当たらない場所で保管してください。
  - 温度が 5° C 以上 30° C 未満、湿度 20 %RH 以上 80 %RH 以下の風通しのよい場所で、未開封のまま保管してください。

# メンテナンスの基礎知識

## メンテナンスの種類とタイミング

本機をより良い状態でお使いいただくためには、適切なタイミングで適切なメンテナンスを実施することが大切です。

### レギュラーメンテナンス

日常的に必要なメンテナンス項目です。

タイミング	カテゴリー	項目
毎日の作業前	プリントヘッドチェック	P. 128 ノズル抜けテストを実施する
	インク攪拌 (ホワイトインクの場合)	P. 102 インクの沈殿を防ぐ
毎日の作業後	機体の清掃	P. 242 メディアの通り道の清掃
		P. 243 カuttingキャリッジのローラーの清掃
メッセージが表示されたら	プリントヘッド周りの清掃	P. 244 プrintヘッド周りの清掃
廃液があふれそうなとき	廃液の処理	P. 258 廃液処理のメッセージが表示されたら
1 かに 1 度	UV 照射装置の清掃	P. 252 月に 1 度以上必要なクリーニング

### ハードメンテナンス

有事の際に実施するメンテナンスです。インク消費量が多いメンテナンスも含むため、説明をよく読んで適切な時期に実施してください。

タイミング	カテゴリー	項目
ドット抜けやドットよれが発生したとき	プリントヘッドチェックとクリーニング	P. 128 ノズル抜けテストを実施する
		P. 130 ノーマルクリーニングの方法
		P. 263 ミディアムクリーニングの方法
		P. 265 パワフルクリーニングの方法
		P. 122 マニュアルクリーニングの方法
ホワイトインクの色ムラが改善しないとき	インク循環とインク経路のインク置換 <sup>*1</sup>	P. 267 インク循環の方法
		P. 268 パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法
		P. 269 ダンパー内インク更新の方法
上記を実施しても、色ムラ・ドット抜け・ドットよれが改善しないとき	すべてのインク経路のインク置換 <sup>*1</sup>	P. 272 インク更新の方法
操作パネルが汚れたとき	操作パネルの清掃	P. 281 操作パネルの清掃方法

\*1 ダンパー内インク更新は、インクの消費量が多いクリーニングです。

### 消耗部品の交換

消耗部品の交換です。説明をよく読んで、適切な時期に実施してください。

タイミング	カテゴリー	項目
メッセージが表示されたとき	消耗部品の交換 ・ワイパー ・ワイパークリーナー ・UV ミストフィルター ・フラッシングスポンジ ・プリントヘッドキャップ	P. 283 ワイパーの交換
		P. 290 UV ミストフィルターの交換
		P. 292 フラッシングスポンジの交換
		P. 286 プrintヘッドキャップの交換
切れ味が悪くなったとき	消耗部品の交換 ・カッター ・セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ)	P. 294 カッターの交換
		P. 299 セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ) の交換

## 長期間使わないときの処置

長期間使わないときは、次の事項を守ってください。

- 廃液ボトルを空にしておく

長期間使用しないことがわかっているときは、廃液ボトルを空にしておいてください。本機はメイン電源をオンにしておくと、自動メンテナンスを定期的に行って廃液を排出します。

下記の期間が経過すると廃液は満杯になるため、定期的に廃液を捨てるようにしてください。

- **[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]**というメッセージが表示されてから約 1 週間、または廃液ボトルが空の状態から約 120 日。

[P. 258 廃液処理のメッセージが表示されたら](#)

- インク、洗浄液は空にしない

定期的を実施する自動メンテナンスでは、インクと洗浄液の排出を伴います。残量が十分あるインクパウチと洗浄液パウチをセットしておいてください。インク、洗浄液が空だと自動メンテナンスを実施できなくなります。

- 1 か月に 1 度はサブ電源をオンにする

月に 1 度はサブ電源をオンにしてください。電源が入ると、プリントヘッドの乾燥を防ぐ動作などを自動で行います。長期間放置するとプリントヘッドが壊れることがありますので、必ず実施してください。

- 温度と湿度を一定に保つ

使っていないときでも、温度 5～40℃、湿度 20～80%（ただし結露のないこと）を保ってください。高温になりすぎると、インクが変質して故障の原因となります。低温になりすぎると、インクが凍ってプリントヘッドを破損する原因となります。

### 関連情報

- [P. 110 インクの交換方法](#)
- [P. 116 洗浄液の交換方法](#)

# レギュラーメンテナンス

---

印刷前のプリントヘッドチェック .....	240
ノズル抜けテストを実施する .....	240
機体の清掃 .....	242
メディアの通り道の清掃 .....	242
カッティングキャリッジのローラーの清掃 .....	243
プリントヘッド周りの清掃 .....	244
マニュアルクリーニングの方法 .....	245
マニュアルクリーニングに関する消耗品、消耗部品について .....	251
月に1度以上必要なクリーニング .....	252
UV照射装置の清掃が必要なタイミング .....	252
UV照射装置の清掃方法 .....	253



# 印刷前のプリントヘッドチェック

## ノズル抜けテストを実施する


印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

### メモ

連続してテストプリントを行う場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して[縦]（縦に並べて印刷）にするか[横]（横に並べて印刷）にするか設定できます。


P. 216 テストプリントを横に並べて印刷する

## 手順

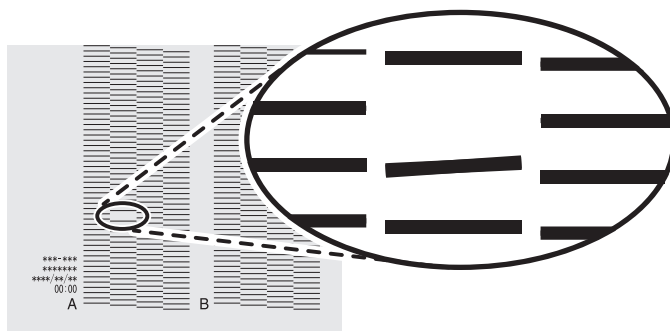
1. メディアをセットアップする。
2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。
3. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。

### メモ

ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。  
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。  
ドット抜けやドットよれが無い場合は、出力の準備は完了です。

## 関連情報

- P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

# 機体の清掃

## メディアの通り道の清掃

日常的な清掃として、メディアの通り道を中心にインクや汚れをふき取ってください。メディアの通り道にはインクや汚れがつきやすく、放置すると新しいメディアを汚したり、出力時のメディアの搬送に悪影響を及ぼしたりします。特にピンチローラーやグリットローラー、またはプラテンなどに汚れがつきます。

### 警告

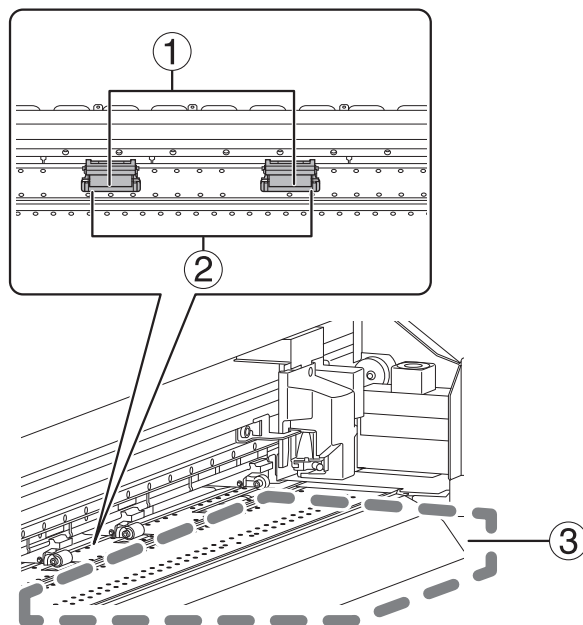
清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。  
火災の原因になります。

### 注意

清掃は、サブ電源をオフにし、ヒーターが冷めてから（約 30 分待つ）行うこと。  
機械が突然動いてけがをしたり、やけどすることがあります。

### 重要

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください
- 注油は一切しないでください



水で薄めた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布でふいてください。

①	ピンチローラー	メディアを固定または搬送する部位で、インクや汚れが付きやすい場所です。清掃をおこたると、メディア表面を汚します。
②	グリットローラー	メディアを固定または搬送する部位で、汚れが付きやすい場所です。ブラシを使って、こびりついたメディアかすなどを取ってください。金属ブラシは使わないでください。
③	プラテン	メディアの通り道や溝に付いた、インクや汚れ、またはカットしたメディアの切り粉をふき取ってください。

## カッティングキャリッジのローラーの清掃

メディアを切り離すときに、セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）のキャリッジのローラーには紙粉がつきます。定期的にはふき取ってください。

### ⚠ 警告

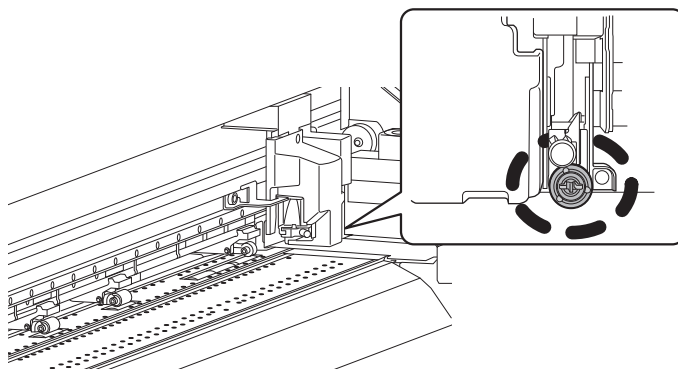
清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。  
火災の原因になります。

### ⚠ 注意

清掃は、サブ電源をオフにし、ヒーターが冷めてから（約 30 分待つ）行うこと。  
機械が突然動いてけがをしたり、やけどすることがあります。

### 重要

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください
- 注油は一切しないでください




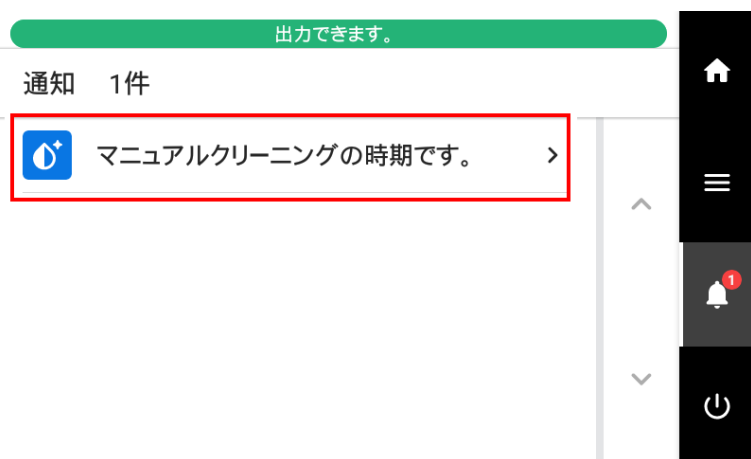
水で薄めた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布でふいてください。

# プリントヘッド周りの清掃

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。プリントヘッド周りの清掃を「マニュアルクリーニング」と呼びます。次のようなときは、必ずマニュアルクリーニングを行ってください。

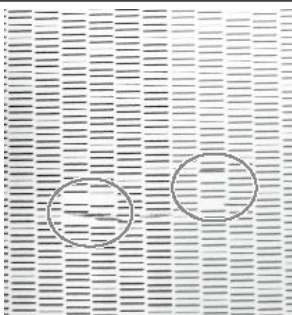
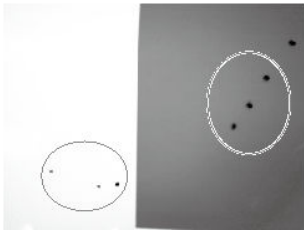
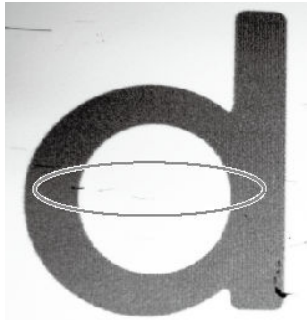
## メッセージが表示されたとき

メッセージが表示されたときは、ホーム画面の  をタップして通知内容を確認できます。通知をタップするとマニュアルクリーニングメニューの画面が表示されます。



## パワフルクリーニングでも改善しない症状が出たとき

次のような症状が出て、パワフルクリーニングの効果が無いときは、マニュアルクリーニングを実施してください。

ドット抜け/ドットよれ	インクボタ落ち	引きずり
		
プリントヘッドに埃などが付着し、正常なインク吐出を妨げている状態です。	プリントヘッド周りに付着した汚れにインクが溜まり、メディアに垂れ落ちてしまいます。	プリントヘッド周りに付着した汚れがメディアに接触して起こる現象です。

## メモ

ワイパーの交換も症状の改善に効果的です。

## 関連情報

- ・ P. 283 ワイパーの交換

## マニュアルクリーニングの方法

以下のタイミングでマニュアルクリーニングを実施してください。

- 一日の作業を開始するまえ
- [マニュアルクリーニングの時期です。]という通知が表示されたとき
- 夜間、無人で印刷をしたい場合の印刷データを送るまえ
- パワフルクリーニングでも改善できないドット抜けやインクポタ落ちなどが発生したとき

### ⚠ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約 15 分待つ)

UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

### ⚠ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

### 重要

#### 作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10 分以内に作業を終わらせてください。10 分を過ぎると警告音が鳴ります。
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえてプリントヘッドを傷めます。
- 付属の洗浄液以外は使わないでください。
- 必ず新品のクリーニングスティックを使用してください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響を与えます。
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- プリントヘッド表面（ノズル面）はこすらないでください。
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。




#### クリーニング中に警告音がなったときは

- 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[すべて完了]をタップし、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。

必要なもの	
	
クリーニングスティック	洗浄液

## 1. プrintヘッドキャップを清掃する

### 手順

1. メディアを取り外す。
2.  をタップする。
3. [マニュアルクリーニング]をタップする。
4. [実行]をタップする。  
プリントヘッドが機体の左端まで移動します。
5. 操作パネルの指示にしたがって、[マニュアルクリーニング]を実施する。
  -   をタップして手順を確認できます。
  - 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[すべて完了]をタップしてください。

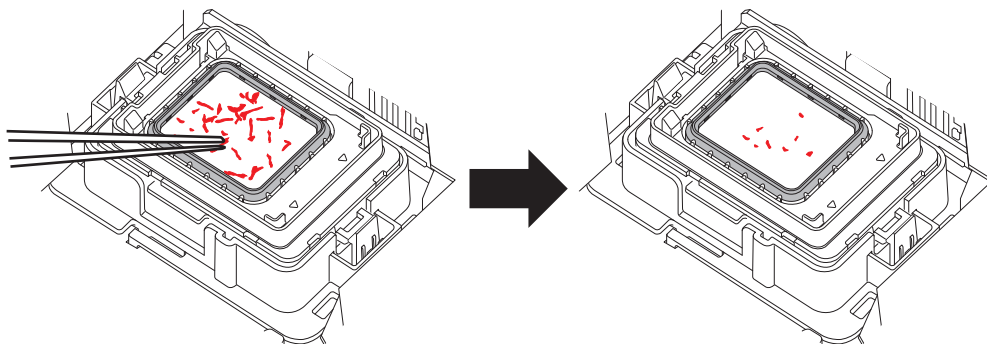
### 重要

- 必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。
- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。



### 重要

インク硬化物はピンセットを使って、長さ 3 mm 以上のものを取り除いてください。  
取りにくいインク硬化物を無理に引っ張らないでください。プリントヘッドキャップが破損する恐れがあります。

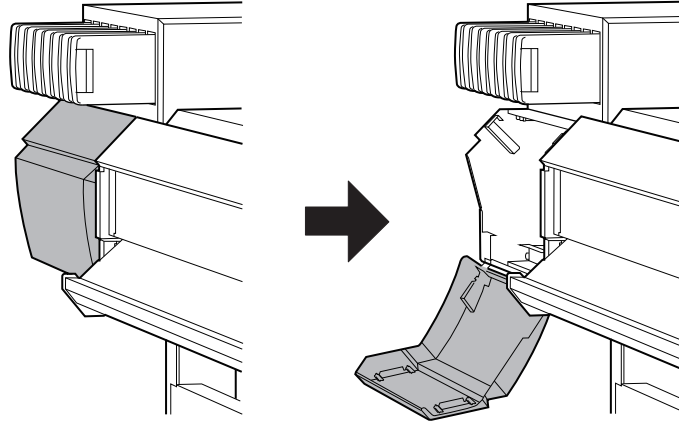


清掃が終了したら、カバー R を閉じる。

## 2. プリントヘッドを清掃する

### 手順

1. カバーLを開ける。



2. 新品のクリーニングスティックを洗浄液に浸す。

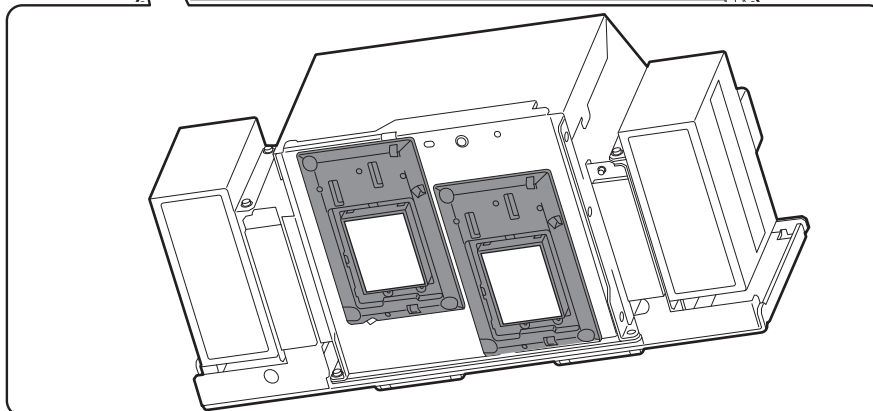
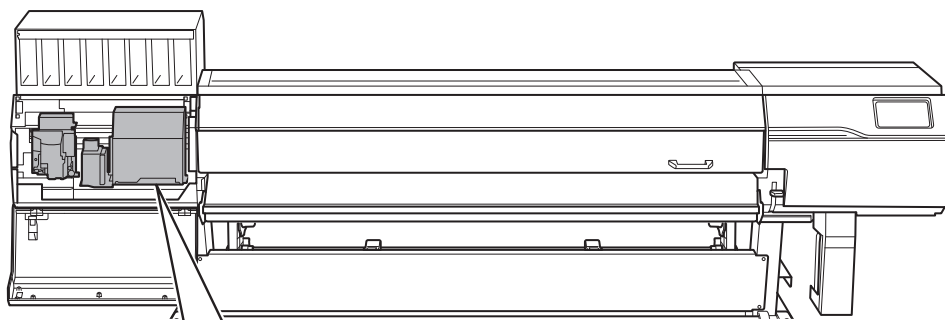
#### 重要

- 必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。
- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。

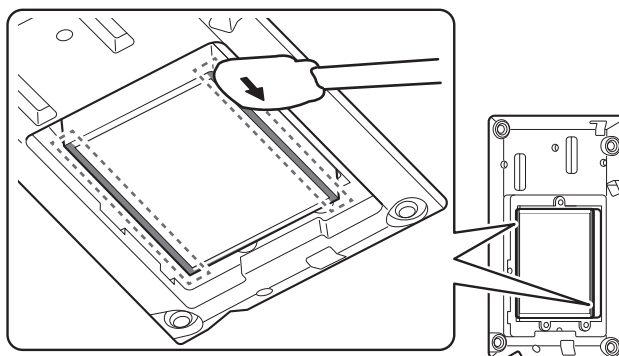


3. 下図の場所を清掃する。  
特に繊維状のほこりをよく清掃してください。

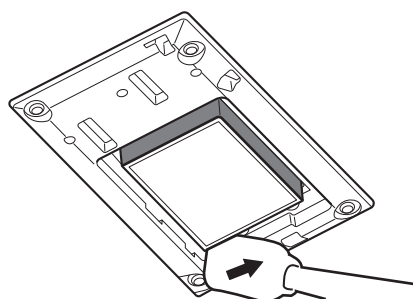




(1) クリーニングスティックの広い面を当て左側を拭いたあと、汚れていない反対の面を当てて右側を拭く。

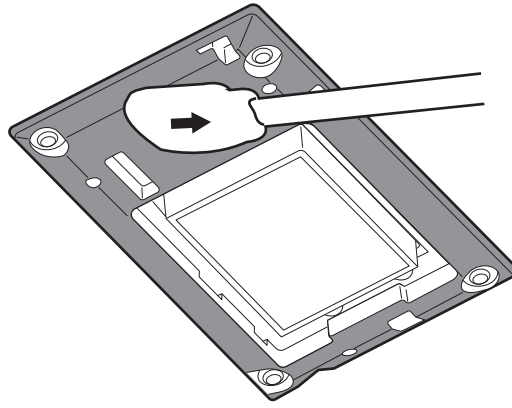



(2) クリーニングスティックを縦にしてすべての側面を拭く。



(3) クリーニングスティックの広い面を使って、図の場所の汚れを拭き取る。


この部分に垂れそうなインクや洗浄液が残っている場合は、毛羽立たない乾いた布でやさしく拭き取ってください。



4. カバーLを閉じる。
5. [すべて完了]をタップする。  
画面上部に[ノーマルクリーニング中です。]と表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間(目安)が表示されます。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。


### 3. テストプリントを実施して結果を確認する

#### 手順

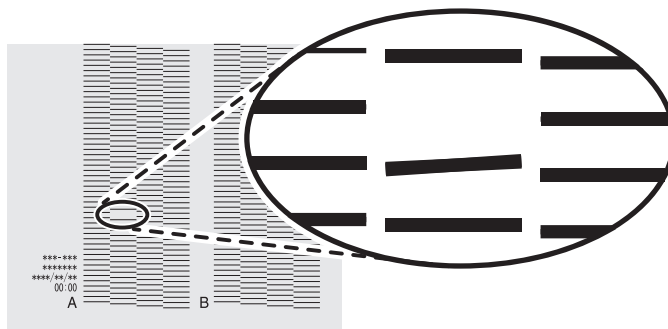
1. メディアをセットアップする。  
P. 31 新規メディアのセットアップ
2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。
3. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。


#### メモ

ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。  
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。  
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。  をタップして、もとの画面に戻ってください。

ドット抜けやドットよれがある場合は、ノーマルクリーニングなどのクリーニングを実施してください。

#### 関連情報

- ・ P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

## マニュアルクリーニングに関する消耗品、消耗部品について

クリーニングスティック、洗浄液、プリントヘッドは消耗品、または消耗部品です。

- マニュアルクリーニングで使用するクリーニングスティックと洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください
- プrintヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください

# 月に1度以上必要なクリーニング

## UV 照射装置の清掃が必要なタイミング

UV 照射装置は、インクを定着させるための重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。UV 照射装置の清掃は適切なタイミングで行うことが重要です。

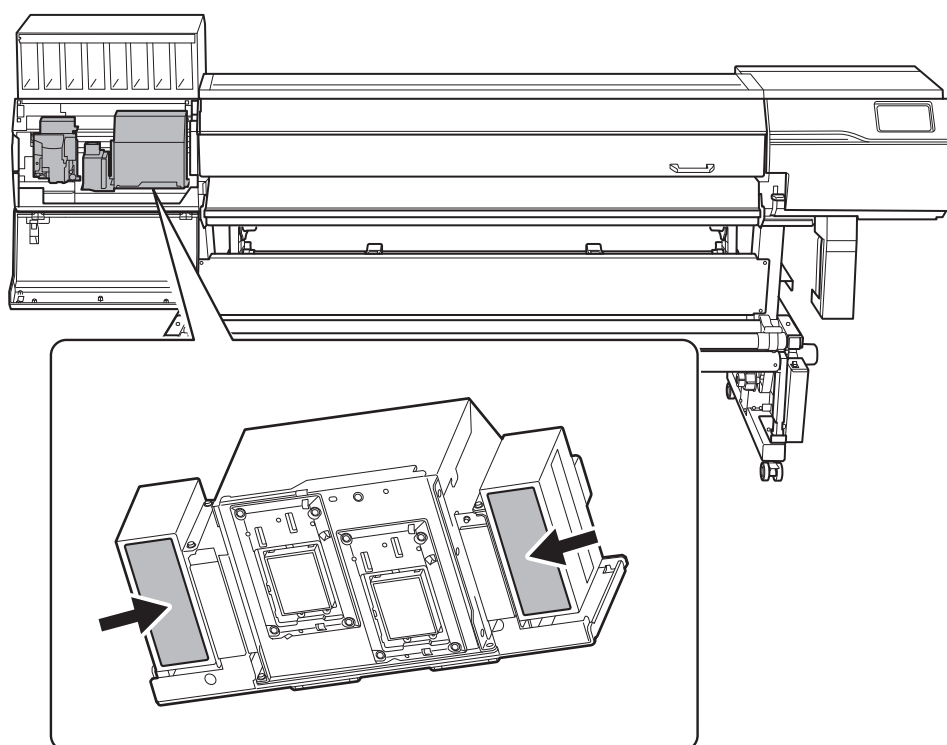
### 月に一度以上

常に安定した印刷状態を保っていただくために、月に一度以上は清掃を実施してください。

### インクミストの飛散が多くて機体内部が汚れやすいとき

プリントヘッドと印刷面との距離が離れた状態での印刷が多かったり、印刷面からはみ出た位置にインクが吐き出されたりするような場合には、毎日実施してください。飛散したインクミストが硬化して故障の原因になります。

### UV 照射装置の底面および照射窓が汚れているとき（下図参照）



### メモ

- UV 照射装置の清掃が必要な頻度は、本機の使いかたによって変わります。お使いの状況に応じた頻度については、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください
- 固着したインクなど、清掃しきれない汚れがある場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

## UV 照射装置の清掃方法


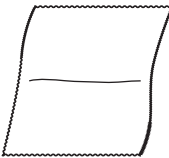
### 重要

#### 作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10分以内に作業を終わらせてください。10分を過ぎると警告音が鳴ります
- 清掃に使う布やアルコールなどは、お客様ご自身でご用意ください

#### クリーニング中に警告音が鳴ったときは

- 作業開始から10分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[すべて完了]を押し、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。

必要なもの	
	
無水エタノール、またはイソプロピルアルコール	布（毛羽立ちのないもの）

### ⚠ 注意

印刷直後は清掃しないこと。（印刷後約15分待つ）

UV照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

### ⚠ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコールは、当該製品の使用上の注意を守って使うこと。

引火や、換気、肌荒れなどに注意してください。

### ⚠ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外は使用しないこと。

無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外の薬品等を使用すると、UV照射装置の故障の原因になります。

### ⚠ 注意

拭き取りに使う布は、毛羽立ちのないものを使うこと。金属など、硬い素材は使わないこと。

毛羽立ちの多い布や金属などの硬い素材を使うと、UV照射装置の故障の原因になります。

## 手順

1. メディアを取り外す。

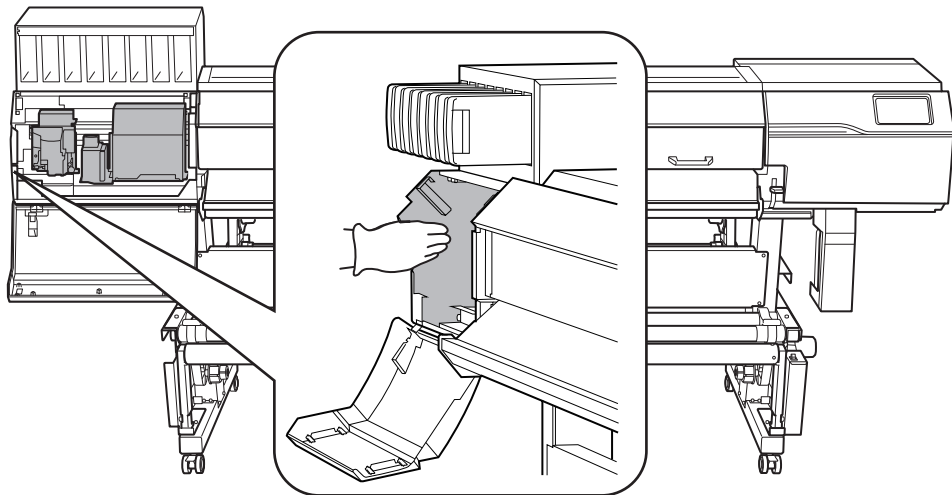
2.  をタップする。

3. [マニュアルクリーニング]をタップする。
4. [実行]をタップする。  
プリントヘッドが機体の左端まで移動します。

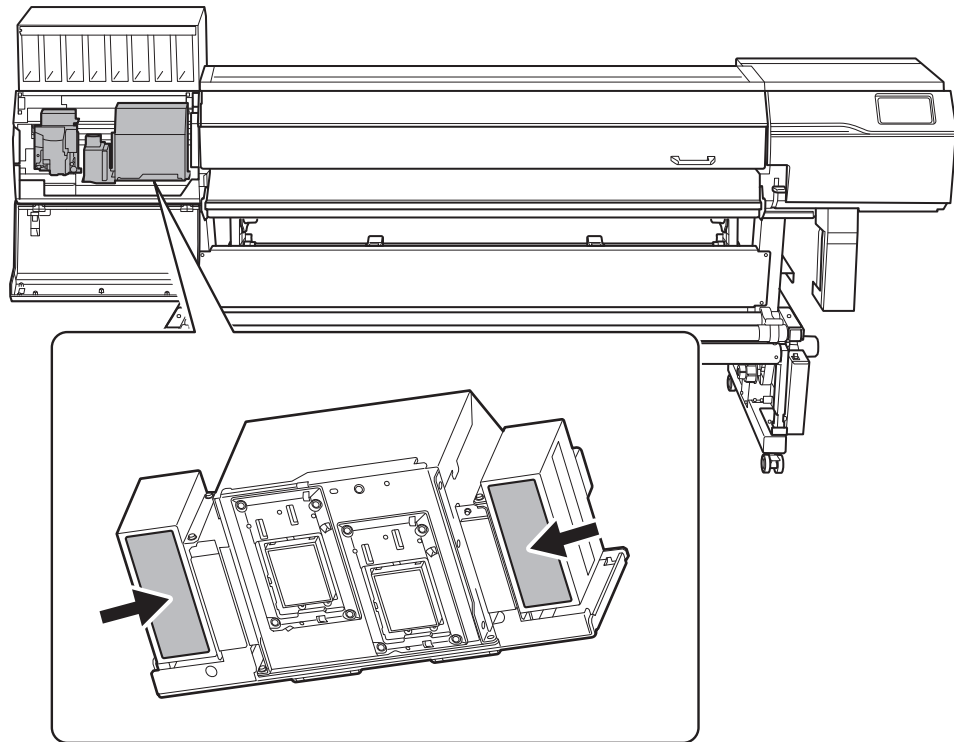
メモ

UV 照射装置の清掃は、マニュアルクリーニングメニューを使用して、プリントヘッドキャリッジを機体の左側に移動させます。そのため、操作パネルには、マニュアルクリーニングの手順が表示されます。

5. カバー L を開ける。
6. 図の位置をさわって作業者の静電気を逃がす。




7. 無水エタノール、またはイソプロピルアルコールをつけた布で、UV ランプの底面と照射部を拭く。  
10 往復程度、汚れが落ちるまで拭き取ってください。



8. カバーLを閉じる。

9. [すべて完了]をタップする。

画面上部に[ノーマルクリーニング中です。]と表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間(目安)が表示されます。

10.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### 関連情報

- P. 252 UV照射装置の清掃が必要なタイミング



# 廃液の処理

---

廃液処理におけるご注意 .....	257
廃液処理のメッセージが表示されたら.....	258

# 廃液処理におけるご注意

## ⚠ 警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。  
火災の原因になります。

## ⚠ 注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。  
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

## 重要

廃液を直射日光の当たる場所に保管しないでください。  
付属の廃液ボトルで廃液を一時的に保管する場合、直射日光の当たる場所に置かないでください。廃液が固まって廃液ボトルが使用できなくなったり、廃液ボトルが劣化し廃液が漏れる恐れがあります。

## 重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。  
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

# 廃液処理のメッセージが表示されたら

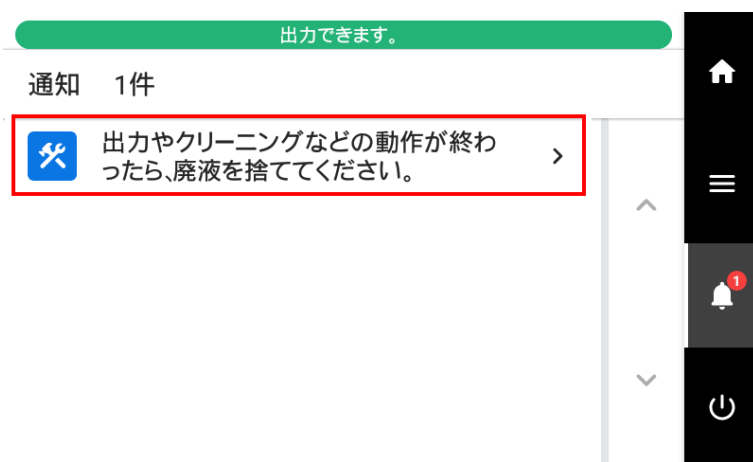
廃液がある程度ボトルにたまと、[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、廃液を処理してください。

## 手順

1. [出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]メッセージが表示されたら、[OK]をタップする。

2.  をタップして通知を表示する。

3. 以下の通知をタップする。




[廃液ボトル]画面が表示されます。

## メモ

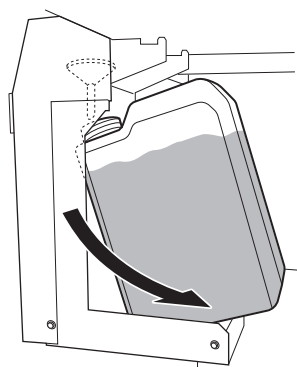
廃液は任意のタイミングで処理することができます。

以下の手順で廃液ボトル画面を表示させ、手順 4 以降の手順にしたがって廃液を処理してください。

1.  をタップする。
2. [メンテナンス]>[廃液ボトル]をタップする。

4. [実行]をタップする。

5. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。



**⚠ 注意**

画面に[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速やかに廃液ボトルを本体に取り付けること。


手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

**重要**

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくる場合があります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

6. 空にしたボトルを速やかに再び取り付ける。

7. [完了]をタップする。  
もとの画面に戻ります。

8.  をタップして、もとの画面に戻る。

# ハードメンテナンス

---

ドット抜け、ドットよれが発生したとき .....	261
ノーマルクリーニングの方法 .....	261
ノーマルクリーニングの効果がでないとき .....	263
ミディアムクリーニングの方法.....	263
パワフルクリーニングの方法 .....	265
ホワイティングの色ムラが発生したとき .....	267
インク循環の方法.....	267
パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法.....	268
ダンパー内インク更新の方法 .....	269
重度のドット抜け、ドットよれ、色ムラへの対応.....	272
インク更新の方法.....	272
印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する .....	276
応急処置) プリントヘッド表面のクリーニング.....	278
操作パネルが汚れたとき .....	281
操作パネルの清掃方法 .....	281

# ドット抜け、ドットよれが発生したとき

ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

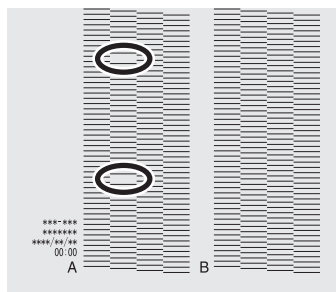
## ノーマルクリーニングの方法

### メモ

メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

### 手順

1. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、A グループ。[B] の文字から右のすべてが B グループです。



### メモ

#### テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

2.  をタップする。

3. [ノーマルクリーニング]をタップする。


以下の画面が表示されます。



4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。

5. [実行]をタップする。

クリーニングを開始します。操作パネル上部に[ノーマルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。

6.  をタップする。


7. [テストプリント]をタップする。

8. [ノズル抜けテスト]を選択して、[実行]をタップする。

もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

メモ

ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。

ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

メモ

ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度[ノーマルクリーニング]を行ってください。長く使っていると2~3回[ノーマルクリーニング]を行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- P. 128 ノズル抜けテストを実施する
- P. 263 ノーマルクリーニングの効果がないうき

# ノーマルクリーニングの効果がないとき

## ミディアムクリーニングの方法

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。[ノーマルクリーニング]でドット抜けなどが直らないときは、より強力な[ミディアムクリーニング]を行って、プリントヘッドの詰まりを解消してください。


### 重要

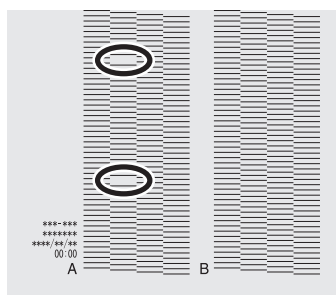
[ミディアムクリーニング]は、[ノーマルクリーニング]よりもインクの消費量が多いより強力なクリーニングです。

### メモ

メディアがセットアップ済の場合、[ミディアムクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

## 手順

1. メディアをセットアップする。  
P. 31 新規メディアのセットアップ
2.  をタップする。
3. [ミディアムクリーニング]をタップする。
4. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、A グループ。[B] の文字から右のすべてが B グループです。



### メモ

#### テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

5. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。






6. **[実行]**をタップする。  
クリーニングを開始します。操作パネル上部に**[ミディアムクリーニング中です。]**とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。
7. **←** をタップする。
8. **[テストプリント]**をタップする。
9. **[ノズル抜けテスト]**を選択して、**[実行]**をタップする。  
もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

#### メモ

ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  **[ノズル抜けテスト]**をタップしたのちに、**[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]**を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、**[ノズル抜けテスト (下地：黒)]**は表示されません。

#### メモ

- ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度**[ミディアムクリーニング]**を行ってください。
- **[ミディアムクリーニング]**を数回行ってもドット抜けやドットよれなどが直らないときは、**[パワフルクリーニング]**を行ってください。

#### 関連情報

- P. 265 [パワフルクリーニングの方法](#)

## パワフルクリーニングの方法

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。[ミディアムクリーニング]でドット抜けなどが直らないときは、より強力な[パワフルクリーニング]を行って、プリントヘッドの詰まりを解消してください。


### 重要

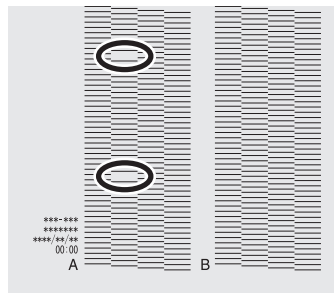
[パワフルクリーニング]は、[ミディアムクリーニング]よりもインクの消費量が多いより強力なクリーニングです。

### メモ

メディアをセットアップ済の場合、[パワフルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

## 手順

1. メディアをセットアップする。  
P. 31 新規メディアのセットアップ
2.  をタップする。
3. [パワフルクリーニング]をタップする。
4. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、A グループ。[B] の文字から右のすべてが B グループです。



### メモ

#### テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。


5. [実行]をタップする。  
クリーニングを開始します。操作パネル上部に[パワフルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。



6. ← をタップする。
7. [テストプリント]をタップする。
8. [ノズル抜けテスト]を選択して、[実行]をタップする。  
もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

#### メモ

ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地:黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地:黒)]は表示されません。

#### メモ

- ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度[パワフルクリーニング]を行ってください。
- [パワフルクリーニング]を数回行ってもドット抜けやドットよれなどが直らないときは、[マニュアルクリーニング]を行ってください。

#### 関連情報

- P. 122 マニュアルクリーニングの方法

# ホワイトインクの色ムラが発生したとき

## インク循環の方法

インクカートリッジを振ってインクを攪拌させてもホワイトインクの色ムラが直らない場合は、**[インク循環]**を行ってください。色ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。

### メモ

メディアがセットアップ済の場合、**[インク循環]**画面で**[インク循環後、テストプリントを行う。]**メニューが表示されます。この設定をオンにすると、インク循環に続けてテストプリントが実施されます。

## 手順


1.  をタップする。

2. **[メンテナンス]**>**[インク循環]**をタップする。

3. **[実行]**をタップする。

**[インク循環]**を開始するタイミングによっては、クリーニングを開始することがあります。クリーニングが終了すると**[インク循環]**を開始します。

**[インク循環]**を行ってもホワイトインクの出力色が安定しない場合は、**[パワフルクリーニング]**を行ってください。

4.  をタップして、もとの画面に戻る。

## 関連情報

- ・ P. 268 [パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法](#)

## パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法

[インク循環]を行ってもホワイトインクの色ムラが直らないときは、より強力な[パワフルクリーニング]を行って、ホワイトインクの色ムラを解消してください。色ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。

### 重要

プリントヘッド内のインクを排出して出力色を安定させるため、インクを一定量消費します。

### メモ

メディアをセットアップ済の場合、[パワフルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

## 手順

1.  をタップする。

2. [パワフルクリーニング]をタップする。

3. [両方]を選択する。



4. [実行]をタップする。

クリーニングを開始します。操作パネル上部に[パワフルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。終了すると、もとの画面に戻ります。

[パワフルクリーニング]を行ってもホワイトインクの出力色が安定しない場合は、[ダンパー内インク更新]を行ってください。

### 関連情報

- ・ P. 269 [ダンパー内インク更新の方法](#)

## ダンパー内インク更新の方法


[パワフルクリーニング]を行ってもホワイトインクの色ムラが直らない場合は、[ダンパー内インク更新]を行ってください。色ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。

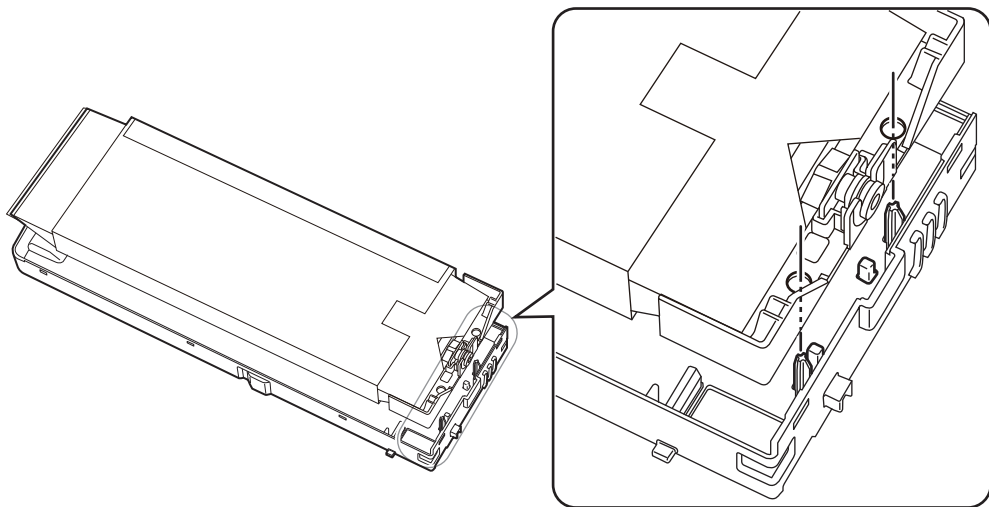
[ダンパー内インク更新]によってインクを置き換えて、出力色が安定するようにします。

### 重要

- [ダンパー内インク更新]はダンパー内のインクを排出するため、[パワフルクリーニング]よりもインクの消費量が多くなります。
  - [ダンパー内インク更新]を行うときは、C、M、Y、K以外のすべてのインクカートリッジ内のインクパウチを新品に交換してください。クリーニング中にインクが無くなると[クリーニングエラー (インクカートリッジ)]となり、クリーニングが止まってしまいます。
- 取り外したインクパウチはダンパー内インク更新以外（印刷等）では引き続きお使いいただけません。

### 手順

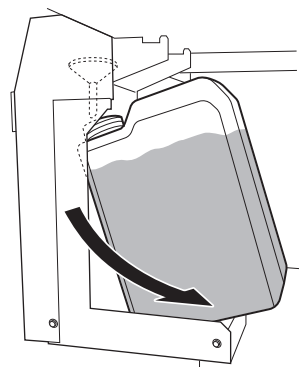
1.  をタップする。
2. [メンテナンス]>[ダンパー内インク更新]をタップする。
3. C、M、Y、K以外のインクカートリッジ内のインクパウチを新品に交換する。  
P. 110 インクの交換方法



4. [実行]をタップする。  
クリーニングを開始します。終了すると、もとの画面に戻ります。

### メモ

[実行]をタップ後に[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]と表示されたら



1. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。

#### 重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくることがあります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

2. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。
- 3.[完了] をタップする。

#### ⚠ 注意

画面に[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速やかに廃液ボトルを本体に取り付けること。

手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

#### ⚠ 警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。

火災の原因になります。

#### ⚠ 注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。

こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

#### 重要


廃液を直射日光の当たる場所に保管しないでください。

付属の廃液ボトルで廃液を一時的に保管する場合、直射日光の当たる場所に置かないでください。廃液が固まって廃液ボトルが使用できなくなったり、廃液ボトルが劣化し廃液が漏れる恐れがあります。

#### 重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

5. [ダンパー内インク更新]を行ってもホワイトインクの出力色が安定しない場合は、[インク更新]を行ってください。
6.  をタップして、もとの画面に戻る。

#### 関連情報

- P. 272 インク更新の方法
- P. 339 [クリーニングエラー (インクカートリッジ)]



# 重度のドット抜け、ドットよれ、色ムラへの対応

## インク更新の方法

次の場合は、[インク更新]を行ってください。

- クリーニング機能（ノーマル、ミディアム、パワフル）や[マニュアルクリーニング]を行ってもドット抜けなどインクの吐出不良が直らない。
- [ダンパー内インク更新]を行ってもホワイトの色ムラが直らない。
- インクカートリッジを振って攪拌させてもホワイト以外の色ムラが直らない。

### 重要


[インク更新]ではインクを多量に排出します。他のクリーニング（ノーマル、ミディアム、パワフル、マニュアル、ダンパー内インク更新）を行っても、どうしてもドット抜け、ドットよれ、色ムラなどのインク吐出不良が直らない場合にだけ行ってください。

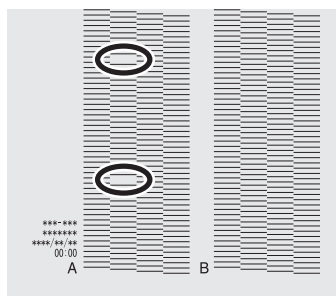
### 関連情報

- P. 261 ドット抜け、ドットよれが発生したとき
- P. 263 ミディアムクリーニングの方法
- P. 265 パワフルクリーニングの方法
- P. 122 マニュアルクリーニングの方法
- P. 268 パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法
- P. 269 ダンパー内インク更新の方法

## 1. [インク更新]メニューを開始する

### 手順

1.  をタップする。
2. [メンテナンス]>[インク更新]をタップする。
3. テストプリントの結果を見て、ドット抜け、ドットよれまたは色ムラのあるグループを確認する。  
[A] の文字から [B] の文字までの間が、Aグループ。[B] の文字から右のすべてが Bグループです。



### メモ

テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

4. インク更新を行うプリントヘッドのグループを選択する。



5. [実行]をタップする。

[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]画面が表示されます。

6. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。

**重要**

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくる場合があります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

**⚠ 注意**

画面に[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速やかに廃液ボトルを本体に取り付けること。

手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

**⚠ 警告**

廃液やインクを火気の近くに置かない。

火災の原因になります。

**⚠ 注意**

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。

こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

**重要**

廃液を直射日光の当たる場所に保管しないでください。

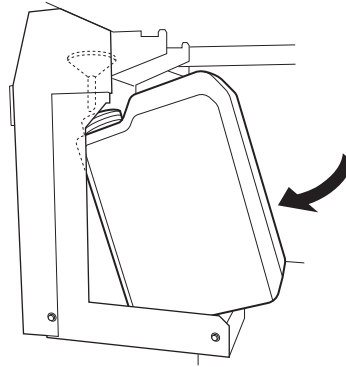
付属の廃液ボトルで廃液を一時的に保管する場合、直射日光の当たる場所に置かないでください。廃液が固まって廃液ボトルが使用できなくなったり、廃液ボトルが劣化し廃液が漏れる恐れがあります。

**重要**


廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

7. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。




8. [完了]をタップする。  
インク更新を開始します。終了すると、もとの画面に戻ります。

9.  をタップして、もとの画面に戻る。


## 2. テストプリントを実施して結果を確認する

### 手順

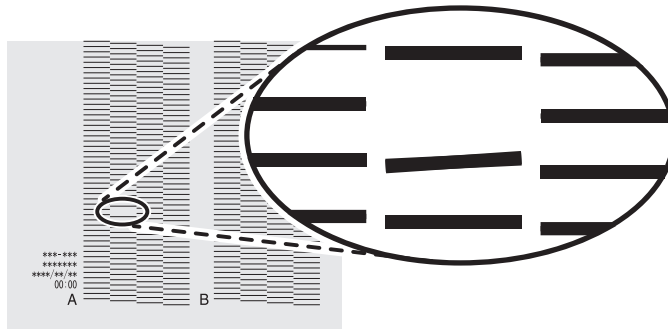
1. メディアをセットアップする。  
P. 31 新規メディアのセットアップ
2. ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップする。
3. [テストプリント]の[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。

#### メモ


ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。

ホーム画面で  [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜けテスト (下地：黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。  
ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地：黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか、または色ムラが直ったか確認する。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。

ドット抜け、ドットよれまたは色ムラが無い場合は、この作業は終了です。  をタップして、もとの画面に戻ってください。


テストパターンのドット抜けやドットよれの場所に変化がある場合は、ミディアムクリーニングを2、3回やり直してください。  
症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

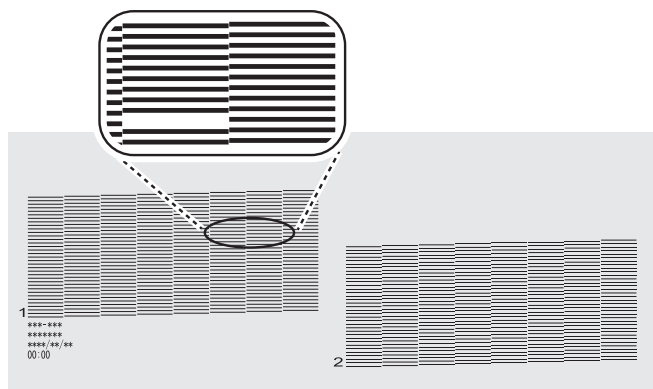
## 印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する

インク更新を行ってもドット抜けやドットよれが改善しない場合、プリントヘッドを部分的に使用しないようにします。この操作を「ノズルマスク」といい、印刷スピードは遅くなりますが、ドット抜けやドットよれの影響を減らすことができます。まずテストパターン印刷を行い、テスト結果を見て、使用するノズルグループを選択します。その後、VersaWorks を使用して印刷に使用するノズルグループを選択する作業を行います。

### 1. ノズルマスク用のテストプリントを行う

#### 手順


1. メディアをセットアップする。  
P. 31 新規メディアのセットアップ
2.  をタップする。
3. [クリーニング]>[テストプリント]をタップする。
4. [ノズルマスクテスト]を選択し、[実行]をタップする。  
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるノズルグループを確認する。  
「1」「2」のノズルグループに分けてテストプリント結果を表示します。下記ではノズルグループ「1」にドット抜けがあります。



#### メモ

##### テストプリントの結果がわかりにくいときは

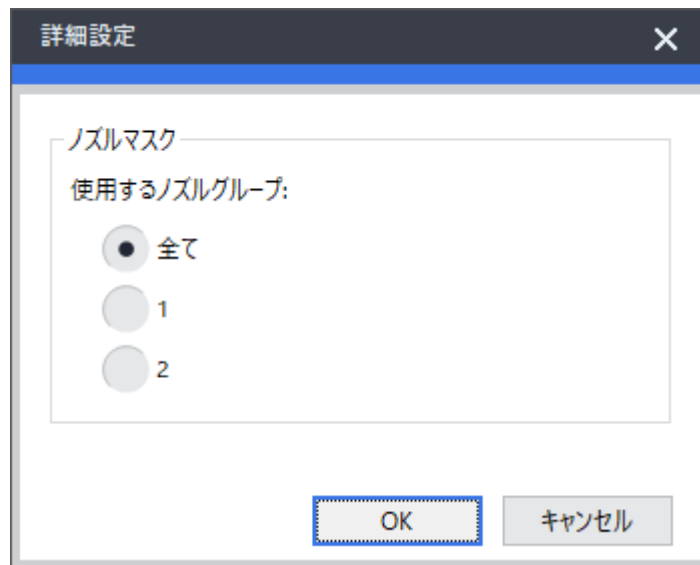
明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。


6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。  
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。  をタップして、もとの画面に戻ってください。

## 2. 印刷に使用するプリントヘッドを限定する

### 手順

1. VersaWorks を起動する。
2. [プリンター]>[プリンターの設定]をクリックする。  
[プリンターの設定]ダイアログボックスが表示されます。
3. [プリンターの一覧] からプリントヘッドを限定するプリンターを選択する。
4. [詳細設定]をクリックする。  
[詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。
5. テストプリントの結果から、印刷に使用するノズルグループを選択する。  
選択できるノズルグループの番号はお使いの機種、またはファームウェアバージョンによって異なります。テストプリント結果に合わせて、適切なグループ番号を選択してください。



6. [OK]をクリックする。  
[詳細設定]ダイアログボックスを閉じます。
7. [OK]をクリックする。  
[プリンターの設定]ダイアログボックスを閉じます。  
設定を変更したプリンターのイメージ画像の上に  のアイコンが表示されます。

### 関連情報

- VersaWorks マニュアル (<https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6>)

## 応急処置) プリントヘッド表面のクリーニング

何度クリーニングしてもドット抜けやドットよれが改善しない場合は、応急処置として、プリントヘッド表面をクリーニングする方法があります。プリントヘッド表面（ノズル面）はとても繊細な機構となっていますので、作業は丁寧かつ慎重に行ってください。

この作業は応急的処置です。症状によっては正常な箇所を傷め、さらに症状の悪化を招くことがあります。ご不明な点は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

### ⚠ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約 15 分待つ)

UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

### ⚠ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

### 重要

#### 作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10 分以内に作業を終わらせてください。10 分を過ぎると警告音が鳴ります。
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえってプリントヘッドを傷めます。
- 付属の洗浄液以外は使わないでください。
- 必ず新品のクリーニングスティックを使用してください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響を与えます。
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- プリントヘッド表面（ノズル面）はこすらないでください。
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。


#### クリーニング中に警告音がなったときは

- 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[すべて完了]をタップし、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。

必要なもの	
	
クリーニングスティック	洗浄液

## 手順

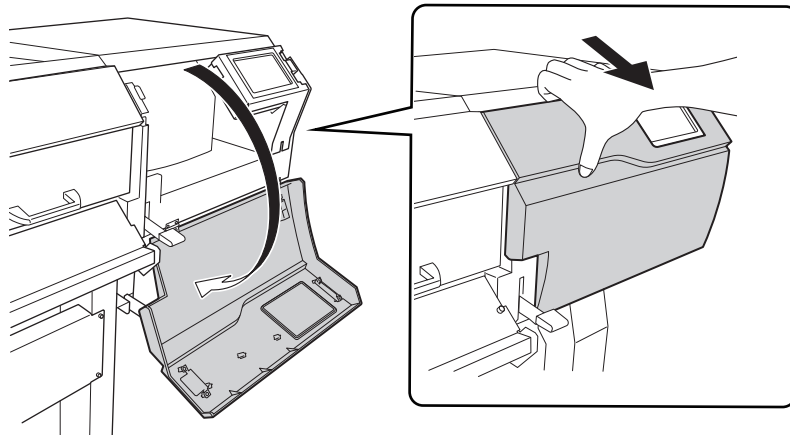
1. メディアを取り外す。

2.  をタップする。
3. [マニュアルクリーニング]をタップする。
4. [実行]をタップする。  
プリントヘッドが機体の左端まで移動します。

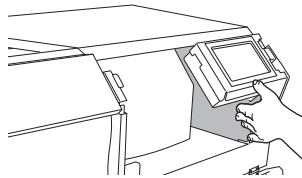
**重要**

応急処置のプリントヘッド表面のクリーニングは、マニュアルクリーニングメニューを使用して、プリントヘッドキャリッジを機体の左側に移動させます。そのため、操作パネルには、マニュアルクリーニングの手順が表示されます。

5. カバー R を開ける。



6. 図の位置にさわって作業者の静電気を逃がす。



7. 新品のクリーニングスティックに洗浄液をたっぷり染み込ませる。

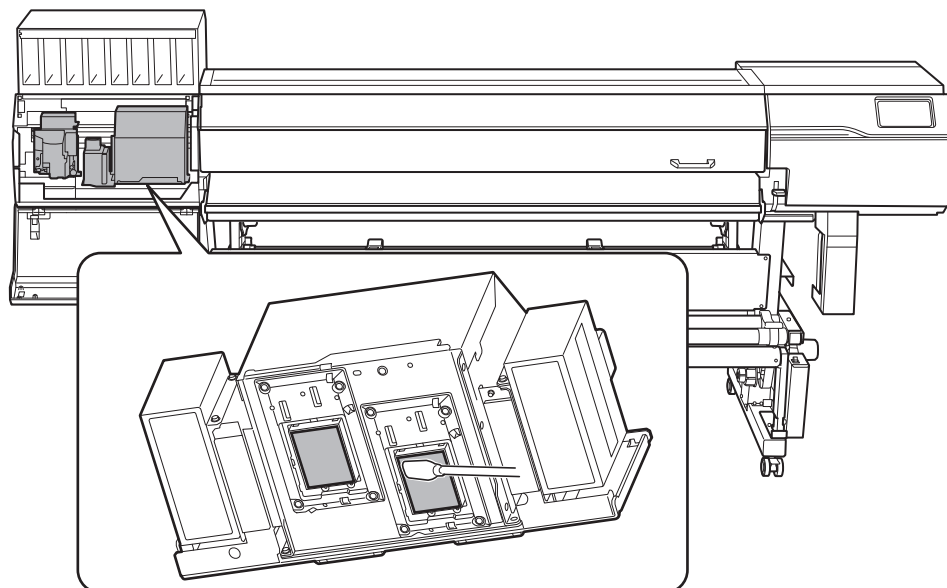
**重要**

- 必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。
- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。





8. プリントヘッド表面（ノズル面）にクリーニングスティックをそっと軽く押し当てる。  
プリントヘッド表面（ノズル面）に洗浄液が染み込むように、やさしくそっと押し当ててください。決してスティックをこすりつけたり、力強く押し当てたりしないようにしてください。




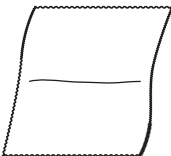
# 操作パネルが汚れたとき

## 操作パネルの清掃方法

### 重要

#### 作業にあたってのお願い

- 清掃に使う布やアルコールなどは、お客様ご自身でご用意ください。
- 操作パネルを清掃するときは必ず布を使ってください。操作パネルのすき間に液体が入りこむと、プリンターの故障の原因になります。

必要なもの	
	
無水エタノール、またはイソプロピルアルコール	布（毛羽立ちのないもの）

### ⚠ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコールは、当該製品の使用上の注意を守って使うこと。  
引火や、換気、肌荒れなどに注意してください。

### ⚠ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外は使用しないこと。  
無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外の薬品等を使用すると、操作パネルの故障の原因になります。

## 手順

1. サブ電源をオフにする。
2. 無水エタノール、またはイソプロピルアルコールをしみこませた布で、操作パネルを拭く。  
軽くゆっくりふきとって、汚れを取り除いてください。

# 消耗部品の交換

---

メンテナンス用部品の交換.....	283
ワイパーの交換.....	283
プリントヘッドキャップの交換.....	286
ワイパークリーナーの交換.....	288
UV ミストフィルターの交換.....	290
フラッシングスポンジの交換.....	292
刃物の交換.....	294
カッターの交換.....	294
セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換.....	299
交換前にお問い合わせが必要な消耗部品.....	301

# メンテナンス用部品の交換

## ワイパーの交換

ワイパーは定期的にプリントヘッドの表面を清掃します。

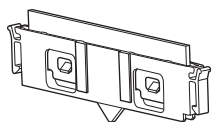
ワイパーの交換時期になると、[ワイパー交換の時期です。]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、ワイパーを交換してください。

ワイパーの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

### 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

### 必要なもの




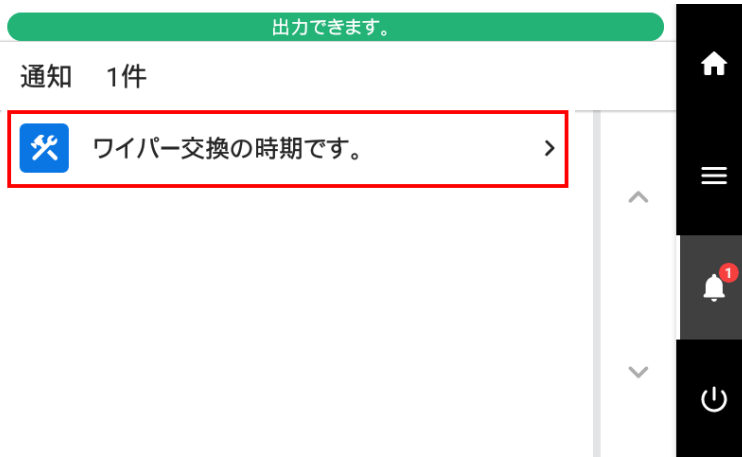
ワイパー

### 重要

操作パネルにインクが付着しないように十分注意してください。

## 手順

1. [ワイパー交換の時期です。]のメッセージが表示されたら、[OK]をタップする。
2. メディアを取り外す。
3.  をタップしてメッセージを表示する。
4. [ワイパー交換の時期です。]をタップする。





[ワイパー交換]画面が表示されます。

5. [実行]をタップする。

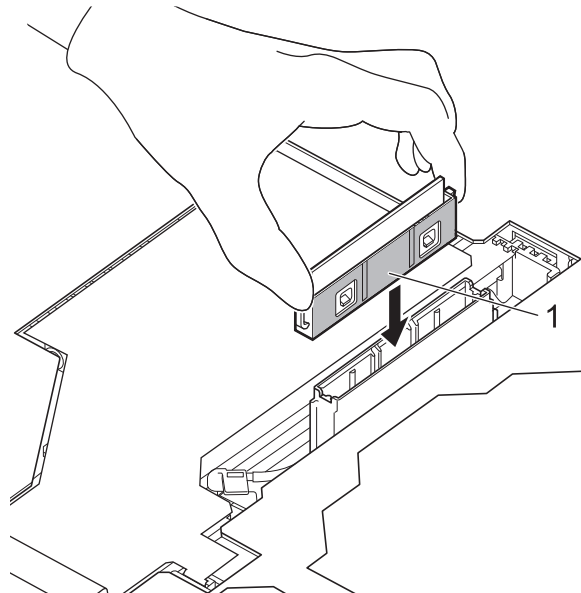
プリントヘッドキャリッジがワイパー交換可能な位置へ移動します。

6. 操作パネルの指示にしたがって、ワイパーを交換する。

-   をタップして手順を確認できます。
- 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[すべて完了]をタップしてください。

**重要**


- ワイパーは(1)の面が右向きになるように取り付けてください。
- ワイパーを取り付けたのちに、ロックを解除しない程度に左右両端のツメを持ち、ワイパーを軽く上に引いて外れないことを確認してください。



7. ワイパーの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。

8. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、カバー R を閉じる。

カバー R を閉じると、もとの画面に戻ります。

9.  をタップして、もとの画面に戻る。

## プリントヘッドキャップの交換

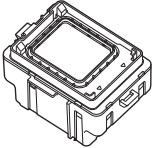
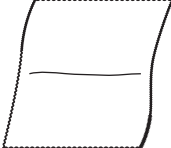

プリントヘッドキャップはプリントヘッドのノズル面に密着して、乾燥やほこりの付着を防ぎます。

プリントヘッドキャップの交換時期になると、**[キャップ交換の時期です。]**のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、プリントヘッドキャップを交換してください。


プリントヘッドキャップの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

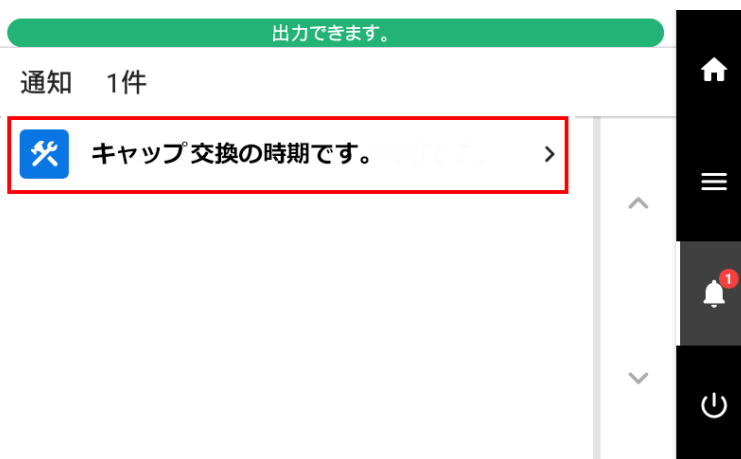
### 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

必要なもの		
		
プリントヘッドキャップ	布 (毛羽立ちのないもの)	クリーニングスティック

### 手順



1. **[キャップ交換の時期です。]**のメッセージが表示されたら、**[OK]**をタップする。
2. メディアを取り外す。
3.  をタップしてメッセージを表示する。
4. **[キャップ交換の時期です。]**をタップする。



**[キャップ交換]** 画面が表示されます。

5. **[実行]**をタップする。  
プリントヘッドキャリッジがプリントヘッドキャップの交換可能な位置へ移動します。

**6. 操作パネルの指示にしたがって、プリントヘッドキャップを交換する。**

-   をタップして手順を確認できます。
- 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、**[すべて完了]**をタップしてください。


**重要**

取り外したプリントヘッドキャップからインクが垂れることがあります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

インクが手や機体、床に付着しないよう、取り外したプリントヘッドキャップの下面にウエスなどを当ててください。

**7. プrintヘッドキャップの交換が終了したら**[すべて完了]**をタップする。****8. **[カバーを閉じてください。]**と表示されたら、カバー R を閉じる。**

カバー R を閉じると、もとの画面に戻ります。

**9.  をタップして、もとの画面に戻る。**



## ワイパークリーナーの交換

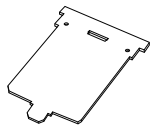

清掃によってワイパーに付着したインクやほこりなどを、ワイパークリーナーで清掃します。

ワイパークリーナーの交換時期になると、**[ワイパークリーナー交換の時期です。]**のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、ワイパークリーナーを交換してください。

ワイパークリーナーの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

### 警告


必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

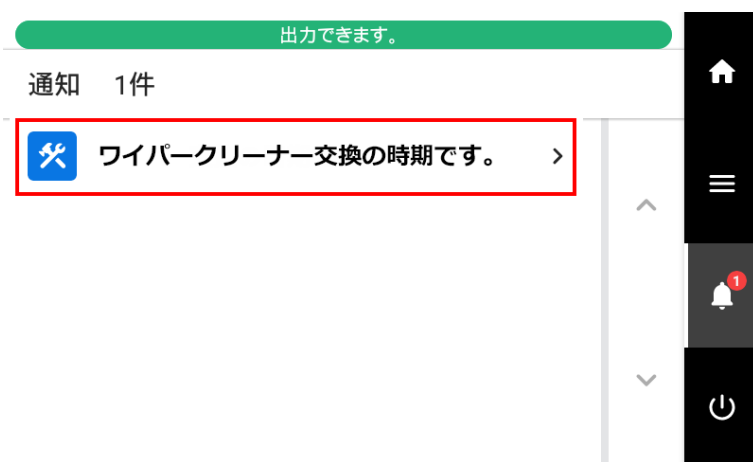
必要なもの	
	
ワイパークリーナー	ピンセット

### 重要




操作パネルにインクが付着しないように十分注意してください。

## 手順

1. **[ワイパークリーナー交換の時期です。]**のメッセージが表示されたら、**[OK]**をタップする。
2. メディアを取り外す。
3.  をタップしてメッセージを表示する。
4. **[ワイパークリーナー交換の時期です。]**をタップする。



**[ワイパークリーナー交換]**画面が表示されます。

5. **[実行]**をタップする。  
プリントヘッドキャリッジがワイパークリーナー交換可能な位置へ移動します。
6. 操作パネルの指示にしたがって、ワイパークリーナーを交換する。
  - **[静電気を逃がす。]**が表示されたら、指示された場所を触り、**[すべて完了]**をタップするとワイパークリーナー交換の操作案内が表示されます。
  -   をタップして手順を確認できます。
  - 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、**[すべて完了]**をタップしてください。
7. ワイパークリーナーの交換が終了したら**[すべて完了]**をタップする。
8. **[カバーを閉じてください。]**と表示されたら、カバー R およびフラッシングカバーを閉じる。  
カバー R およびフラッシングカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。
9.  をタップして、もとの画面に戻る。

## UV ミストフィルターの交換

UV ミストフィルターは、印刷時に発生するインクミストを吸着して UV ランプへのインクミストの付着を軽減します。

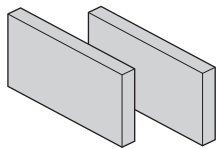
UV ミストフィルターの交換時期になると、**[UV ミストフィルター交換の時期です。]**のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、UV ミストフィルターを交換してください。

UV ミストフィルターの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

### 警告


必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

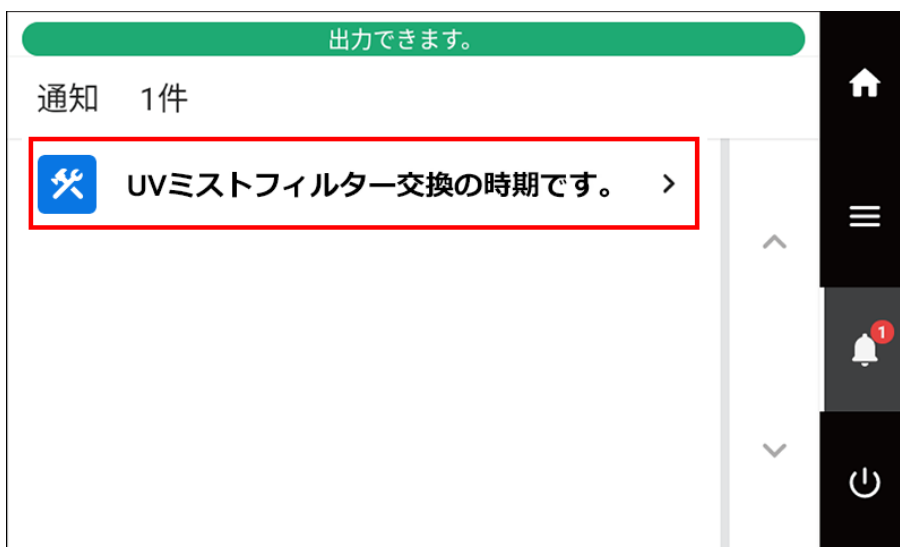
#### 必要なもの



UV ミストフィルター

### 手順

1. **[UV ミストフィルター交換の時期です。]**のメッセージが表示されたら、**[OK]**をタップする。
2. メディアを取り外す。
3.  をタップしてメッセージを表示する。
4. **[UV ミストフィルター交換の時期です。]**をタップする。





**[UV ミストフィルター交換]**画面が表示されます。

5. **[実行]**をタップする。

右側の UV ミストフィルターが交換可能な位置へプリントヘッドキャリッジが移動します。

6. 操作パネルの指示にしたがって、UV ミストフィルターを交換する。


-   をタップして手順を確認できます。
- UV 照射装置はプリントヘッドの左側と右側にあります。操作案内は左側と右側で、それぞれ表示されます。
- 操作案内を見ずに左側 UV ミストフィルター交換作業が完了した場合は、**[すべて完了]**をタップしてください。タップすると右側の操作案内が表示されます。操作案内を見ずに右側 UV ミストフィルター交換作業が完了した場合は、**[すべて完了]**をタップしてください。

メモ

UV ミストフィルターに表裏の指定はありません。どちらに向けて取り付けても問題はありません。

7. UV ミストフィルターの交換が終了したら**[すべて完了]**をタップする。

8. **[カバーを閉じてください。]**と表示されたら、フロントカバーを閉じる。  
フロントカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。

9.  をタップして、もとの画面に戻る。

## フラッシングスポンジの交換

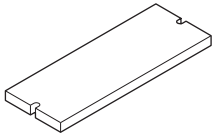

フラッシングスポンジはプリントヘッドの詰まりを防止するために吐出したインクを吸着します。

フラッシングスポンジの交換時期になると、[フラッシングスポンジ交換の時期です。]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、フラッシングスポンジを交換してください。


フラッシングスポンジの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

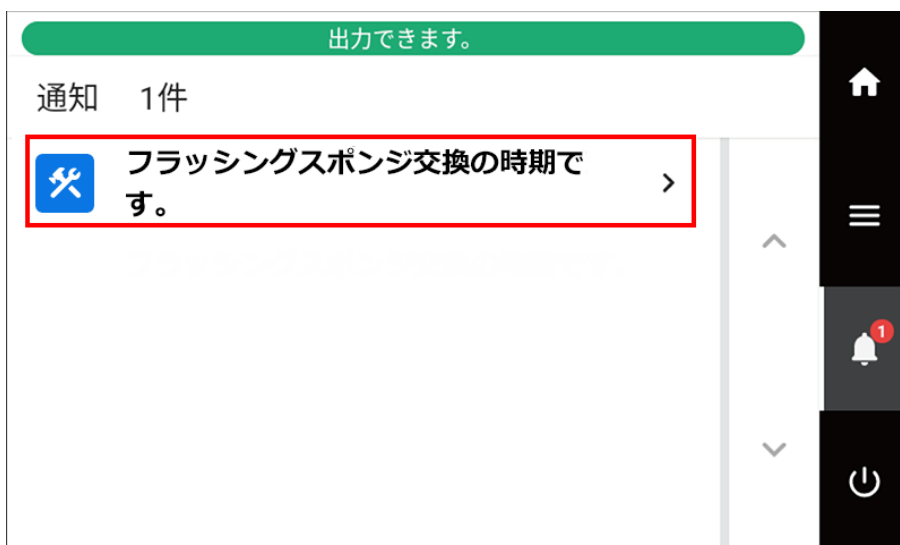
### 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

必要なもの	
	
フラッシングスポンジ	ピンセット

### 手順

- [フラッシングスポンジ交換の時期です。]のメッセージが表示されたら、[OK]をタップする。
- メディアを取り外す。
-  をタップしてメッセージを表示する。
- [フラッシングスポンジ交換の時期です。]をタップする。





[フラッシングスポンジ交換]画面が表示されます。

- [実行]をタップする。

プリントヘッドキャリッジがフラッシングスポンジ交換可能な位置へ移動します。

6. 操作パネルの指示にしたがって、フラッシングスポンジを交換する。


-   をタップして手順を確認できます。
- 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[すべて完了]をタップしてください。

メモ

フラッシングスポンジに表裏の指定はありません。どちらに向けて取り付けても問題はありません。

7. フラッシングスポンジの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。

8. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、カバー R およびフラッシングカバーを閉じる。  
カバー R およびフラッシングカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。

9.  をタップして、もとの画面に戻る。

# 刃物の交換

## カッターの交換

カッターの切れ味が悪くなったとき、刃先が欠けたとき、カット品質が悪くなったときは、新しいカッターと交換してください。

### ⚠ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

### ⚠ 注意

カッターの刃先に触らない。  
けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。




#### 必要なもの



交換用カッター

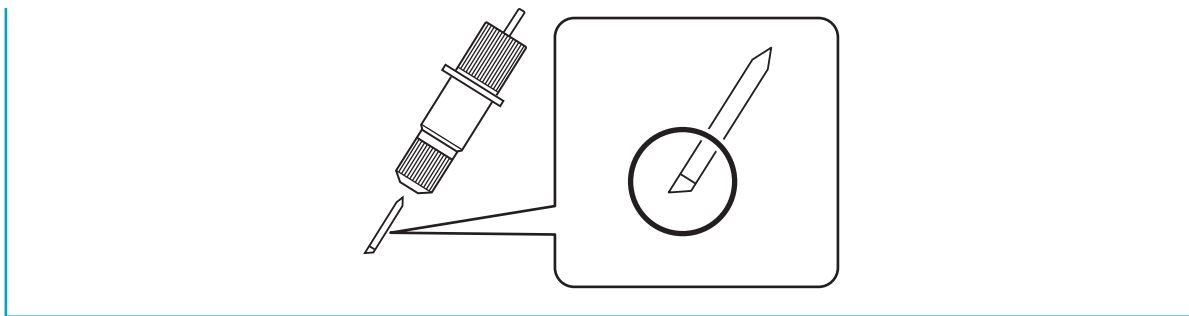
## 1. カッターを交換する


### 手順

1. メディアを取り外す。
2.  をタップする。
3. [メンテナンス]>[カッター交換]をタップする。  
[カッター交換]画面が表示されます。
4. [実行]をタップする。  
カッティングキャリッジがカッター交換可能な位置まで移動します。
5. 操作パネルの指示にしたがって、カッターを交換する。
  - ・   をタップして手順を確認できます。
  - ・ 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[すべて完了]をタップしてください。

### メモ

カッターを取り付けるときは、刃先の向きを間違えないようにしてください。





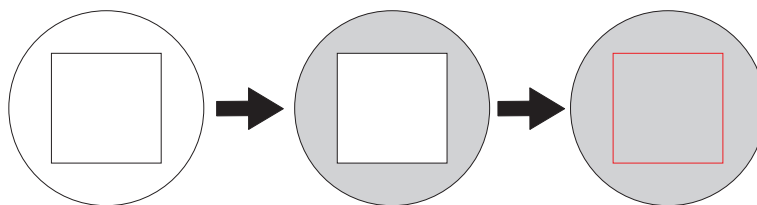
6. カッターの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。
7. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、フロントカバーを閉じる。  
フロントカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。
8.  をタップして、もとの画面に戻る。








## 2. 新しいカッターに合わせて調整する

### 手順

1. メディアをセットアップする。
2.  をタップする。
3. [出力開始位置] の[変更] をタップする。
4.  をタップして、テストカットしたい位置までカッピングキャリッジを移動させる。  
テストカットをする位置は自由に設定できます。
5. [ここをベースポイントに設定] をタップする。  
[カッター調整] 画面に戻ります。
6. [テストカット] の[実行] をタップする。  
テストパターンがカットされます。
7. テストカットの結果を確認する。



確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する	形がゆがんでいる。	[カット速度]	小さくする
円をはがす	四角形が一緒にはがれる。	[カッター圧]	大きくする
	部分的な切り残しがある。	[カット速度]	小さくする
四角形をはがす	うっすらと台紙にカッターの跡がある。	[カッター圧]	そのまま
	カッターの跡がわからない。		大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている。		小さくする
はがした四角形の形を確認する	 角に丸みやツノが無い。	[カッターオフセット]	そのまま
	 角がとれて丸くなっている。		大きくする
	 角にツノができています。		小さくする

8.   をタップして、各設定を変更する。

カッティング条件	設定内容	出荷時設定
[カッター圧]	カッターの圧力を設定します。	50 gf
[カット速度]	カッティングの速度を設定します。	30 cm/s
[カッターオフセット]	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください。 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です。	0.250 mm
[UP 移動速度]	カッティング中のカッターの空送り速度（1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが移動するときの速度）を設定します。空送り中に、メディアが浮き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速度を落としてください。	30 cm/s

9. [保存]を押して決定する。

10. 最適な設定になるまで、テストカットとカッティング条件の調整をくり返す。  
手順 7 ~ 10 を繰り返して、各カッティング条件を調整してください。

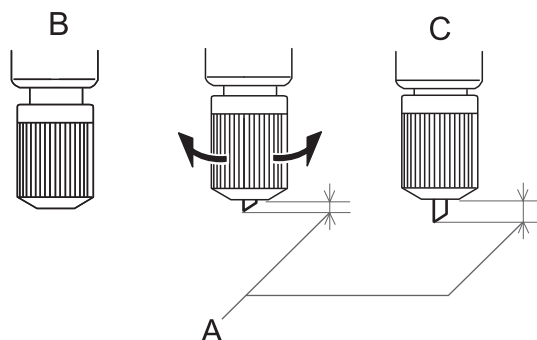
11.  をタップして、もとの画面に戻る。

### 3. 切り込み量を細かく調整する

台紙が薄いメディアのカッティングなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整するとよい結果が得られます。刃先突出量は、カッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。1目盛で0.1 mm、1回転で0.5 mmの調整ができます。

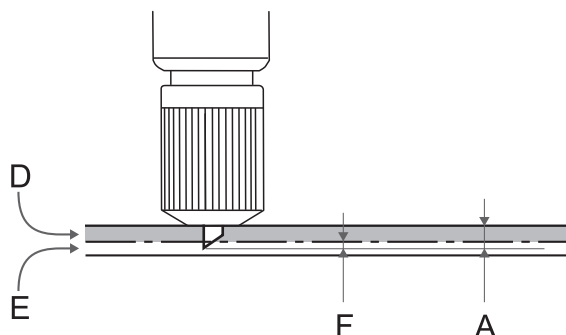
ただし、刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり傷つけたりすることがあります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。

刃先突出量 (A) は、最小で 0 mm (B)、最大で 2.5 mm (C) です。



• 刃先突出量の目安 (ステッカーを作成する場合)

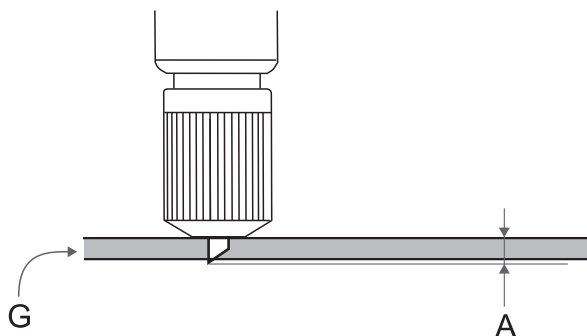
刃先突出量 (A) は、「シート部分の厚み (D)」と「台紙の厚み (E) の半分 (F)」を足した量にしてください。



• 刃先突出量の目安 (ミシン目カットを実施する場合)

刃先突出量 (A) は、カッターがメディア (G) を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。

ミシン目カットの出力設定については、VersaWorks の取扱説明書を参照してください。



**重要**

刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。

## セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換

セパレーティングナイフの切れ味が悪くなったら、付属の替え刃と交換してください。

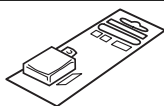
### 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。  
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

### 注意




セパレーティングナイフの刃先にさわらない。  
けがをすることがあります。

#### 必要なもの



セパレーティングナイフ替え刃

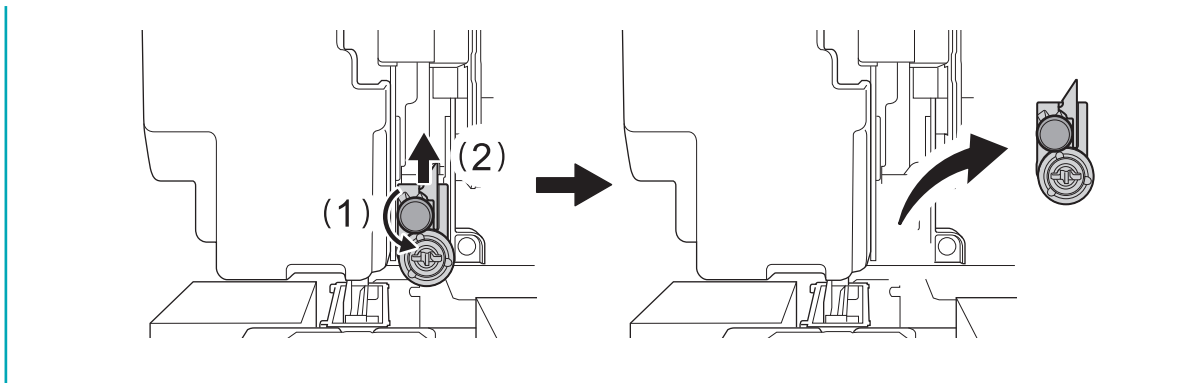
### 手順

1. メディアを取り外す。
2.  をタップする。
3. [メンテナンス]>[セパレーティングナイフ交換]をタップする。  
[セパレーティングナイフ交換]画面が表示されます。
4. [実行]をタップする。  
カッティングキャリッジがセパレーティングナイフ交換可能な位置まで移動します。
5. 操作パネルの指示にしたがって、セパレーティングナイフを交換する。
  -   をタップして手順を確認できます。
  - 操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[すべて完了]をタップしてください。

### メモ


セパレーティングナイフは、次の手順で取り外してください。

1. ネジが飛び出してくるまで緩める。
2. ネジ部分を持ち、矢印の方向にゆっくりと抜く。  
このとき手前に引っ張らないでください。



6. セパレーティングナイフの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。

7. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、フロントカバーを閉じる。  
フロントカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。

8.  をタップして、もとの画面に戻る。

# 交換前にお問い合わせが必要な消耗部品

下記の消耗部品を交換する際は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

品名	関連ページ
プリントヘッド	<a href="#">P. 244 プリントヘッド周りの清掃</a>

# トラブルへの対応方法

# 出力品質のトラブル

印刷が粗い／横すじが入る.....	304
プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか？ .....	304
プリントヘッド高さは適切ですか？ .....	304
[送り補正]はしてありますか？ .....	304
[メディアギャップ補正]（インクの着弾位置補正）はしてありますか？ .....	304
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？ .....	304
印刷モードは適切ですか？ .....	305
メディアの取り付け方法は適切ですか？ .....	305
[メディア設定]は適切ですか？ .....	305
印刷するとメディアが汚れる.....	306
プリントヘッドがメディアに当たっていませんか？ .....	306
プリントヘッドが汚れていませんか？ .....	306
ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか？ .....	306
色が安定しない／ムラになる.....	307
インクカートリッジを振ってから取り付けましたか？ .....	307
インクカートリッジを振ってインクを攪拌しても色ムラが発生しますか？ .....	307
メディアがしわになっていませんか？ .....	307
印刷途中に一時停止しませんでしたか？ .....	307
印刷中にクリーニングが行われていませんか？ .....	308
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？ .....	308
メディアの取り付け方法は適切ですか？ .....	308
動作条件を適切に設定してありますか？ .....	308
[メディア設定]は適切ですか？ .....	308
UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか？ .....	308
カットがずれる／ゆがむ／きれいでない.....	309
メディアの取り付け方法は適切ですか？ .....	309
カッティング条件の設定は適切ですか？ .....	309
出力の長さが長すぎませんか？ .....	309
伸縮の大きいメディアを使用していませんか？ .....	309
[カット設定]の[カット距離補正]は正しく設定されていますか？ .....	309
ピンチローラーを適切な位置に配置していますか？ .....	309
プリントとカットのずれを補正しましたか？ .....	310
カッターホルダーは適切に取り付けられていますか？ .....	310
カッターは消耗していませんか？ .....	310
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？ .....	310



# 印刷が粗い／横すじが入る

## プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか？

テストプリントを行い、ドット抜けやドットよれがないか確認してください。ドット抜けやドットよれがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

### 関連情報

- ・ [P. 128 ノズル抜けテストを実施する](#)
- ・ [P. 130 ノーマルクリーニングの方法](#)
- ・ [P. 263 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)

## プリントヘッド高さは適切ですか？

[ヘッド高さ設定]メニューが[高い]または[中間]に設定されていると、[低い]のときに比べて印刷が粗くなります。厚みのあるメディアを使う場合などを除き、必要のないときは[低い]に設定してください。

### 関連情報

- ・ [P. 168 プリントヘッドの高さを変える](#)

## [送り補正]はしてありますか？

メディアの送り量が大きすぎると、印刷が粗い感じになったり、横すじが入ったりすることがあります。メディアの種類に適合した設定をソフトウェア RIPで行うか、プリンター側で補正を行ってください。

### 関連情報

- ・ [P. 163 必要な調整を自動で行う](#)
- ・ [P. 164 手動調整：横すじを軽減する（送り補正）](#)

## [メディアギャップ補正]（インクの着弾位置補正）はしてありますか？

メディアの厚みによって、最適な補正は異なります。メディアに応じた補正值を設定してください。[簡易補正（自動）]を行っても印刷がきれいにできない場合は、[詳細補正（手動）]で補正を行ってください。

### 関連情報

- ・ [P. 163 必要な調整を自動で行う](#)
- ・ [P. 166 手動調整：インクの着弾位置のずれを調整する（メディアギャップ補正）](#)

## プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が当たらないようにしてください。これらは、ドット抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

## 印刷モードは適切ですか？

きれいに印刷できないときは、より高品質な印刷モードを試してみてください。メディアによっては高品質な印刷モードでにじむこともありますし、ソフトウェア RIP の設定（カラープロファイルの選択など）によっても結果は大きく変わります。お使いのメディアに適した設定をしてください。

## メディアの取り付け方法は適切ですか？

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、出力に悪影響を与えます。メディアを正しく取り付けてください。

### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## [メディア設定]は適切ですか？

設定がメディアの種類に適合していない場合、印刷に悪影響を与えます。お使いのメディアに最適な設定を選んでください。

### 関連情報

- [P. 207 メディア設定を変更する](#)

# 印刷するとメディアが汚れる

## プリントヘッドがメディアに当たっていませんか？

プリントヘッド高さが低すぎるかもしれません。また、メディアのセットが適切でなかったりすると、しわや浮き上がりが起こりヘッドに当たることもあります。

### 関連情報

- [P. 168 プリントヘッドの高さを変える](#)
- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## プリントヘッドが汚れていませんか？

次のことが原因で、印刷中、メディアの上にインクが垂れることがあります。

- ヘッドのまわりに繊維状のほこりなどが付いている。
- メディアをこすった影響でヘッドにインクがべったり付いている。

このようなときは、マニュアルクリーニングを行ってください。定期的なヘッドの清掃をおすすめします。

- 湿度が低すぎる。

35 ~ 80 % RH (ただし結露がないこと) の環境で使用してください。

### 関連情報

- [P. 244 プリントヘッド周りの清掃](#)

## ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか？

定期的に清掃してください。

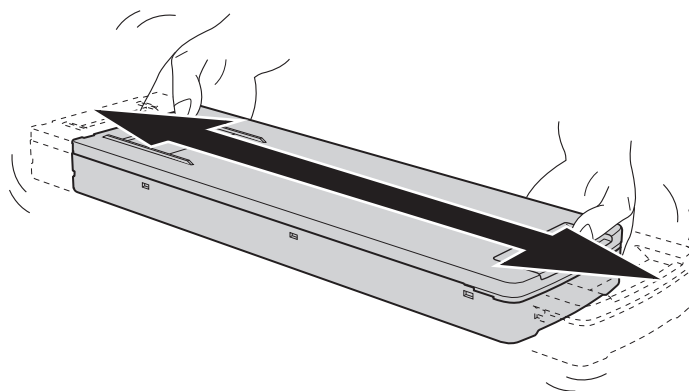
### 関連情報

- [P. 242 機体の清掃](#)

# 色が安定しない／ムラになる

## インクカートリッジを振ってから取り付けましたか？

新しいインクカートリッジを取り付ける前には、インクカートリッジを50回（20秒程度）振ってください。  
ホワイトインクは、その日の作業を始める前にインクカートリッジをいったん取り外して、50回（20秒程度）振ってから再び取り付けてください。



## インクカートリッジを振ってインクを攪拌しても色ムラが発生しますか？

インクカートリッジを振ってインクを攪拌させてもホワイトインクの色ムラが発生するときは[インク循環]を行ってください。  
[インク循環]を行ってもホワイトインクの色ムラが発生するときは[パワフルクリーニング]を行ってください。  
[パワフルクリーニング]を行ってもホワイトインクの色ムラが発生するときは[ダンパー内インク更新]を行ってください。  
[ダンパー内インク更新]を行ってもホワイトインクの色ムラが発生するときは[インク更新]を行ってください。  
インクカートリッジを振ってインクを攪拌させてもホワイトインク以外の色ムラが発生するときは[インク更新]を行ってください。

### 関連情報

- ・ P. 267 インク循環の方法
- ・ P. 269 ダンパー内インク更新の方法
- ・ P. 272 インク更新の方法

## メディアがしわになっていませんか？

メディアがしわになってプラテンから浮いた状態になると、色のムラになったり、印刷品質が低下したりします。

### 関連情報

- ・ P. 31 新規メディアのセットアップ
- ・ P. 68 登録済みメディアのセットアップ

## 印刷途中に一時停止しませんでしたか？

印刷を一時停止すると、再開したときのつなぎ目で色味が変わってしまうことがあります。印刷の一時停止は避けてください。  
長尺印刷の前には、インクの残量を確認するようにしてください。また、コンピューターからのデータ転送速度が十分でないと、印刷がときおり停止することがあります。印刷中は、コンピューターに印刷以外の処理をさせないことをおすすめします。

## 印刷中にクリーニングが行われていませんか？

印刷中にクリーニングが行われると、印刷品質に影響を与えます。印刷前にクリーニングまでの時間と印刷時間を確認してください。

### 関連情報

- ・ [P. 203 クリーニングによる印刷の中断を回避する](#)

## プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が当たらないようにしてください。これらは、ドット抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

## メディアの取り付け方法は適切ですか？

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、出力に悪影響を与えます。メディアを正しく取り付けてください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## 動作条件を適切に設定してありますか？

[印刷時の動作幅]メニューや[印刷中クリーニング]メニューの設定によっては、色のムラになることがあります。設定を変えてある場合は、初期値に戻してみてください。

### 関連情報

- ・ [P. 215 幅のせまいメディアへの出力を速くする](#)

## [メディア設定]は適切ですか？

設定がメディアの種類に適合していない場合、印刷に悪影響を与えます。お使いのメディアに最適な設定を選んでください。

### 関連情報

- ・ [P. 207 メディア設定を変更する](#)

## UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか？

照射窓が汚れていると、インクの定着性や印刷物の品質が低下することがあります。汚れの程度をご確認いただき、適切なタイミングで清掃をお願いします。

### 関連情報

- ・ [P. 252 月に1度以上必要なクリーニング](#)

# カットがズれる／ゆがむ／きれいでない

## メディアの取り付け方法は適切ですか？

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、出力に悪影響を与えます。メディアを正しく取り付けてください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## カッティング条件の設定は適切ですか？

カッティング速度が速すぎたり、カッター圧が強すぎたりすると、位置ずれやゆがみの原因になります。カッティング条件を変えてみてください。粘着層の粘りが強いメディアは、カット後すぐに粘着層部分がつながります。しかし、テストカットをして、メディアのはがれ具合と台紙に付いたカッターの跡が最適であればメディアは切れています。カッター圧を大きくしすぎないように注意してください。

### 関連情報

- ・ [P. 179 カッティングの設定を細かく調整する](#)

## 出力の長さが長すぎませんか？

特にプリント&カットする場合、ひとつのページが長くなるほど（つまり、プリント後にメディアを引き戻す距離が長いほど）位置ずれが起きやすくなります。1 ページの大きさは必要最小限にするとよいでしょう。

## 伸縮の大きいメディアを使用していませんか？

プリント&カットする場合、メディアが伸縮すると位置がずれてしまいます。このようなときは、クロープマーク付きで印刷し、カッティングしてみてください。メディアの伸縮に合わせて、カット位置が補正されます。

### 関連情報

- ・ [P. 148 クロープ&カットの方法](#)

## [カット設定]の[カット距離補正]は正しく設定されていますか？

プリント&カットするときは、[カット設定]の[カット距離補正]の補正値を 0.00 %に設定してください。

### 関連情報

- ・ [P. 185 カッティング時の距離補正をする](#)

## ピンチローラーを適切な位置に配置していますか？

ピンチローラーは必ずグリットローラーの上に配置してください。適切な位置に配置していないと、メディアの位置がずれません。

#### 関連情報

- ・ P. 31 新規メディアのセットアップ
- ・ P. 68 登録済みメディアのセットアップ

### プリントとカットのずれを補正しましたか？

メディアの厚みやヘッド高さによって、プリントとカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

#### 関連情報

- ・ P. 189 プリント&カットの設定を細かく調整する

### カッターホルダーは適切に取り付けられていますか？

カッターホルダー取り付け時にしっかりネジをしめて、カッターホルダーが固定されていることを確認してください。

#### 関連情報

- ・ P. 294 カッターの交換

### カッターは消耗してませんか？

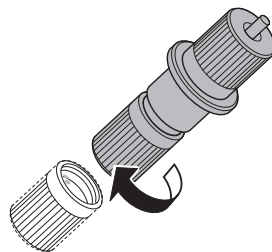
カッターの摩耗、欠損があるとカッティング品質に悪影響を与えます。カッターの状態を確認し、必要に応じて新しいカッターに交換してください。

#### 関連情報

- ・ P. 294 カッターの交換

### カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？

カッターホルダーを取り外したあと、カッターホルダーの先端を取り外し、中に入り込んだシートやほこりを取り除いてください。



#### 関連情報

- ・ P. 181 切り込み量を細かく調整する

# クロップ&カットのトラブル

---

クロップマークの自動検出に失敗した.....	312
ピンチローラーからクロップマークまでの余白が少なすぎませんか？ .....	312
メディアに"しわ"や"ゆがみ"がありませんか？ .....	312
メディアサイズが大きすぎませんか？ .....	312
光が反射しやすいメディアを使っていますか？ .....	312
透明なメディアを使っていますか？ .....	312
プリントとカットがずれる.....	313
クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか？ .....	313



# クロップマークの自動検出に失敗した

## ピンチローラーからクロップマークまでの余白が少なすぎませんか？

余白が少なかったり、ピンチローラーの位置が正しくなかったりすると、クロップマークが検出できないことがあります。余白を確認して、正しい位置にピンチローラーをセットしてください。

## メディアに"しわ"や"ゆがみ"がありませんか？

メディアの"しわ"や"ゆがみ"は、クロップマークの検出に失敗する原因になります。"しわ"や"ゆがみ"のあるメディアの使用は避けてください。

### 関連情報

- ・ [P. 202 読み取りセンサーを補正する](#)

## メディアサイズが大きすぎませんか？

メディアのサイズが大きいと誤差が大きくなり、クロップマークの検出に失敗する原因になることがあります。長尺メディアを使用する場合は、なるべく短いサイズに分割して出力することをおすすめします。

## 光が反射しやすいメディアを使っていませんか？

光が反射しやすいメディアの場合、クロップマークを読み取れないことがあります。[マルチセンサー調整] (クロップマークの読み取りセンサーの補正機能) をお試しください。それでも読み取れない場合は使用するメディアを変更してください。

### 関連情報

- ・ [P. 202 読み取りセンサーを補正する](#)

## 透明なメディアを使っていませんか？

透明なメディアの場合、クロップマークを読み取ることができません。使用するメディアを変更してください。

# プリントとカットがずれる

## クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか？

メディアの材質によっては、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

### 関連情報

- ・ [P. 194 クロップ印刷とカットのずれを補正する \(クロップ&カット同時テスト\)](#)
- ・ [P. 197 クロップ印刷とカットのずれを補正する \(クロップ/カット分離テスト\)](#)

# メディア送りのトラブル

---

メディアがしわになる／縮む.....	315
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？ .....	315
メディアをセットしたまま放置しませんでしたか？ .....	315
メディアクランプはセットしてありますか？ .....	315
フロントヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか？ .....	315
フロントヒーターの温度が高すぎませんか？ .....	315
部屋の湿度が高すぎませんか？ .....	315
使用しているメディアにたわみがありませんか？ .....	315
メディアが斜行する .....	316
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？ .....	316
メディア送りがなめらかでない .....	317
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？ .....	317
メディアが厚すぎませんか？ .....	317
グリットローラーが汚れていませんか？ .....	317
メディアが詰まった .....	318
エラーメッセージが表示されていませんか？ .....	318
メディアが反ったりしわになったりしていませんか？ .....	318
プリントヘッド高さが低すぎませんか？ .....	318
グリットローラーが汚れていませんか？ .....	318
メディアクランプはセットしてありますか？ .....	318
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？ .....	318
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？ .....	319
メディアが厚すぎませんか？ .....	319

# メディアがしわになる／縮む

## メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## メディアをセットしたまま放置しませんでしたか？

メディアを長時間加熱するとしわになることがあります。印刷が完了したらサブ電源をオフにして、メディアを取り外してください。

## メディアクランプはセットしてありますか？

印刷するときはメディアクランプを必ずセットしてください。

## フロントヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか？

フロントヒーターがオンで、温まった状態でメディアをセットすると、急激に温まるため、印刷時にしわになることがあります。サブ電源をオフにしてエプロンを冷ましてからメディアをセットしてください。

### 関連情報

- ・ [P. 174 メディアを温めてメディア浮きを抑制する](#)

## フロントヒーターの温度が高すぎませんか？

メディアの種類に合わせて、適切な温度に設定してください。

### 関連情報

- ・ [P. 174 メディアを温めてメディア浮きを抑制する](#)

## 部屋の湿度が高すぎませんか？

本機は、35～80 % RH（ただし結露のないこと）の環境でお使いください。

湿度が高いとメディアがたわんでしまうことがあります。たわんだメディアを使用すると、メディアにしわができてしまいます。

## 使用しているメディアにたわみがありませんか？

たわんだメディアを使用すると、メディアにしわができてしまいます。

# メディアが斜行する

## メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

# メディア送りがなめらかでない

## メディアが何かにぶつかったりしていませんか？

メディアに何も当たらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響することがあります。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## メディアが厚すぎませんか？

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなります。このようなメディアは使用しないでください。

## グリットローラーが汚れていませんか？

グリットローラーにメディアかすなどの異物が付着していないか確認してください。

### 関連情報

- ・ [P. 242 機体の清掃](#)

# メディアが詰まった

## エラーメッセージが表示されていませんか？

メディアづまりのためエラー表示が出たときは、すぐにその対処をしてください。プリントヘッドが壊れることがあります。

### 関連情報

- ・ [P. 338 \[モーターエラー\]](#)

## メディアが反ったりしわになったりしていませんか？

反りやしわにはさまざまな原因があります。以下をご覧のうえ対処してください。

### 関連情報

- ・ [P. 315 メディアがしわになる／縮む](#)

## プリントヘッド高さが低すぎませんか？

プリントヘッドを高くしてみてください。まずは[中間]から試し、それでもメディアが詰まる場合は[高い]にしてください。メディアは多少なりとも反ったりしわになったりしますので、その分も考慮してヘッドの高さを決めてください。

### 関連情報

- ・ [P. 168 プリントヘッドの高さを変える](#)

## グリットローラーが汚れていませんか？

グリットローラーにメディアかすなどの異物が付着していないか確認してください。

### 関連情報

- ・ [P. 242 機体の清掃](#)

## メディアクランプはセットしてありますか？

印刷するときはメディアクランプを必ずセットしてください。

## メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## メディアが何かにぶつかったりしていませんか？

メディアに何も当たらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響することがあります。

### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## メディアが厚すぎませんか？

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなります。このようなメディアは使用しないでください。



# 機体のトラブル

---

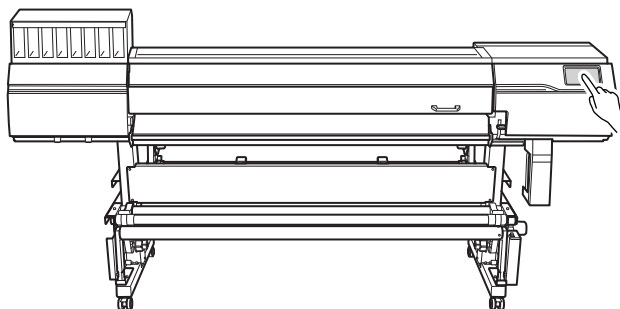
プリントヘッドが動かない.....	321
はじめに行う処置.....	321
どうしても動かないときは.....	321
プリンター本体が動かない.....	323
電源がオンになっていますか？.....	323
[出力できます。]と表示されていますか？.....	323
カバーが開いていませんか？.....	323
[出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか？.....	323
画面にメッセージが表示されていませんか？.....	323
ケーブルが接続されていますか？.....	323
LAN のルーティングは適切ですか？.....	324
LAN の設定は正しいですか？.....	324
ソフトウェア RIP が異常終了していませんか？.....	324
[インクカートリッジエラー]と表示されていませんか？.....	324
フロントヒーターが熱くならない.....	326
メディアをセットアップしてありますか？.....	326
[フロントヒーター]がオフになっていませんか？.....	326
部屋の温度が低すぎませんか？.....	326
メディアの切り離しができない.....	327
セパレーティングナイフは取り付けてありますか？.....	327

# プリントヘッドが動かない

プリントヘッドキャリッジがプラテン上で止まってしまったときは、ヘッドの乾燥を防ぐためすぐに対処してください。

## はじめに行う処置

サブ電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。メディアづまりのときはメディアも取り除いてください。プリントヘッドがスタンバイポジション（カバー R の中）に移動すれば完了です。



### それでもプリントヘッドが動かない場合

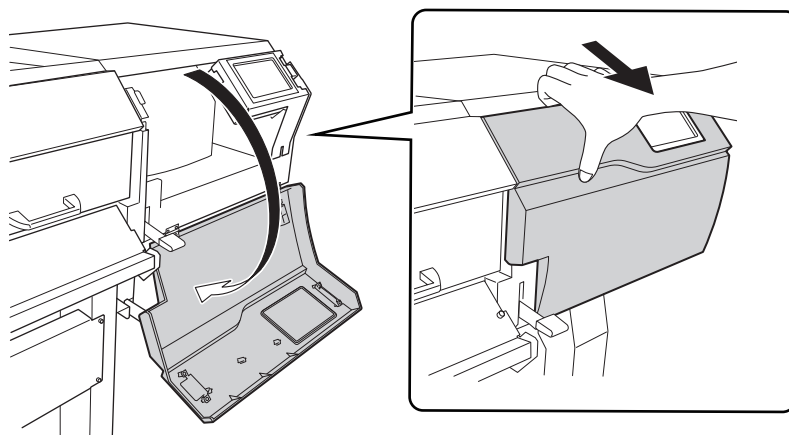
サブ電源、メイン電源の順にオフにし、再びメイン電源、サブ電源の順でオンにしてみてください。

## どうしても動かないときは

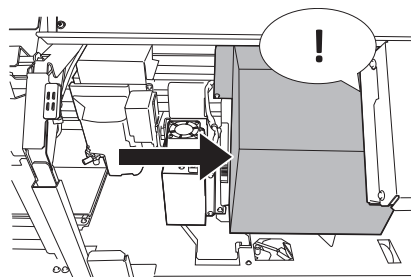
それでも動かないときは、次の応急処置を施したうえで買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

### 手順

1. サブ電源をオフにする。
2. メイン電源をオフにし、フロントカバーを開ける。
3. カバー R を開ける。



4. プrintヘッドキャリッジを静かに手で動かし、スタンバイポジションまで持っていく。「カチッ」と音がしたところでとめると、プリントヘッドキャリッジが固定されます。



- 5. 右側から静かに力を加え、左側に動かないことを確認する。**  
左側に動いてしまった場合は、もう一度左側からゆっくりプリントヘッドキャリッジを移動し、固定されることを確認してください。

# プリンター本体が動かない



## 電源がオンになっていますか？

プリンターのメイン電源をオンにしてからサブ電源をオンにし、ホーム画面が表示されていることを確認してください。

### 関連情報

- ・ [P. 27 電源オン](#)

## [出力できます。]と表示されていますか？

操作パネル上部に[出力できます。]と表示されていないと出力しません。メディアを取り付け、ローディングレバーを下ろした後、 [セットアップ]をタップしてください。画面の指示に従ってメディアのセットアップを完了してください。また、設定メニューを操作中の場合、一部のメニューではコンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、 をタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

### 関連情報

- ・ [P. 132 出力の開始](#)

## カバーが開いていませんか？

フロントカバー、カバー L、カバー R、リア UV シールドを閉じてください。

## [出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか？

画面に[出力を一時停止中です。]が表示されているときは一時停止状態です。再開するときは、[再開]をタップしてください。

### 関連情報

- ・ [P. 103 出力の一時停止と中止](#)

## 画面にメッセージが表示されていませんか？

### 関連情報

- ・ [P. 329 メッセージ](#)
- ・ [P. 335 エラーメッセージ](#)

## ケーブルが接続されていますか？

ケーブルをしっかり接続してください。

### 関連情報

- ・ LG-640 セットアップガイド (<https://downloadcenter.rolanddg.com/LG-640>)

## LAN のルーティングは適切ですか？

ネットワークのルーティングが適切か確認してみてください。コンピューターと本機を同じハブに接続するか、ケーブルで直接接続します。これで出力できるようなら、ネットワーク側の問題である可能性があります。

## LAN の設定は正しいですか？

ケーブルがしっかり接続されており、ネットワーク側に問題がない場合は、IP アドレスなどの設定が適切か確認してください。本機とコンピューターの両方の設定が適切である必要があります。ネットワーク上で IP アドレスが重複していないか、ソフトウェア RIP のポート設定は本機で設定した IP アドレスが指定されているか、入力ミスはないかなどを確認しながら設定をやり直してください。

### 関連情報

- ・ P. 228 プリンターの情報を確認する
- ・ LG-640 セットアップガイド (<https://downloadcenter.rolanddg.com/LG-640>)

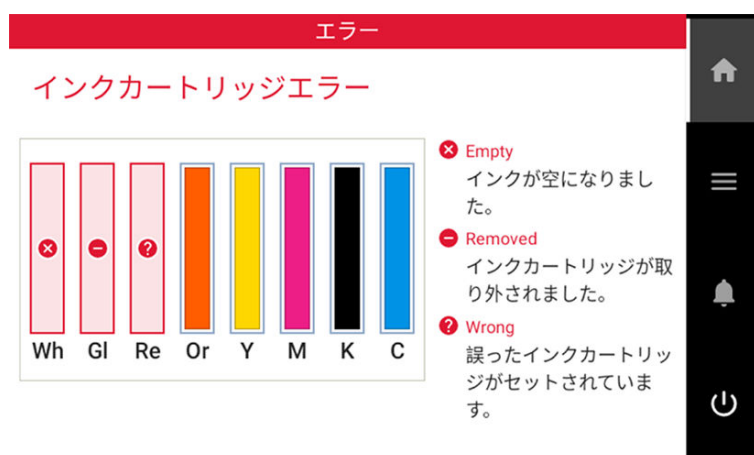
## ソフトウェア RIP が異常終了していませんか？

ソフトウェア RIP が正常に起動していることを確認し、サブ電源をいったんオフにしてから、もう一度オンにしてください。

### 関連情報

- ・ VersaWorks マニュアル (<https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6>)

## [インクカートリッジエラー]と表示されていませんか？



表示画面に[インクカートリッジエラー]と表示されているときは、出力データを受け付けることはできません。エラーが解消されると、本機にまだ出力されていないデータが残っている場合は、出力を再開します。コンピューターに未送信のデータがある場合は、データの再送信をすると出力を再開します。

### インクが空になった場合

インクカートリッジ内のインクパウチを新しいインクパウチに交換してください。

### 異なるカラーのインクカートリッジが取り付けられている場合

誤ってセットされたインクカートリッジを取り外し、適切なインクカートリッジをセットしてください。

**インクカートリッジが取り外されている、またはきちんとセットされていない場合**

インクカートリッジを奥までしっかりセットしてください。

#### 関連情報

- [P. 110 インクの交換方法](#)
- [P. 335 \[インクカートリッジエラー\]](#)

# フロントヒーターが熱くならない

## メディアをセットアップしてありますか？

電源をオンにただけでは設定温度までは熱くなりません（出荷時設定）。メディアをセットアップし、温まるのを待ってください。

### 関連情報

- ・ [P. 174 メディアを温めてメディア浮きを抑制する](#)

## [フロントヒーター]がオフになっていませんか？

[フロントヒーター]を[オン]にしてください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 177 出力時のヒーター温度を設定する](#)

## 部屋の温度が低すぎませんか？

20℃未満では、フロントヒーターが十分温まらないことがあります。また、フロントヒーターが設定温度に達しても、メディアが冷え切っていると十分な効果が出ません。メディアを室温になじませてから印刷してください。

# メディアの切り離しができない

## セパレーティングナイフは取り付けてありますか？

セパレーティングナイフが取り付けられていないとメディアの切り離しはできません。

### 関連情報


- ・ [P. 299 セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換](#)



# 操作パネルのメッセージ

メッセージ	329
[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]	329
[マニュアルクリーニングの時期です。]	329
[ワイパー交換の時期です。]	329
[キャップ交換の時期です。]	329
[ワイパークリーナー交換の時期です。]	329
[UV ミストフィルター交換の時期です。]	330
[フラッシングスポンジ交換の時期です。]	330
[ヘッド保護モードに入ります。]	330
[洗浄液パウチを交換してください。]	330
[洗浄液パウチをセットしてください。]	331
[洗浄液が残りわずかです。]	331
[インク攪拌の時期です。]	331
[巻取装置の動作を停止しました。]	331
[すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してください。]	332
[メディアクランプを正しくセットしてください。]	332
[メディアクランプが検出できませんでした。]	332
[LAN ケーブルが接続されていません。]	333
[接続に時間がかかっています。IP アドレスを手動設定すると改善します。]	333
[消費期限が切れているインクがあります。]	333
[メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]	333
エラーメッセージ	335
[インクカートリッジエラー]	335
[カバーオープンエラー]	335
[メディアエンドエラー]	335
[ピンチレバーエラー]	335
[メディアセットエラー]	336
[廃液ボトルエラー]	336
[クランプマーク検出エラー]	336
[ワイパー洗浄液が充てんできません]	337
[ピンチローラーエラー]	337
[ヘッド高さ不整合]	337
[メディア幅が不足]	337
[モーターエラー]	338
[ヘッド乾燥エラー]	338
[低温エラー]	338
[高温エラー]	338
[ポンプ停止エラー]	338
[クリーニングエラー (インクカートリッジ)]	339
[クリーニングエラー (廃液ボトル)]	339
[巻取装置通信エラー]	340
[サービスコール]	340
[ソフトウェアエラー]	340

# メッセージ

正しい操作を促すために、本機の表示画面に表示される主なメッセージです。特にエラーを示すものではなく、メッセージは一旦閉じて他の作業をすることもできます。メッセージを再度確認したり対処したりする場合は、 をタップして一覧を表示します。メッセージをタップすると、対処に必要なメニューや手順が表示されます。画面に従って操作してください。

## [出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]

廃液ボトルにある程度廃液がたまると表示されます。

[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]>[実行]をタップして、廃液を処理してください。

### 関連情報

- ・ [P. 258 廃液処理のメッセージが表示されたら](#)

## [マニュアルクリーニングの時期です。]

マニュアルクリーニングの時期が来ると表示されます。

[マニュアルクリーニングの時期です。]>[実行]をタップして、マニュアルクリーニングを実施してください。

### 関連情報

- ・ [P. 122 マニュアルクリーニングの方法](#)

## [ワイパー交換の時期です。]

ワイパーの交換時期が来ると表示されます。

[ワイパー交換の時期です。]>[実行]をタップして、ワイパーを交換してください。

### 関連情報

- ・ [P. 283 ワイパーの交換](#)

## [キャップ交換の時期です。]

プリントヘッドキャップの交換時期が来ると表示されます。

[キャップ交換の時期です。]>[実行]をタップして、プリントヘッドキャップを交換してください。

### 関連情報

- ・ [P. 286 プrintヘッドキャップの交換](#)

## [ワイパークリーナー交換の時期です。]

ワイパークリーナーの交換時期が来ると表示されます。

[ワイパークリーナー交換の時期です。]>[実行]をタップして、ワイパークリーナーを交換してください。

関連情報

- ・ P. 288 ワイパークリーナーの交換

[UV ミストフィルター交換の時期です。]

UV ミストフィルターの交換時期が来ると表示されます。

[UV ミストフィルター交換の時期です。]>[実行]をタップして、UV ミストフィルターを交換してください。

関連情報

- ・ P. 290 UV ミストフィルターの交換

[フラッシングスポンジ交換の時期です。]

フラッシングスポンジの交換時期が来ると表示されます。

[フラッシングスポンジ交換の時期です。]>[実行]をタップして、フラッシングスポンジを交換してください。

関連情報

- ・ P. 292 フラッシングスポンジの交換

[ヘッド保護モードに入ります。]

ご使用のインクが当社指定の製品ではない可能性があるときに表示されます。

インクが当社指定の製品でない場合、インクの消費量が増えたり、乾燥が頻繁に行われます。最適なパフォーマンスを発揮するために当社指定のインクをご使用いただくことを推奨します。購入方法は本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

[洗剤パウチを交換してください。]

洗剤が空になると表示されます。

空になった洗剤パウチを交換してください。

洗剤パウチを交換すると[洗剤パウチを交換しましたか?]が表示されます。

[はい]をタップすると、洗剤の残量がリセットされ、洗剤パウチは新品と認識されます。

メモ

洗剤パウチを交換していないのに洗剤パウチ交換の確認画面で[はい]をタップすると、洗剤の残量がリセットされます。その場合、洗剤の残量が残りわずかになっても通知が表示されずに、洗剤がなくなるタイミングで[洗剤パウチを交換してください。]が表示されます。洗剤を準備する時間を確保するため、洗剤を交換していないときは[いいえ]をタップしてください。

関連情報

- ・ P. 116 洗剤の交換方法

## [洗浄液パウチをセットしてください。]

洗浄液パウチがついていない洗浄カートリッジをセットする、または洗浄カートリッジを機体から取り外したときに表示されます。

新しい洗浄液パウチを正しくセットし洗浄カートリッジを取り付ける、または速やかに洗浄カートリッジを挿入してください。洗浄カートリッジを取り付けると、洗浄液パウチ交換の確認画面が表示されます。

- 洗浄液パウチを交換した場合は[はい]をタップしてください。洗浄液の残量がリセットされます。
- 交換していない場合は[いいえ]をタップしてください。洗浄液の残量は変更されません。

### メモ

洗浄液パウチを交換していないのに洗浄液パウチ交換の確認画面で[はい]をタップすると、洗浄液の残量がリセットされます。その場合、洗浄液の残量が残りわずかになっても通知が表示されずに、洗浄液がなくなるタイミングで[洗浄液パウチを交換してください。]が表示されます。洗浄液を準備する時間を確保するため、洗浄液を交換していないときは[いいえ]をタップしてください。

### 関連情報

- P. 116 洗浄液の交換方法

## [洗浄液が残りわずかです。]

洗浄液が少なくなったときに表示されます。

空になるまで使用することができますので、すぐに交換する必要はありません。ただし、空になると印刷ができません。このメッセージが表示されたら、交換用の洗浄液パウチを準備してください。

## [インク攪拌の時期です。]

インク攪拌の時期が来ると表示されます。

[環境設定]>[通知の表示/非表示]の[インク攪拌通知]をオンにすると、前回のインク攪拌から1日経過すると表示されます。

[インク攪拌の時期です。]が表示されたら、[OK]をタップして表示を消します。



から[インク攪拌の時期です。]をタップして、確認画面を表示します。

ホワイトインクのカートリッジを抜き、50回(20秒程度)振ってから再び差し込んでください。完了後、[はい]をタップします。

## [巻取装置の動作を停止しました。]

メディア送り中または引き戻し中にダンサーローラーの位置が検出できない状態が続いたときに表示して、巻取装置を停止させます。

[巻取装置の動作を停止しました。]が表示されたら、[OK]をタップして表示を消します。



から[巻取装置の動作を停止しました。]をタップして、画面の指示に従って、巻取装置を復帰してください。

## [すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してください。]

ミドルピンチローラーが正しく配置されていないときに表示されます。

左右ピンチローラーの間の正しい位置にミドルピンチローラーを配置してください。

### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## [メディアクランプを正しくセットしてください。]

メディアクランプが既定の位置に配置されていないときに表示されます。

メディアの取り付け状態とピンチローラーが正しく配置されていることを確認し、メディアクランプをメディアの端に正しくセットしてください。

### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

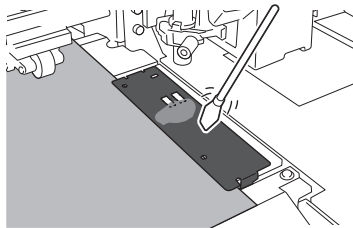
## [メディアクランプが検出できませんでした。]

メディアクランプがメディアで隠れてしまい、メディアクランプが検出できないときに表示されます。

メディアの取り付け状態とピンチローラーが正しく配置されていることを確認し、メディアクランプをメディアの端に正しくセットしてください。

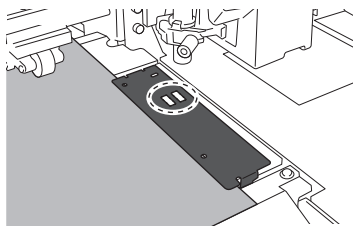
メディアクランプの読み取り部分がインクなどで汚れてメディアクランプが検出できないときに表示されます。

洗浄液とクリーニングスティックを使って、メディアクランプの白い部分を清掃してください。



印刷直後のメディアがあたるなどして、マルチセンサーがインクなどで汚れてメディアクランプが検出できていない可能性があります。

メディアクランプを正しくセットし、かつメディアクランプの読み取り部分を清掃してもこのメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。



### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)

- ・ P. 68 登録済みメディアのセットアップ

### [LAN ケーブルが接続されていません。]

機体とコンピューターが LAN ケーブルで接続されていないときに表示されます。

LAN ケーブルを正しく接続してください。

### [接続に時間がかかっています。IP アドレスを手動設定すると改善します。]

IP アドレス自動取得が有効で、自動取得中に DHCP サーバーが存在しないネットワークに接続したときに表示されます。

DHCP サーバーが存在するネットワークに接続するか、IP アドレス自動取得をオフにして固定の IP アドレスを設定してください。

### [消費期限が切れているインクがあります。]

インクの消費期限が切れました。

消費期限内のインクパウチに交換してください。



#### 関連情報

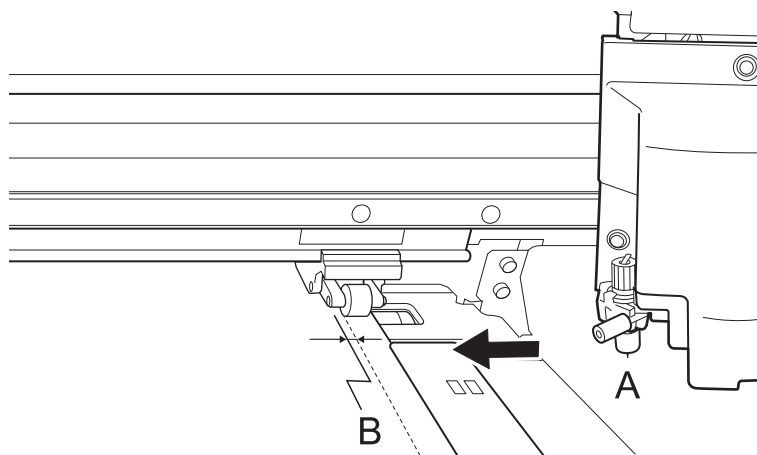
- ・ P. 110 インクの交換方法

### [メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]



反射率が高いメディアをセットアップすると表示されます。手動で印刷領域を設定してください。

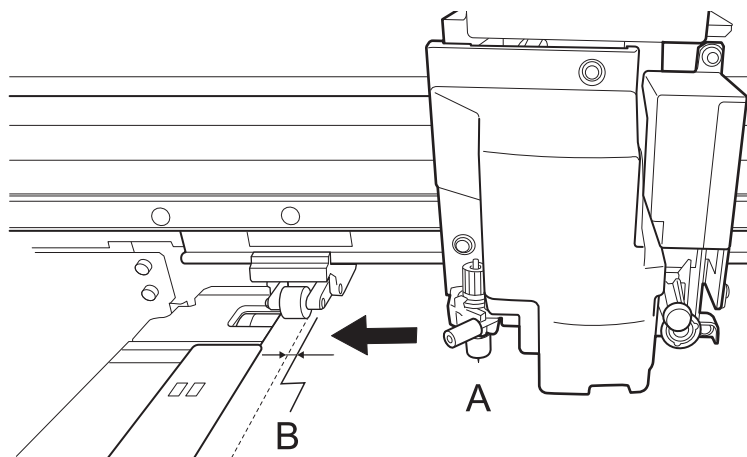
#### 手順

1. 上記メッセージが出ている画面で[OK]をタップする。
2. [変更]をタップする。  
[ピンチローラーの内側に印刷領域の右端を設定してください。]画面が表示されます。
3.   を押して、カッターの中心 (A) を右側ピンチローラーの左端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



4. [OK]をタップする。  
[ピンチローラーの内側に印刷領域の左端を設定してください。]画面が表示されます。

5.   を押して、カッターの中心 (A) を左側ピンチローラーの右端から 2 mm 程度内側 (B) に移動する。



6. [OK]をタップする。  
設定した左右の位置が[印刷領域 (幅)]に反映されます。
7. [OK]をタップする。

# エラーメッセージ

本機の表示画面に表示されるエラーメッセージとその対処方法です。




画面の指示にしたがってエラーを解消するか、一度電源をオフにしてから本機の操作を再開してください。

画面に表示された対処を行っても復帰できない場合や、ここに記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

## [インクカートリッジエラー]

インクカートリッジに以下のエラーを検出すると表示します。

### メモ

エラー発生時は、画面の対応するインクカートリッジに 、 または  のアイコンが表示されます。

エラーに応じた対処方法を実施してください。

#### ・ インクが空になったとき

 [Empty][インクが空になりました。]


新しいインクパウチと交換して、インクカートリッジを取り付ける。

#### ・ いずれかのインクカートリッジを取り外したとき

 [Removed][インクカートリッジが取り外されました。]

取り外したインクカートリッジを取り付ける。

#### ・ 異なるカラーのインクカートリッジを取り付けたとき

 [Wrong][誤ったインクカートリッジがセットされています。]

誤って取り付けたインクカートリッジを取り外し、正しいインクカートリッジを取り付ける。

インクカートリッジを取り外すと、 [Removed][インクカートリッジが取り外されました。]が表示されます。

## [カバーオープンエラー]

フロントカバー、カバー R、カバー L、リア UV シールドのいずれかが開いています。

機体動作中にカバーを開くと安全のため、機体を停止させます。

開いているカバーを閉じてください。

## [メディアエンドエラー]

以下のいずれかを検出したときに表示します。

- ・ 巻取装置セットアップ中や印刷出力中にメディア残量が足りなくなった
- ・ メディアを送っているときにメディアがなくなった

新しいメディアに取り替えて、データを送り直してください。

## [ピンチレバーエラー]

メディアのセットアップ中またはセットアップ後にローディングレバーを上げた。

ローディングレバーを下げてセットアップをやり直してください。



## [メディアセットエラー]

[メディアエッジ検出]を[有効]に設定している状態で、かつピンチローラーが正しくセットされておらずメディアを送っていないときに表示します。

いったんローディングレバーを上げ、ピンチローラーを正しくセットし、メディアのセットアップをやり直してください。

[メディアエッジ検出]を[有効]に設定していて、かつメディアの長さが短いときに表示します。

使用しているメディアが、検出に必要な長さに達していません。いったんローディングレバーを上げ、[メディアエッジ検出]を[無効]に設定してからメディアをセットアップし直してください。

[メディアエッジ検出]を[無効]にした場合のセットアップ方法は、**1. B：メディアの位置を決める**（[メディアエッジ検出]：[無効]の場合）(P. 59) を参照してください。

### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## [廃液ボトルエラー]

廃液ボトル内の廃液が処理する液量に達したときに表示します。

廃液ボトル内の廃液を捨て、廃液ボトルを取り付けてください。

### メモ

廃液ボトルを取り外すとエラーメッセージが[廃液ボトルをセットしてください]に切り替わります。

廃液ボトルの位置がずれたときに表示します。

廃液ボトルをセットしなおしてください。

## [クロップマーク検出エラー]

[クロップマークを検出できませんでした。]

クロップマークの自動検出ができなかった。

[マルチセンサー調整]（クロップマークの読み取りセンサーの補正機能）を使って補正してみてください。なお、メディアによっては自動検出ができないことがあります。

[クロップマークを検出しましたが、サイズや位置が不正です。]

クロップマークの自動検出ができなかった。

データの出力設定を確認したのちに、正しい位置にメディアを取り付け、再度クロップマークの検出を行ってください。再度クロップマークの自動検出を行ってもエラーが表示されるときは、クロップマークの印刷からやり直してください。

### 関連情報

- [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)
- [P. 148 クロップ&カットの方法](#)
- [P. 202 読み取りセンサーを補正する](#)

## [ワイパー洗浄液が充てられません]

洗浄カートリッジ内の洗浄液パウチが空になった。  
速やかに新しい洗浄液パウチに交換してください。

## [ピンチローラーエラー]

左 (右) ピンチローラーがメディアを挟めない位置にあります。  
いったんローディングレバーを上げ、ピンチローラーを正しい位置に移動してください。

### 関連情報

- ・ [P. 31 新規メディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 68 登録済みメディアのセットアップ](#)

## [ヘッド高さ不整合]

設定したプリントヘッド高さと実際のプリントヘッド高さが異なる。  
画面の指示に従って、プリントヘッド高さを変更してください。プリントヘッドの高さを変更すると、画面に[OK]が表示されます。[OK]をタップして印刷を再開してください。  
プリントヘッドキャリッジが移動したまま 10 分が経過した場合、ヘッド乾燥保護のためにプリントヘッドキャリッジはキャッピングされ、データはキャンセルされます。

### 関連情報

- ・ [P. 168 プリントヘッドの高さを変える](#)

## [メディア幅が不足]

---

[印刷データがメディアの幅を超えます。出力を続けますか?]

---

印刷データに対して取り付けられたメディアの幅が足りないときに表示されます。  
そのまま出力を続けるときは、[出力を続ける]をタップします。このとき、印刷領域からはみ出した部分は出力されません。  
出力を中止するときは、[キャンセル]をタップします。データの出力設定を確認して、データを送り直してください。

---

[印刷データがメディアの幅を超えるため、クロップマークが書けません。出力を続けますか?]

---

以下のいずれかが検出されたとき表示されます。

- ・ クロップマーク付きの印刷データに対して取り付けられたメディアの幅が足りないとき
- ・ 印刷データの幅が 60 mm 以下のとき

そのまま出力を続けるときは、[出力を続ける]をタップします。このときは、クロップマークなしで出力されます。  
出力を中止するときは、[キャンセル]をタップします。データの出力設定を確認して、データを送り直してください。

**出力するデータのサイズが小さすぎます。**

左右 (SCAN) 方向のデータサイズを 61 mm 以上にしてください。そのまま出力を続けるときは、[出力を続ける]をタップします。このとき、クロップマークは印刷されません。

出力を中止するには、[キャンセル]をタップします。データサイズを大きくしてからデータを送り直してください。

## [モーターエラー]

**モーターエラーが発生しました。**

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。次に、エラーの原因を取り除き、すぐにサブ電源をオンにしてください。

エラーのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して壊れることがあります。このエラーが発生する原因には、メディアのセット方法の誤り、メディアづまり、メディアを無理に引っぱる操作などがあります。

**メディアづまりを起こしています。**

つまったメディアをていねいに取り除いてください。また、プリントヘッドがダメージを受けているかもしれません。ヘッドクリーニングをし、テストプリントで確認してください。

**メディアを無理に引っぱっていませんか。**

メディアに過剰な張力がかかっており、このままでは復帰できません。まずローディングレバーを上げてメディアを少しゆるめてから、サブ電源をオンにしてください。

## [ヘッド乾燥エラー]

**プリントヘッドの乾燥を防ぐため、強制的にスタンバイポジションに移動したときに表示されます。**

作業は続行できません。サブ電源をオフにした後、再びオンにしてください。

## [低温エラー]

**機体の内部温度が動作可能な温度より低くなりました。**

起動時に 16℃以下、または動作中に 14℃以下になると表示されます。

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。

設置場所を動作可能な温度 (20 ~ 32℃) にしたあと、電源をオンにしてください。

### 関連情報

- ・ [P. 27 電源の操作](#)

## [高温エラー]

**機体の内部温度が動作可能な温度より高くなりました。**

起動時に 45℃以上、または動作中(スリープ復帰時)に 50℃以上になると表示されます。

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。

設置場所を動作可能な温度 (20 ~ 32℃) にしたあと、電源をオンにしてください。

### 関連情報

- ・ [P. 27 電源の操作](#)

## [ポンプ停止エラー]

**クリーニング中など、ポンプ作動中にインクカートリッジが抜かれる、またはインクがなくなった状態で 10 分以上経過したときに表示されます。**

作業は続行できません。サブ電源をオフにした後、再びオンにしてください。

## [クリーニングエラー（インクカートリッジ）]

以下のいずれかが原因で、緊急停止しました。

- 「ダンパー内インク更新」の実施中にインクが無くなった。
- 「ダンパー内インク更新」の実施中にインクカートリッジが抜かれた。
- 初めてのインク充てん中にインクカートリッジが抜かれた。

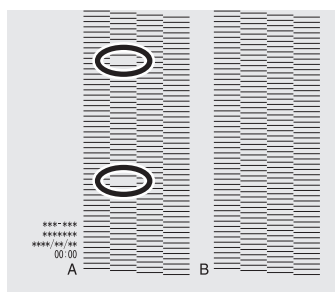
作業は続行できません。以下の作業を実施してください。

1. インクカートリッジが差し込まれていること、インクが十分にあることを確認する。
2. サブ電源をオフにし、再びオンにする。
3. **[ダンパー内インク更新]**または**インク充てん**を実施する。

### メモ

**[ダンパー内インク更新]**が途中で停止した場合は、[A] または [B] のホワイトインクがあるグループの**[インク更新]**を実施してから再度**[ダンパー内インク更新]**を実施してください。

[A] の文字から [B] の文字までの間が、**[A グループ]**。[B] の文字から右のすべてが**[B グループ]**です。



**テストプリントの結果がわかりにくいときは**

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

作業中にインクカートリッジエラーが表示されたときは、インクカートリッジの抜き差しを実施してください。

### 関連情報

- [P. 269 ダンパー内インク更新の方法](#)

## [クリーニングエラー（廃液ボトル）]

以下のいずれかが検出されたときに表示します。

- 「ダンパー内インク更新」実行中に廃液ボトルを外した。
- 初めてのインク充てん中に廃液ボトルを外した。

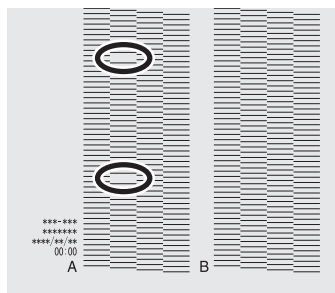
作業は続行できません。以下の作業を実施してください。

1. インクカートリッジが差し込まれていること、インクが十分にあることを確認する。
2. サブ電源をオフにし、再びオンにする。
3. **[ダンパー内インク更新]**または**インク充てん**を実施する。

### メモ

**[ダンパー内インク更新]**が途中で停止した場合は、[A] または [B] のホワイトインクがあるグループの**[インク更新]**を実施してから再度**[ダンパー内インク更新]**を実施してください。

[A] の文字から [B] の文字までの間が、**[A グループ]**。[B] の文字から右のすべてが**[B グループ]**です。



### テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

作業中にインクカートリッジエラーが表示されたときは、インクカートリッジの抜き差しを実施してください。

## [巻取装置通信エラー]

巻取装置セットアップ時に接続が切れるなどのエラーが発生したときに表示されます。

作業は続行できません。サブ電源、メイン電源の順にオフしてください。巻取装置が正しく接続されていることを確認したのちにメイン電源、サブ電源の順で、再びオンにしてください。

## [サービスコール]

復帰不能なエラーが発生した、または、サービスマンによる部品交換が必要になった。

操作パネルに表示されている番号を確認してから、サブ電源をオフにします。電源をオフにしたあと、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

## [ソフトウェアエラー]

機体内部の通信やアプリケーションに異常が発生した、または、サービスマンによる部品交換が必要になった。

メイン電源をオフにし、再びメイン電源、サブ電源の順でオンにしてもエラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

# 付録

# 移送するときの作業

---

移送の準備をする .....	343
Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す .....	343
Step 2: インクを循環させる（ホワイトインクを使用している場合のみ） .....	345
Step 3: 廃液を捨てる .....	346
Step 4: プリントヘッドを固定具で固定する .....	348
Step 5: 再設置する .....	350

# 移送の準備をする

移送前に廃液を処分して、プリントヘッドを固定します。また、ホワイティンクをお使いの場合は、手動で循環を行う必要があります。移送前の準備をしないと、インクが漏れて内部の機器を傷めたり、プリントヘッドが壊れたりする原因になりますのでご注意ください。

## 重要

- 準備ができたら速やかに移送し、移送後すぐに電源を入れてください。電源を入れずに放置すると、沈殿したインクが固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります
- 移送時は、温度 5～40 ° C、湿度 20～80 %RH（ただし結露のないこと）を保ってください。守らないと、故障の原因になります
- 衝撃を与えたり、傾けたりしないよう、慎重に移送してください

## Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す

### メモ

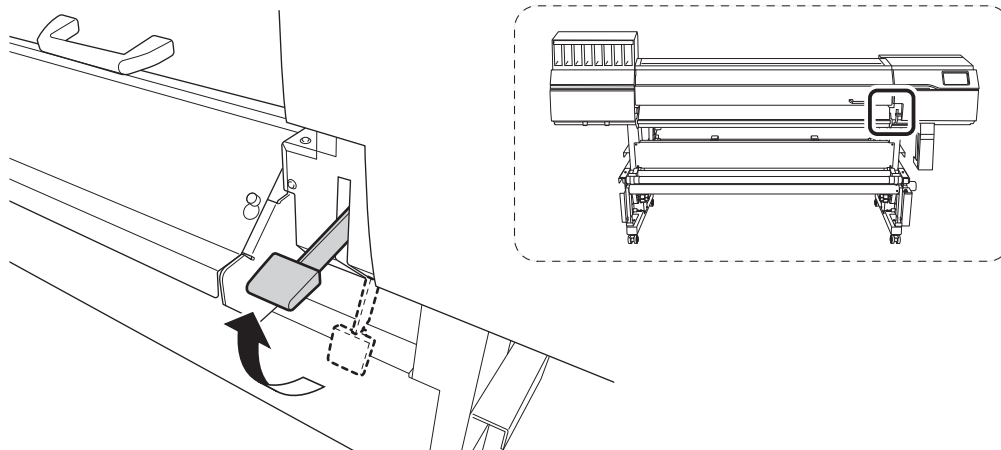
操作パネルにはカッターを交換する手順が表示されますが、ここではカッターを取り外す作業だけ行ってください。

### 手順

#### 1. メディアを取り外す。

メディアが取り付けられている場合は、メディアを取り外します。

メディアが取り付けられていない場合は、ローディングレバーを上げます。



#### 2. をタップする。

#### 3. [メンテナンス]>[カッター交換]をタップする。


[カッター交換]画面が表示されます。

#### 4. [実行]をタップする。

カッティングキャリッジがカッター交換可能な位置まで移動します。

#### 5. [フロントカバーを開けてください。]と表示されたら、フロントカバーを開ける。





6. カッターホルダーを取り外す。
7. ネジを締める。
8. [すべて完了]をタップする。
9. フロントカバーを閉じる。
10.  をタップして、もとの画面に戻る。

## Step 2: インクを循環させる（ホワイトインクを使用している場合のみ）

※以下のインクタイプには不要な作業です。


- 4色：CMYK

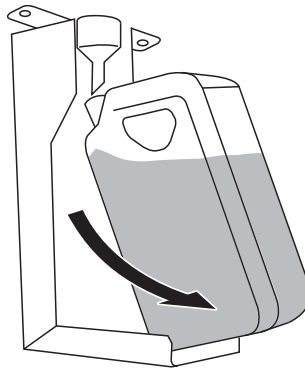
### 手順

1.  をタップする。
2. [メンテナンス]>[インク循環]をタップする。  
[インク循環]画面が表示されます。
3. [実行]をタップする。  
インク循環を開始します。
4.  をタップして、もとの画面に戻る。

## Step 3: 廃液を捨てる

### 手順

1.  をタップする。
2. [メンテナンス]>[廃液ボトル]をタップする。
3. [実行]をタップする。
4. 廃液ボトルを取り外し、廃液を捨てて空にする。



#### 重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくることがあります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

#### 警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。  
火災の原因になります。

#### 注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。  
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

#### 重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。  
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

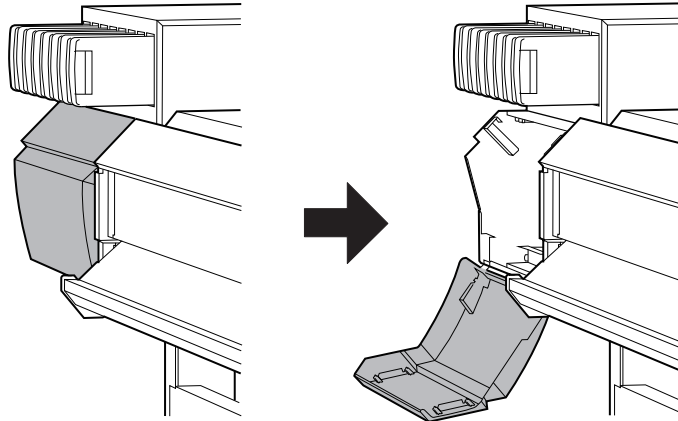
5. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。
6. [完了]をタップする。

7. サブ電源をオフにする。
8. メイン電源をオフにする。

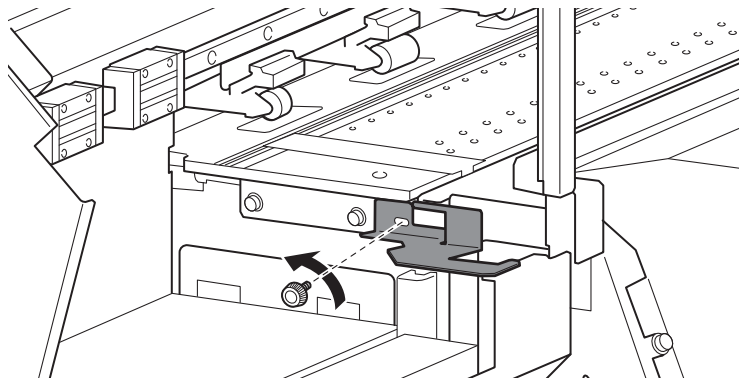
## Step 4: プリントヘッドを固定具で固定する

### 手順

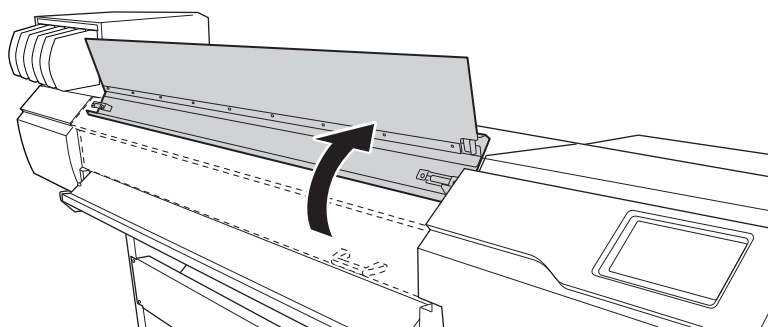
1. カバー L を開ける。



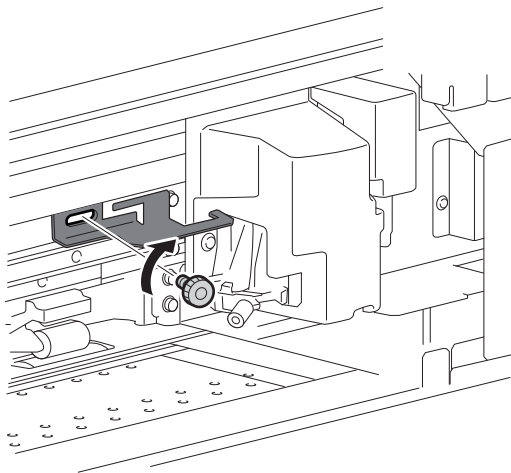
2. 固定具 C を取り外す。



3. フロントカバーを開ける。



4. 取り外した固定具 C でプリントヘッドを固定する。

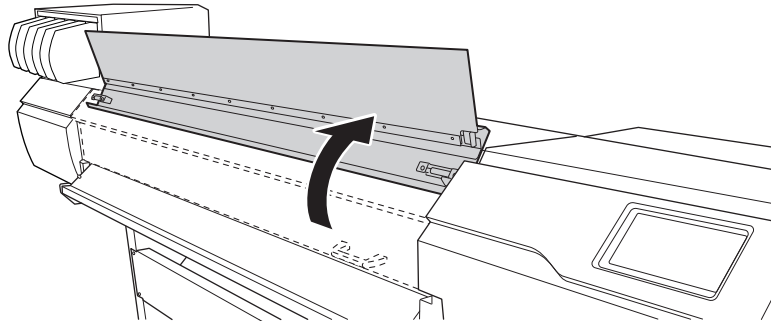


5. フロントカバーおよびカバーLを閉じる。

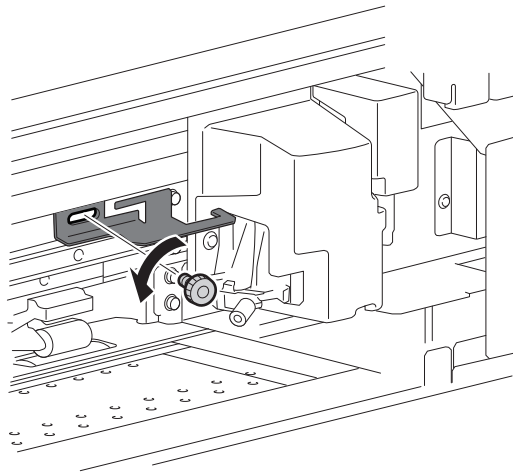
## Step 5: 再設置する

### 手順

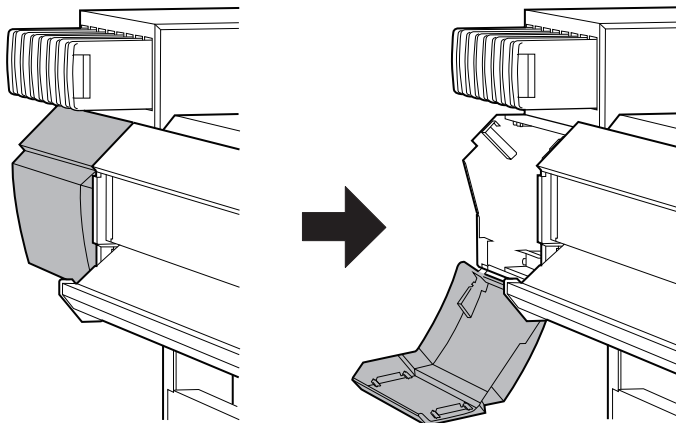
1. 準備ができたら、時間をおかずすぐに移送する。
2. すぐに設置し直し、フロントカバーを開ける。



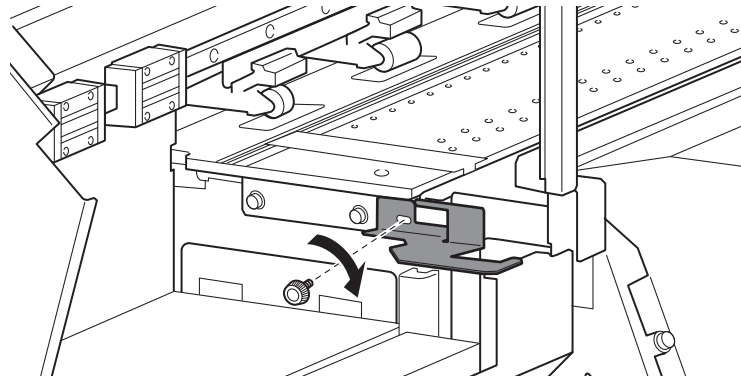
3. プリントヘッドを固定した固定具 C を取り外す。



4. カバー L を開ける。



5. 保管のため、固定具 C は図の位置に取り付ける。



6. フロントカバーおよびカバーLを閉じる。

7. メイン電源をオンにする。

**重要**

プリントヘッドの故障などを避けるために、なるべく時間をおかずに移送を完了し、移送後はすぐにメイン電源をオンにしてください。再設置は、セットアップガイドの手順に従ってください。

8. サブ電源をオンにする。  
ホーム画面が表示されます。

**関連情報**

- ・ P. 116 洗浄液の交換方法



# 主な仕様

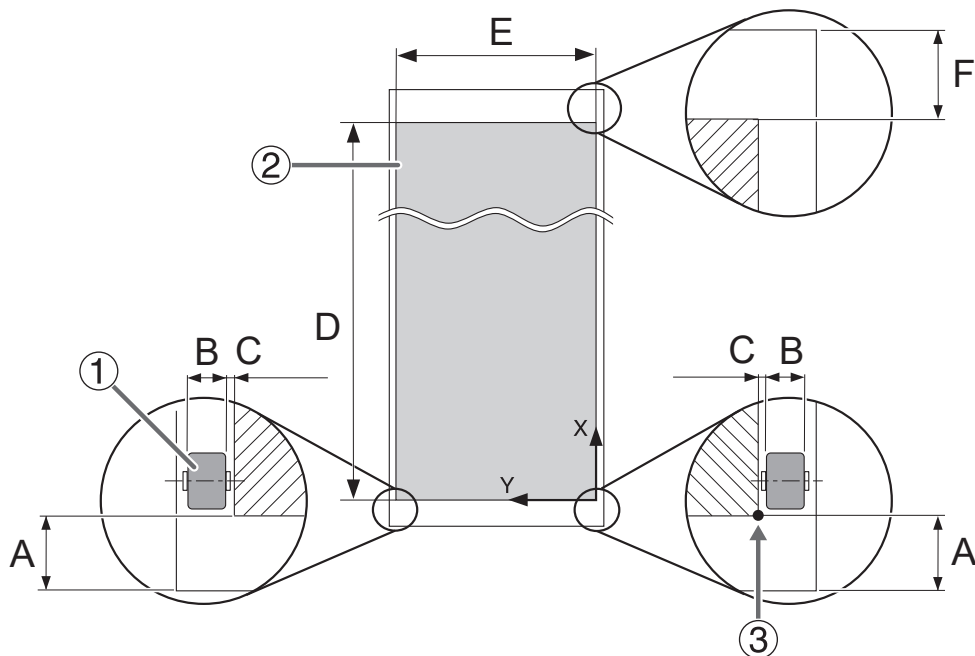
---

印刷／カッティング領域 .....	353
最大領域.....	353
クロップマーク使用時の最大印刷領域 .....	354
連続印刷時のメディア切り離し位置 .....	355
カッターについて .....	356

# 印刷／カッティング領域

## 最大領域

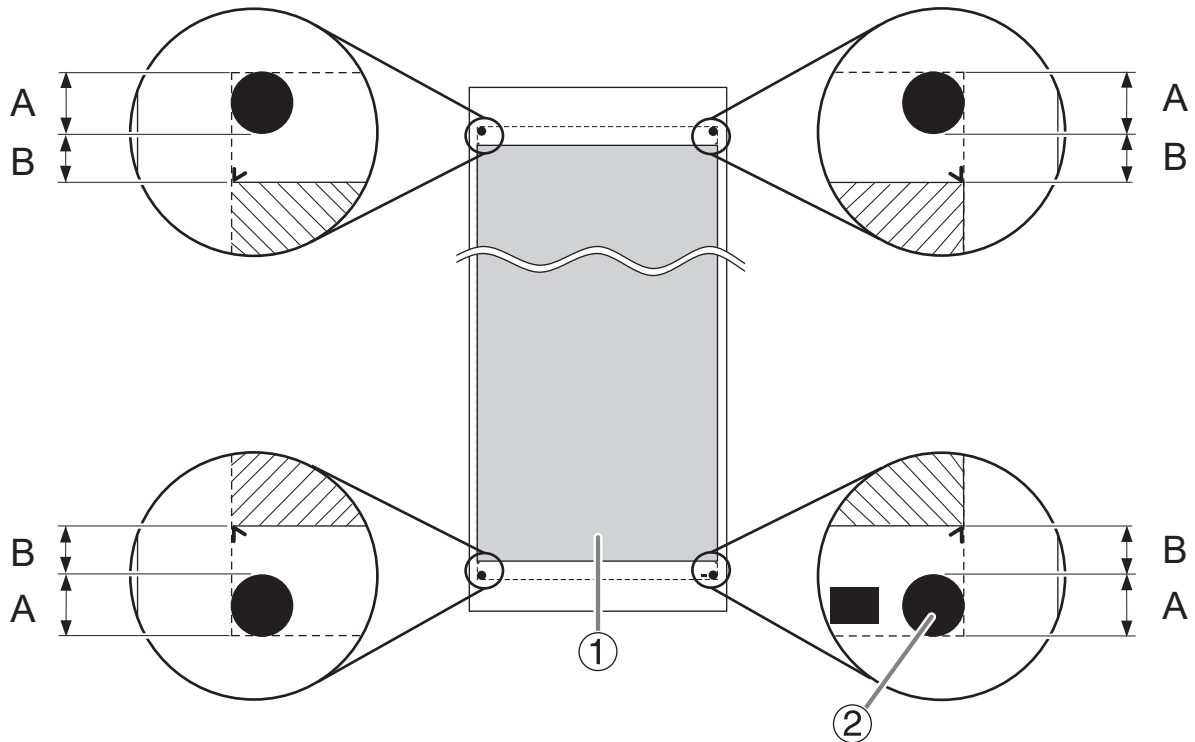
取り付けられたメディアの横方向（キャリッジの移動方向）の印刷／カッティング領域は、ピンチローラーの位置で決まります。



①	ピンチローラー
②	印刷またはカッティング領域
③	印刷またはカッティング座標原点
A	75 mm
B	10 mm
C	1.5 mm
D	最大 24,998 mm
E	64 インチモデル：最大 1,600 mm 54 インチモデル：最大 1,346 mm 30 インチモデル：最大 736 mm
F	最大 220 mm

## クロップマーク使用時の最大印刷領域

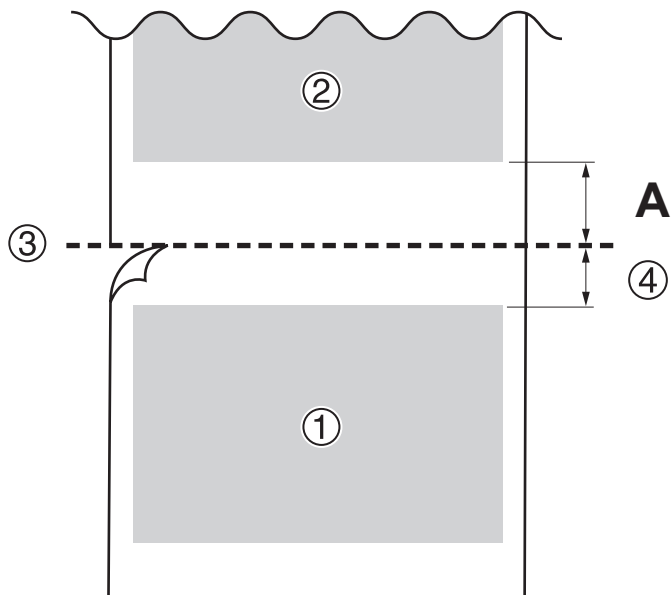
クロップマークを使用する場合の最大印刷領域は、クロップマーク未使用時の最大印刷領域よりもクロップマークの分だけ小さくなります。



①	最大印刷領域
②	クロップマーク
A	12.5 mm
B	10 mm

## 連続印刷時のメディア切り離し位置

コンピューターからメディアを切り離す命令を送った場合、メディアの切り離し位置は下図のようになります。



①	1 ページ目
②	2 ページ目
③	切り離し位置
④	余白 (ソフトウェア RIP の値)
A	75 mm

# カッターについて

同じカッターを使っても、メディアや使用環境によって、カッティング条件やカッターの寿命は変わってきます。また、カッターの種類によって寿命も違います。おおよその目安は下記のとおりです。

カッター	メディア	カッター圧	カッターオフセット (刃先補正量)	寿命 (目安) *1
ZEC-U5032	サインシート一般	30 ~ 100 gf	0.25 mm	8,000 m
ZEC-U5025	サインシート一般	30 ~ 100 gf	0.25 mm	4,000 m
	蛍光シート	120 ~ 200 gf	0.25 mm	4,000 m
	反射シート	100 ~ 200 gf	0.25 mm	4,000 m

\*1 「寿命」は、同一種類のメディアをカットした場合の目安です

カッター圧をこの表に示したものより 50~60 gf 以上高くしても切り残しができる場合はカッターを交換してください。

# Memo

---

この文書について ..... 358  
ソフトウェアについて ..... 359

# この文書について

---

本書は LG-640/540/300 共通のユーザーズマニュアルです。機種を区別する必要がある場合、本書内では各機種を次のように表記しています。

- LG-640 : 64 インチモデル
- LG-540 : 54 インチモデル
- LG-300 : 30 インチモデル

本書内のイラストはおもに LG-640 のものを使用しています。

# ソフトウェアについて

---

当製品には、イーソル株式会社の eT-Kernel [eT-Kernel Multi-Core Edition] 及び TCP/IP プロトコルスタック [PrCONNECT(R)/Pro] が搭載されています。eT-kernel,PrCONNECT は、イーソル株式会社の登録商標です。

-----  
記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。



